

令和3年度  
「食育」に関する  
市民および大学生  
アンケート調査  
報告書

令和4年3月  
松戸市



# 目 次

## 第 1 部 市民アンケート

第1章 調査の概要 .....	1
第2章 調査結果の分析 .....	11
第 1 節 食育に関する意識、関心・食、健康、食育政策に関する意識 (問 1—問 34) .....	11
第 2 節 歯科の健康に関する意識 (問 35—44) .....	57
第 3 節 子どもの生活と食育に関する意識 (子属 1—問 56) .....	83
第3章 質問と回答 (単純集計) .....	119
第4章 自由記述 .....	151
付録 調査票・関連資料 .....	169

## 第 2 部 大学生アンケート

第1章 調査の概要 .....	185
第2章 調査結果の分析 .....	193
第3章 質問と回答 (単純集計) .....	239
付録 調査票 .....	257



## 第 1 部 市民アンケート

### 第 1 章 調査の概要



## 1. 調査の目的

松戸市では平成20年3月に松戸市食育推進計画を策定し、「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう食育を推進してきた。第5回目となる本調査にて、市民の食に関する意識や実態を知ることにより、計画の進行状況を把握し、第4次松戸市食育推進計画策定の基本資料とすることを目的とした。

## 2. 調査の方法

- (1) 調査地域・・・市内全域
- (2) 調査対象・・・市内在住の20歳以上の市民3,000人
- (3) 抽出方法・・・住民基本台帳による無作為抽出
- (4) 調査方法・・・配布、回収ともに郵送法
- (5) 調査期間・・・令和3年7月10日～8月25日

## 3. 調査項目

項目	内容
基本属性	性別、年齢、出身地、職業、同居人数、所得
食育に関する意識・関心	食育の言葉の認知、関心度、食育活動、バランスのとれた食事の意識、伝統行事の実施
食に関する意識	食品購入時の意識、産地チェック、安全性の基礎知識、子どもの食育の場
健康に関する意識	朝食をとる頻度、朝食の内容、健康維持のための取組み
地域社会への意識	地域活動への参加
生活のゆとり、農作業、食育政策に関する意識	農作業体験、市に期待する施策
コロナ禍による生活面への影響	
歯科の健康に関する意識	現在の歯の本数、歯磨きや歯科検診の頻度、歯科治療の状況、口腔内の状態、健康への意識
子どもの生活と食育に関する意識	子どもの基本属性、朝食をとる頻度、朝食の内容、就寝時間と起床時間、食育への取組み

## 4. 回収結果

- (1) 調査票送付数 3,000人
- (2) 回収数 1,209人
- (3) 回収率 40.3%

## 5. 集計にあたって

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって回収率を合計しても100%ちょうどにはならないことがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を分母nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) n (Number of Cases) は比率算出の分母であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、分母nは設問により異なる。また、性別の合計件数・年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 性別・世代別の表について、設問の各選択肢における世代間の最大回答数を網掛け、各世代の最大回答数を斜体太字にて示している。
- (7) 集計は、①単純集計、②回答者の属性(性別・世代別および世帯所得階層別)とクロス集計を行った。
- (8) 過去に実施した調査結果と比較することで、市民の食育への関心や傾向を検討している。



## 6. 調査研究体制

調査研究チーム代表・総括：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部）

調査票設計：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部）

後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

祓川 摩有（聖徳大学児童学部）

古井 恒（流通経済大学流通情報学部）

三島 孔明（千葉大学大学院園芸学研究院）

報告書作成：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部）

調査データ解析：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部）

歯科データ解析：後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

## 7. 回答者の基本属性

### 【性別】

回答者の8割近くが女性、2割が男性であった。

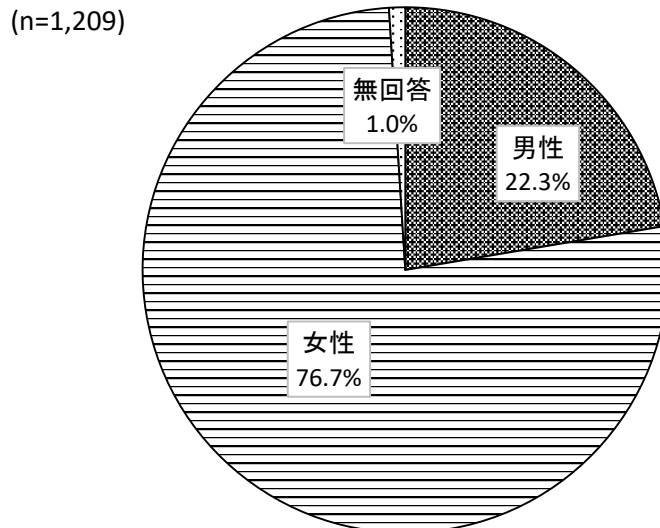


図1-1

### 【年齢】

20代の割合が低いが、それ以上の世代ではおおむね偏りはないといえる。

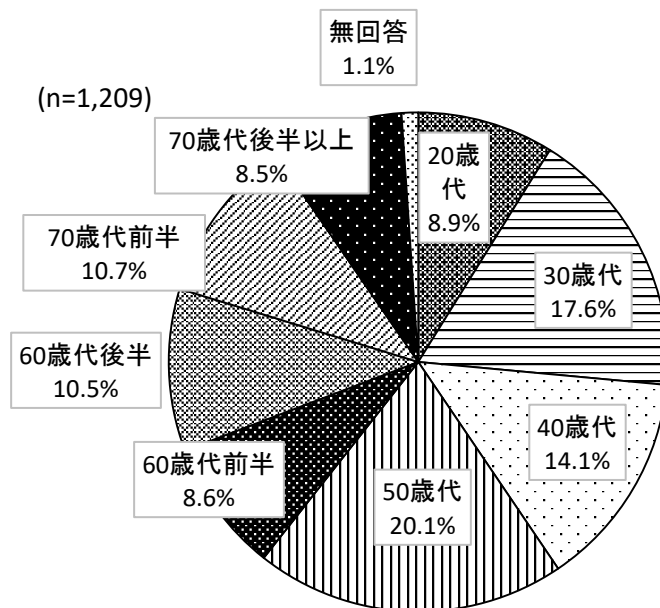
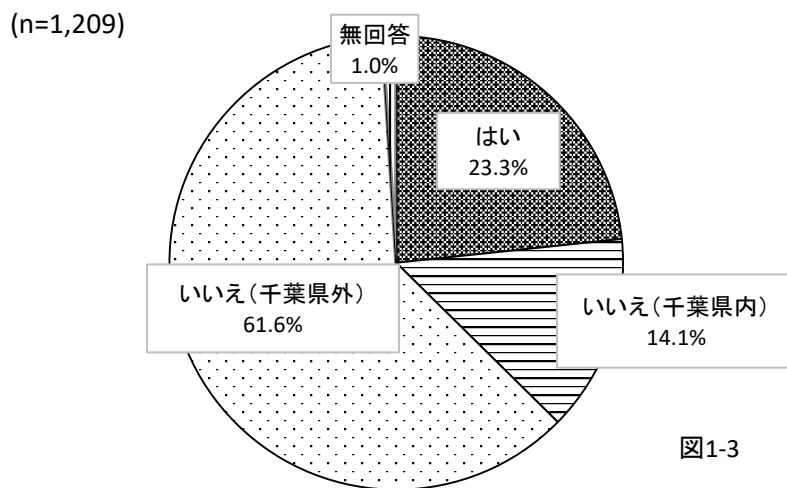


図1-2

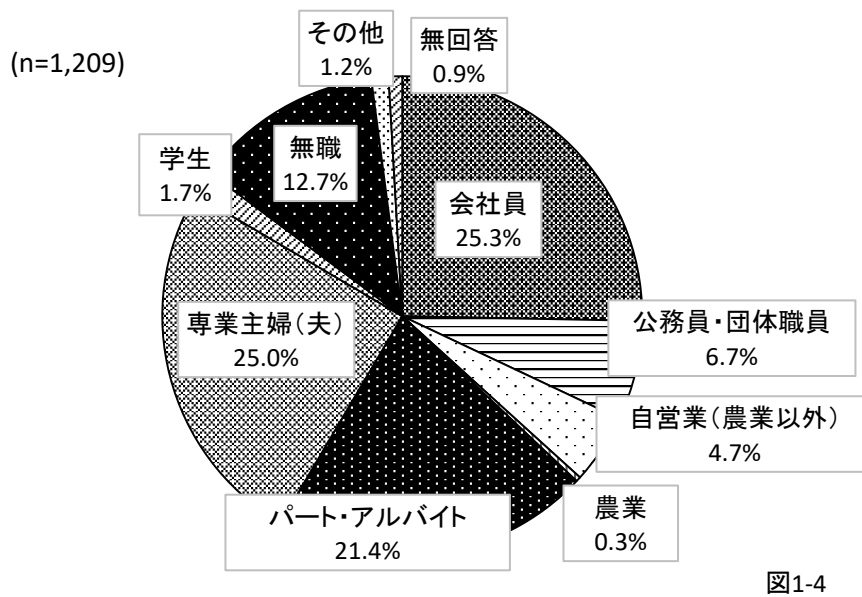
【出身地（松戸市）】

県外者が6割以上で大半を占めており、松戸市出身者は2割弱と少ない。



【職業】

多い方から会社員、専業主婦、パート・アルバイトの順となっている。



【同居家族の人数（うち18歳以下、70歳以上）】

同居家族の人数は、平均1.85人で核家族の形態となっている。

平均	同居人数	うち18歳以下	うち70歳以上
(人)	1.85	2.17	1.35

あなた以外の同居家族の人数

2人世帯が3分の1で最も多い。

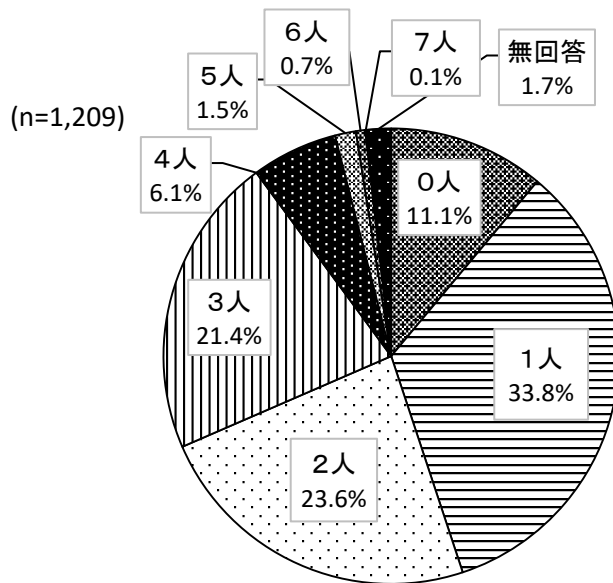


図1-5-1

あなた以外の同居家族の人数（18歳以下）

18歳以下の同居人を有するのは3割となっている。

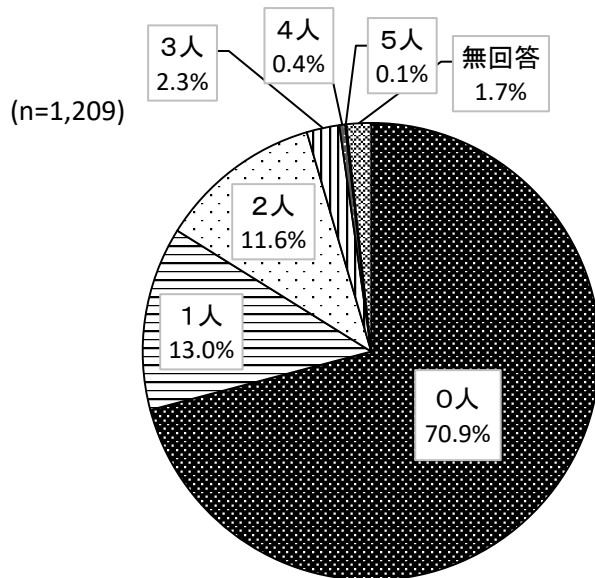


図1-5-2

あなた以外の同居家族の人数（70歳以上）

70歳以上の同居人を有するのは約4分の1となっている。

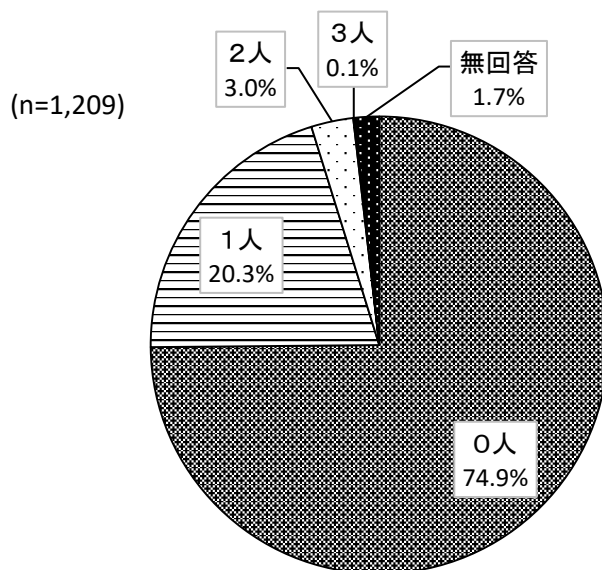


図1-5-3

【新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入面にどのような変化があったか】

7割が変化なしと回答しているが、減少との回答は2割を超えている。

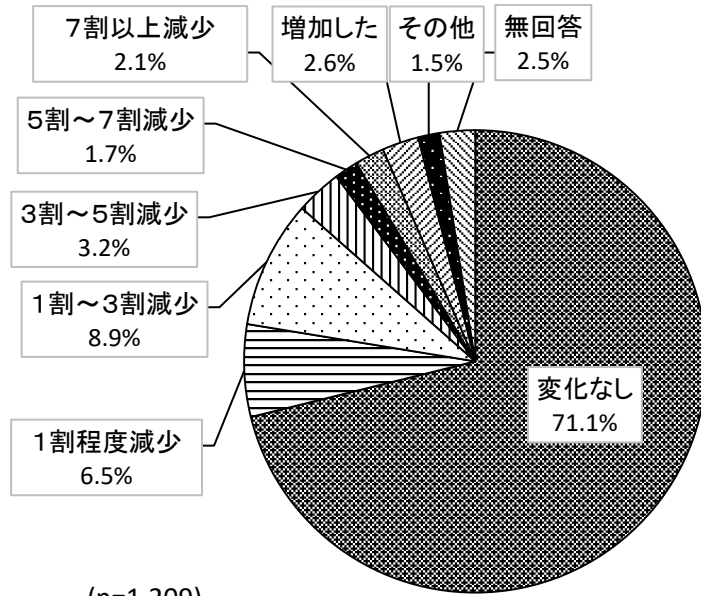


図1-6

【世帯全体の所得（年金を含む手取り）】

所得階層分布は、ほぼ偏りなく分布している。

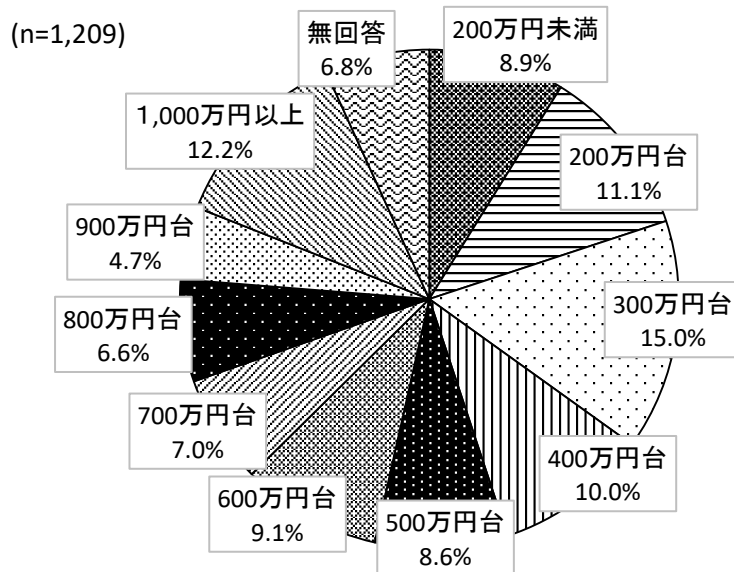


図1-7

## 第2章 調査結果の分析

### 第1節 食育に関する意識、関心・食、健康、食育政策に関する意識





問1 あなたは現在、毎日の食事を「おいしい」と感じていますか？（1つに○）

「感じている」と「やや感じている」を合わせて8割の回答者が、おいしいと感じている。男女別では、おいしいと感じている割合は女性の方が高い。世代別では、大きな差はみられない。

図2-1-1

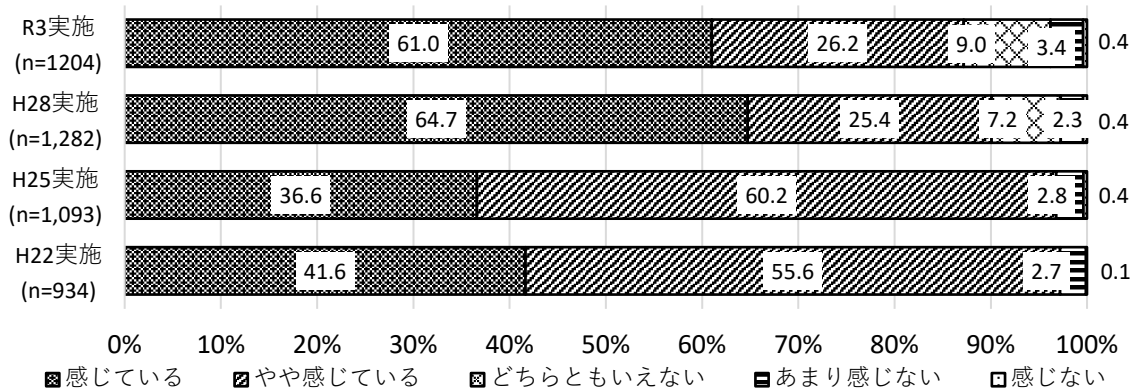
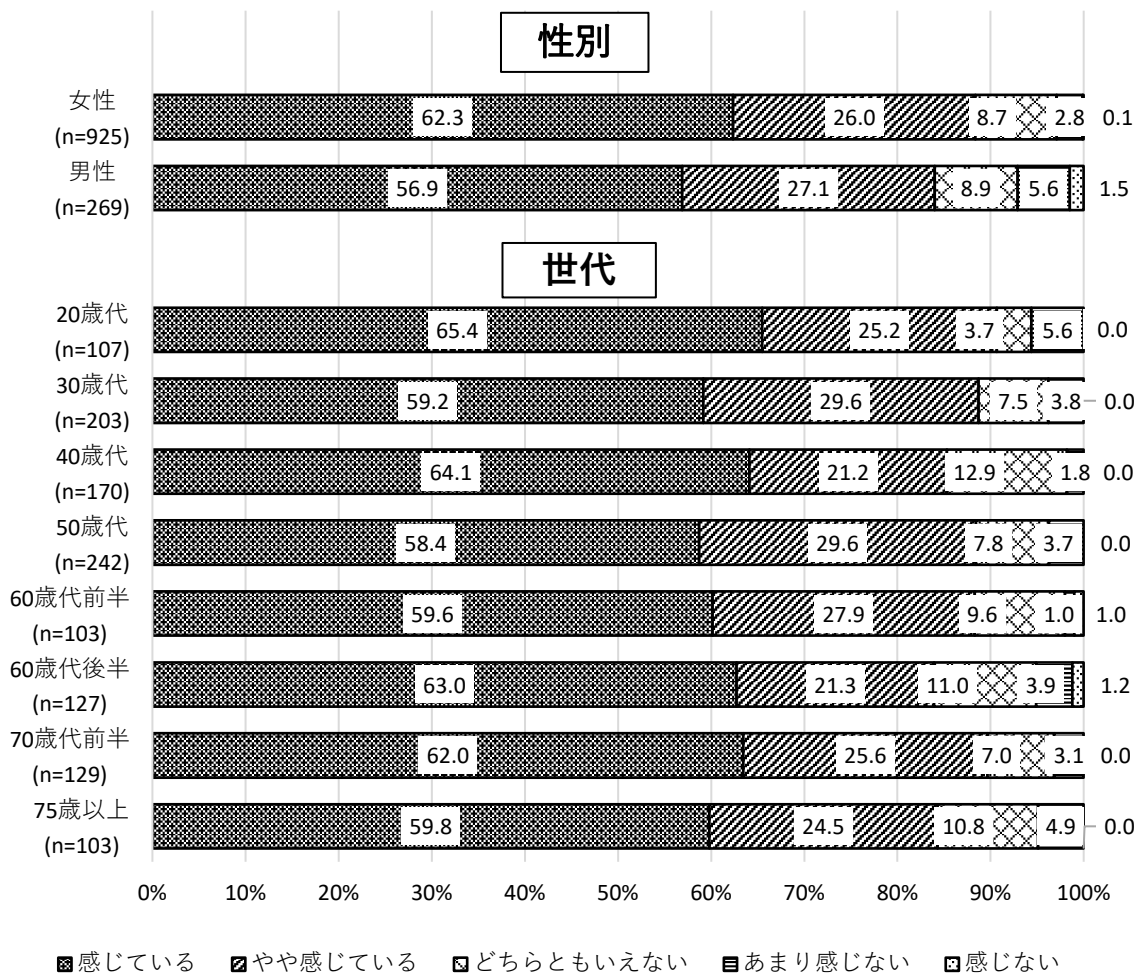


図2-1-2



問2 現在の食生活に満足していますか？（1つに○）

全体では、「満足している」、「まあまあ満足している」を合わせて、84%となり、食生活の満足度は高い。

男女別では、女性の満足度がやや高くなっている。世代別にみると、満足の度合いに多少の変化はみられるが、全体としては大きな違いはみられない。

図2-2-1

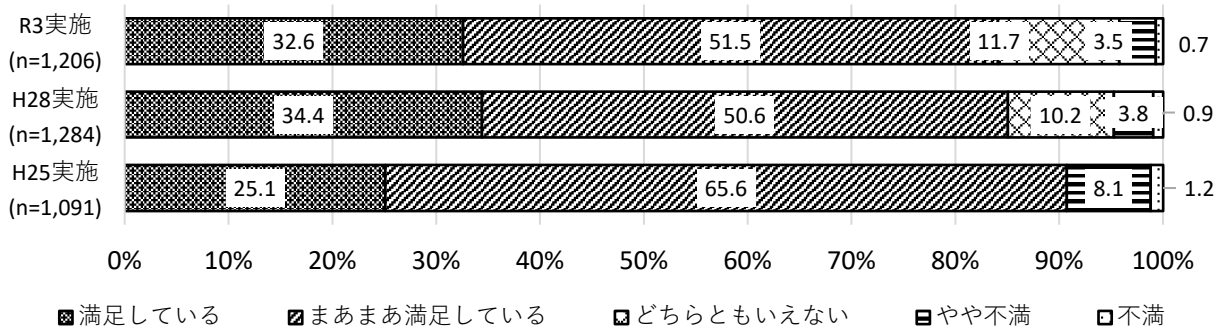
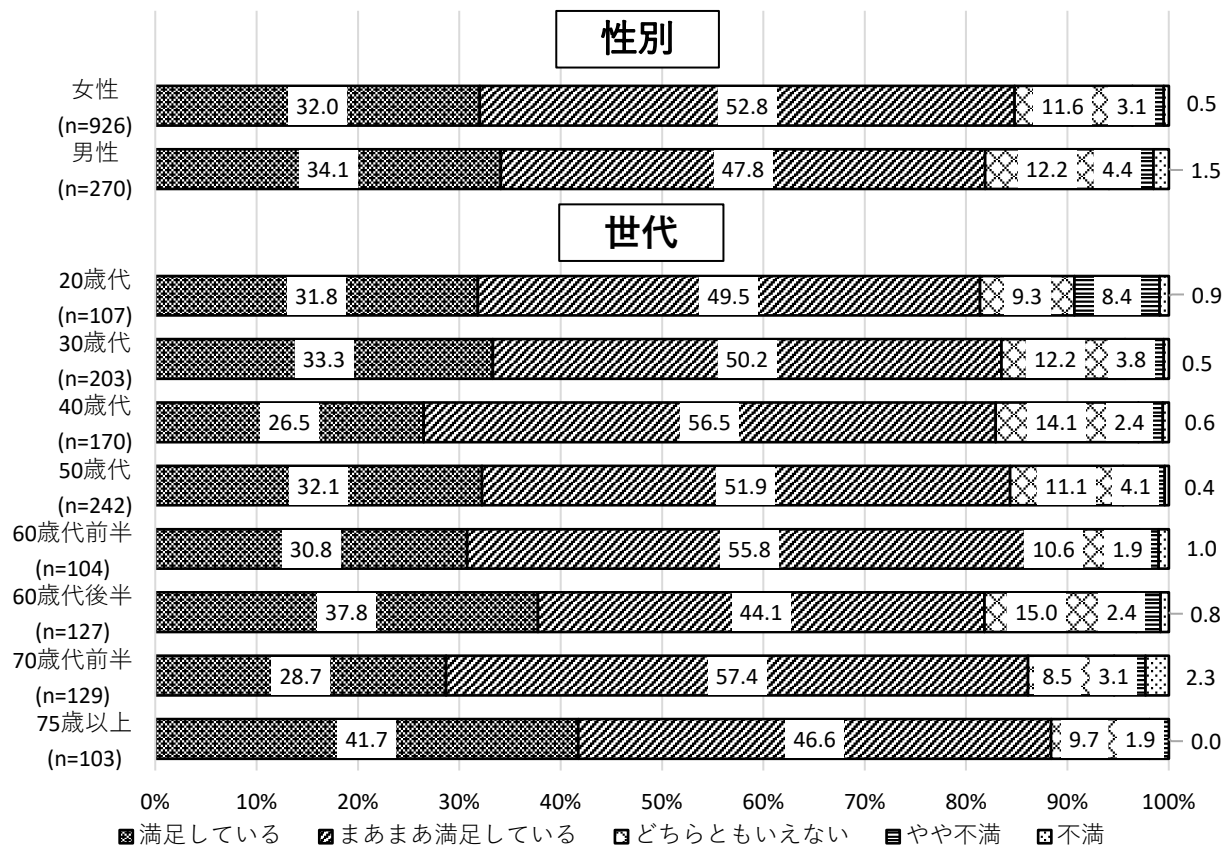
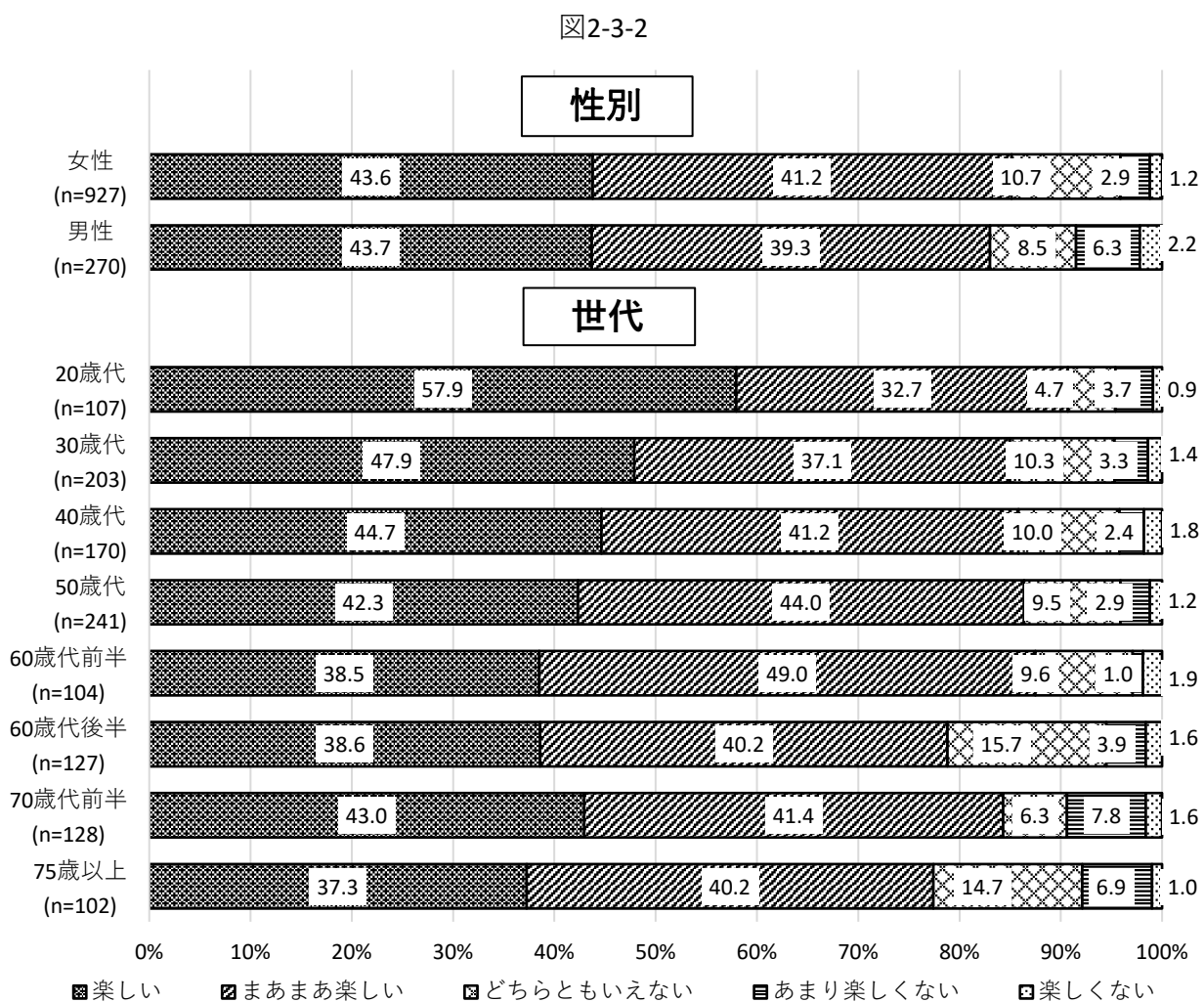
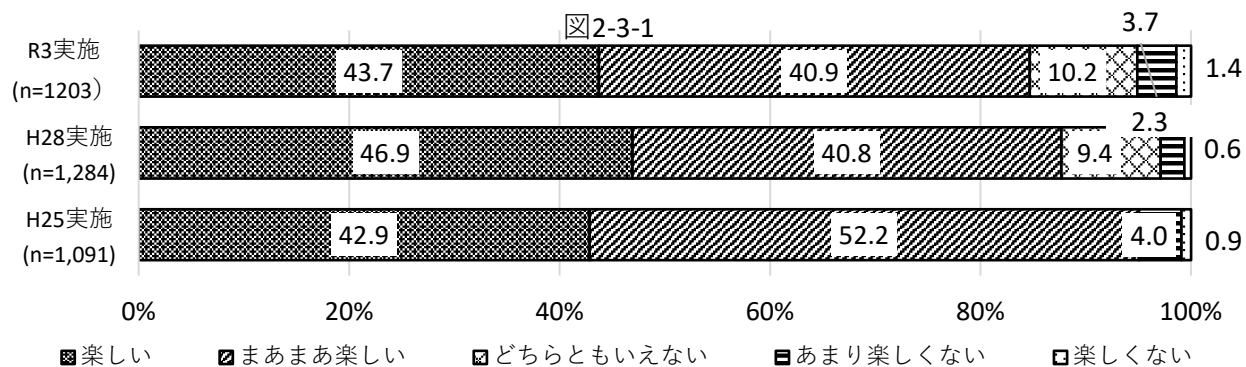


図2-2-2



### 問3 食事は楽しいですか？（1つに○）

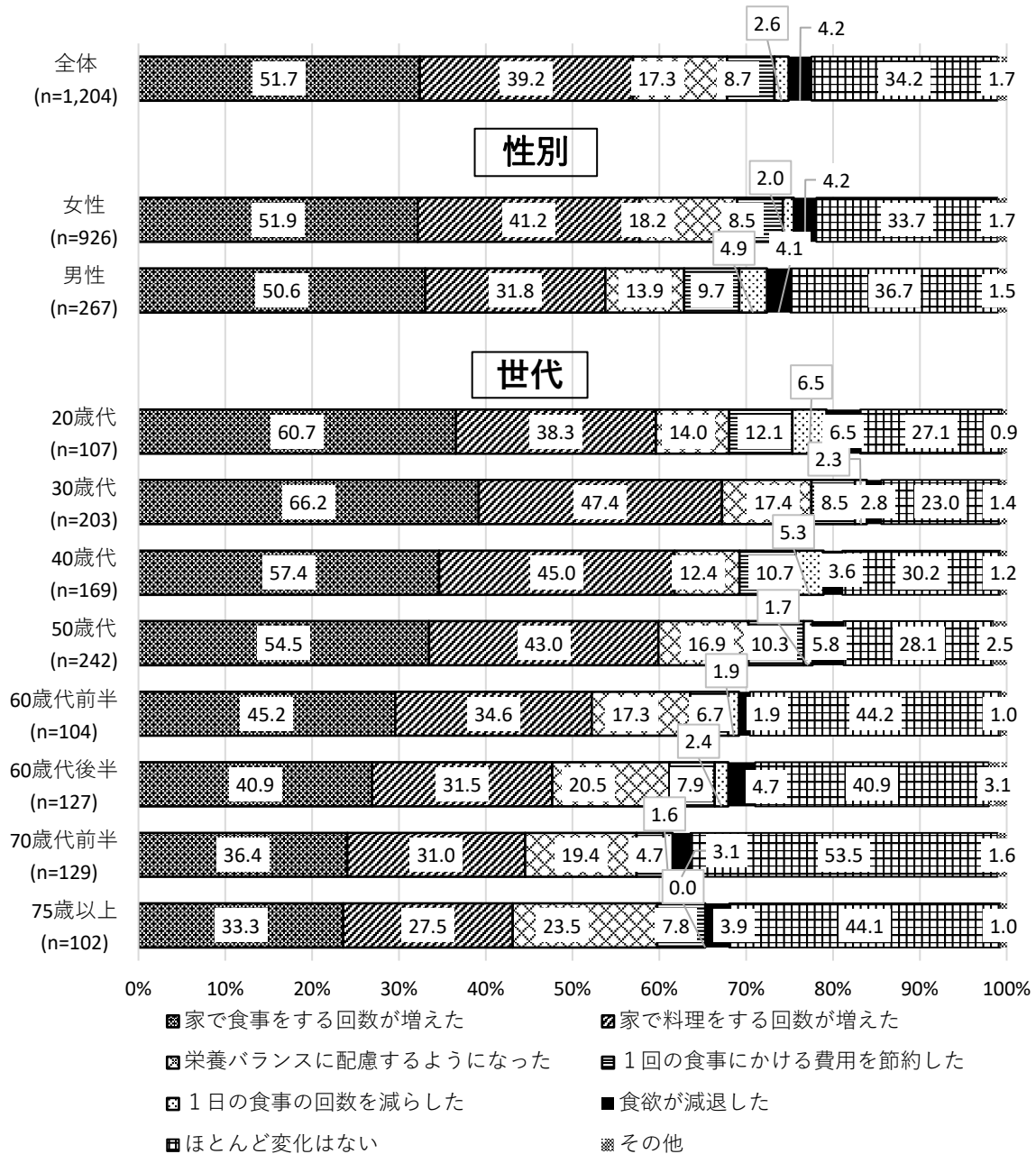
全体では、「楽しい」、「まあまあ楽しい」を合わせて8割を超えており、食事を楽しんでいる回答者がほとんどを占めている。男女別では、大きな差はみられない。世代別では、高齢世代で低下する傾向がある。



問4 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常の食事にどのような変化がありましたか？（該当するものすべてに○）

「家で食事をする回数が増えた」か「家で料理をする回数が増えた」の回答が最も多いが、「ほとんど変化ない」との回答も3分の1に達している。男女別では男性で「ほとんど変化ない」の割合が高い傾向にある。世代別では、若い世代ほど家で食事や料理をする割合が高く、高齢世代では「ほとんど変化ない」が最も高くなっている。

図2-4-1



問5 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていますか？（1つに○）

※食育とは「食に関する知識と食を選ぶ力を身に付けるために求められる学び」と定義されています。

全体で、半数以上が食育の言葉も意味も知っている。その割合は、前回とほぼ同様になっている。男女別では、女性の認識割合が6割と高いのに対して、男性では4割程度にとどまっている。世代別では、60歳代前半まで、次第に認識割合は高まるが、60歳代後半以後の世代では低下する。

図2-5-1

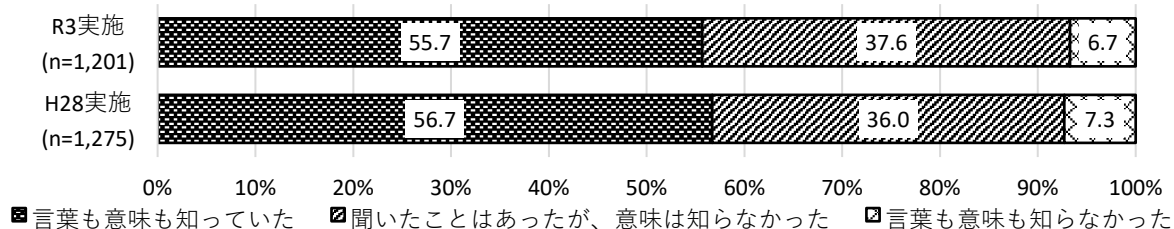
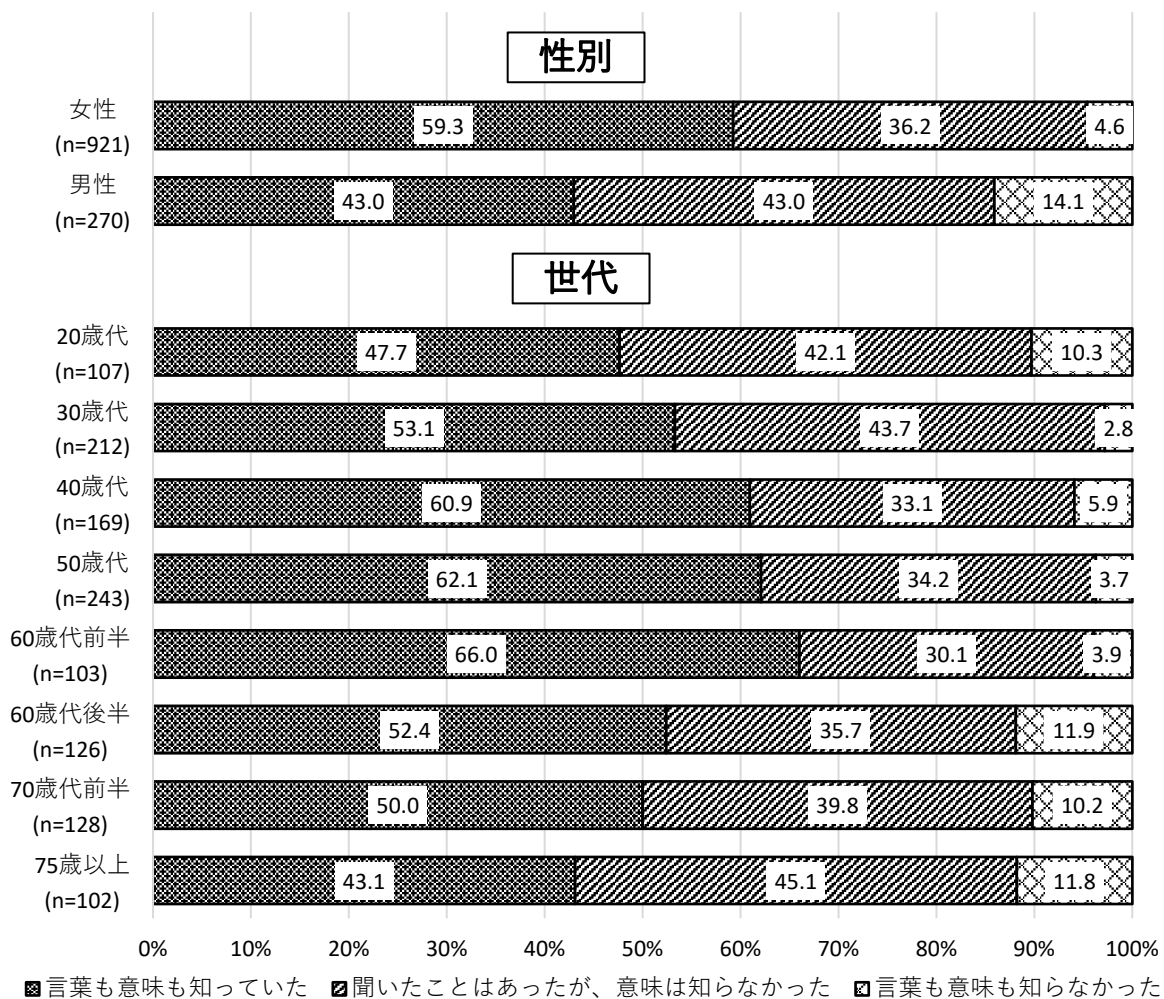
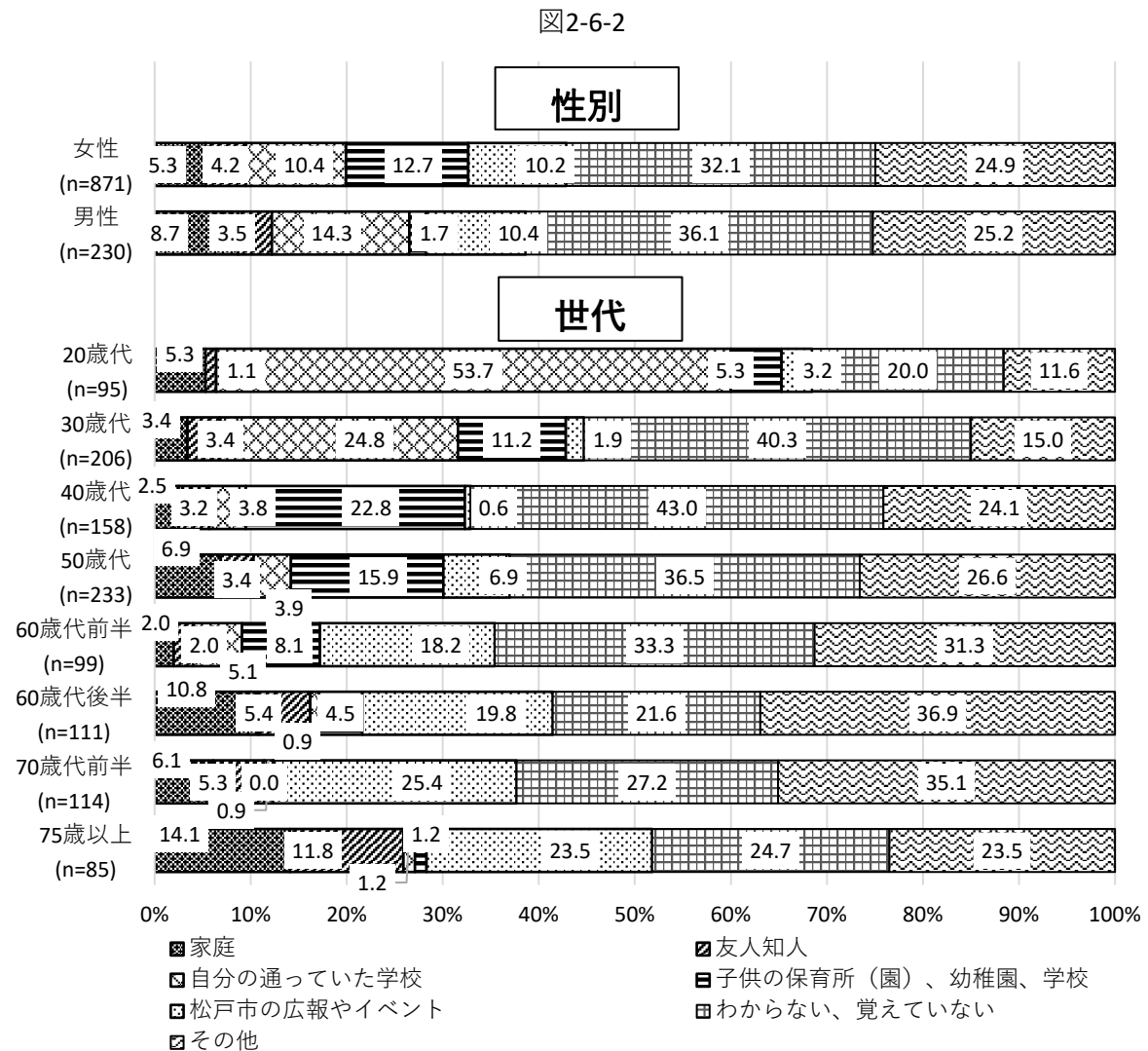
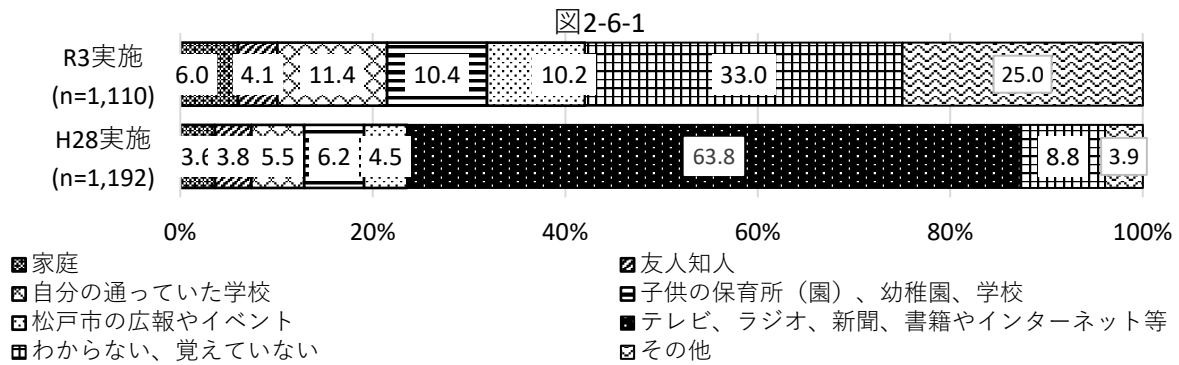


図2-5-2



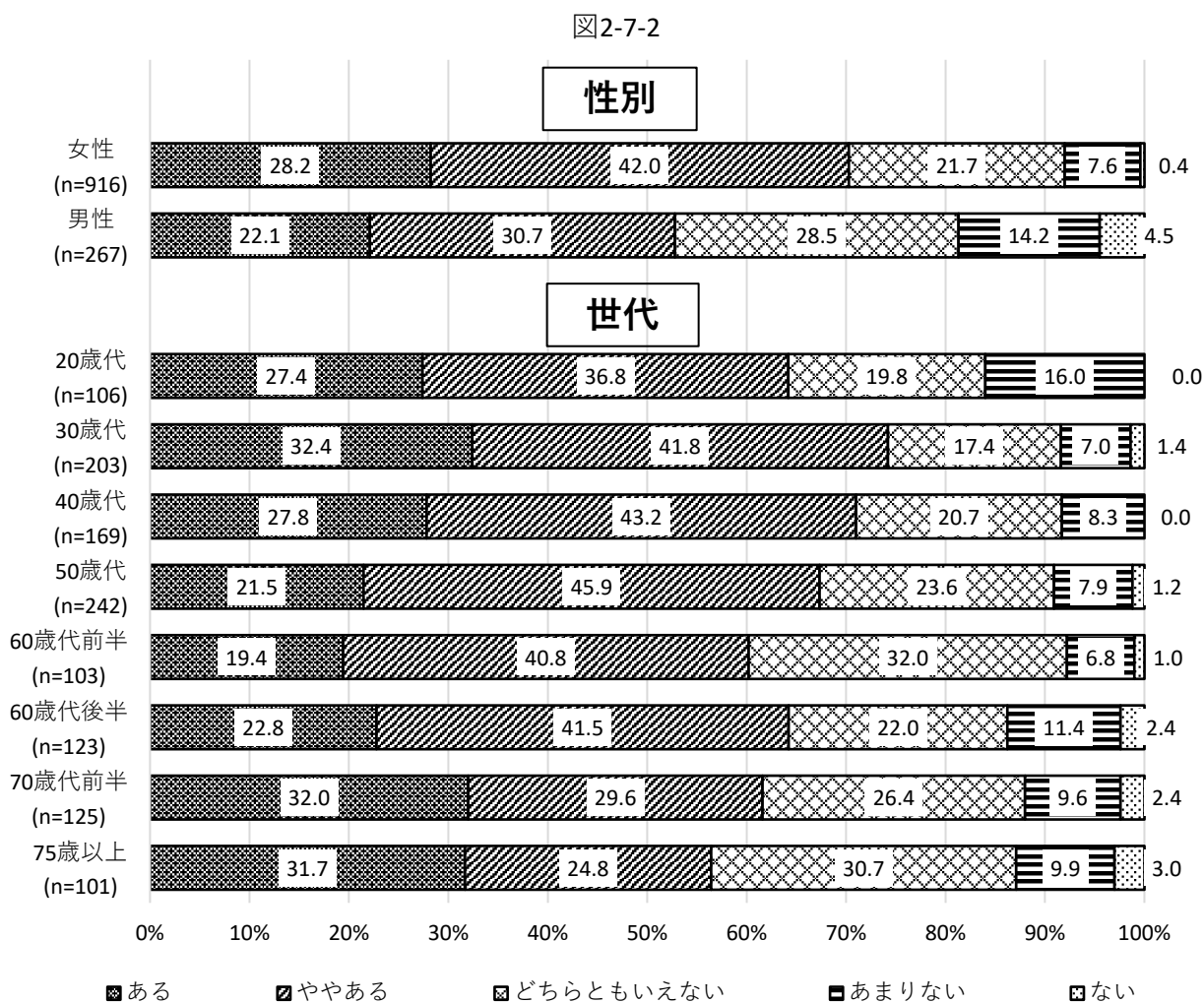
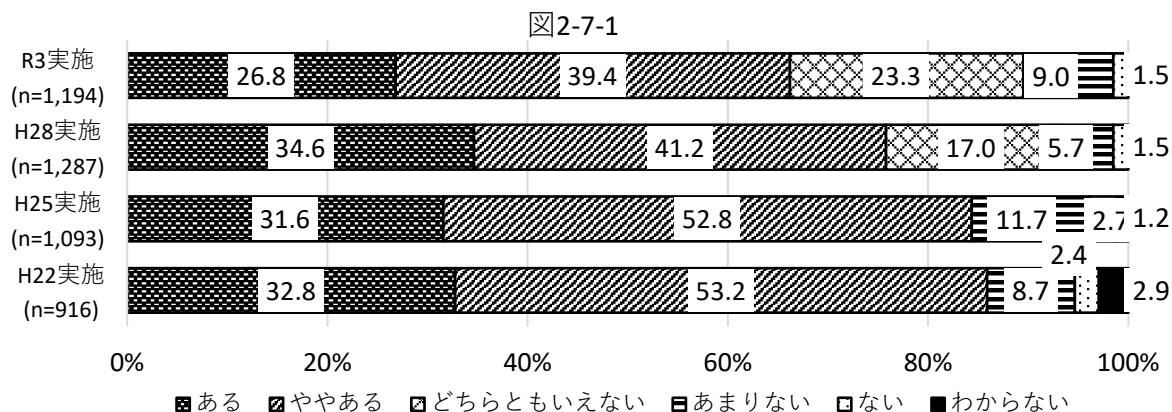
問6 あなたは「食育」という言葉を最初にどちらで知りましたか？（1つに○）

わからないという回答が3分の1を占めているものの「自分の通っていた学校」「子供の保育所、幼稚園、学校」「松戸市の広報やイベント」がほぼ同じ割合となっている。男女別では、男性は自分の学校、女性は「子供の保育所、幼稚園、学校」の割合が高い傾向にある。世代別では、20代で「自分の学校」の割合が半数を越えており、学校における食育が推進された世代といえる。



問7 あなたは「食育」に関心がありますか？（1つに○）

食育への関心は、3分の2が肯定的な回答をしているが、前回（H28）と比べて大きく低下している。男女別では、女性で関心が高く、男性で低い点はこれまでと変わらない。世代別では、20歳代で低い点も、これまでの傾向と変化はない。中高年世代では、世代が上がるにつれ「関心ある」の割合が高くなる傾向にあり、健康寿命の点での関心が背景にあると思われる。



問8 以下の食育活動のなかで、あなたや家庭がすでに取り組んでいる(いた)ものはありますか？  
(該当するものすべてに○)

食べ物の無駄の削減が最も一般的な取り組みで、次いで食生活の改善、自然や生産者への感謝、食事の作法となっている。食べ物の無駄の削減に関する取り組みでは、女性で割合が高く、世代別では、20歳代が低く、世代が上がるとその割合も高くなる傾向がある。

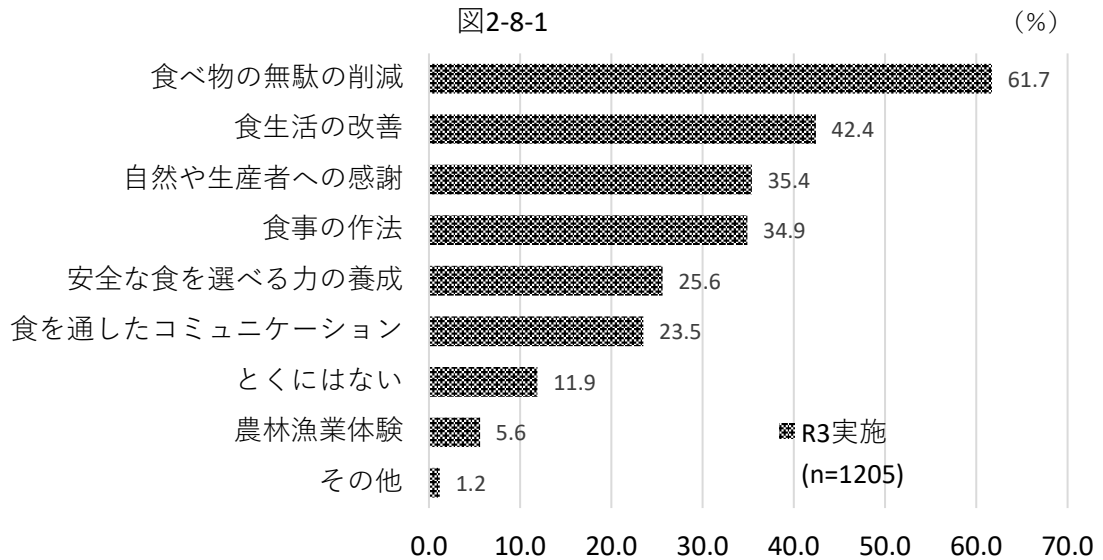


表 1-1 (%)

	全体 (人)	食生活の改善	食事の作法	農林漁業体験	食文化や伝統の継承	食を通じたコミュニケーション	食べ物の無駄の削減	自然や生産者への感謝	安全な食を選べる力の養成	その他	とくにはない	計
全体	1205	42.4	34.9	5.6	15.6	23.5	<b>61.7</b>	35.4	25.6	1.2	11.9	257.8
女性	925	43.9	38.9	6.7	17.3	25.5	<b>63.7</b>	38.9	27.7	1.4	9.3	273.3
男性	269	37.9	21.2	1.5	10.0	16.4	<b>55.0</b>	23.8	19.0	0.7	19.7	205.2
20歳代	107	45.8	46.7	4.7	11.2	22.4	<b>45.8</b>	30.8	14.0	0.0	12.1	233.5
30歳代	211	46.4	<b>50.7</b>	9.5	10	28.9	<b>51.7</b>	42.2	18.5	1.9	12.8	272.6
40歳代	170	37.1	48.8	<b>11.8</b>	15.9	30.6	<b>58.8</b>	43.5	27.1	2.4	11.8	287.8
50歳代	243	46.5	34.2	4.5	21.4	28.0	<b>66.3</b>	37.0	25.1	0.8	10.3	274.1
60歳代前半	104	45.2	21.2	2.9	16.3	20.2	<b>69.2</b>	29.8	26.9	0.0	9.6	241.3
60歳代後半	127	40.2	22.8	3.1	18.9	18.9	<b>65.4</b>	29.1	29.9	2.4	16.5	247.2
70歳代前半	128	32.8	19.5	3.1	15.6	14.8	<b>75.0</b>	28.9	<b>37.5</b>	0.8	10.9	238.9
75歳以上	102	41.2	15.7	0.0	13.7	10.8	<b>64.7</b>	31.4	30.4	1.0	9.8	218.7

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。



**問9 同様に、今後、家庭や松戸市、学校が進めていくべきだと思う食育活動はありますか？  
(該当するものすべてに○)**

食べ物の無駄の削減を3分の2が指摘している。男女別では、女性の方がいずれの項目でも高い。  
世代別では、子育て世代の30歳代で学校での食育や食事の作法についての関心が高い。

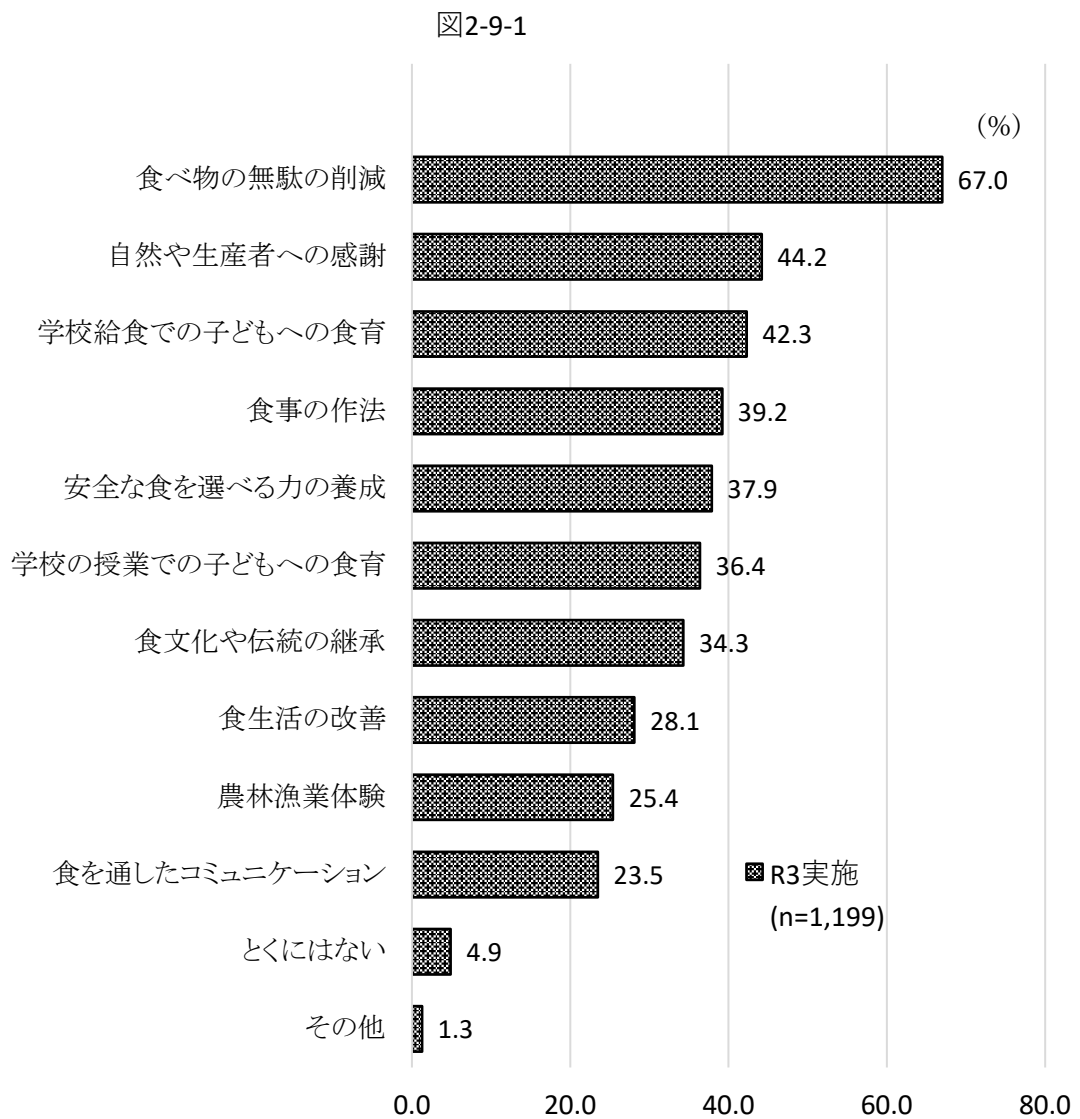


表 1-2

(%)

	全体 (人)	食生活の改善	食事の作法	農林漁業体験	食文化や伝統の継承	食を通じたコミュニケーション	食べ物の無駄の削減	自然や生産者への感謝	安全な食を選べる力の養成	学校の授業での子どもへの食育	学校給食での子どもへの食育	その他	とくにはない	計
全体	1199	28.1	39.2	25.4	34.3	23.5	<b>67.0</b>	44.2	37.9	36.4	42.3	1.3	4.9	384.4
女性	918	27.9	41.7	27.5	35.9	24.6	<b>67.8</b>	46.8	41.3	38.2	44.0	0.9	3.7	400.3
男性	270	29.3	31.1	18.1	28.5	20.0	<b>65.6</b>	35.9	27.0	30.0	36.3	2.6	<b>8.9</b>	333.3
20歳代	107	27.1	43.9	27.1	33.6	16.8	<b>62.6</b>	34.6	17.8	41.1	47.7	0.0	5.6	357.9
30歳代	211	27.0	49.3	38.9	35.1	26.1	<b>57.8</b>	47.4	34.6	48.3	50.7	0.9	2.4	418.5
40歳代	169	27.2	44.4	36.7	43.2	27.8	<b>65.1</b>	42.0	37.9	35.5	45.0	0.6	4.7	410.1
50歳代	243	30.5	42.4	30.0	40.7	24.3	<b>70.4</b>	46.1	39.5	32.9	44.0	3.3	3.7	407.8
60歳代前半	103	27.2	31.1	21.4	29.1	26.2	<b>73.8</b>	51.5	41.7	43.7	47.6	1.0	3.9	398.1
60歳代後半	127	29.1	36.2	13.4	35.4	20.5	<b>68.5</b>	47.2	44.9	31.5	30.7	0.0	6.3	363.8
70歳代前半	127	28.3	25.2	10.2	22.0	24.4	<b>73.2</b>	40.2	44.1	27.6	27.6	0.8	7.9	331.5
75歳以上	100	26.0	23.0	6.0	23.0	18.0	<b>72.0</b>	40.0	42.0	24.0	36.0	2.0	8.0	320.0

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

**問 10 以下の食育に関するボランティアのなかで、あなたが参加したことがある活動はありますか？（該当するものすべてに○）**

食育ボランティアへの参加経験について、「とくにはない」が8割近くを占めており、男女別で大きな差はみられない。世代別では、20歳代では農林漁業等に関する体験活動と食品廃棄とリサイクルに関する活動への参加割合が高いが、40歳代以降の世代では生活習慣予防などのための料理教室への参加が最も多い。30歳代は農林漁業等に関する体験活動が唯一10%を超えている。

図2-10-1

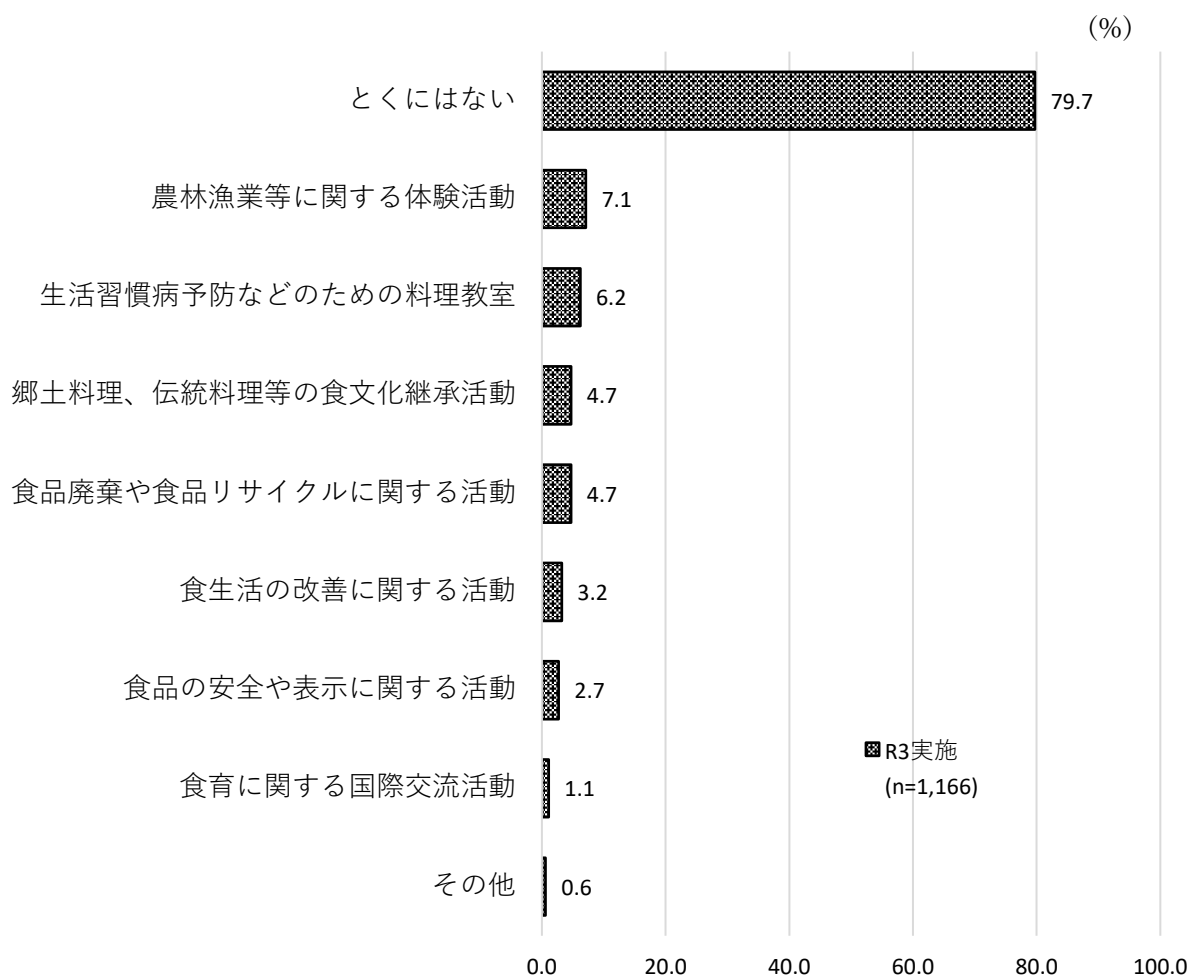


表 1-3

(%)

	全体 (人)	郷土料理、 伝統料理等の食文化 継承活動	農林漁業等に関する 体験活動	食生活の改善に関する 活動	生活習慣病予防などの ための料理教室	食品廃棄や食品リサイ クルに関する活動	食品の安全や表示に 関する活動	食育に関する国際交 流活動	その他	とくにはない	計
全体	1166	4.7	7.1	3.2	6.9	4.7	2.7	1.1	0.6	<b>79.7</b>	110.7
女性	265	4.2	8.3	4.2	4.2	5.7	3.0	0.8	0.8	<b>81.5</b>	112.7
男性	890	4.9	6.6	2.9	7.6	4.4	2.6	1.2	0.6	<b>79.3</b>	110.1
20歳代	103	<b>5.8</b>	<b>13.6</b>	4.9	1.0	<b>9.7</b>	1.9	1.0	1.0	<b>71.8</b>	110.7
30歳代	208	<b>5.8</b>	10.6	1.9	4.3	6.3	2.4	1.4	0.0	<b>78.4</b>	111.1
40歳代	165	4.8	8.5	2.4	6.1	3.0	1.2	1.2	0.0	<b>81.2</b>	108.4
50歳代	241	5.4	7.5	2.5	6.6	5.0	2.1	1.7	0.0	<b>81.3</b>	112.1
60歳代前半	97	2.1	4.1	2.1	5.2	5.2	3.1	0.0	1.0	<b>84.5</b>	107.3
60歳代後半	118	3.4	4.2	2.5	7.6	2.5	2.5	0.0	2.5	<b>83.1</b>	108.3
70歳代前半	126	4.0	2.4	<b>7.1</b>	<b>15.1</b>	3.2	4.8	1.6	0.0	<b>76.2</b>	114.4
75歳以上	96	5.2	2.1	4.2	10.4	3.1	<b>5.2</b>	1.0	2.1	<b>79.2</b>	112.5

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

問11 問10の食育ボランティアで参加してみたいものはありますか？(該当するものすべてに○)

参加したい食育ボランティアとしては、前々回から生活習慣病予防などのための料理教室が最も希望が多かった。今回は「とくにはない」という回答が最も多く、食育ボランティアへの参加希望が高いわけではないことを示している。男女別では、男性の方が「とくにはない」が多い。また、世代別では70歳代後半以降で「とくにはない」が最も多くなっている。

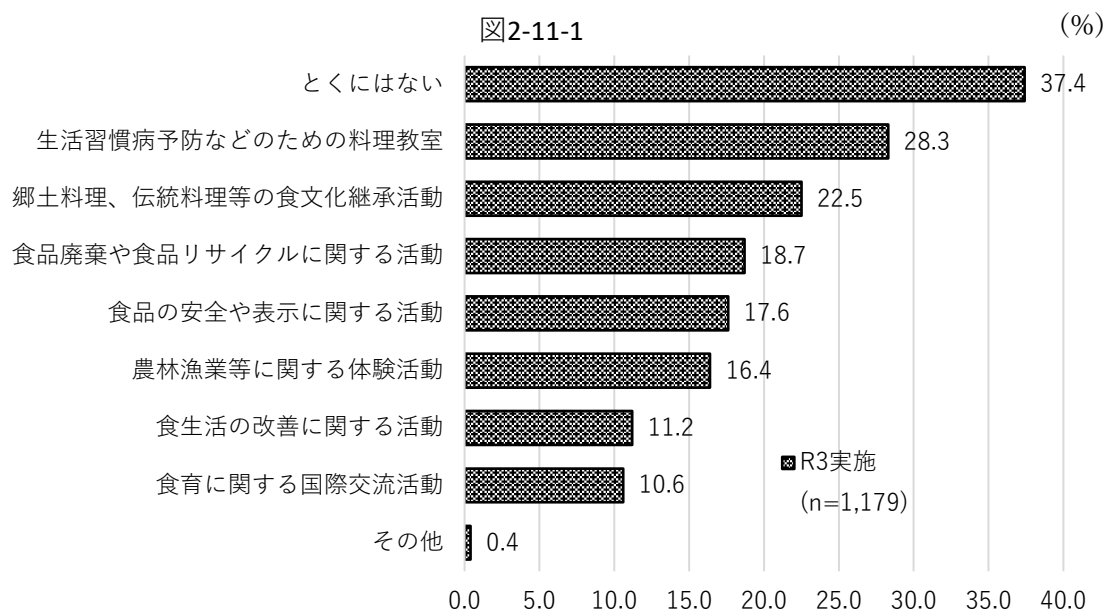


図 2-11-2

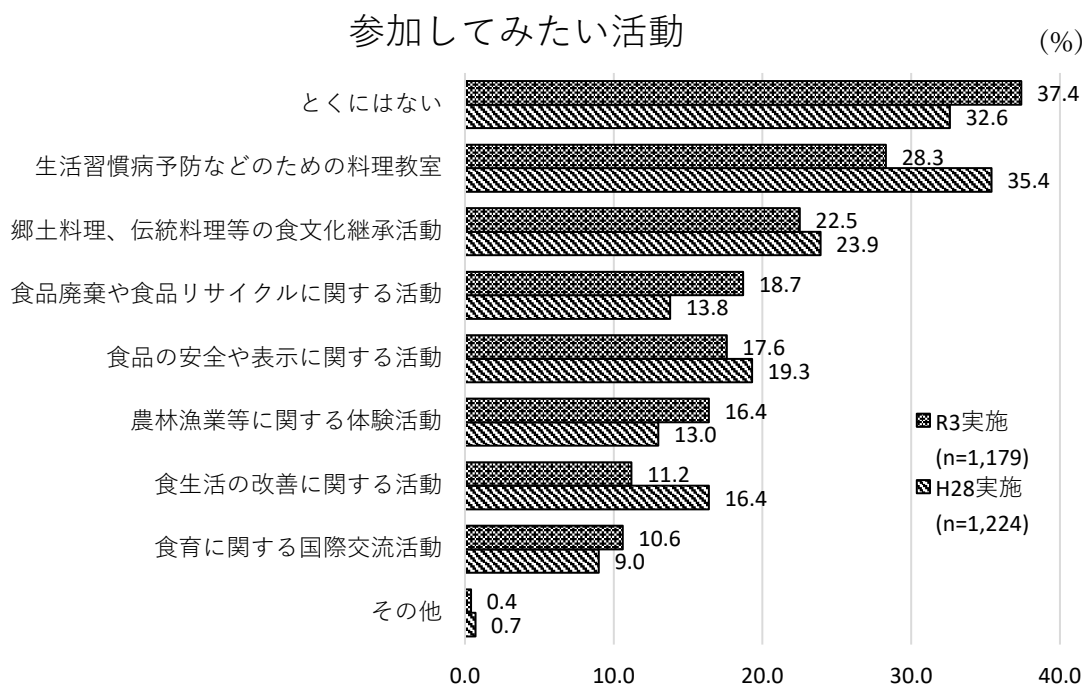


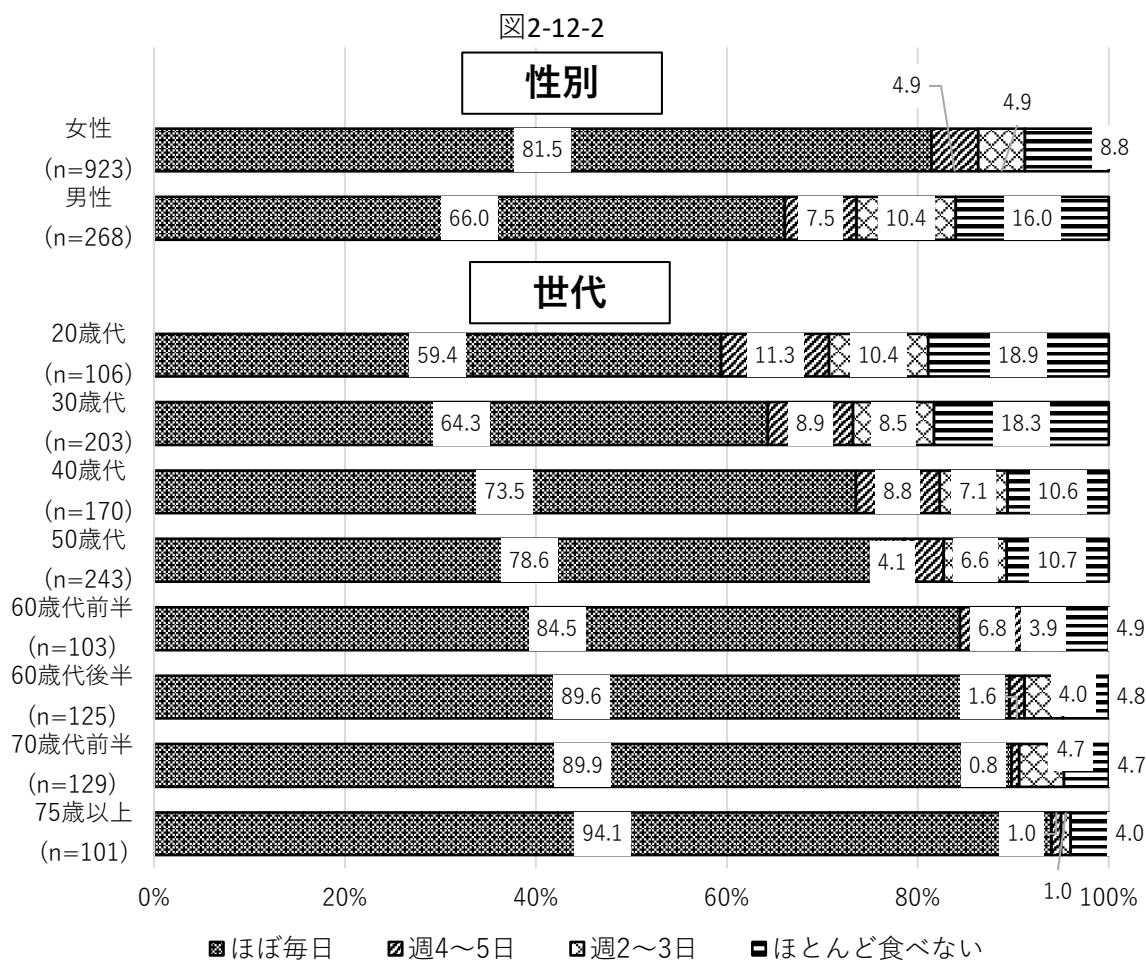
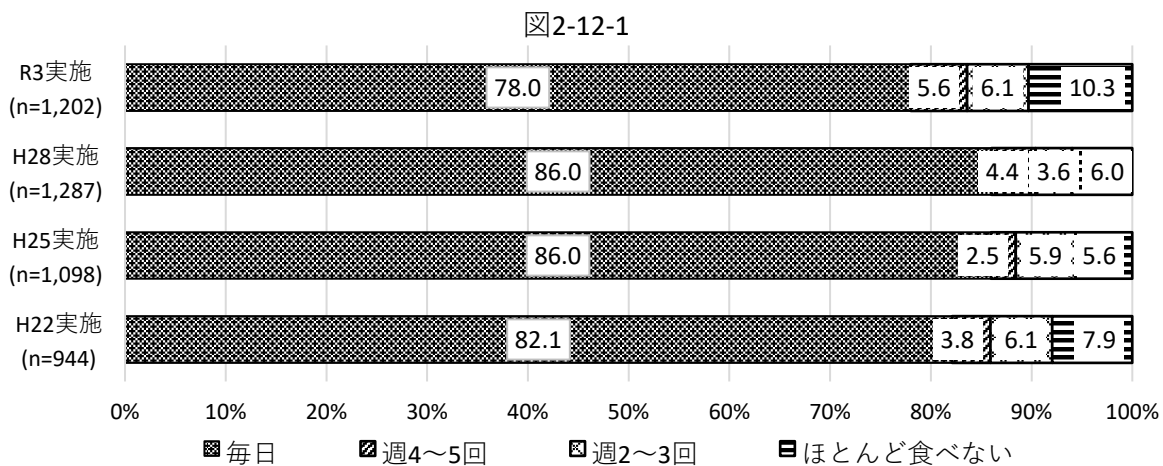
表 1-4 (％)

	全体 (人)	郷土料理、 伝統料理等の食文化 継承活動	農林漁業等に 関する体験活動	食生活の改善に 関する活動	生活習慣病予防 などのための料理 教室	食品廃棄や食品リ サイクルに関する活 動	食品の安全や表示 に関する活動	食育に関する国際 交流活動	その他	とくにはない	計
全体	1179	22.5	16.4	11.2	28.3	18.7	17.6	10.6	0.4	<b>37.4</b>	163.1
女性	901	22.8	16.1	11.7	31.6	18.4	18.9	11.3	0.3	<b>35.4</b>	166.5
男性	267	21.3	17.6	9.7	17.6	19.5	13.1	8.2	0.7	<b>43.8</b>	151.5
20歳代	106	<b>31.1</b>	23.6	<b>17.0</b>	33.0	17.9	13.2	<b>21.7</b>	0.9	<b>24.5</b>	182.9
30歳代	210	25.2	<b>26.7</b>	13.8	29.5	21.0	19.0	14.8	1.0	<b>29.0</b>	180.0
40歳代	168	24.4	25.6	11.9	28.0	19.0	13.7	10.1		<b>29.8</b>	162.5
50歳代	241	27.0	15.4	9.5	26.1	18.7	17.8	12.9		<b>41.1</b>	168.5
60歳代前半	101	19.8	12.9	7.9	29.7	<b>22.8</b>	18.8	10.9	1.0	<b>33.7</b>	157.5
60歳代後半	122	15.6	5.7	9.8	<b>34.4</b>	22.1	<b>22.1</b>	4.1		<b>40.2</b>	154.0
70歳代前半	126	17.5	4.0	8.7	31.0	15.1	17.5	3.2		<b>48.4</b>	145.4
75歳以上	93	9.7	4.3	11.8	15.1	10.8	18.3	3.2	1.1	<b>60.2</b>	134.5

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

問12 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？（1つに〇）

毎日朝食をとる回答者の割合は8割を切っており、「ほとんど食べない」が1割と前回に比べて悪化傾向を示している。男女別でみると、男性の毎日朝食をとる割合は3分の2にとどまっている。世代別では、20歳代では、6割未満と朝食をとる割合が最も低く、世代が上がるにつれて、その割合が高くなっている。



問13 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか？（該当するものすべてに○）

朝食のメニューでは、主食が9割近くとなっている。男女別では、女性で乳製品、飲み物、果物をとっている割合が男性に比べて高い。世代別では、20代、30代で主食、主菜、副菜のバランスがとれていない。所得別では、有意な差は見られなかった。

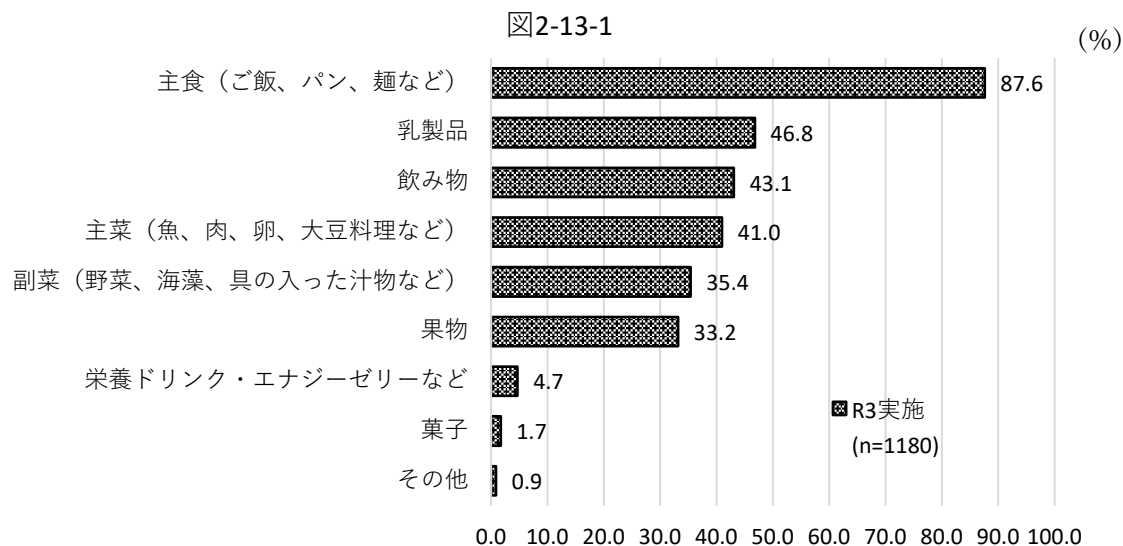


表 1-5 (%)

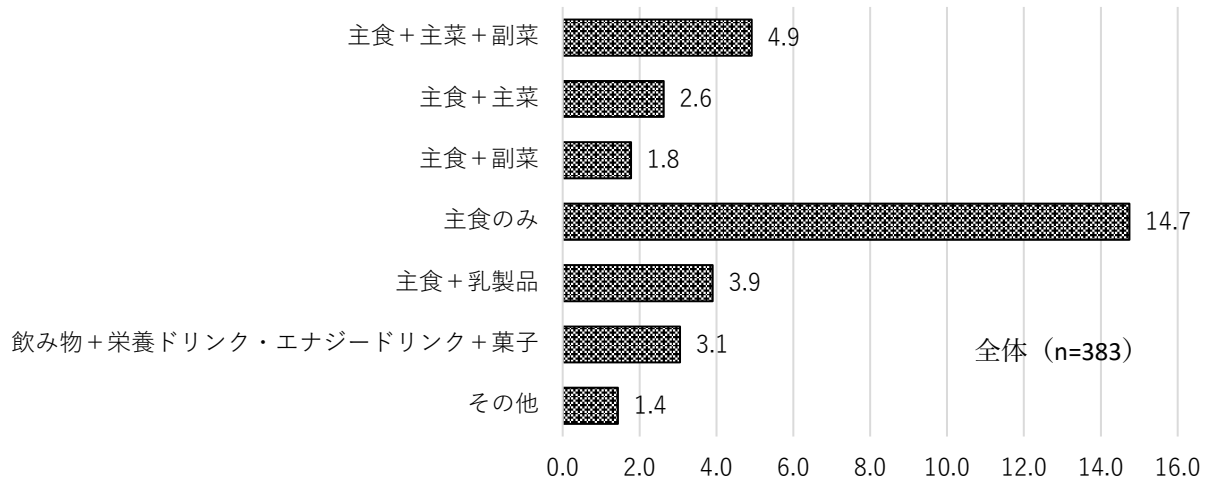
	全体（人）	主食（ご飯、パン、麺など）	主菜（魚、肉、卵、大豆料理など）	副菜（野菜、海藻、具の入った汁物など）	果物	乳製品	飲み物	栄養ドリンク・エナジーゼリーなど	菓子	その他	計
全体	1180	<b>87.6</b>	41.0	35.4	33.2	46.8	43.1	4.7	1.7	0.9	294.4
女性	912	<b>88.0</b>	43.3	38.5	37.2	50.7	46.9	4.3	1.6	1.0	1223.5
男性	257	<b>85.6</b>	32.3	24.5	19.8	33.5	30.0	5.8	1.9	0.8	234.2
20歳代	103	<b>85.4</b>	26.2	16.5	23.3	41.7	34.0	<b>8.7</b>	3.9	1.0	240.7
30歳代	208	<b>85.1</b>	21.2	18.8	26.9	39.4	40.9	6.3	3.4	0.5	242.5
40歳代	165	<b>88.5</b>	41.2	33.3	32.7	44.8	43.6	4.2	1.2	1.8	291.3
50歳代	240	<b>85.0</b>	36.7	30.8	29.2	40.0	<b>52.9</b>	2.9	0.0	1.3	278.8
60歳代前半	102	<b>90.2</b>	47.1	38.2	30.4	52.0	43.1	1.0	1.0	1.0	304.0
60歳代後半	125	<b>88.0</b>	52.8	48.0	40.8	<b>60.0</b>	46.4	4.0	0.0	0.0	340.0
70歳代前半	125	<b>91.2</b>	56.0	<b>58.4</b>	45.6	56.0	36.8	6.4	1.6	0.8	352.8
75歳以上	100	<b>92.0</b>	63.0	56.0	46.0	53.0	39.0	4.0	4.0	1.0	358.0

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。



図2-13-2

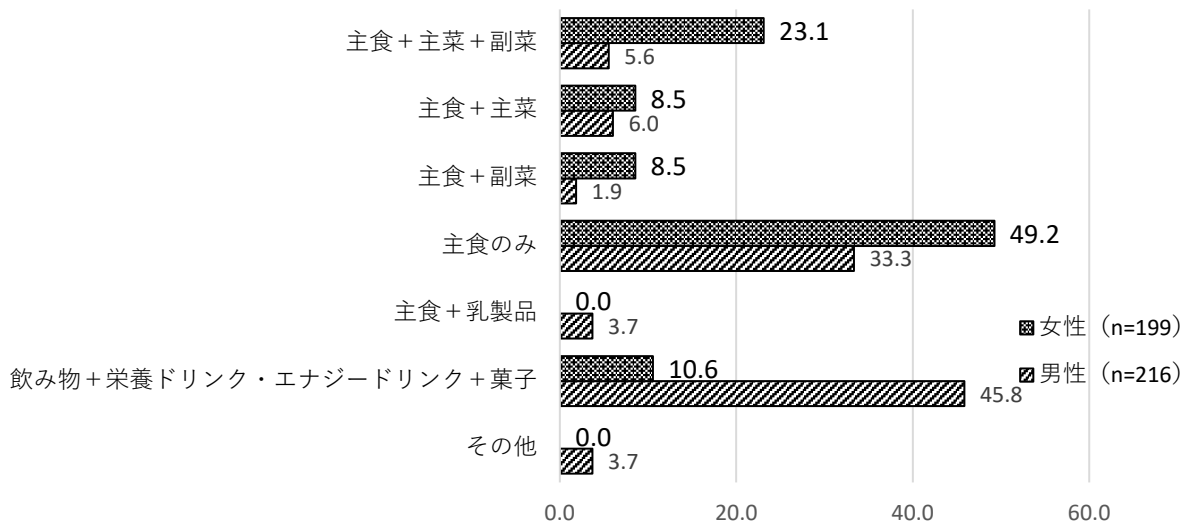
(%)



朝食メニュー×性別

図2-13-3

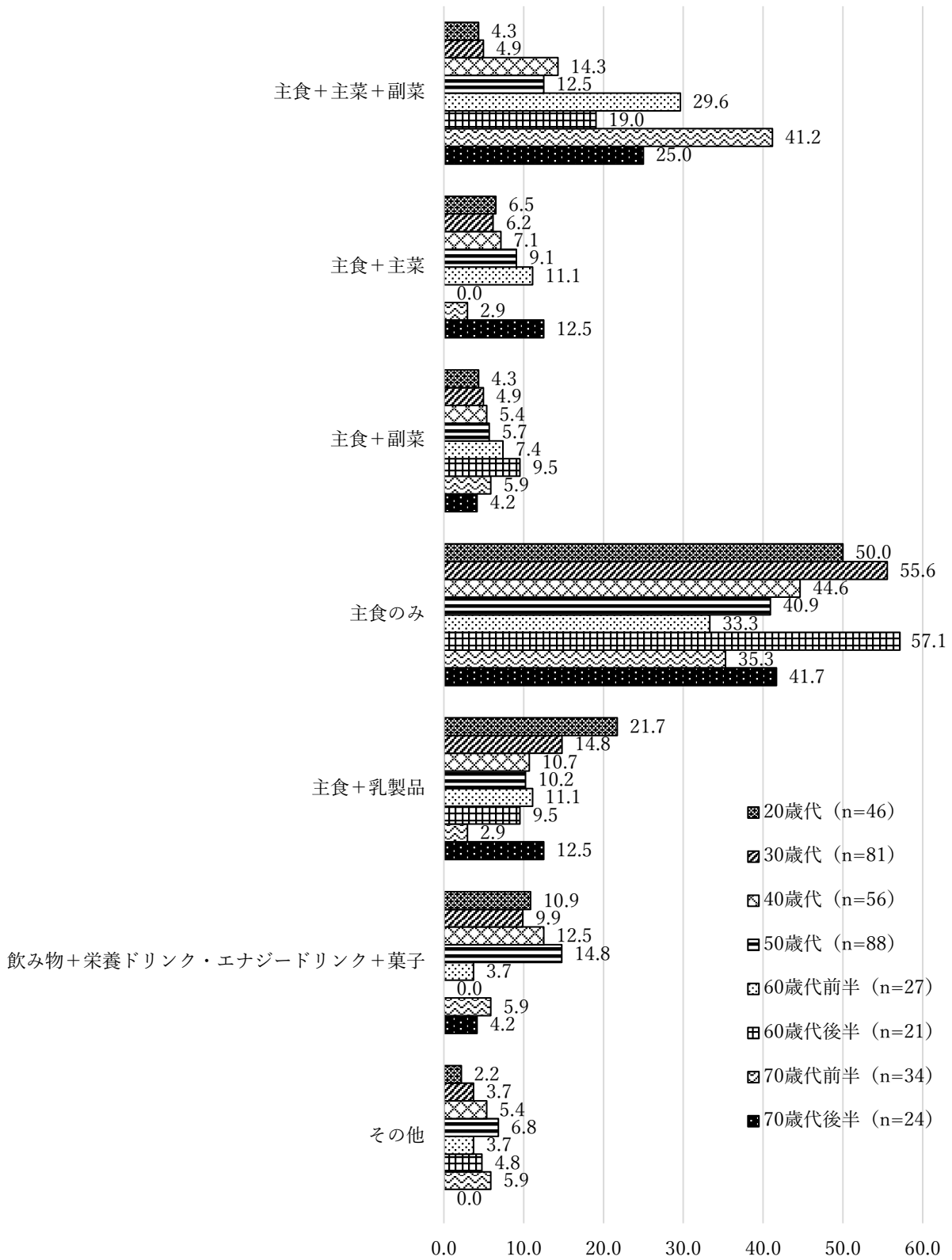
(%)



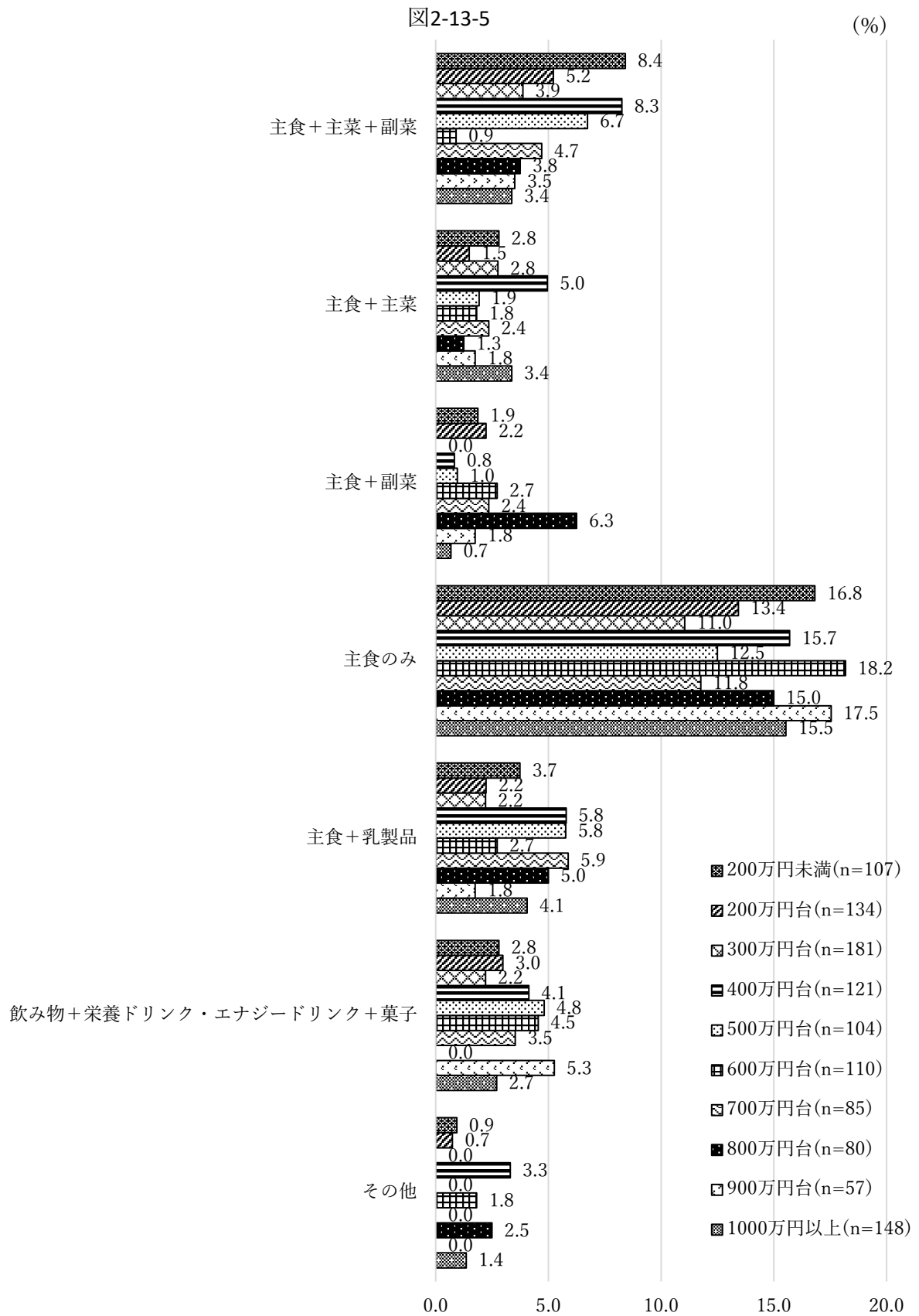
朝食メニュー×世代

図2-13-4

(%)



朝食メニュー×所得



## 問14 朝食をとらない（とれない）ときの理由は何ですか？（該当するものすべてに○）

朝食をとらない（とれない）理由で最も多いのは、「朝食より優先したいことがある」で半数が挙げている。次いで、「食欲がない」でおよそ3分の1の回答者が挙げている。男女別では、男性で「朝食をとる習慣がない」との回答が15%程度あり相対的に高い。世代別では、20歳代から60歳代前半では「朝食より優先したいことがある」が最も多い理由となっている。60歳代後半以降は「食欲がない」が最も多い理由となっている。

図2-14-1

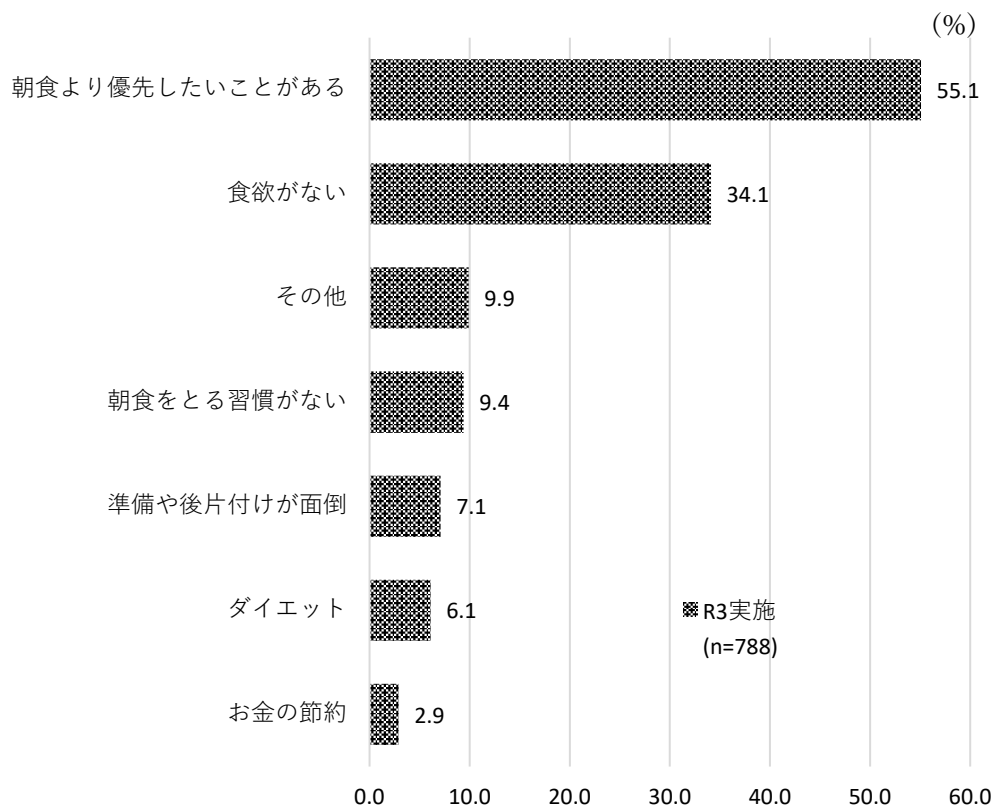


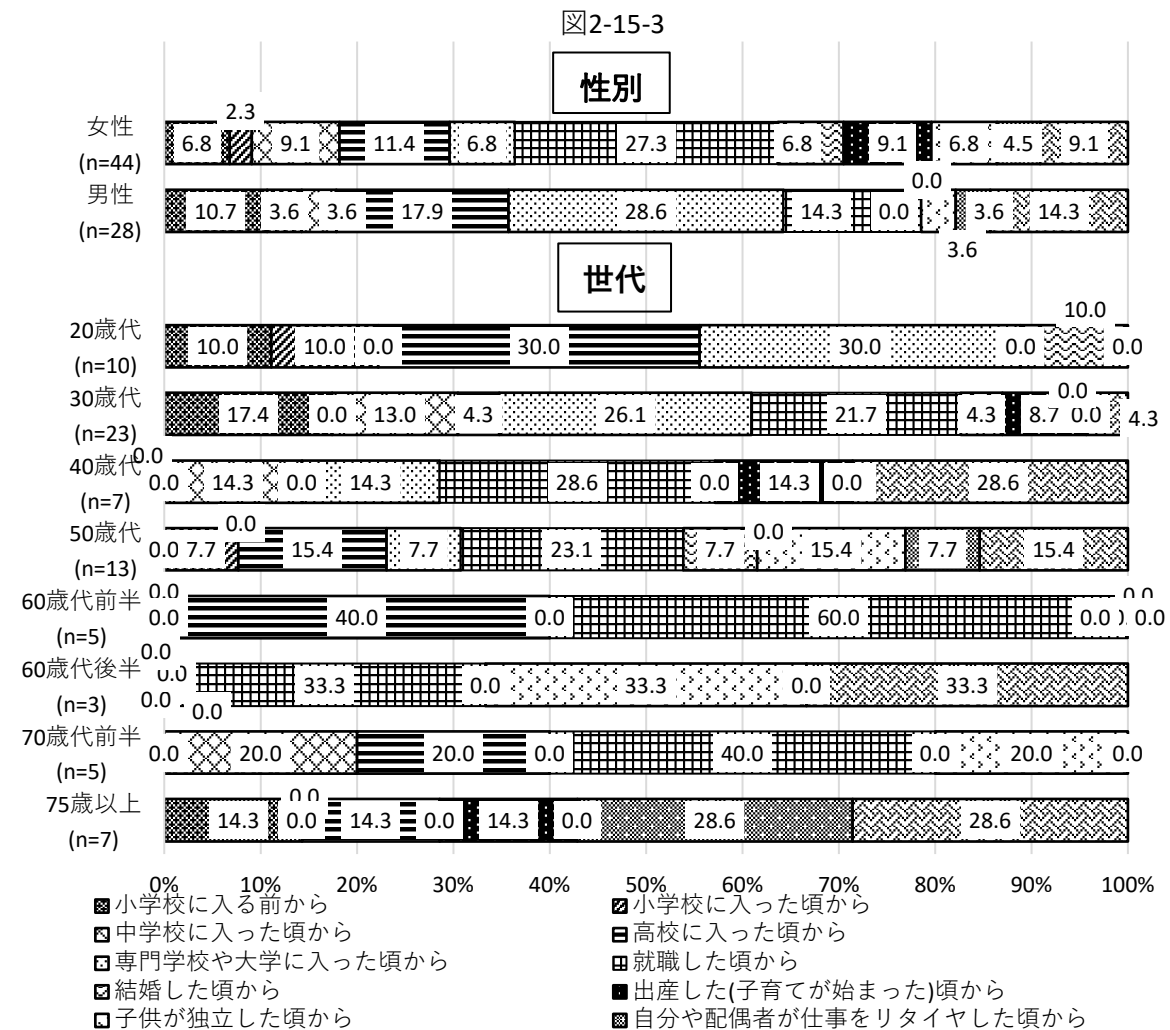
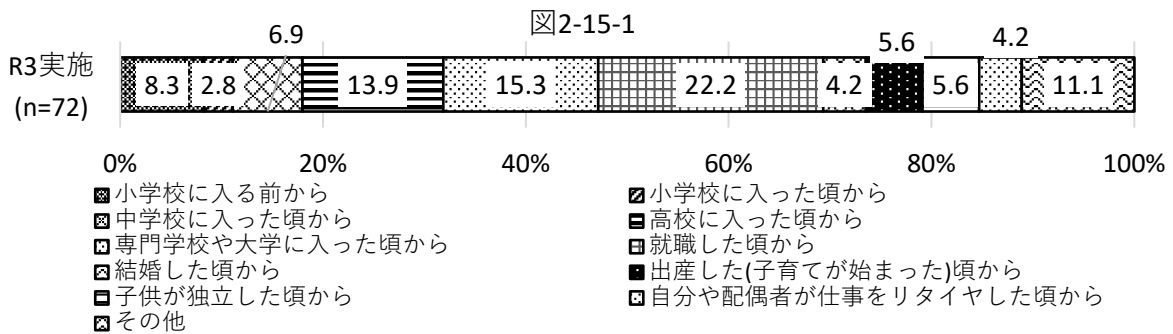
表 1-6 (％)

	全体 (人)	食欲 がない	ダイ エツ ト	準備 や後 片付 けが 面倒	朝食 より 優先 した いこ とが ある	お金 の節 約	朝食 をと る習 慣が ない	その 他	計
全体	788	34.1	6.1	7.1	<b>55.1</b>	2.9	9.4	9.9	124.6
女性	582	36.4	5.2	6.7	<b>55.8</b>	2.1	7.7	11.3	125.2
男性	199	27.6	9.0	8.5	<b>52.8</b>	5.0	14.6	6.0	123.5
20歳代	96	29.2	6.3	13.5	<b>68.8</b>	5.2	10.4	0.0	133.4
30歳代	181	30.4	6.1	8.8	<b>72.4</b>	3.3	12.7	3.9	137.6
40歳代	123	32.5	5.7	4.9	<b>61.8</b>	3.3	5.7	10.6	124.5
50歳代	166	37.3	9.6	5.4	<b>53.6</b>	1.2	7.8	8.4	123.3
60歳代前半	63	31.7	6.3	7.9	<b>44.4</b>	0.0	7.9	14.3	112.5
60歳代後半	69	44.9	2.9	5.8	<b>29.0</b>	2.9	5.8	21.7	113.0
70歳代前半	47	36.2	2.1	4.3	<b>29.8</b>	0.0	10.6	27.7	110.7
75歳以上	35	34.3	0.0	2.9	<b>20.0</b>	5.7	20.0	17.1	100.0

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

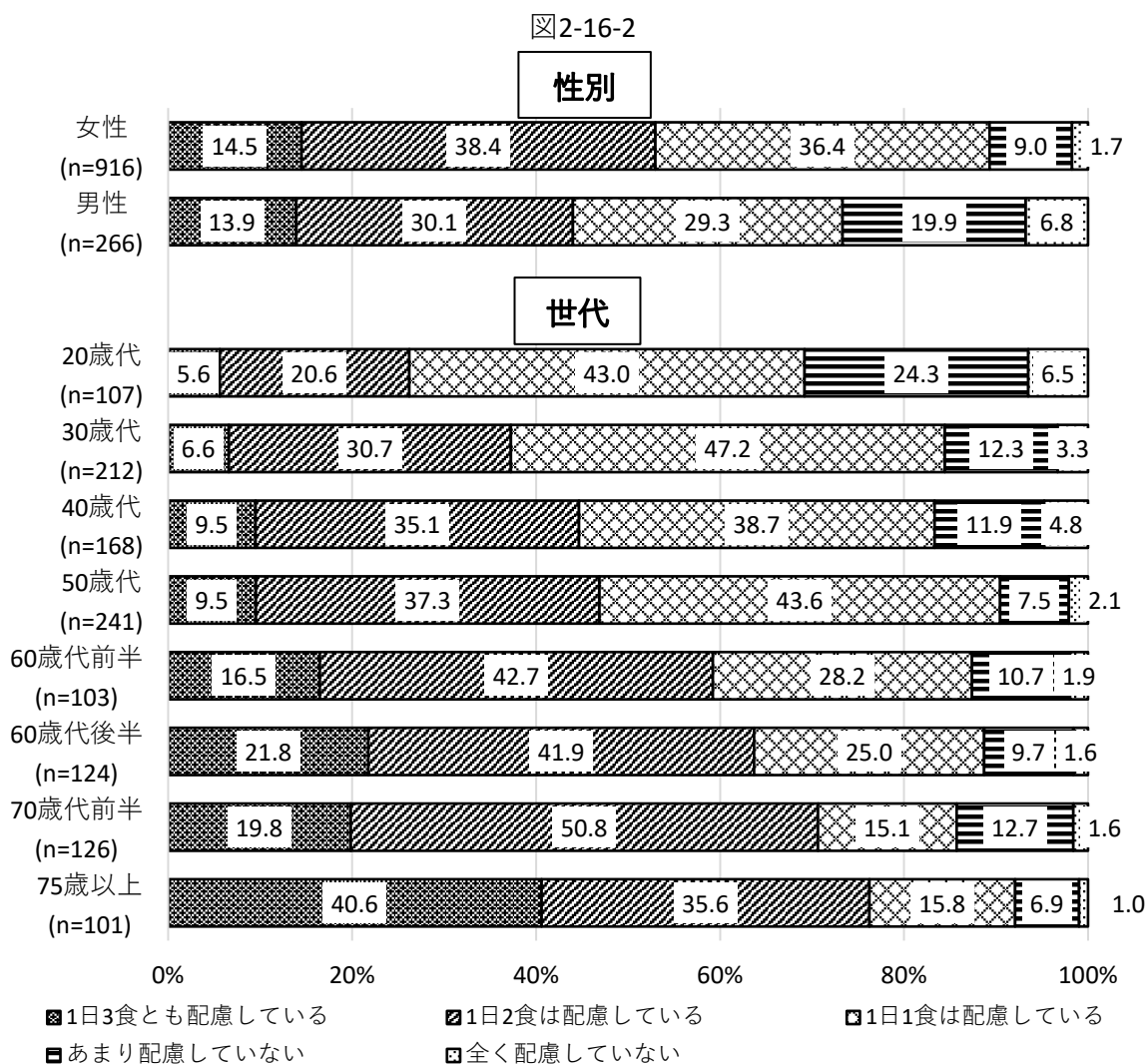
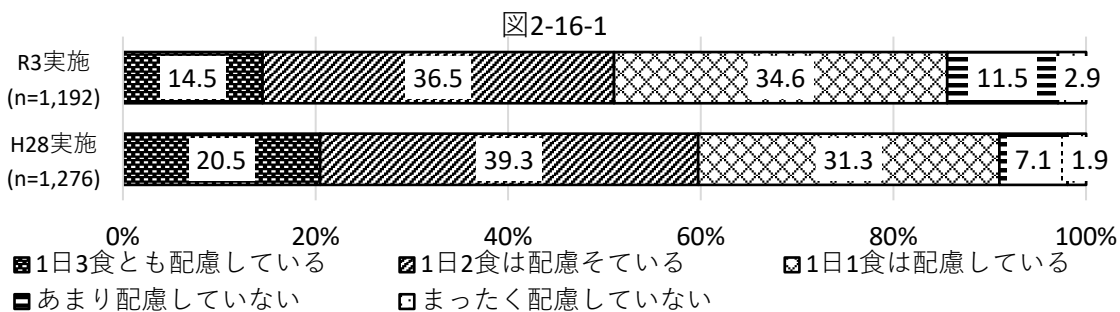
問15 問14で選択肢6を選んだ方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか？（1つに○）

「朝食をとる習慣がない」との回答者が、朝食をとらなくなった時期は、かなりバラツキがあるものの、最も多いのは「就職した頃から」との回答で20%以上を占めている。男女別にみると、女性ではその割合が高いものの、男性では「専門学校や大学に入った頃」の割合が最も高い。世代別では、20歳代でその割合が高く「高校に入った頃から」と3割で並んでいる。また、特に60歳代後半では、「子供が独立した頃から」が3分の1を占めており、進学、就職、退職などの生活スタイルの変化時に生じている点の特徴である。



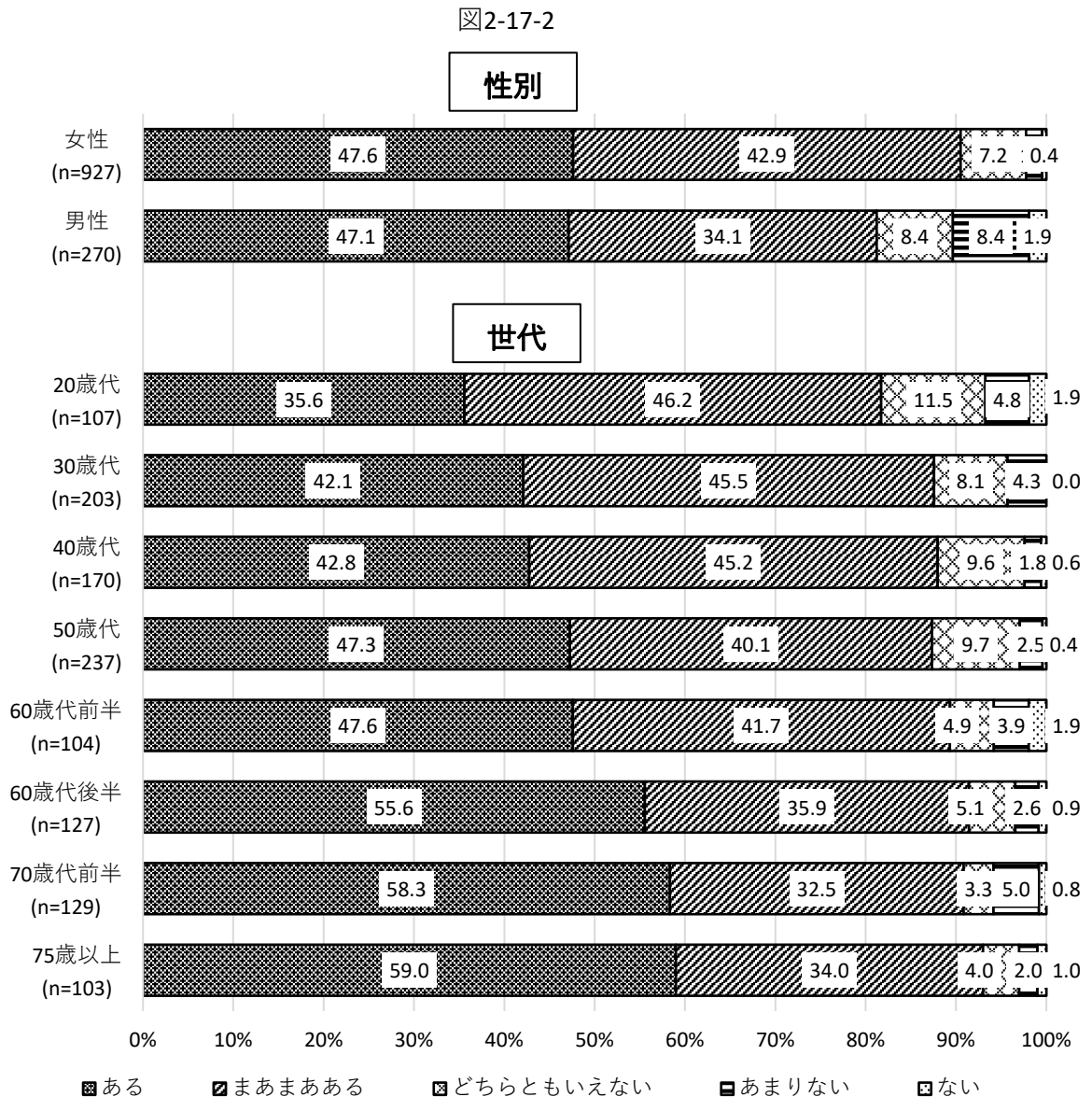
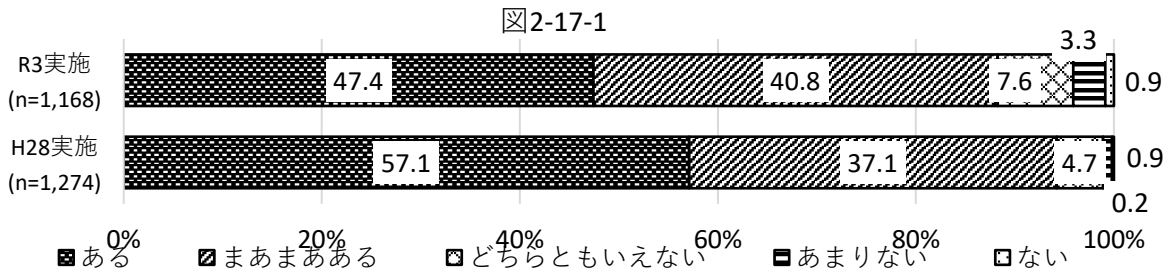
**問 16 あなたは主食・主菜・副菜を組み合わせるように配慮した食事をとっていますか？  
(1つに○)**

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事については、「1日2食は配慮している」が37%で最も多く、次いで「1日1食は配慮」が約3分の1を占め、「1日3食とも配慮」は2割に達していない。男女別では、女性では「1日2食は配慮」が4割近く、「1日1食は配慮」も36%となっており、男女間で大きな差がみられる。世代別での特徴も明確で、世代が上がるに従い、「1日3食とも配慮」の割合が高くなってきている。



問17 あなたは食品の安全に関心がありますか？（1つに○）

松戸市民の食品の安全に対する関心は高い。関心が「ある」と「まあまあある」を合わせると9割近い。男女別では、男性の関心度合いがやや低い。世代別では、世代が上がるほど関心度合いも高くなる傾向が読み取れる。





**問 18 あなたが安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか？  
（該当するものすべてに○）**

最も多いのは、「消費（賞味）期限や製造日の確認」で8割を超えており、最も一般的にみられる行為といえる。次いで「肉の十分な加熱」が3分の2近くを占めている。男女別では、ここでも男性の意識レベルが全般的に低い。世代別では、20歳代で産地の確認を行っているのは3割に達しない。

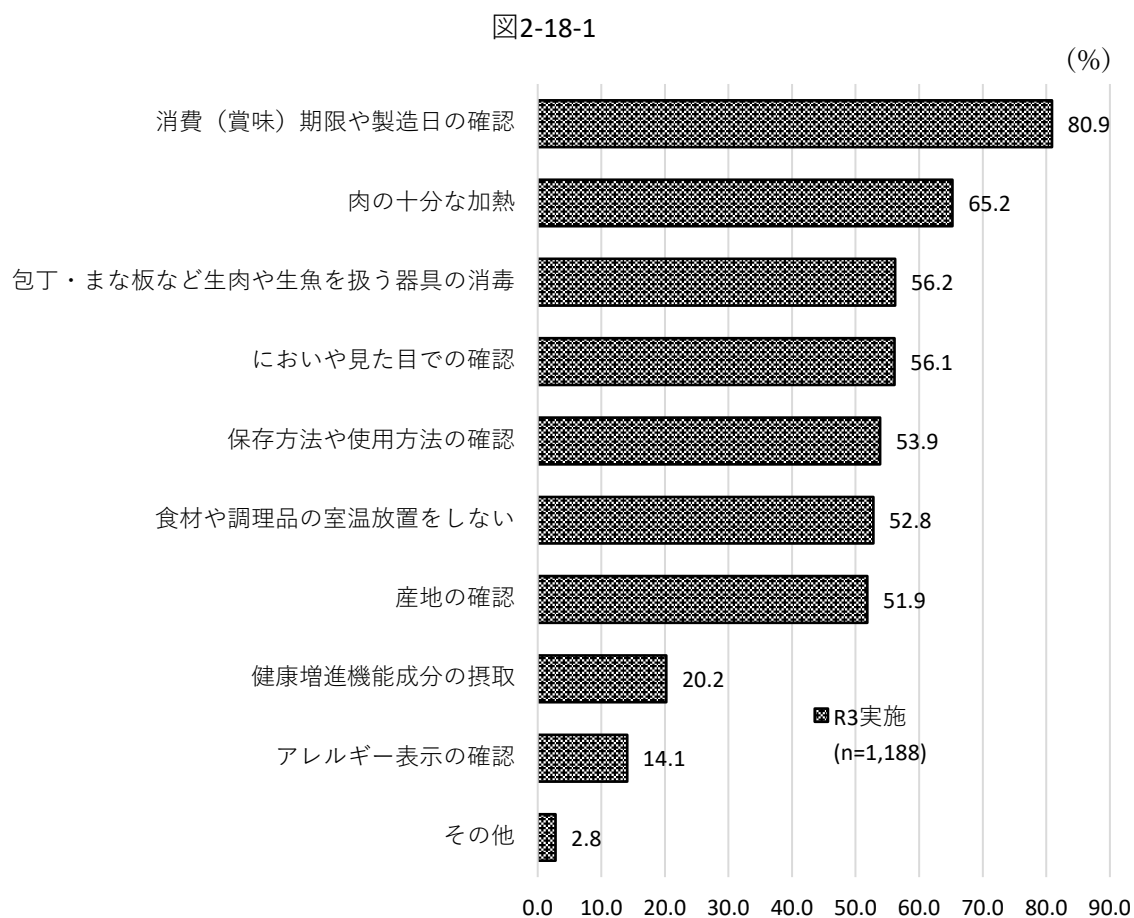


表 1-7

(%)

	消費（賞味）期限や製造日の確認	アレルギー表示の確認	産地の確認	保存方法や使用方法の確認	においや見た目での確認	包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	食材や調理品の室温放置をしない	肉の十分な加熱	健康増進機能成分の摂取	その他	計
全体□	<b>80.9</b>	14.1	51.9	53.9	56.1	56.2	52.8	65.2	20.2	2.8	454.0
女性□	<b>82.4</b>	14.6	54.7	58.1	57.6	63.1	57.0	<b>71.3</b>	21.6	3.3	483.9
男性□	<b>76.6</b>	12.6	42.1	39.8	51.7	32.6	37.9	43.7	15.3	1.1	353.6
20歳代□	<b>76.6</b>	13.1	29.0	50.5	61.7	41.1	46.7	68.2	11.2	0.0	398.1
30歳代□	<b>79.7</b>	16.5	53.3	52.8	<b>66.0</b>	50.0	55.2	70.3	15.6	1.9	461.3
40歳代□	<b>77.2</b>	16.2	53.3	47.3	58.1	<b>62.3</b>	52.7	73.1	19.8	4.8	464.7
50歳代□	<b>79.9</b>	13.8	55.2	53.6	58.2	58.2	56.1	66.5	20.5	4.6	466.5
60歳代前半□	<b>84.5</b>	11.7	<b>58.3</b>	59.2	58.3	63.1	<b>57.3</b>	66.0	22.3	3.9	484.5
60歳代後半□	<b>87.1</b>	12.1	53.2	<b>62.9</b>	51.6	58.9	46.0	51.6	26.6	0.8	450.8
70歳代前半□	<b>80.0</b>	11.2	55.2	54.4	48.0	57.6	56.0	53.6	<b>28.0</b>	2.4	446.4
75歳以上□	<b>86.0</b>	16.0	50.0	55.0	37.0	58.0	46.0	65.0	21.0	2.0	436.0

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

問 19 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？（1つに○）

前回と比較すると、明らかに心配の割合は低下している。しかし、男女差と世代間差が大きい点は、この問題の特徴である。また、世代別にみると、20歳代では心配が3割程度であるのに対して、心配の割合は40歳代以後で高くなり、70歳代後半では6割を超えている。

図2-19-1

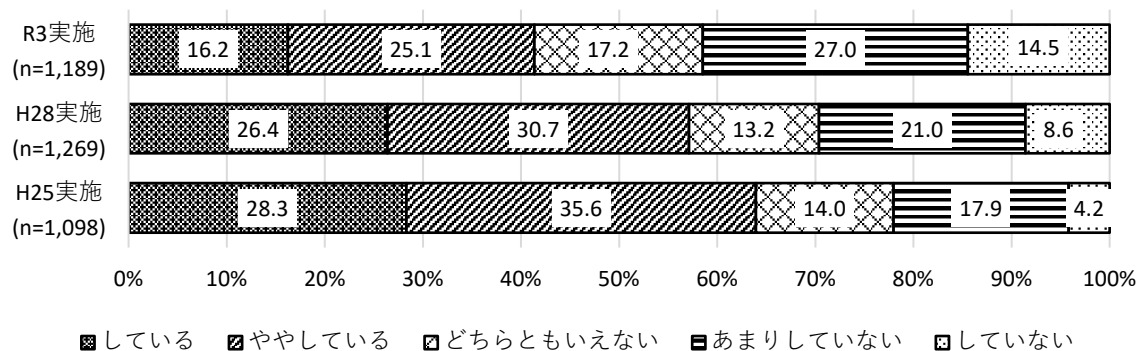
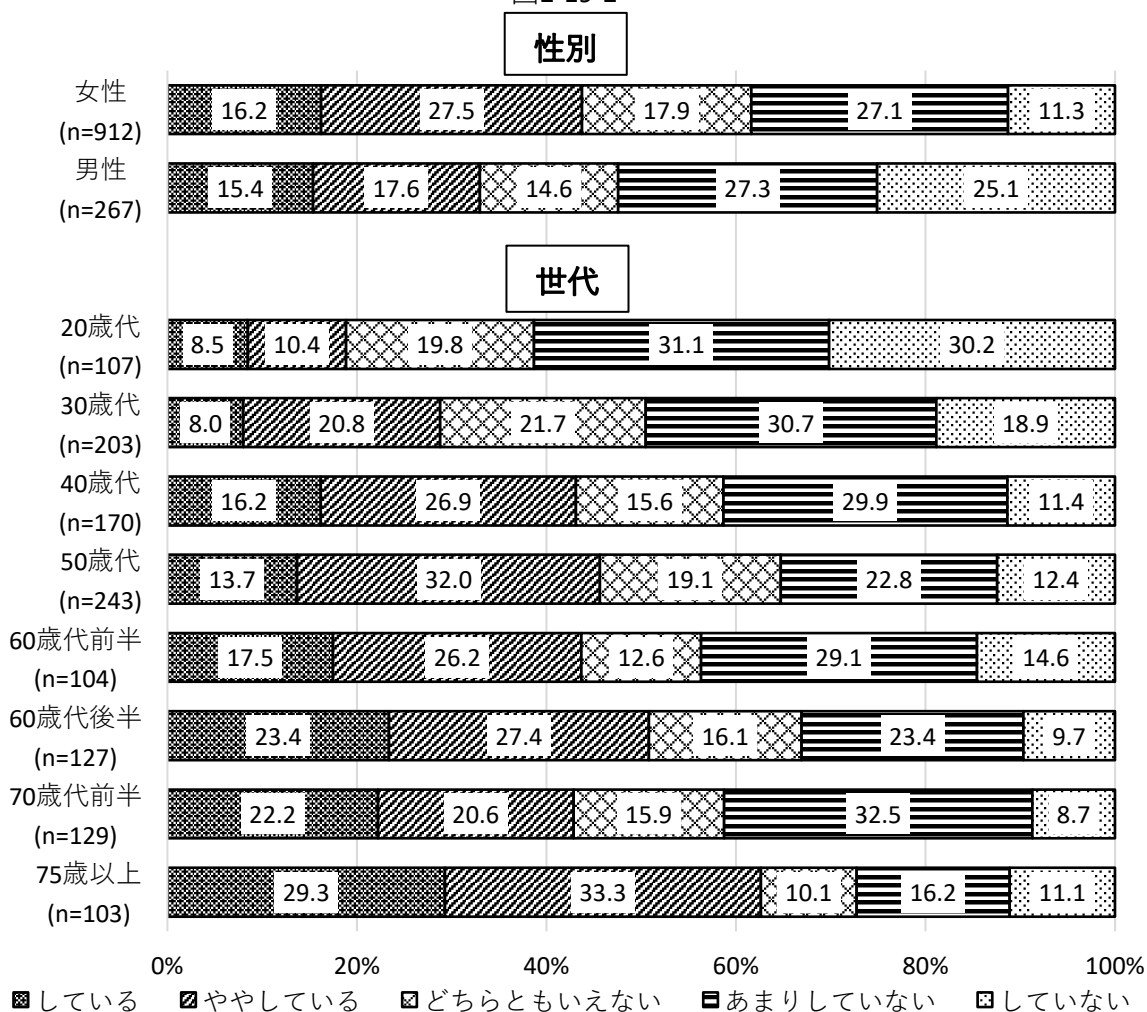


図2-19-2



問20 あなたは地元産（松戸産を含む千葉県産）の食材を購入していますか？（1つに○）

「目につけば購入する」との回答が最も多かった反面で、「気にして購入していない」という回答も3割近くに達し、地元産の食材を購入する市民の割合は減少傾向にある。男女別では、女性の方が購入する割合が高い。世代別では、世代が上がるほど購入する割合が高い。

図2-20-1

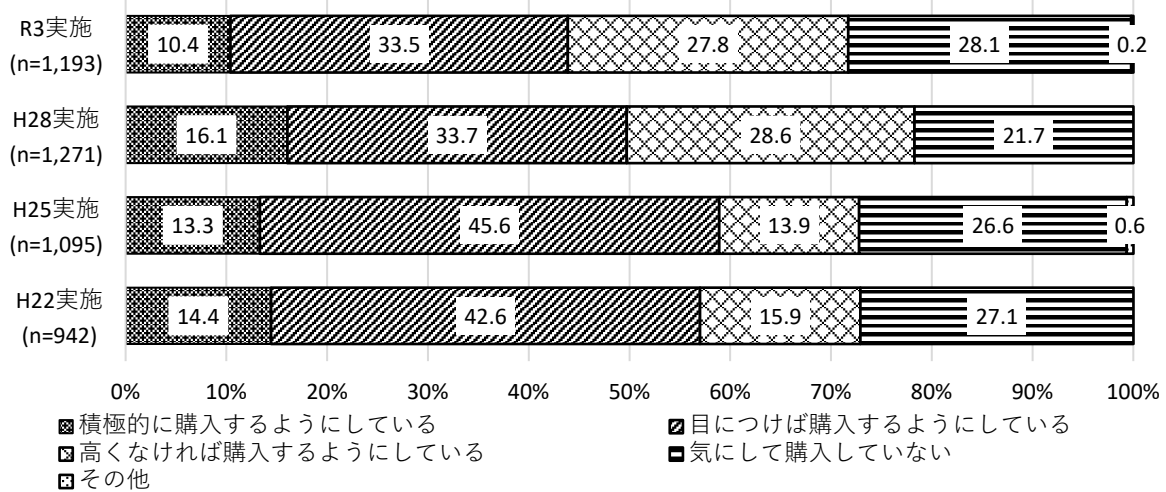
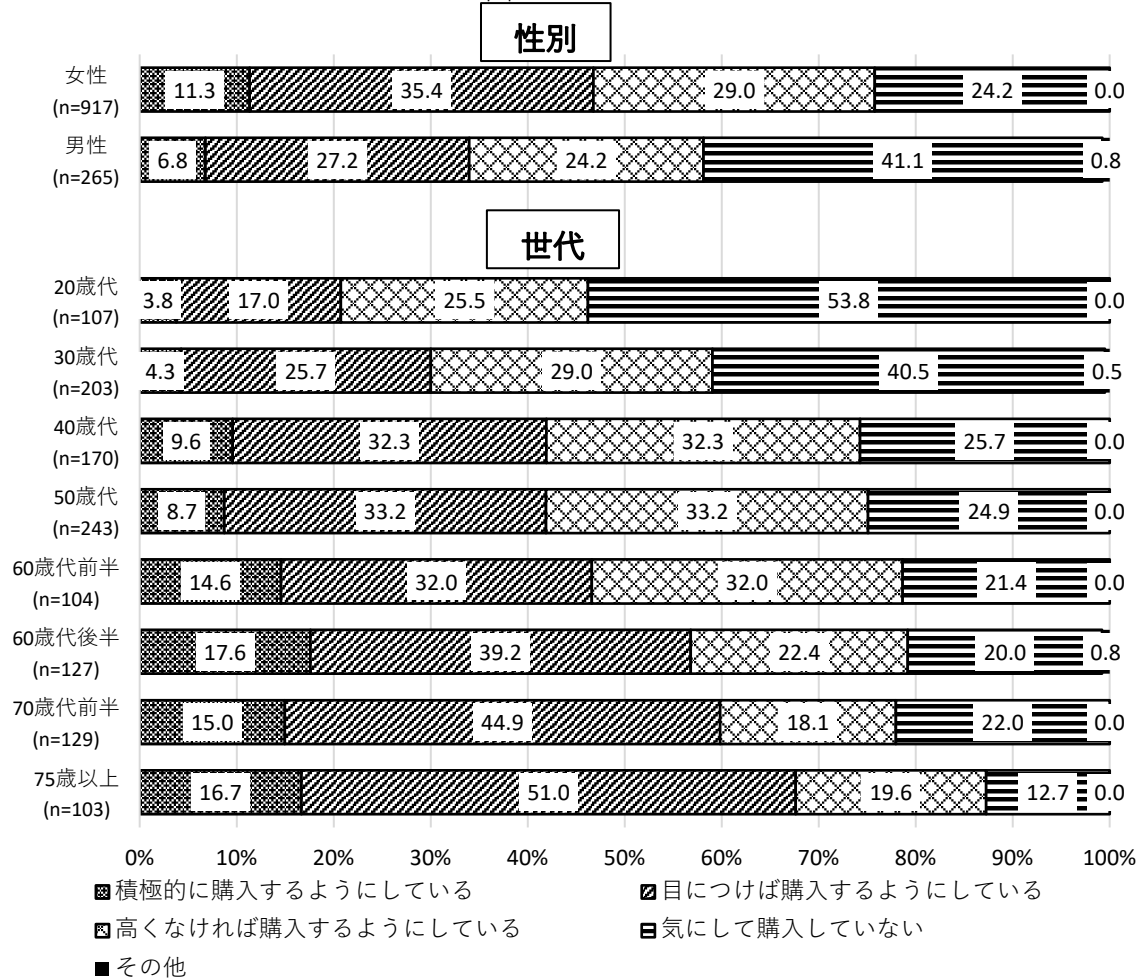


図2-20-2



問 21 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、あなたのご自宅で行っているものはありますか？（該当するものすべてに○）

伝統的な行事食については、正月と大みそかが2大行事食で、ほとんどの家庭で行われている。しかし、そのほかの行事食とは、大きな差がみられ、男女別では、上記の2大行事食では、大きな差はないが、そのほかのいずれの行事食においても総じて女性の割合が高い。世代別では、春分の日、お盆や秋分の日は世代が上がるほど割合が高まるが、節分や桃の節句、七五三では逆に子育て世代である30歳代・40歳代で高くなっている。

図2-21-2

(%)

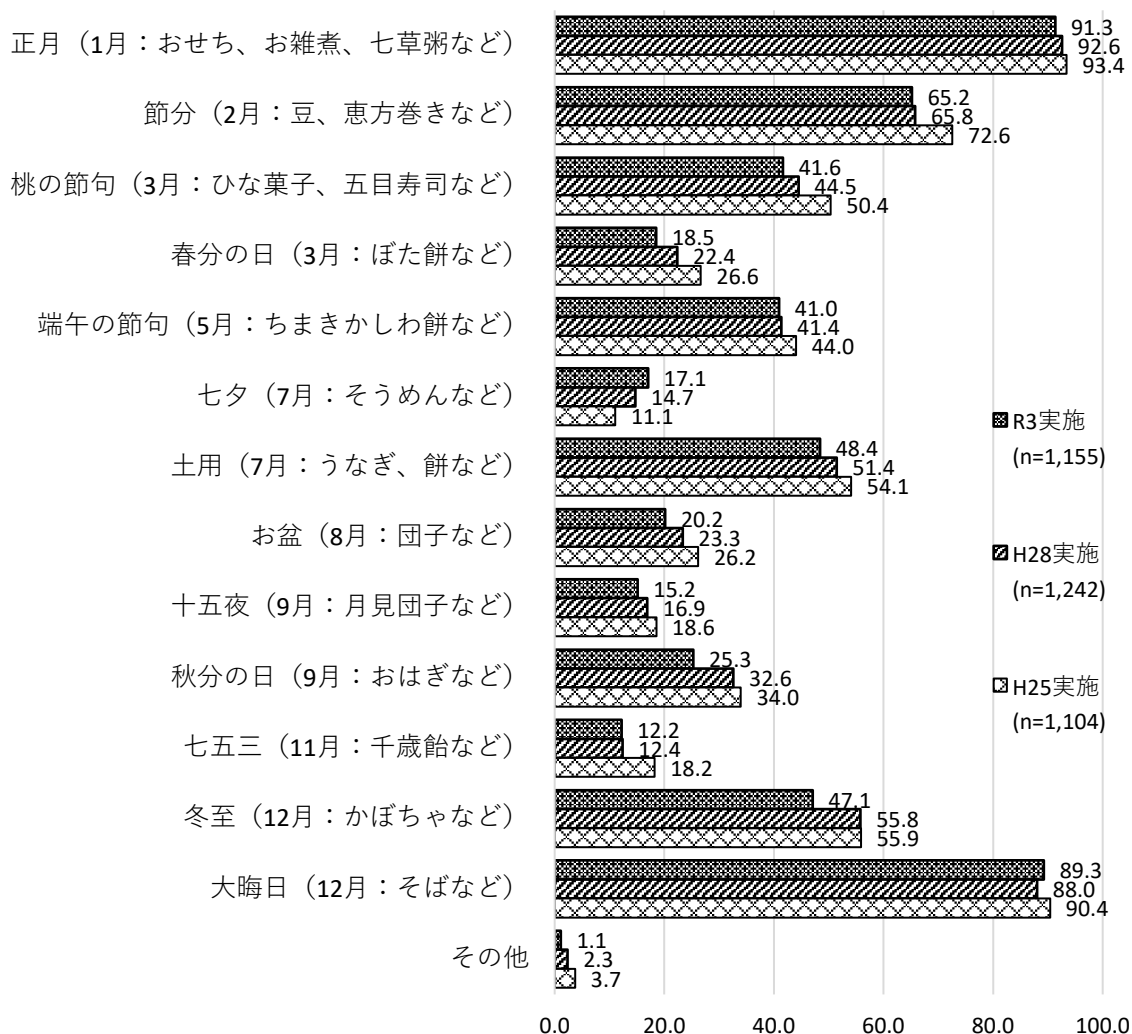


表 1-8

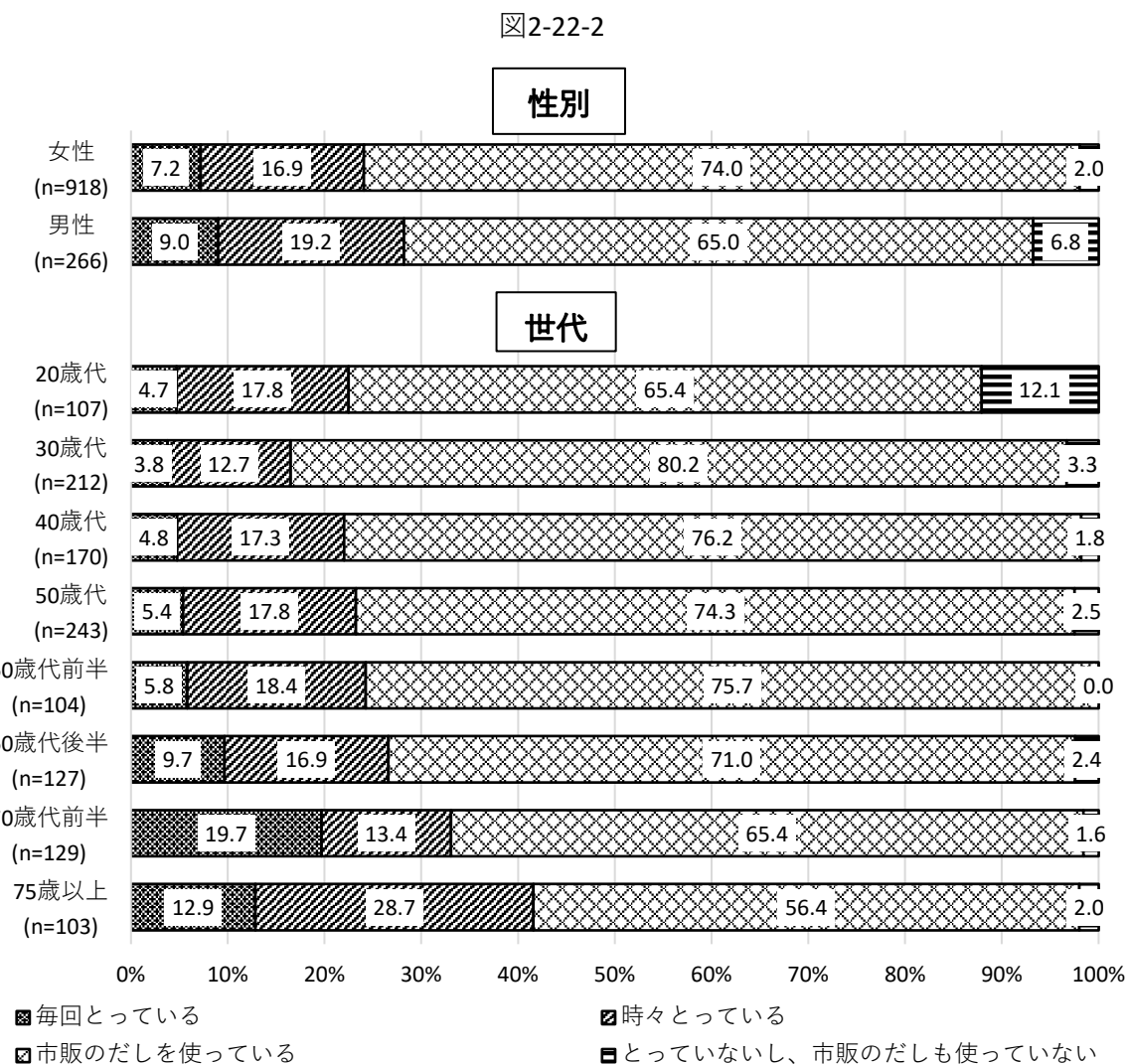
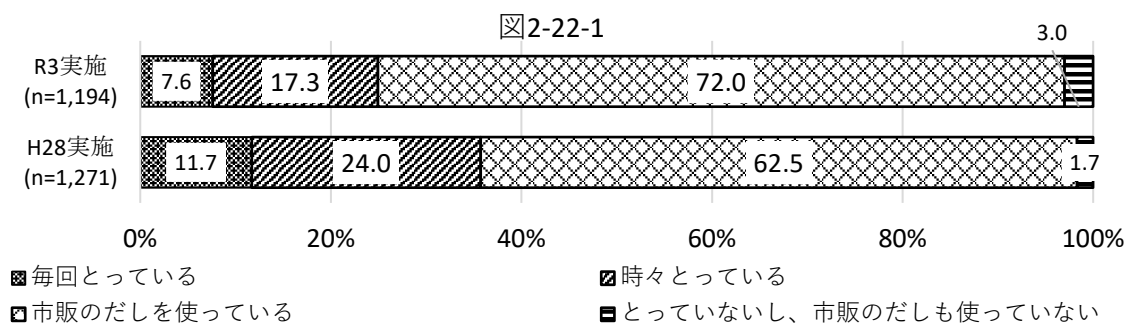
(%)

	正月 (1月：おせち、お雑煮、七草粥など)	節分 (2月：豆、恵方巻きなど)	桃の節句 (3月：ひな菓子、五目寿司など)	春分の日 (3月：ぼた餅など)	端午の節句 (5月：ちまきかしわ餅など)	七夕 (7月：そうめんなど)	土用 (7月：うなぎ、餅など)	お盆 (8月：団子など)	十五夜 (9月：月見団子など)	秋分の日 (9月：おはぎなど)	七五三 (11月：千歳飴など)	冬至 (12月：かぼちゃなど)	大晦日 (12月：そばなど)	その他	計
全体□	<b>91.3</b>	65.2	41.6	18.5	41.0	17.1	48.4	20.2	15.2	25.3	12.2	47.1	89.3	1.1	533.4
女性□	<b>93.2</b>	70.7	47.7	21.0	46.3	18.8	50.1	21.8	17.2	28.3	14.0	52.8	90.2	1.1	573.3
男性□	<b>84.7</b>	44.0	19.0	9.7	22.2	9.7	42.7	14.9	7.7	14.5	5.2	27.0	85.9	1.2	388.3
20歳代□	<b>84.8</b>	69.5	37.1	2.9	24.8	<b>25.7</b>	35.2	10.5	9.5	8.6	8.6	27.6	83.8	0.0	428.6
30歳代□	<b>86.7</b>	<b>75.9</b>	<b>49.3</b>	6.4	38.9	27.1	38.9	13.3	17.7	12.3	<b>19.2</b>	34.5	<b>93.1</b>	1.5	514.8
40歳代□	<b>88.9</b>	69.8	44.4	10.5	47.5	22.2	50.6	13.0	<b>20.4</b>	22.2	17.9	45.7	90.1	0.6	543.8
50歳代□	<b>89.3</b>	63.4	39.1	22.6	46.1	12.3	53.1	22.2	16.5	26.3	9.9	54.3	87.7	2.1	544.9
60歳代前半□	<b>94.2</b>	58.3	42.7	28.2	<b>47.6</b>	10.7	54.4	22.3	11.7	31.1	9.7	51.5	92.2	1.0	555.3
60歳代後半□	<b>98.3</b>	67.2	44.5	29.4	42.0	16.8	<b>55.5</b>	27.7	15.1	<b>37.0</b>	13.4	<b>60.5</b>	89.1	0.8	597.5
70歳代前半□	<b>92.5</b>	48.3	36.7	25.8	32.5	7.5	45.8	27.5	10.0	36.7	5.8	49.2	86.7	0.8	505.8
75歳以上□	<b>97.0</b>	53.5	31.3	<b>30.3</b>	38.4	8.1	51.5	<b>29.3</b>	11.1	36.4	7.1	48.5	81.8	0.0	524.2

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

問 22 「だし」を素材（昆布やかつお節など）からとっていますか？（1つに〇）

市販のだしを使用が最も多く、7割以上を占めており、毎回素材からだしをとっているのは、1割未満で、前回と比べて減少している。男女別では、女性で市販のだしを使っている割合が高い。顕著な違いはみられないが、世代別では明確に違いが表われている。30歳代では8割以上が市販のだしを使用しているが、70歳代前半以上では、3割以上が素材からだしをとっている。



問 23 生活習慣病の予防や改善のために適正体重の維持や減塩食などを実践していますか？  
(1つに〇)

6割以上が適正体重の維持や減塩食などを実施しているが、前回と比べると減少している。男女別では、女性の方がその実践割合が3分の2と意識が高い。世代別の特徴も明確で、世代が上がるほど実践割合が高まっている。

図2-23-1

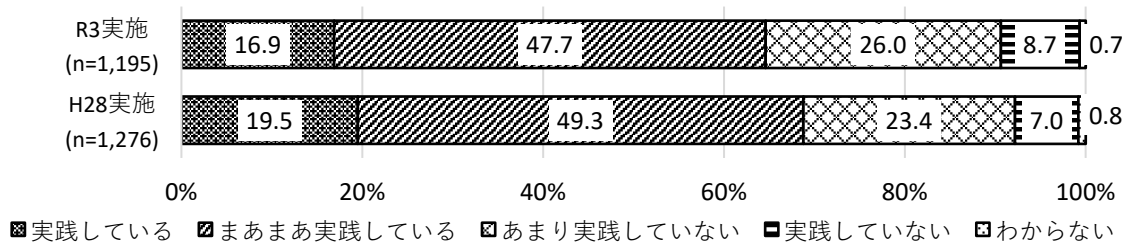
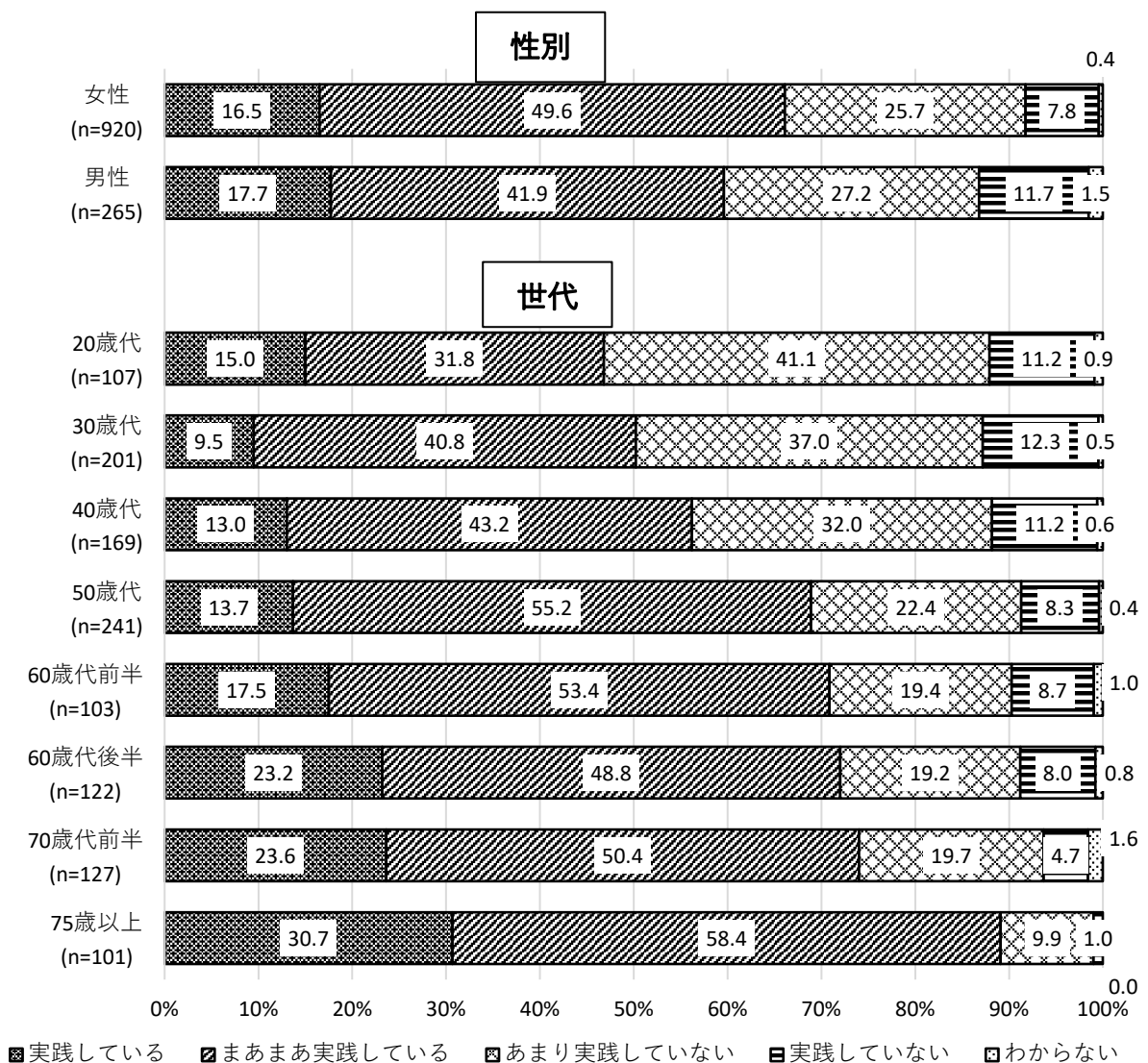


図2-23-2





問 24 食品ロス削減のために意識して適量の食材を購入、調理、外食時には注文していますか？  
(1つに〇)

食品ロス削減の取り組みは、8割以上は実施しており、前回よりも増加している。男女別では、女性でより「気をつけている」割合が高い。世代別では、20歳代、75歳以上で同意識の低さが顕著となっている。

図2-24-1

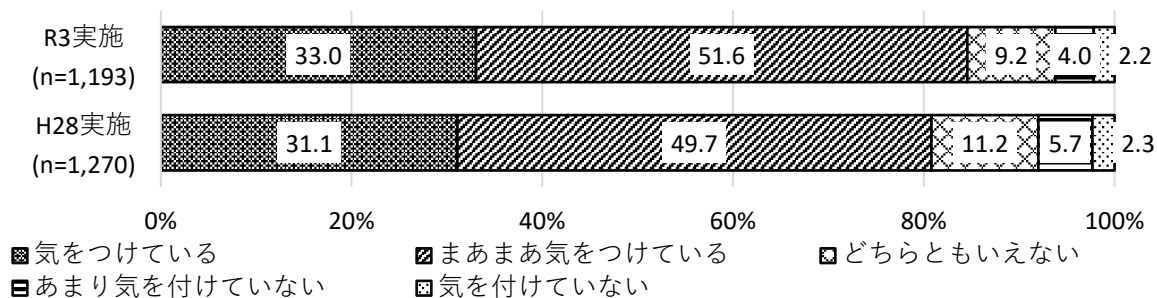
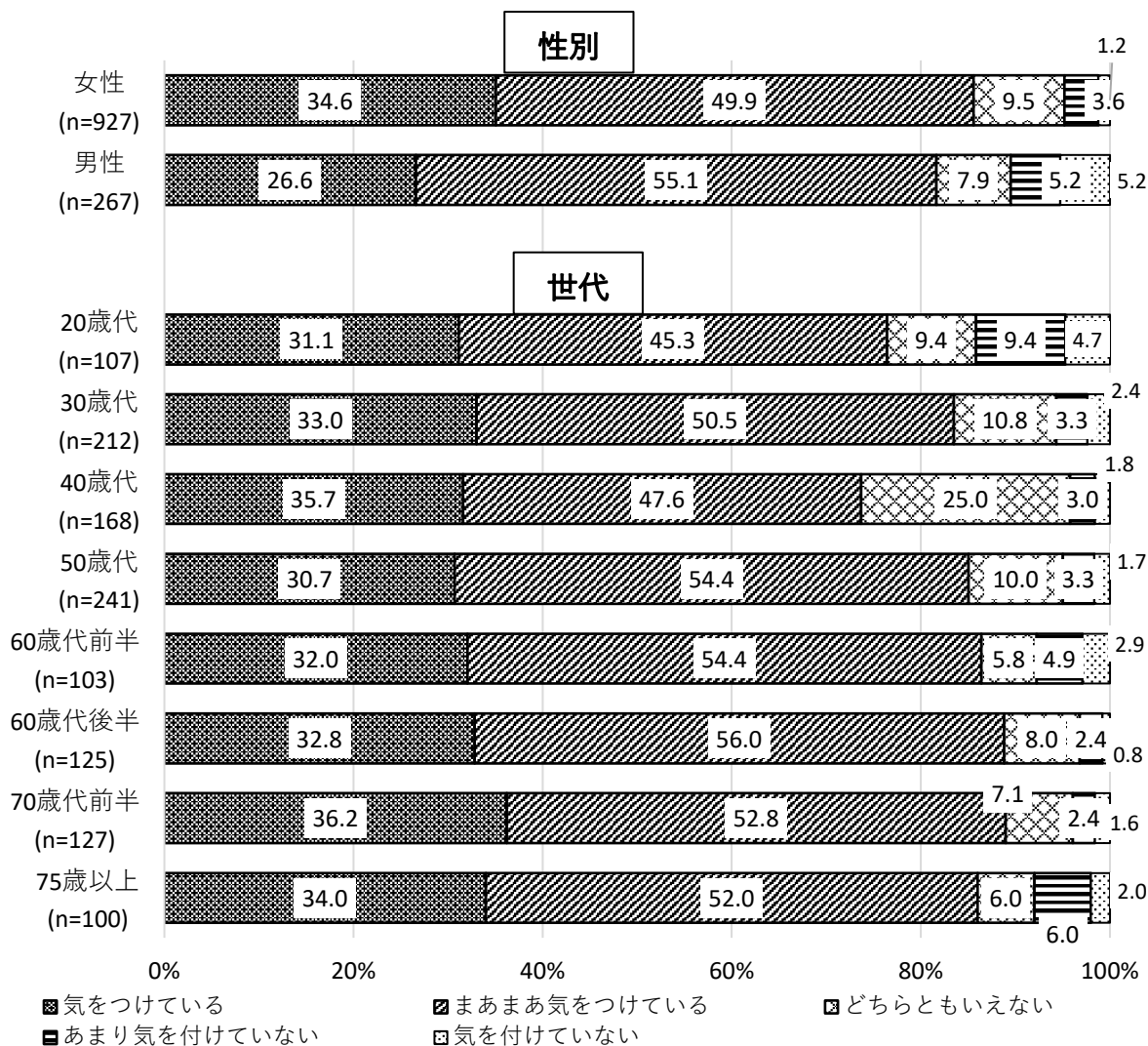


図2-24-2



問25 環境に配慮した食材、食品を選ぶようにしていますか？（1つに○）

「気をつけている」「まあまあ気をつけている」、合わせて5割を超えている。男女別では女性、世代別では、高齢世代ほど意識が高くなっている。

図2-25-1

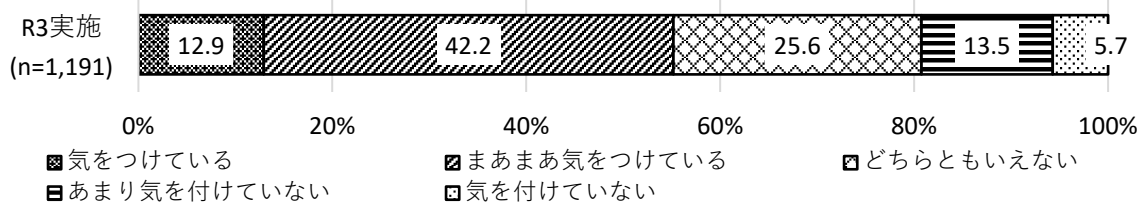
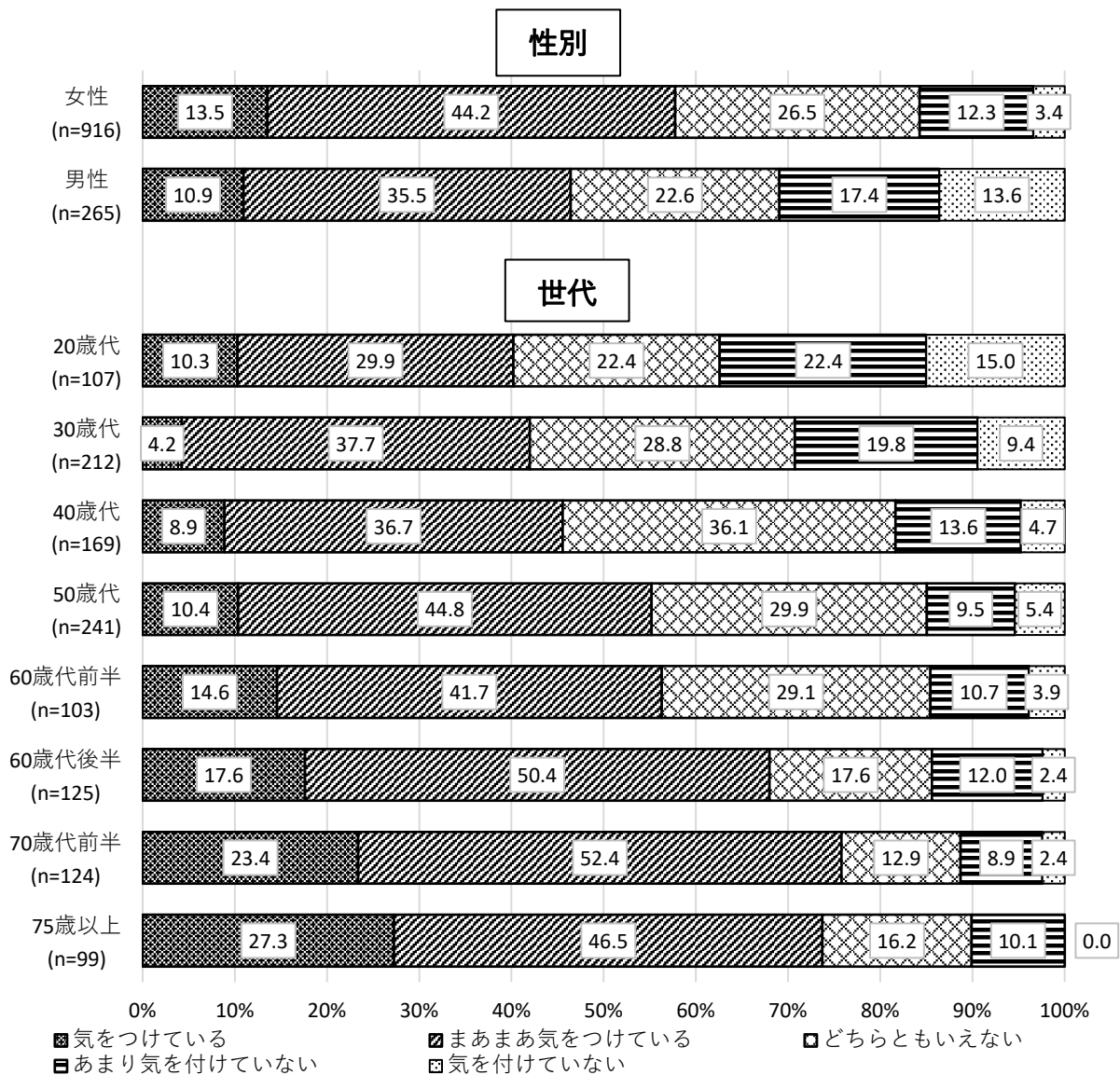
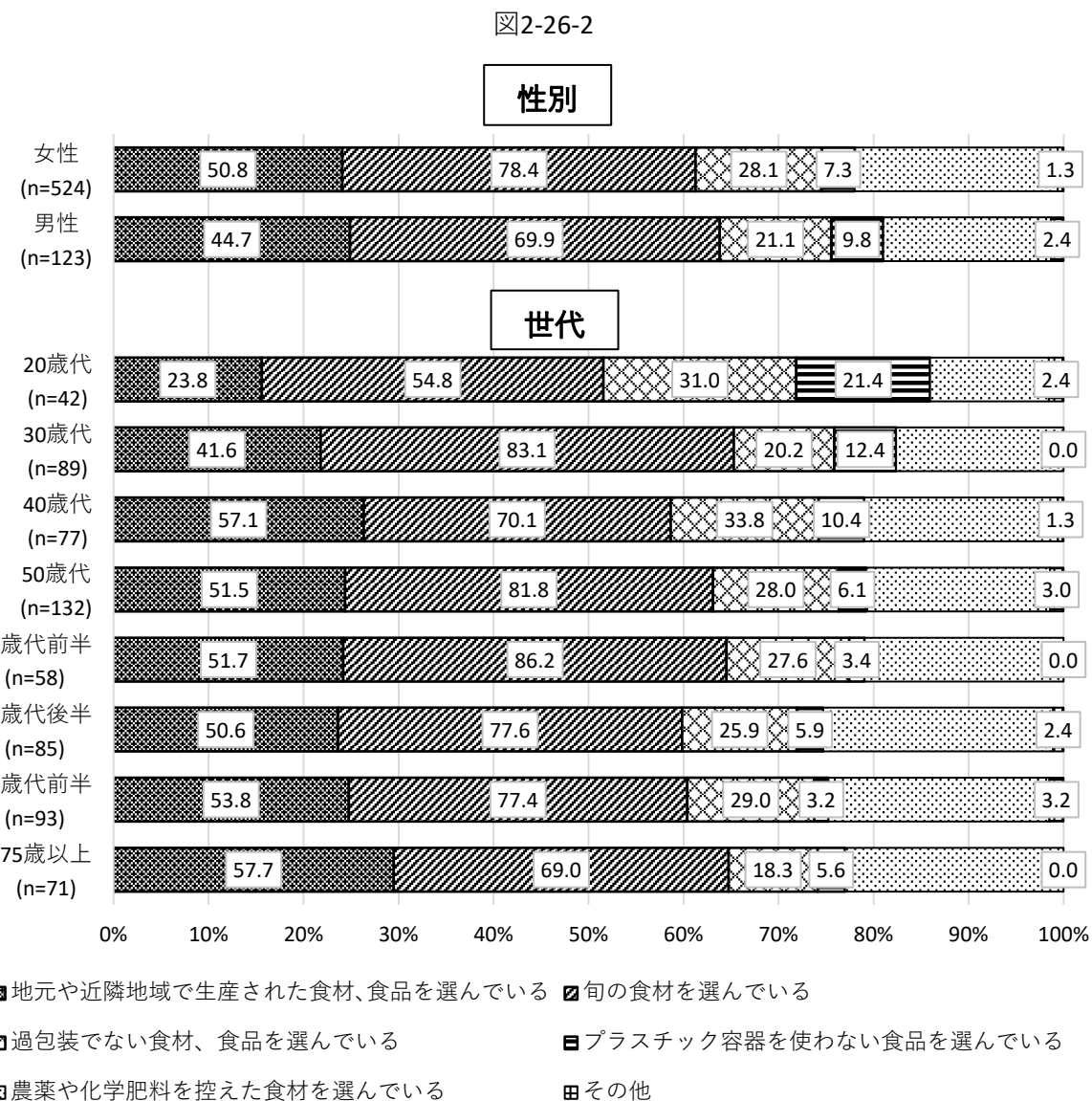
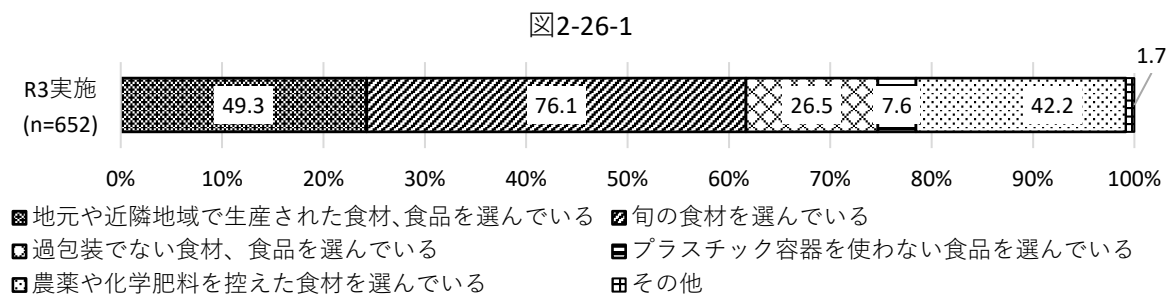


図2-25-2



**問 26 問 25 で選択肢 1、2 を選んだ方に伺います。どのように配慮した食材、食品を選んでいま  
すか？（該当するものすべてに○）**

旬の食材を選んでいるが最も一般的なもので、次いで地元や近隣産の食材・食品を選んでいる。  
男女別や世代別でも同様の傾向がみてとれる。



問27 どれぐらいの頻度で家族や友人と一緒に朝食や夕食をとっていますか？  
(それぞれ1つに○)

朝食

朝食では、毎日家族や友人ととる割合が4割以上であるが、男女別では大きな差がみられる。男性では、「ほとんどない」がもっとも多く4割を超えている。これは、男性の出勤時間が早いことなどが理由の一つと考えられる。世代別では、20歳代が「ほとんどない」の割合が6割近くで最も高い。

図2-27-1

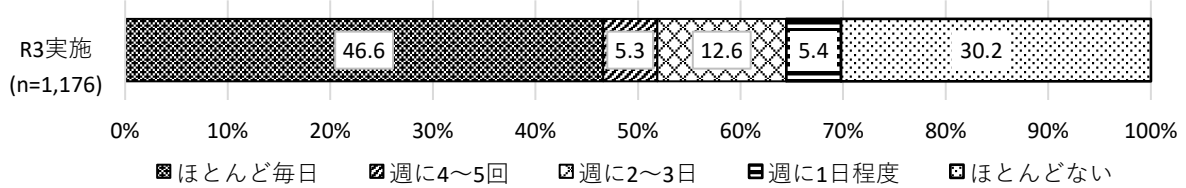
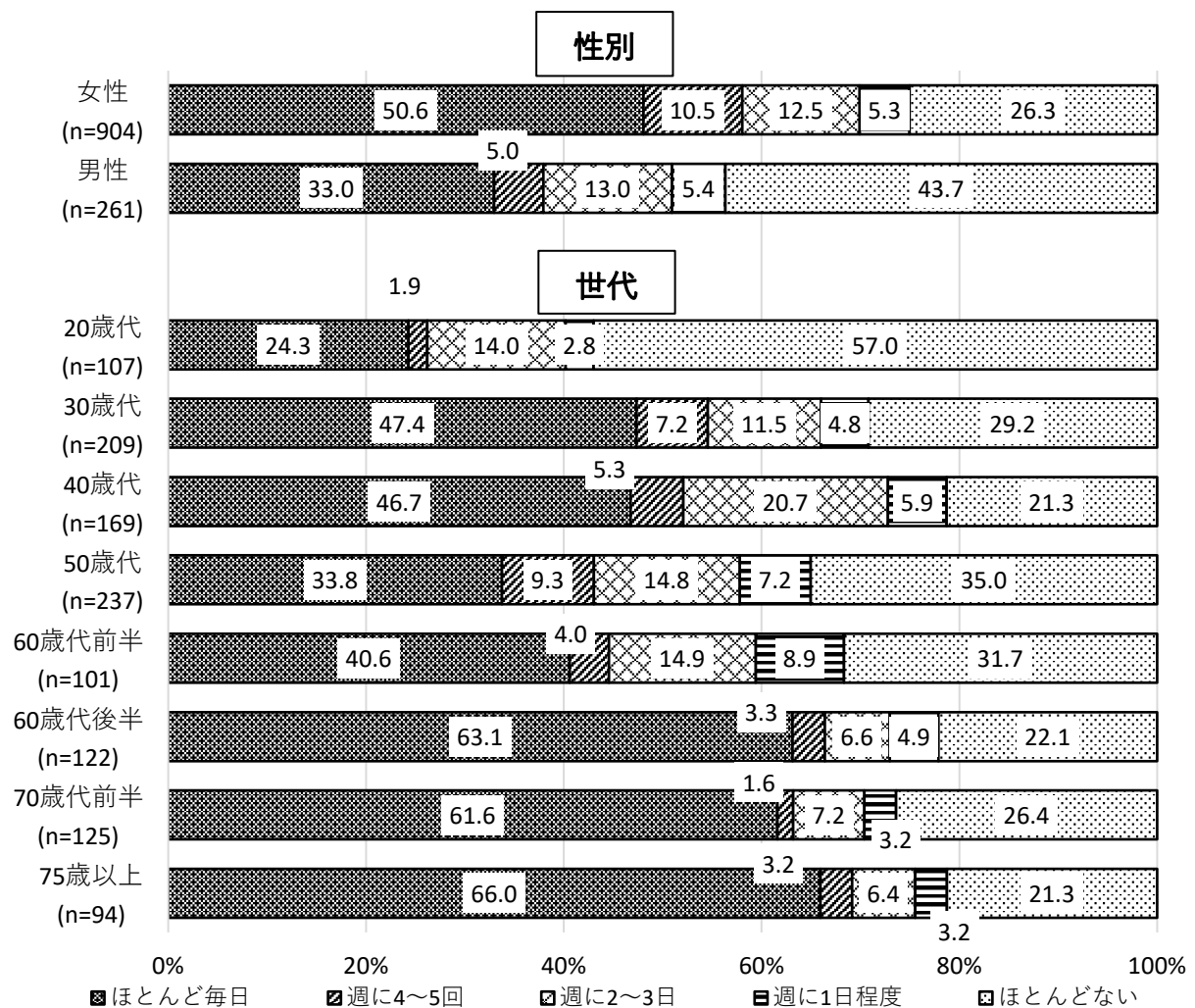
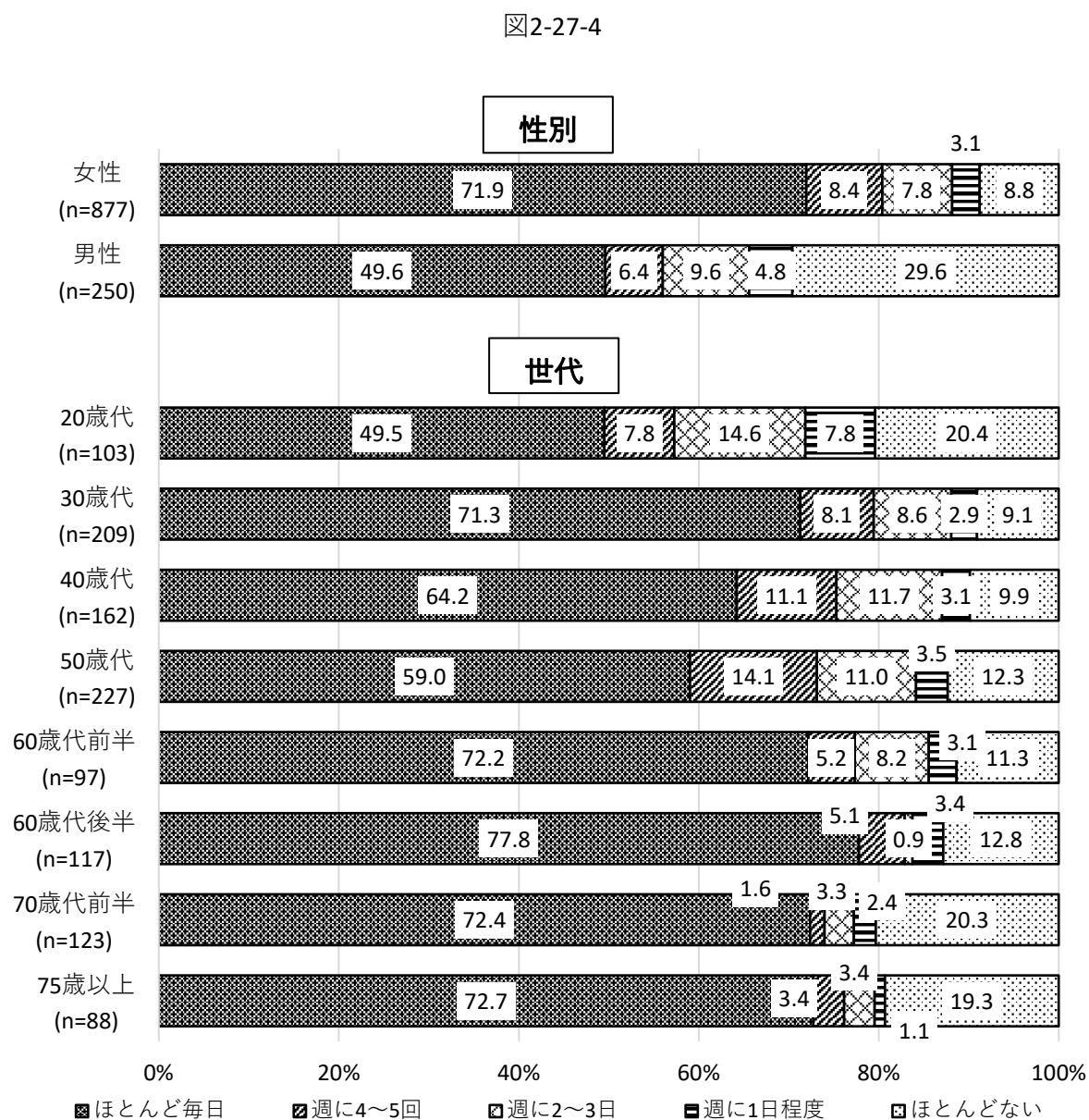
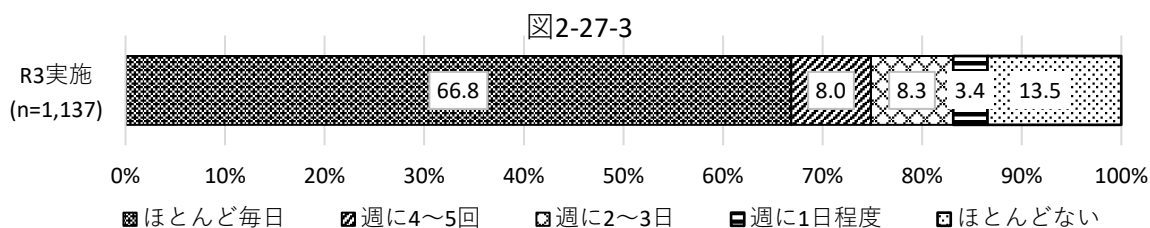


図2-27-2



夕食

夕食では、「ほとんど毎日」との回答が3分の2を占めており、朝食と比べてその割合が高い。男女別で、その割合に大きな差がみられるのは、朝食と同様であるが、その差はさらに拡大している。世代別では、20歳代と50歳代でその割合が低い。50歳代が低いのは、管理職世代で帰宅が遅いことなどが理由の1つとして考えられる。



問 28 あなたが一人で朝食や夕食をとる場合の理由はなんですか？（該当するものすべてに○）

一人で食べる理由は、本人や本人以外の時間が合わないが5割を超えている。男女別では、上記の理由がそれぞれで高い。世代別では、40・50歳代で「本人以外の時間が合わない」の割合が最も高い。その理由としては、長時間勤務による家族の生活時間が異なっていることが考えられる。

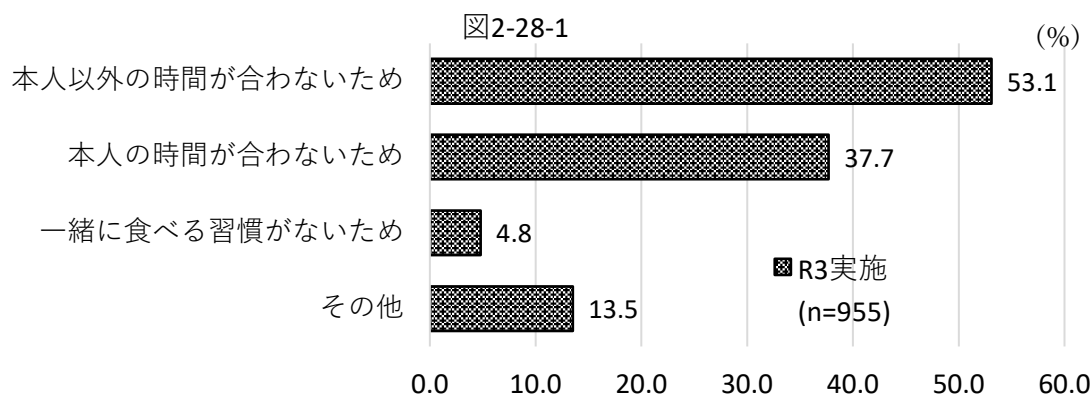


表 1-9 (%)

	全体 (人)	本人 以外の 時間 が合 わな いた め	本 人 の 時 間 が 合 わ な いた め	一 緒 に 食 べ る 習 慣 が な いた め	そ の 他	計
全体	955	<b>53.1</b>	37.7	4.8	13.5	109.1
女性	725	<b>58.8</b>	36.3	3.0	10.9	109.0
男性	221	<b>35.7</b>	41.6	10.4	21.7	109.5
20歳代	98	<b>50.0</b>	30.6	7.1	19.4	107.1
30歳代	181	<b>47.0</b>	47.5	5.0	12.2	111.6
40歳代	140	<b>54.3</b>	47.9	3.6	7.1	112.9
50歳代	213	<b>63.4</b>	31.5	5.6	9.4	109.9
60歳代前半	85	<b>57.6</b>	36.5	1.2	9.4	104.7
60歳代後半	89	<b>53.9</b>	37.1	6.7	10.1	107.9
70歳代前半	82	<b>42.7</b>	34.1	2.4	25.6	104.9
75歳以上	58	<b>43.1</b>	25.9	3.4	32.8	105.2

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

**問 29 あなたは野菜や果物などの栽培（趣味を含む）をしていますか？**  
**（該当するものすべてに○）**

栽培していない回答者が7割以上を占めているが、過去の類似の質問とその割合は大差ない。男女別では、女性では自宅の庭で栽培の割合がやや高い傾向がある。世代別では、その割合が世代が進むとともに高まっている。

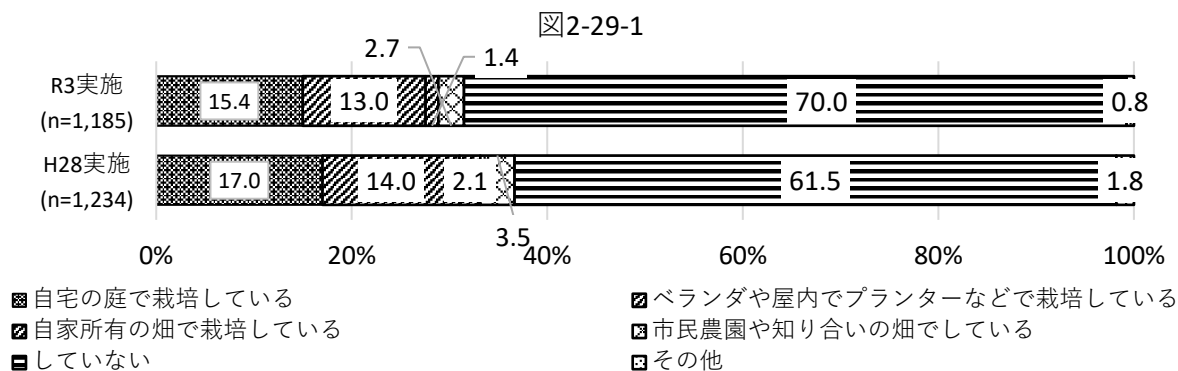


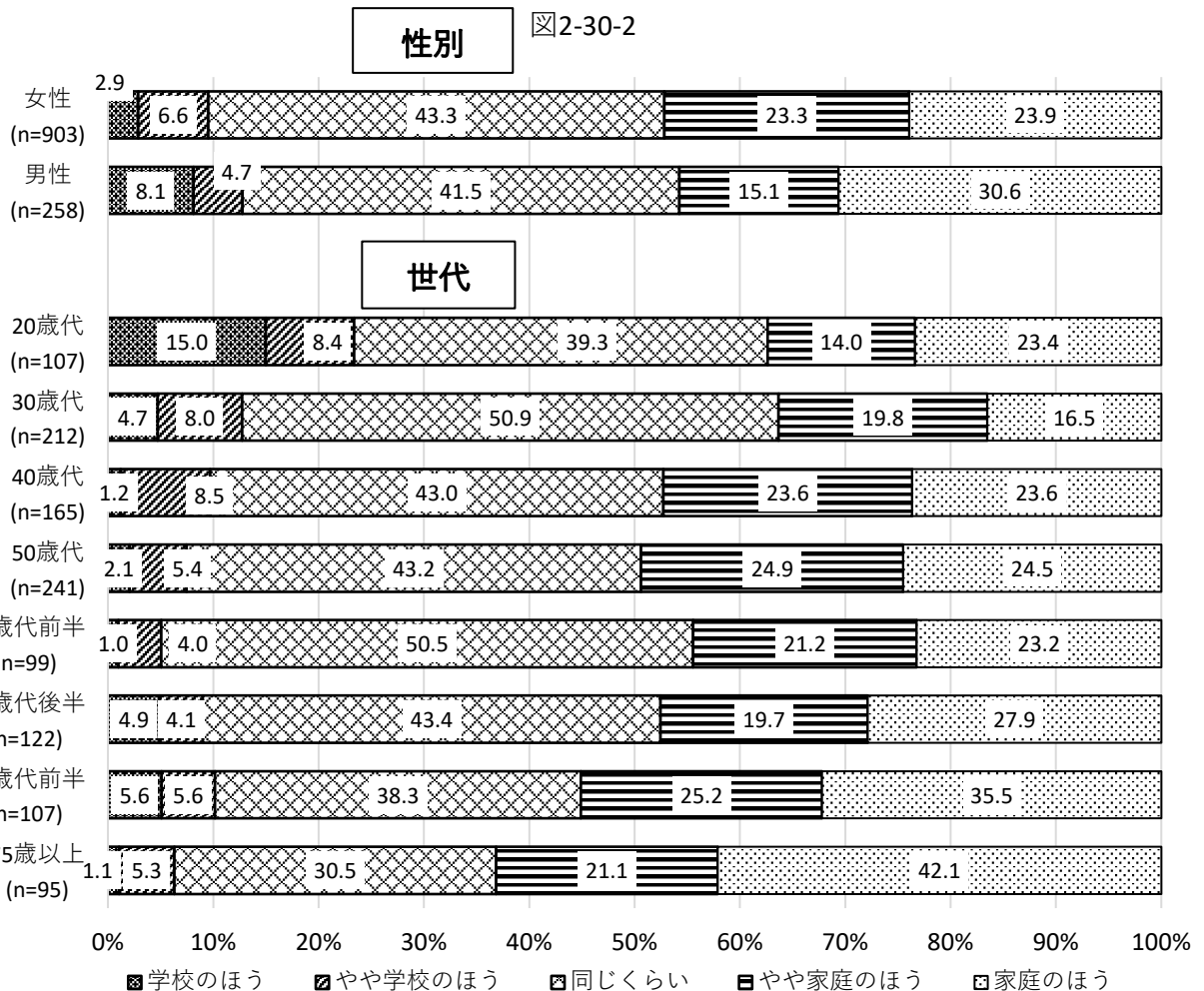
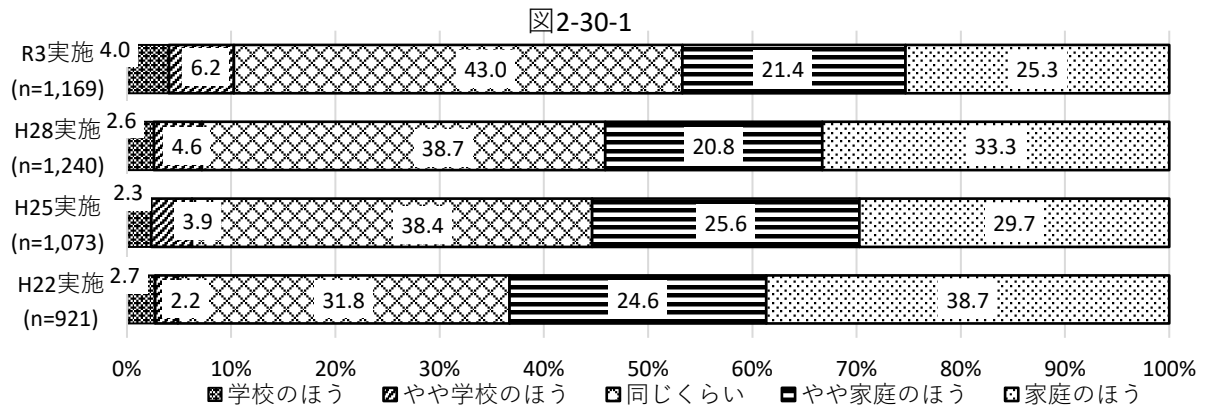
表 1-10 (%)

	全体	自宅の庭で栽培している	ベランダや屋内でプランターなどで栽培している	自家所有の畑で栽培している	市民農園や知り合いの畑でしている	していない	その他	計
全体	1185	15.4	13.0	1.4	2.7	<b>70.0</b>	0.8	103.2
女性	264	16.4	13.5	1.2	2.6	<b>67.3</b>	0.5	101.5
男性	910	11.4	10.2	1.9	2.7	<b>75.0</b>	1.1	102.3
20歳代	106	4.7	6.6	0.0	0.0	<b>88.7</b>	0.9	100.9
30歳代	212	15.6	16.0	1.9	1.4	<b>69.3</b>	0.0	104.2
40歳代	170	15.9	13.5	0.0	3.5	<b>67.1</b>	1.2	101.2
50歳代	240	13.8	13.3	1.7	1.3	<b>72.5</b>	0.0	102.5
60歳代前半	102	25.5	11.8	1.0	4.9	<b>58.8</b>	2.0	103.9
60歳代後半	122	13.9	11.5	1.6	3.3	<b>73.0</b>	0.8	104.1
70歳代前半	125	16.0	14.4	4.0	4.0	<b>65.6</b>	0.0	104.0
75歳以上	98	19.4	12.2	0.0	5.1	<b>63.3</b>	3.1	103.1

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

問30 子ども達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？  
(1つに〇)

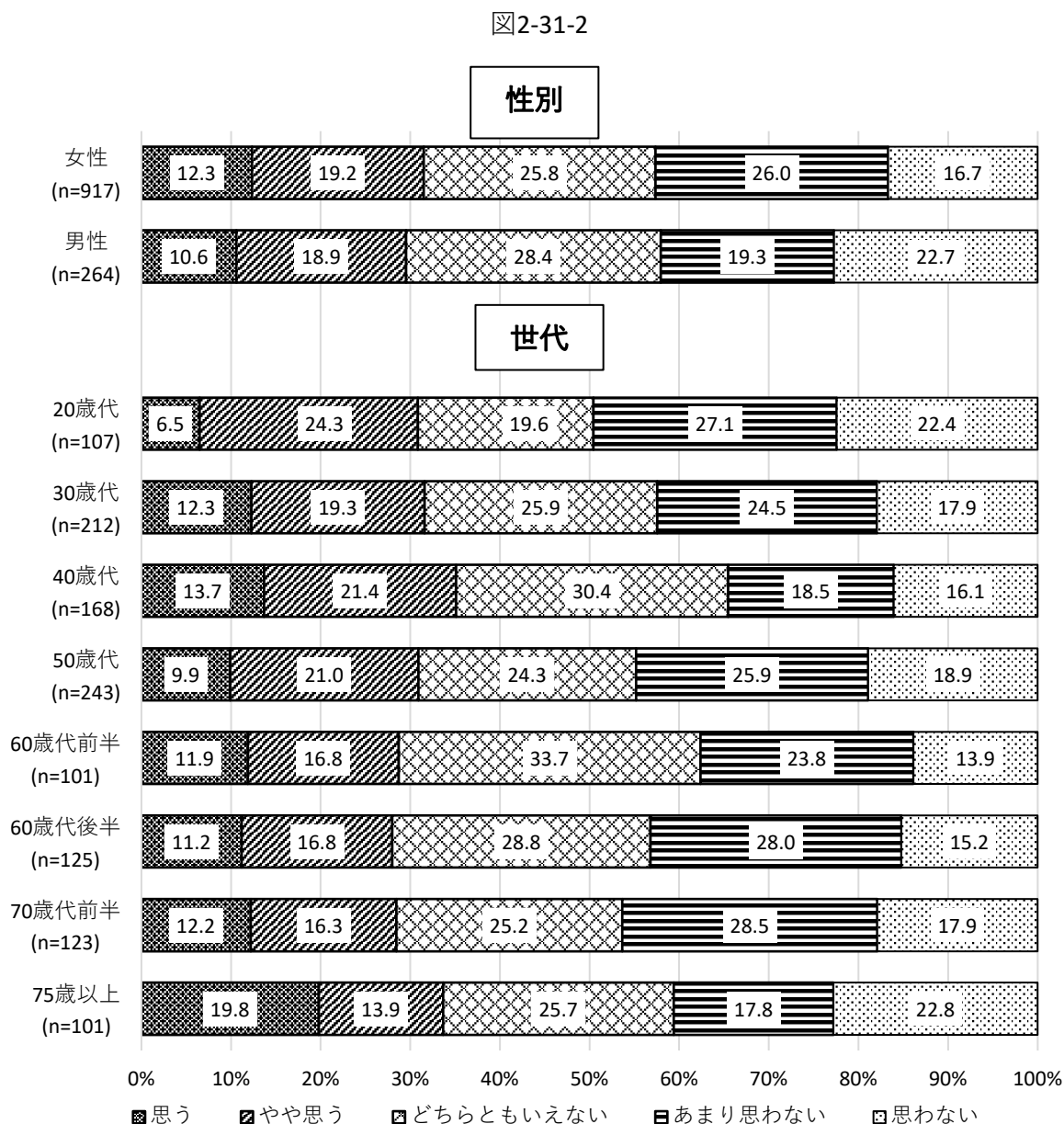
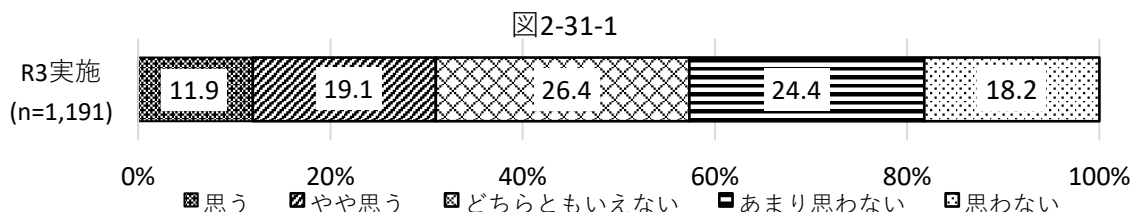
初回の市民アンケート調査から継続している質問項目で過去3回と比較して、家庭と学校と同じくらいが最も高い割合となり、学校での食育を重視する回答が増加傾向にあることが理解できる。男女別では、男性よりも女性が家庭を重視する傾向がうかがえ、過去の結果とも整合的である。もう一つ過去の結果ともほぼ整合的な点は、世代が上がるにつれて、家庭の重要性が高くなる傾向にある。子育て世代である20歳代と30歳代は、一貫して学校への期待が高いといえる。





問 31 あなたは地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会があれば、参加したいと思いますか？（1つに○）

参加したいと思う回答者が約3割、思わない回答者が約4割と、やや消極的な傾向となった。コロナ禍における調査となったことで、会食を忌避する風潮があったことに留意する必要がある。男女別ではあまり差がないが、世代別では40歳代、75歳以上の世代がやや参加に積極的な傾向にあった。



問32 問31で選択肢1、2を選んだ方に伺います。あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会に参加しましたか？（1つに○）

参加が3割を下回っている。コロナ禍における調査となったことで、会食を忌避する風潮があったことに留意する必要がある。男女別では男性の参加率がわずかに高い。世代別では、60代後半から高くなっており、定年退職後にコミュニティ内での交流に参加していることが理解できる。

図2-32-1

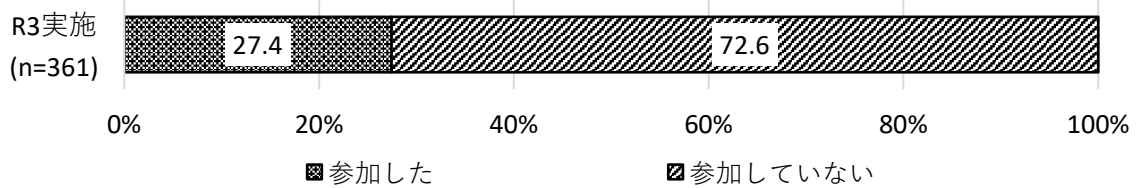
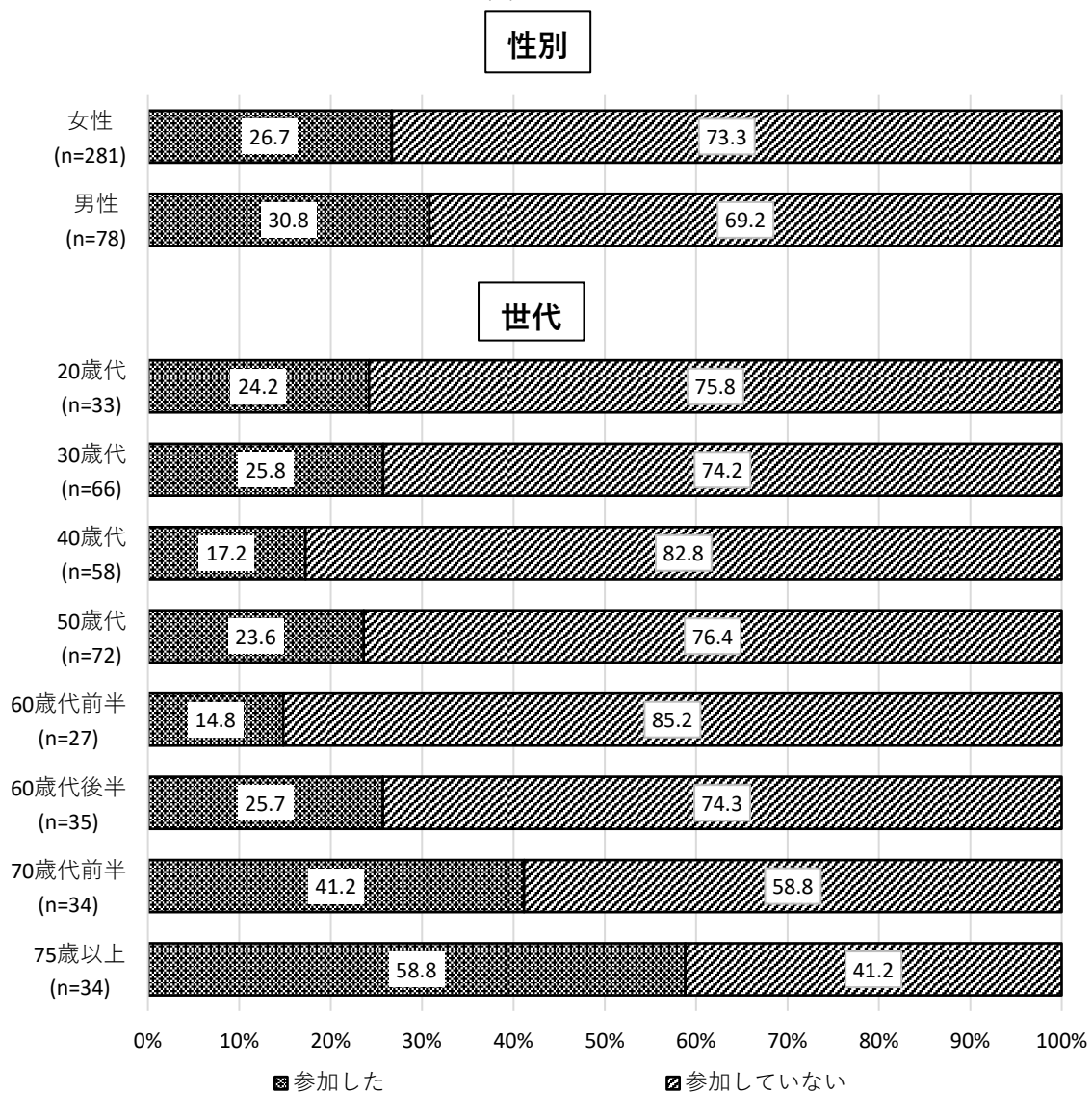


図2-32-2



問 33 レシピサイト「クックパッド」に松戸市公式のページがあることを知っていますか？  
(1つに〇)

レシピサイトは9割以上が知らないと回答しており、認知度を上げることが課題といえる。男女別では、女性の方の認知度はわずかに高い。世代別では、退職後の世代といえる60歳代後半以降で高くなっている。

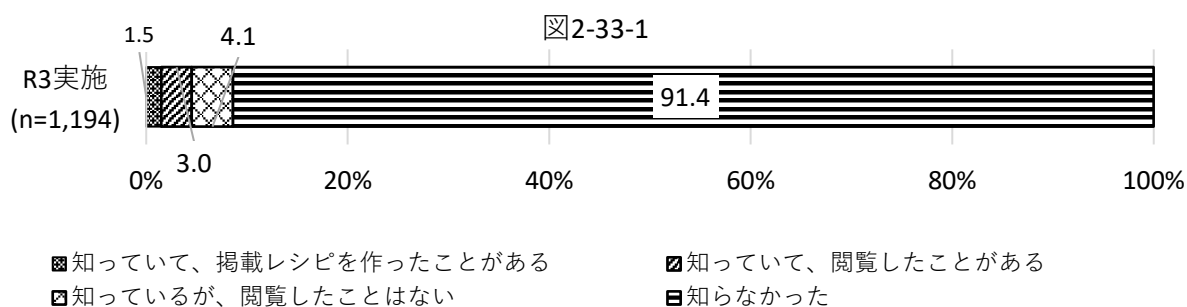


表 1-11 (％)

	全体 (人)	知っていて、 掲載レシピを作った ことがある	知っていて、 閲覧したことがある	知っているが、 閲覧したことはない	知らなかった	計
全体	1194	1.5	3.0	4.1	<b>91.4</b>	100.0
女性	920	2.0	3.0	4.6	<b>90.4</b>	100.0
男性	263	0.0	3.0	2.7	<b>94.3</b>	100.0
20歳代	107	0.9	1.9	0.0	<b>97.2</b>	100.0
30歳代	212	1.4	3.8	1.9	<b>92.9</b>	100.0
40歳代	168	0.6	4.8	5.4	<b>89.3</b>	100.0
50歳代	243	1.2	2.5	1.2	<b>95.1</b>	100.0
60歳代前半	101	1.0	3.0	3.0	<b>93.1</b>	100.0
60歳代後半	124	4.0	1.6	8.1	<b>86.3</b>	100.0
70歳代前半	127	3.1	2.4	7.1	<b>87.4</b>	100.0
75歳以上	100	0.0	4.0	11.0	<b>85.0</b>	100.0

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

問 34 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この1週間であなたの心理面にどのような変化がありましたか？（1つに○）

「変化なし」が46%と最も多いが、気分が晴れない時が「かなり増えた」「やや増えた」を合わせると、5割を超えている。男女別では、男性で「変化なし」が5割を超えているのに対して、女性では5割以上が、気分が晴れない時が増えたと回答している。世代別では、世代が上がるにつれて、気分が晴れない割合が高まる傾向にある。

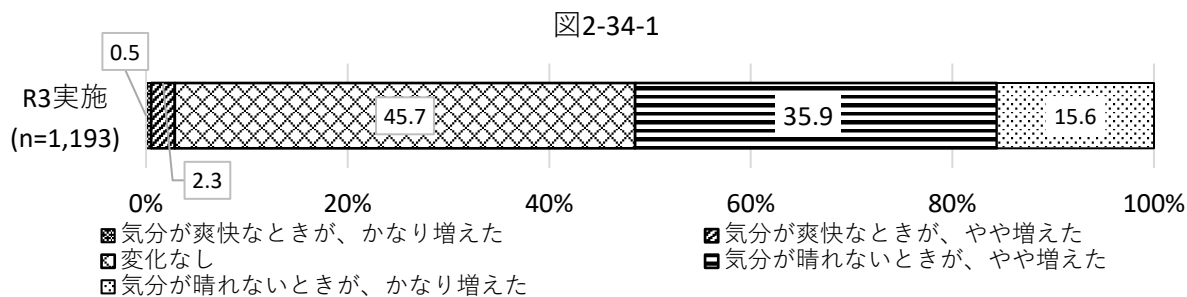


表 1-12 (％)

	全体 (人)	気分が爽快なときが、 かなり増えた	気分が爽快なときが、 やや増えた	変化なし	気分が晴れないときが、 やや増えた	気分が晴れないときが、 かなり増えた	計
全体	1193	0.5	2.3	<b>45.7</b>	35.9	15.6	100.0
女性	918	0.3	2.4	<b>43.0</b>	39.4	14.8	100.0
男性	264	1.1	2.3	<b>54.5</b>	23.9	18.2	100.0
20歳代	107	0.9	5.6	<b>42.1</b>	34.6	16.8	100.0
30歳代	212	0.9	3.8	<b>46.2</b>	34.9	14.2	100.0
40歳代	169	0.6	1.8	<b>48.5</b>	38.5	10.7	100.0
50歳代	242	0.4	1.7	<b>48.8</b>	32.6	16.5	100.0
60歳代前半	100	0.0	1.0	<b>47.0</b>	39.0	13.0	100.0
60歳代後半	125	0.0	0.8	<b>38.4</b>	38.4	<b>22.4</b>	100.0
70歳代前半	126	0.0	1.6	<b>44.4</b>	42.9	11.1	100.0
75歳以上	100	1.0	3.0	<b>44.0</b>	30.0	22.0	100.0

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

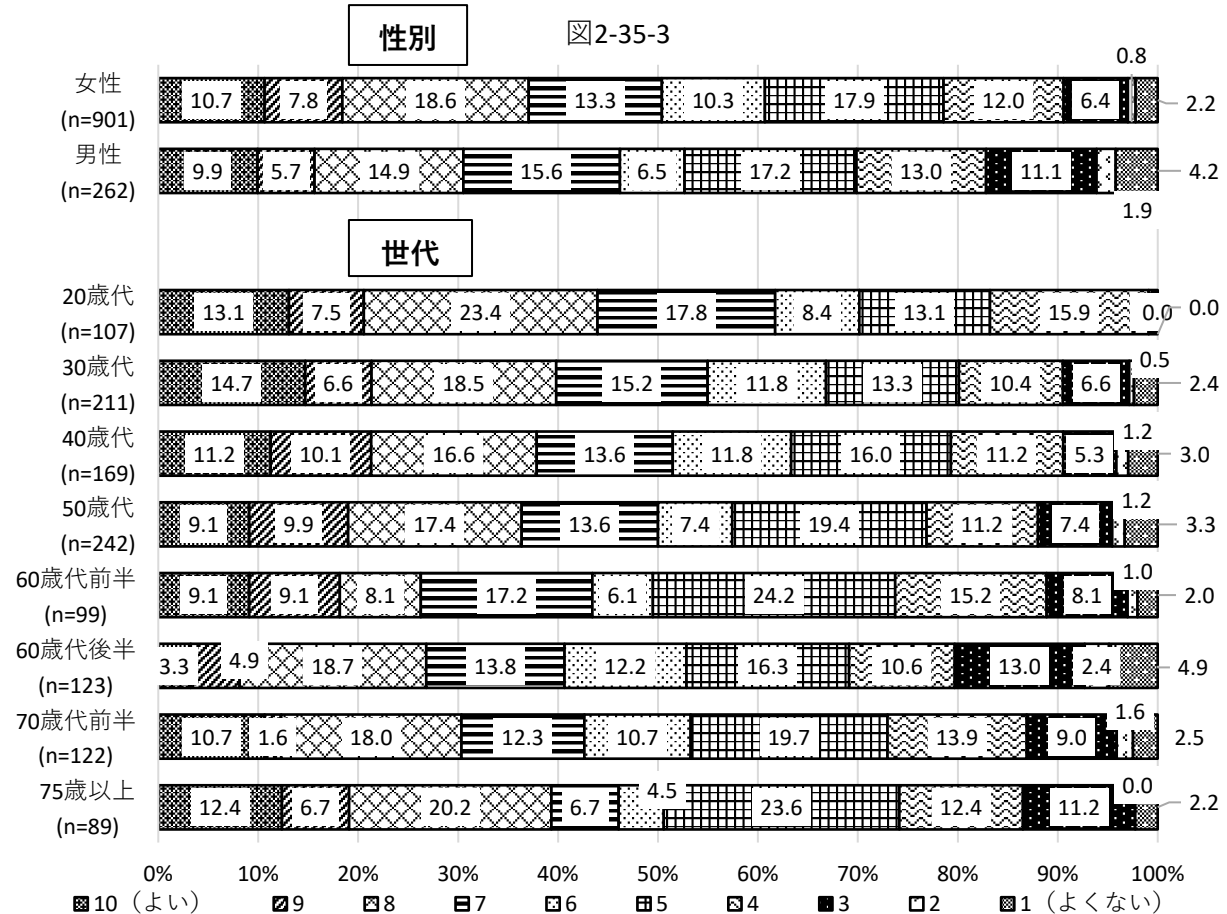
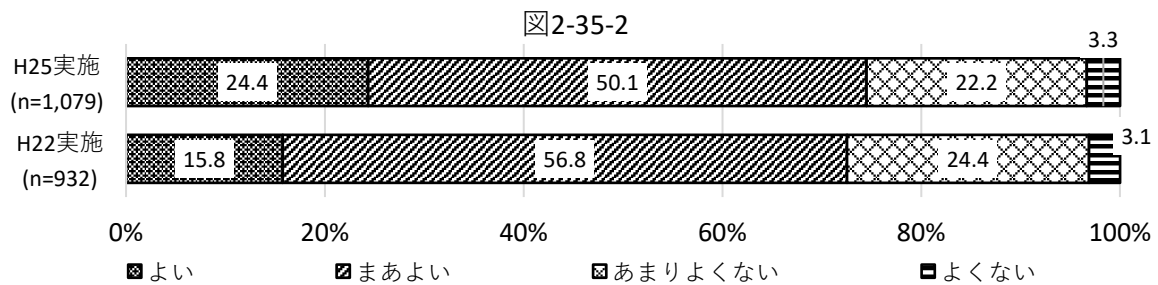
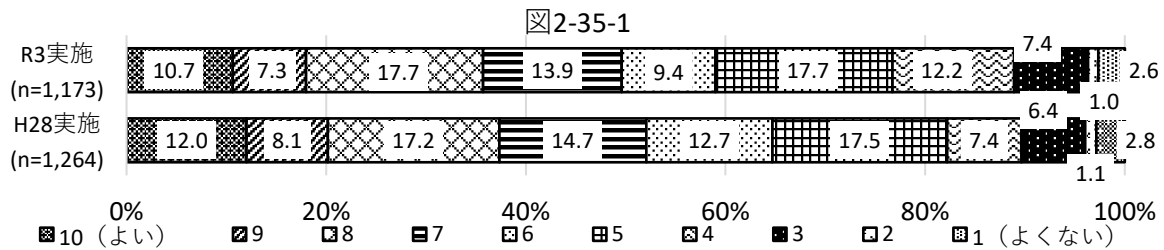
## 第2節 歯科の健康に関する意識



問 35 あなたの現在のお口の健康状態及び全身の健康状態はどうか？（それぞれ1つに○）

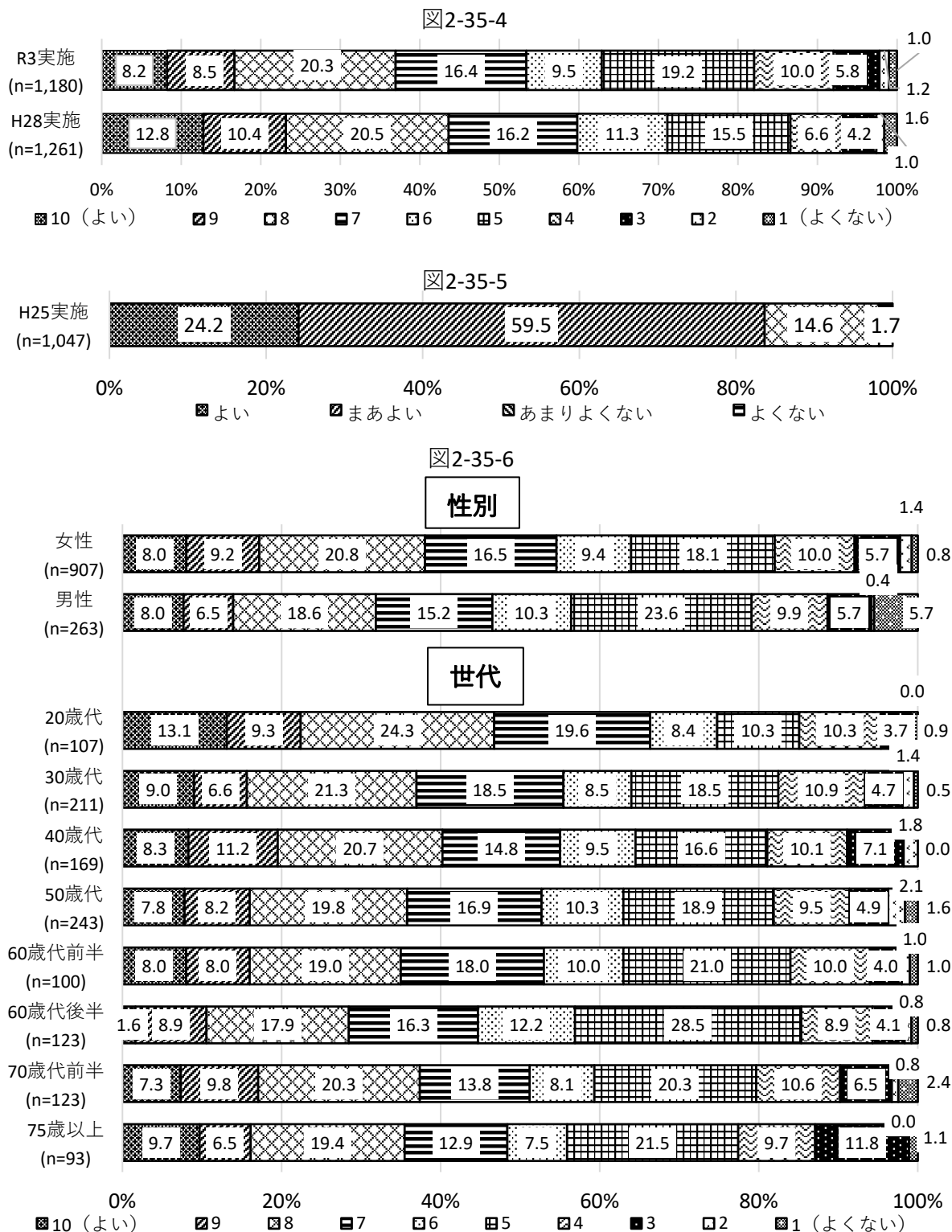
お口の健康状態

全体では、口の健康状態は、よい（6～10）と回答した割合は59%で前回調査より低下した。男女別では、女性のよいと回答した割合の約61%が、男性の約53%より高かった。世代別では、20歳代でよいと回答した割合が約70%と最も高く、世代が上がるにつれて割合が低下していたが、60歳以上の世代では約半数であった。



### 全身の健康状態

全体では、全身の健康状態はよい（6～10）と回答した割合は約63%で前回調査より低下し、口の健康状態と比較してやや高い割合であった。男女別では、女性のよいと回答した割合の約64%が、男性より高かった。世代別では、よいと回答した割合は20歳代の約75%が最も高い割合で、世代が上がるにつれてその割合は減少し、75歳以上の56%が最も低い割合だった。

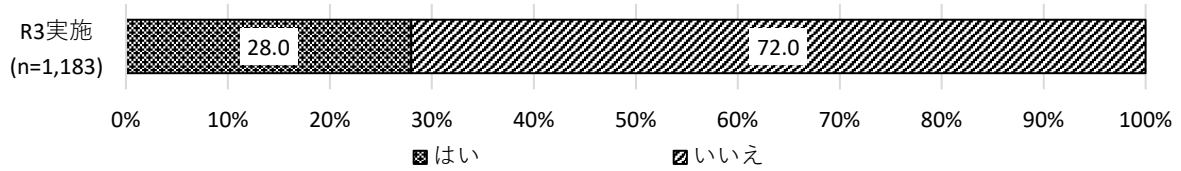




問 36 あなたの現在のお口の健康状態などについて、以下の質問にお答えください。  
 (それぞれ1つに○)

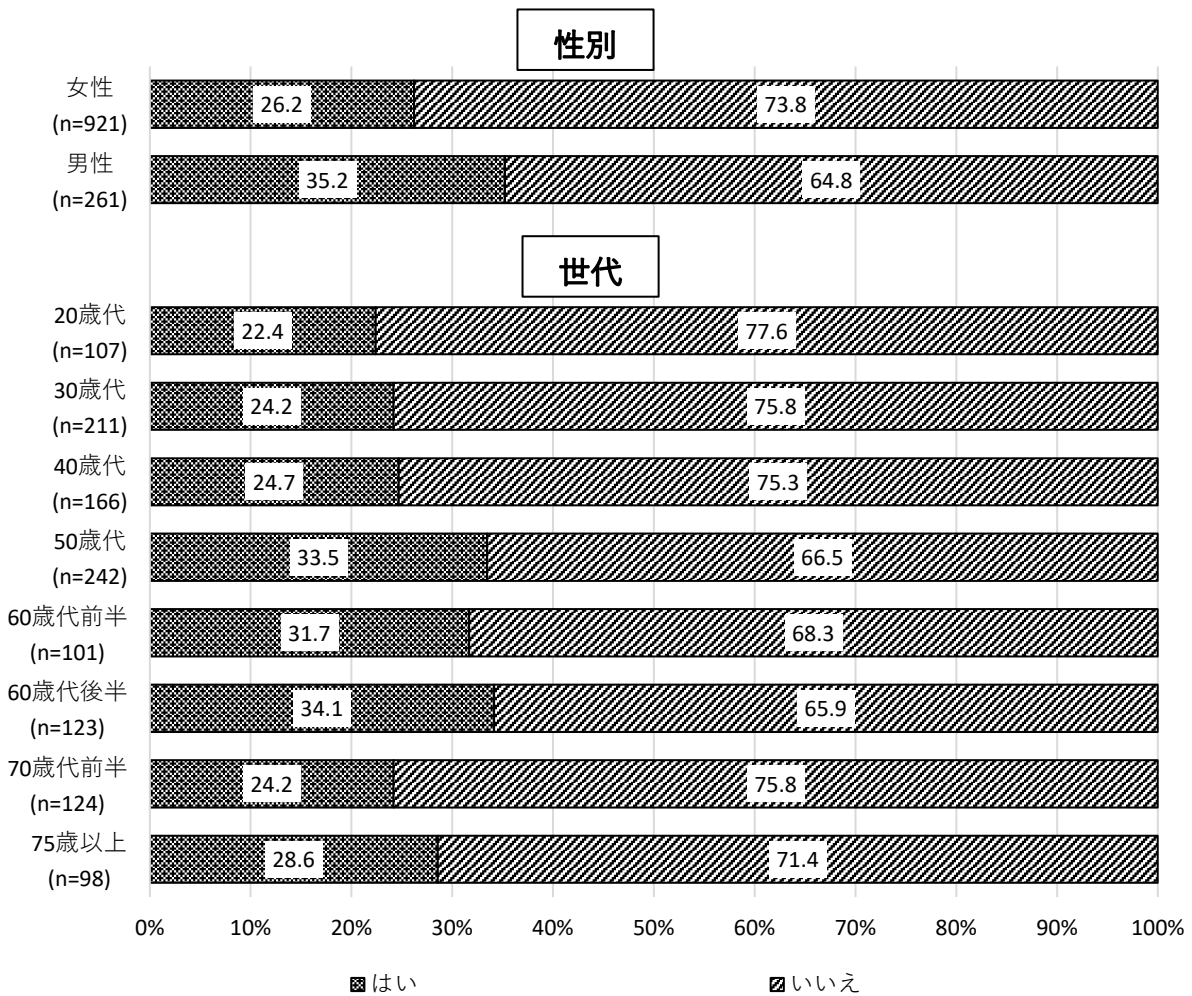
歯ぐきが腫れることがあるか

図2-36-1



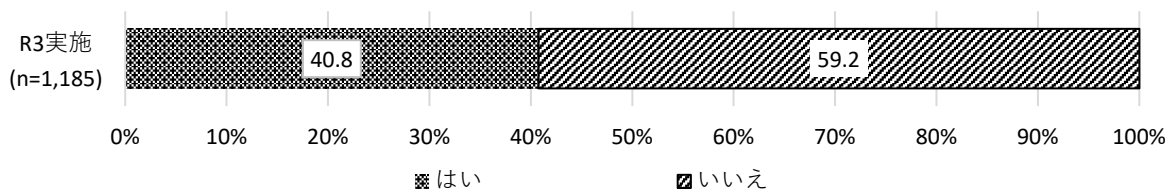
全体では、「歯ぐきが腫れたことがある」と回答した割合は3割近くを占めていた。男女別では、男性の割合は3割を超えており、女性より高かった。世代別では、「歯ぐきが腫れたことがある」の割合は50歳代、60歳代前半および60歳代後半の世代が3割を超えて高かった。

図2-36-2



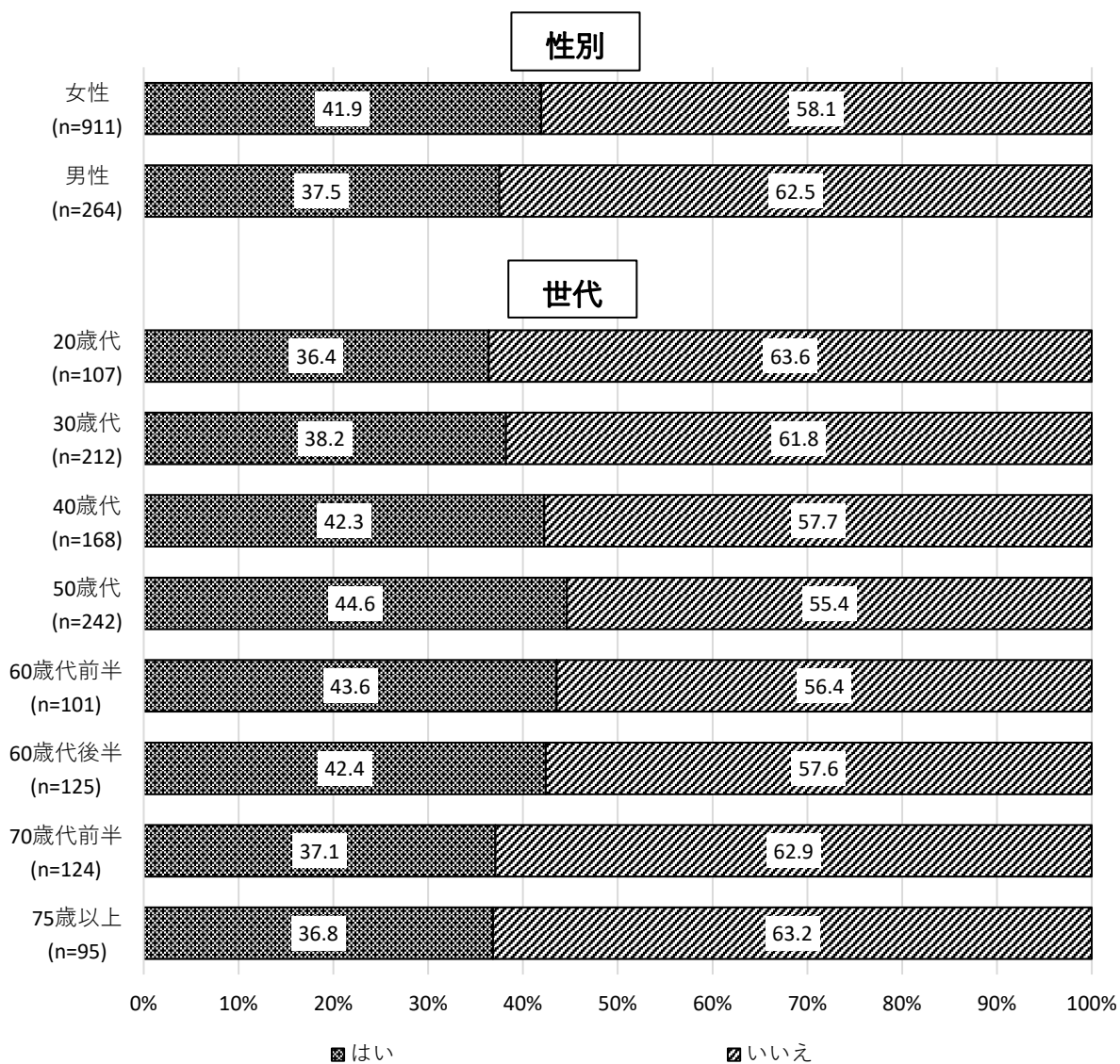
歯が痛んだり、しみたりすることがあるか

図2-36-3



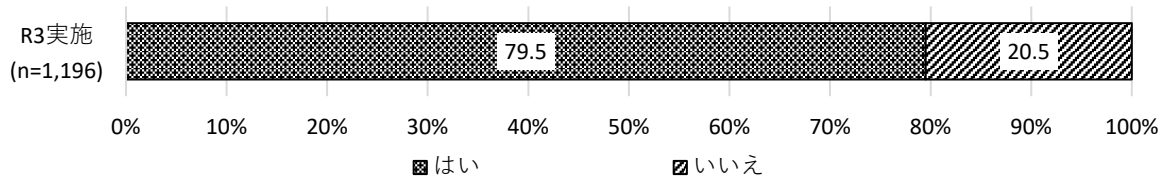
全体では、「歯が痛んだり、しみたりすることがある」と回答した割合は4割を超えていた。男女別では、女性の割合は4割を超えており、男性より高かった。世代別では、「歯が痛んだり、しみたりすることがある」の割合は40歳代から60歳代後半の世代が4割を超えて高かった。

図2-36-4



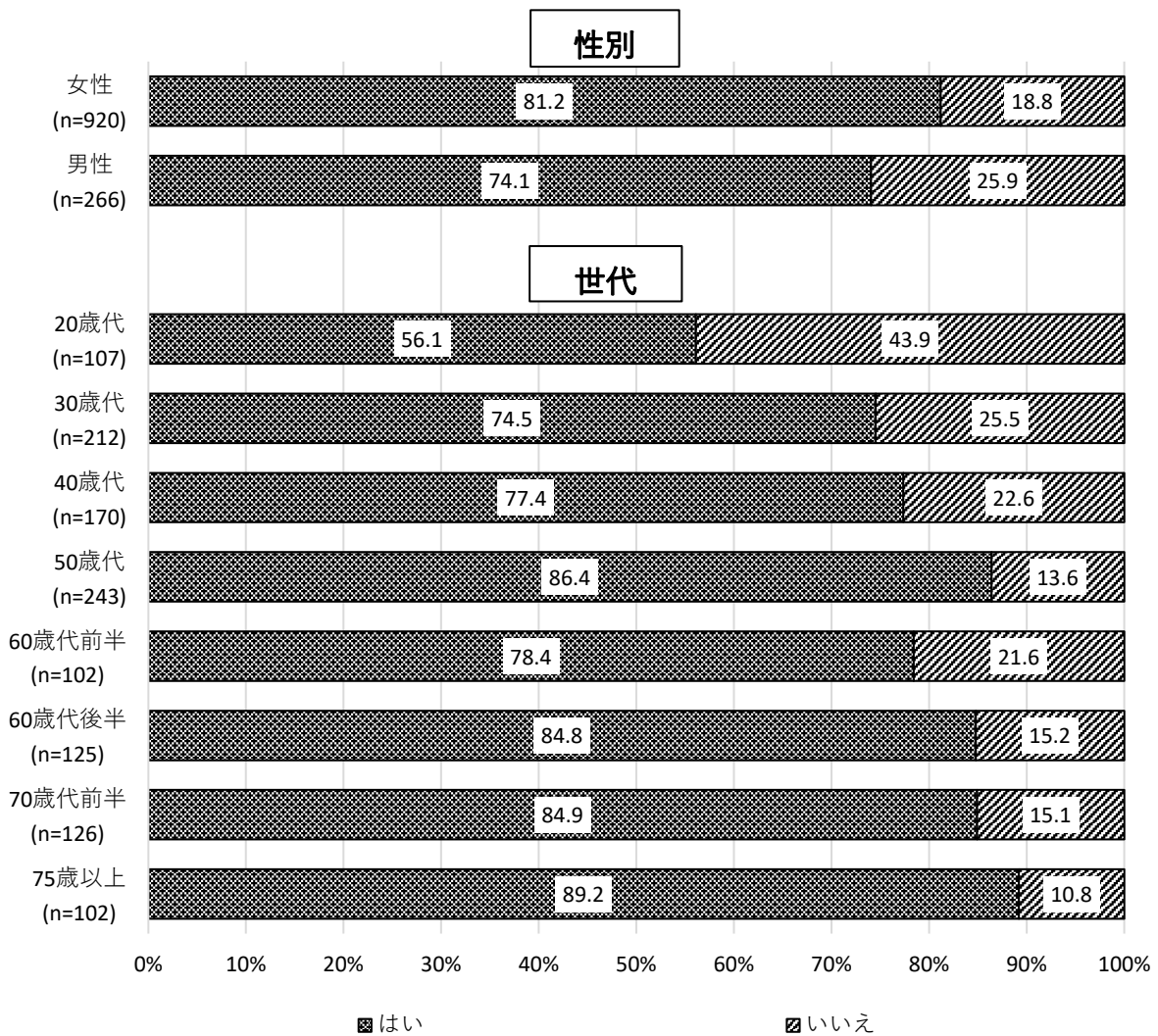
かかりつけの歯医者さんがいるか

図2-36-5

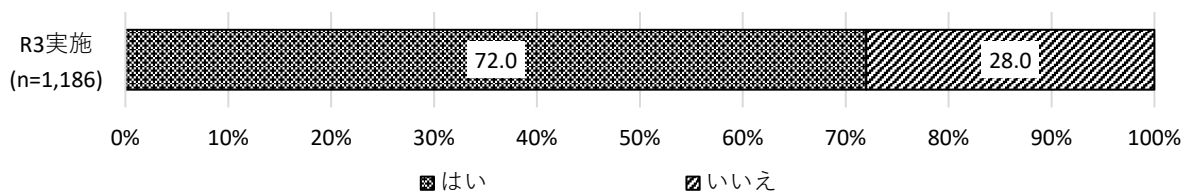


全体では、「かかりつけの歯医者さんがいる」と回答した割合は8割近くを占めていた。男女別では、女性の割合は8割を超えており、男性より高かった。世代別では、「かかりつけの歯医者さんがいる」の割合は20歳代で低く、50歳代、60歳代後半、70歳代前半および75歳以上の世代が8割を超えて高かった。

図2-36-6

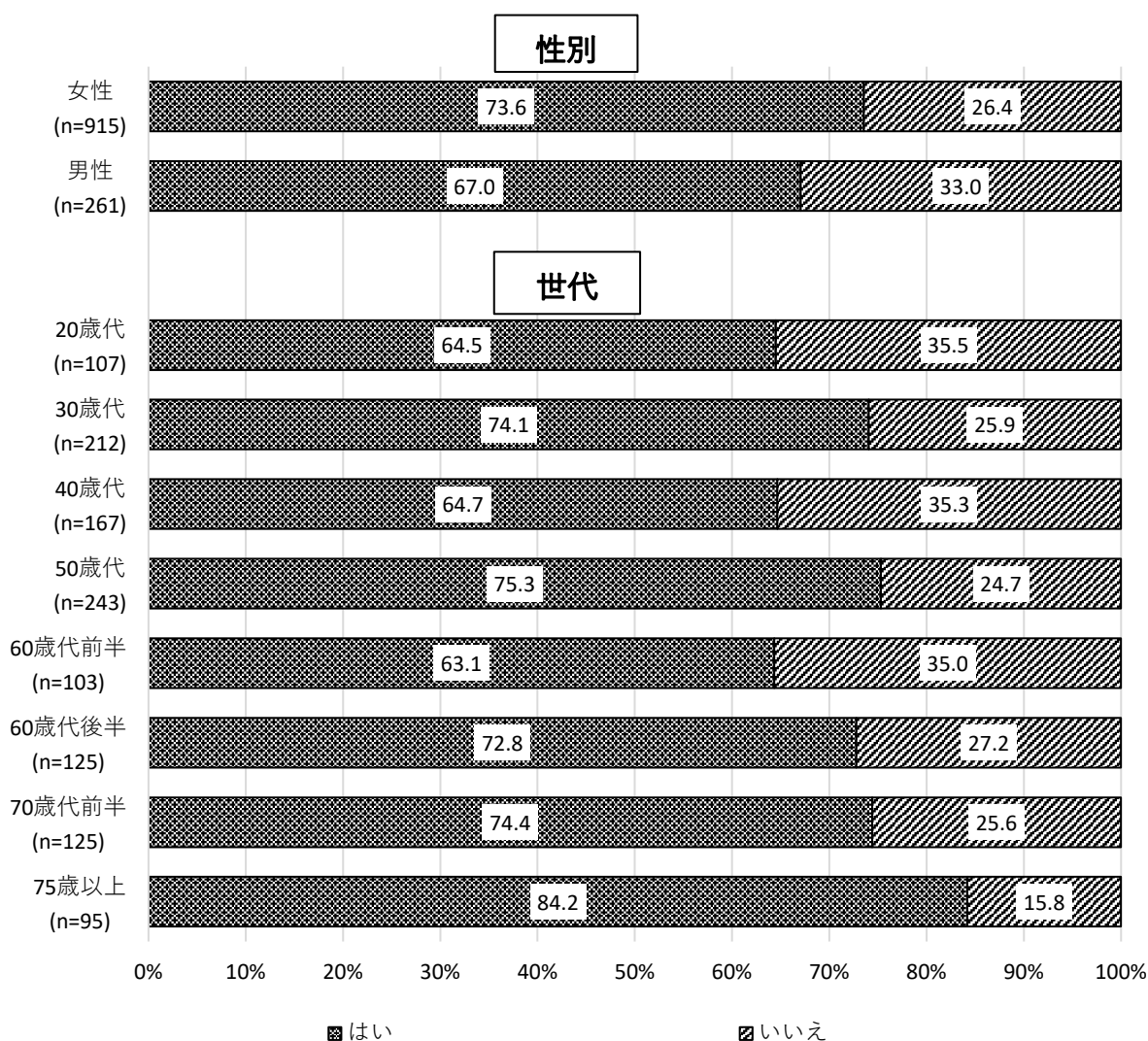


歯の治療は早めに受けるようにするか 図2-36-7



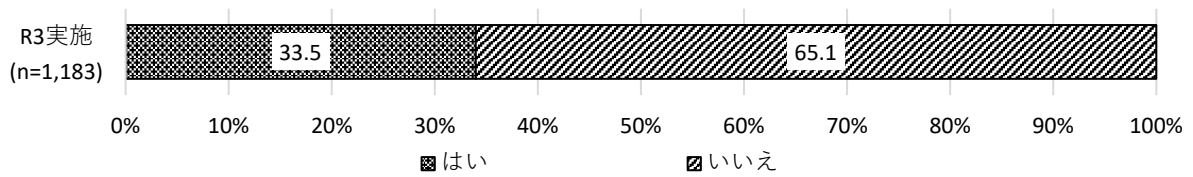
全体では、「歯の治療は早めに受けるようにする」と回答した割合は7割を超えていた。男女別では、女性の割合は7割を超えており、男性より高かった。世代別では、「歯の治療は早めに受けるようにする」の割合は30歳代、50歳代、60歳代後半および70歳代前半の世代が7割を超えており、特に75歳以上の世代が8割を超えて最も高かった。

図2-36-8



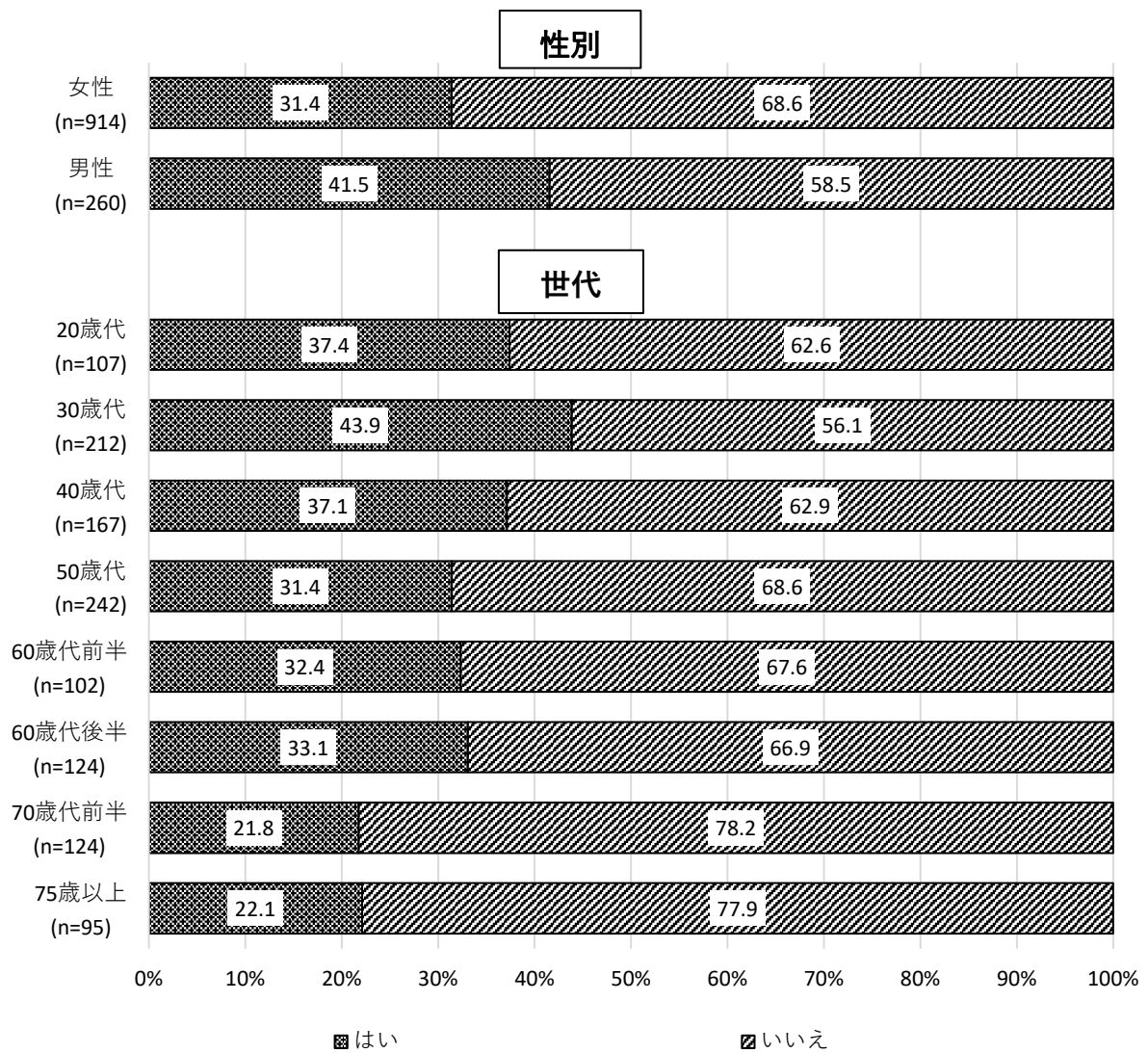
歯ぐきから血が出ることもあるか

図2-36-9



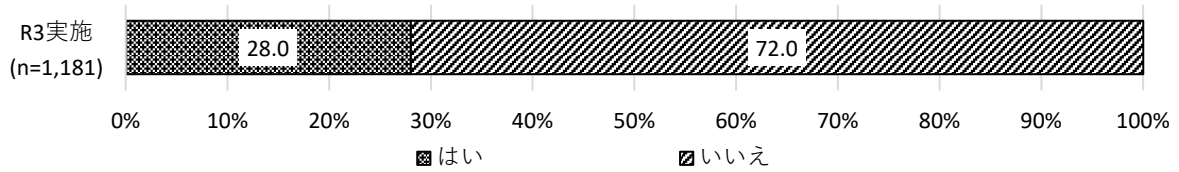
全体では、「歯ぐきから血が出ることもある」と回答した割合は約3分の1であった。男女別では、男性の割合は4割を超えており、女性より高かった。世代別では、「歯ぐきから血が出ることもある」の割合は30歳代が最も高く、70歳代前半と75歳以上の世代が低かった。

図2-36-10



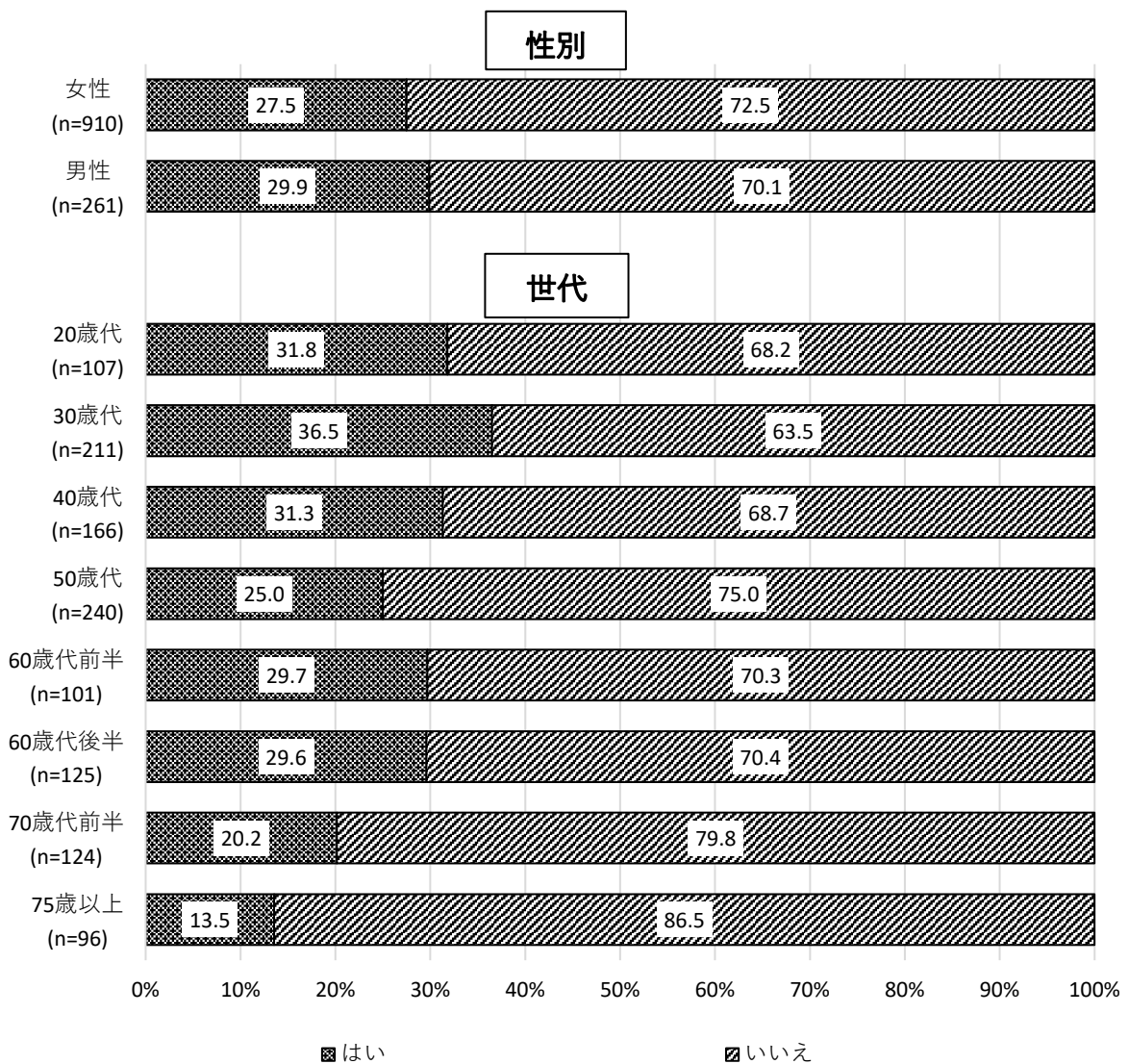
口臭が強い自覚があるか

図2-36-11



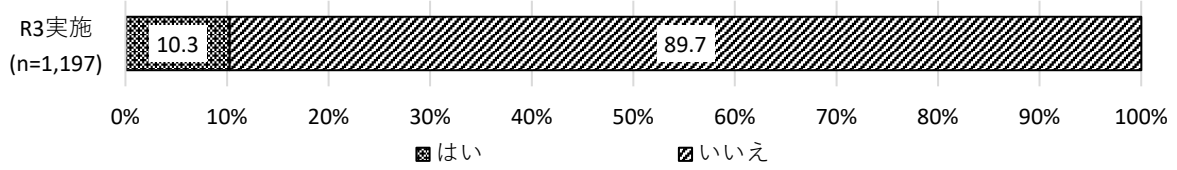
全体では、「口臭が強い自覚がある」と回答した割合は3割近くを占めていた。男女別では、男性と女性の割合はほぼ同等であった。世代別では、「口臭が強い自覚がある」の割合は30歳代が最も高く、70歳代前半と75歳以上の世代が低かった。

図2-36-12



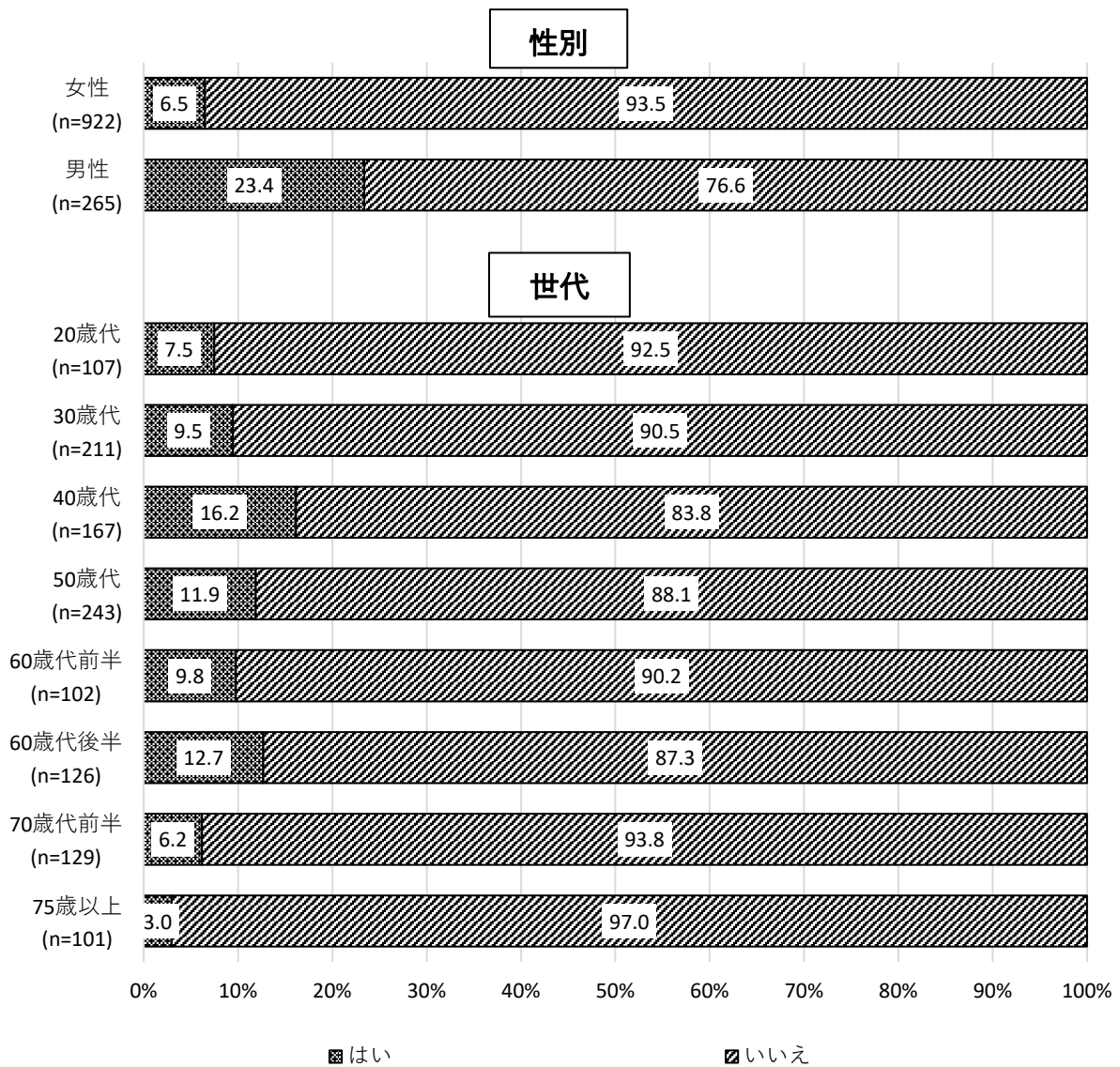
たばこを吸うか

図2-36-13



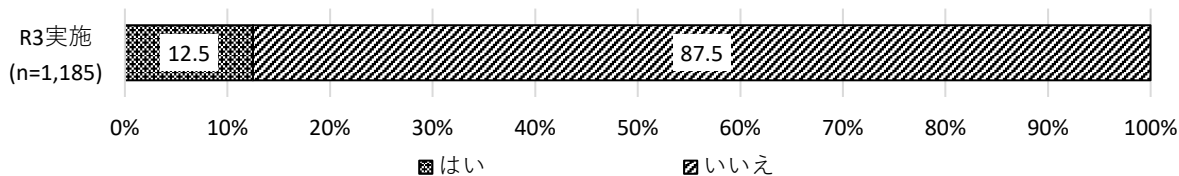
全体では、「たばこを吸う」と回答した割合は約1割であった。男女別では、男性の割合は2割を超えており、女性より高かった。世代別では、「たばこを吸う」の割合は40歳代が最も高く、20歳代および70歳代前半の世代が低く、75歳以上が最も低かった。

図2-36-14



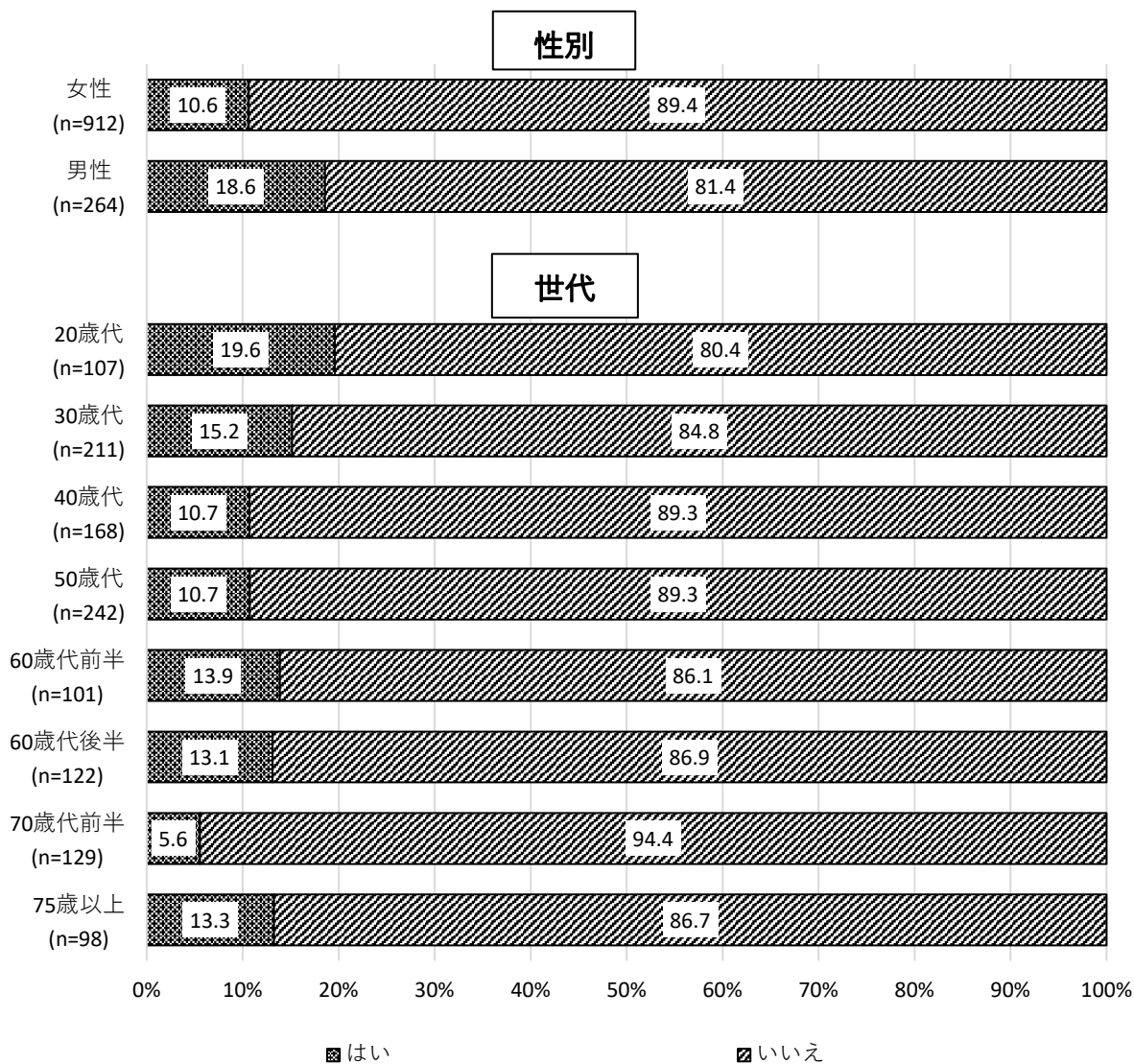
代用甘味料使用の食品を好んで食べるか

図2-36-15



全体では、「代用甘味料使用の食品を好んで食べる」と回答した割合は約1割であった。男女別では、男性の割合は2割近くを占めており、女性より高かった。世代別では、「代用甘味料使用の食品を好んで食べる」の割合は20歳代で最も高く、70歳代前半で最も低かった。

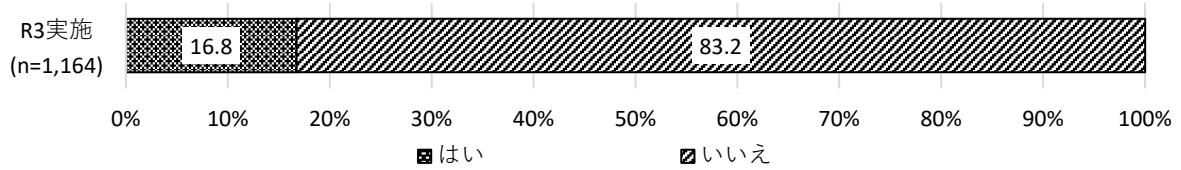
図2-36-16





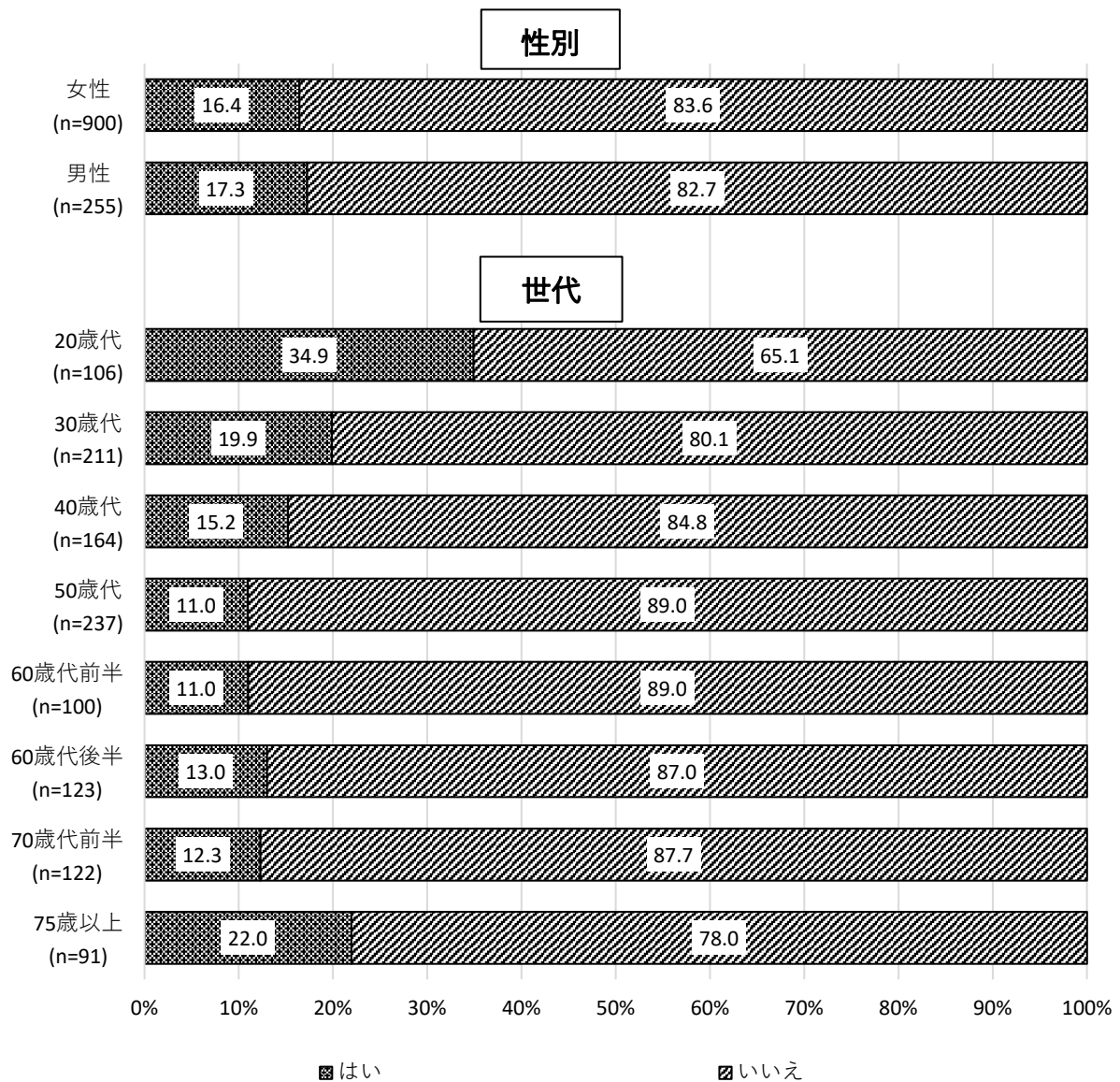
知人や友人とよく食事するか

図2-36-17

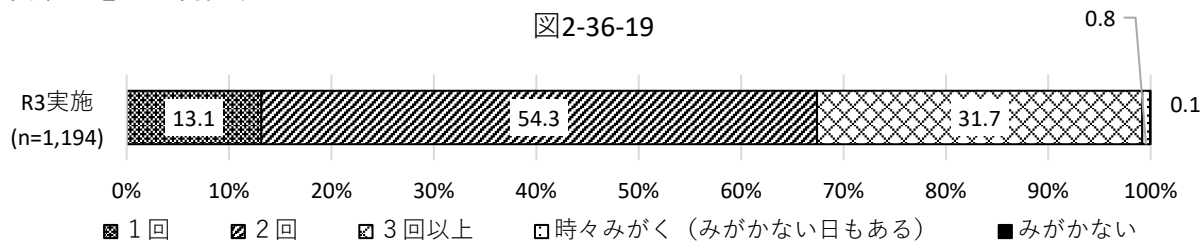


全体では、「知人や友人とよく食事する」と回答した割合は2割以下であった。男女別では、男性と女性の割合は同等であった。世代別では、「知人や友人とよく食事する」の割合は20歳代で最も高く、次いで75歳以上が高かった。

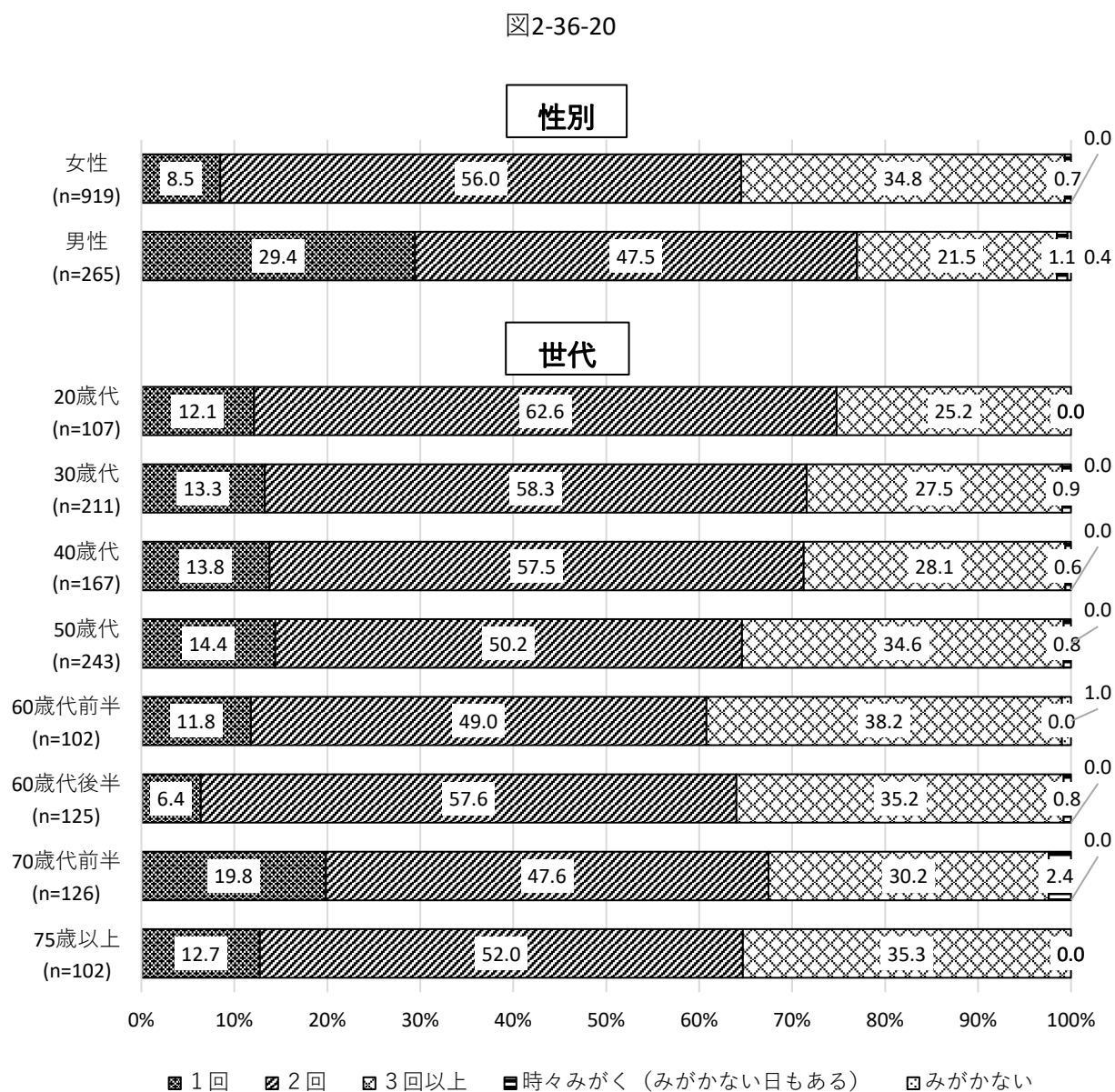
図2-36-18



歯磨きを1日何回するか

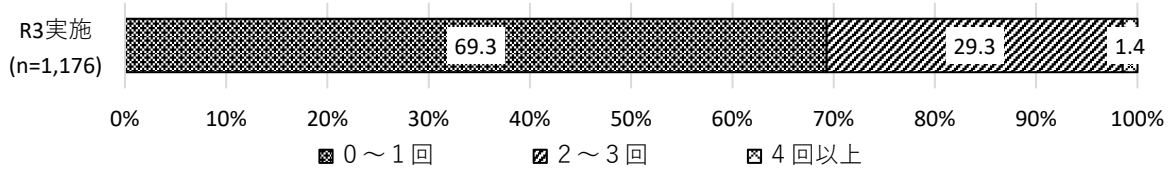


全体では、1日2回の歯磨きが最も多く半数を超えており、2回以上（2回+3回以上）が86%であった。男女別では、女性では2回以上の割合は約9割で、男性より高かった。世代別では、2回以上の割合は60歳代後半で最も高く、70歳代前半で最も低かった。



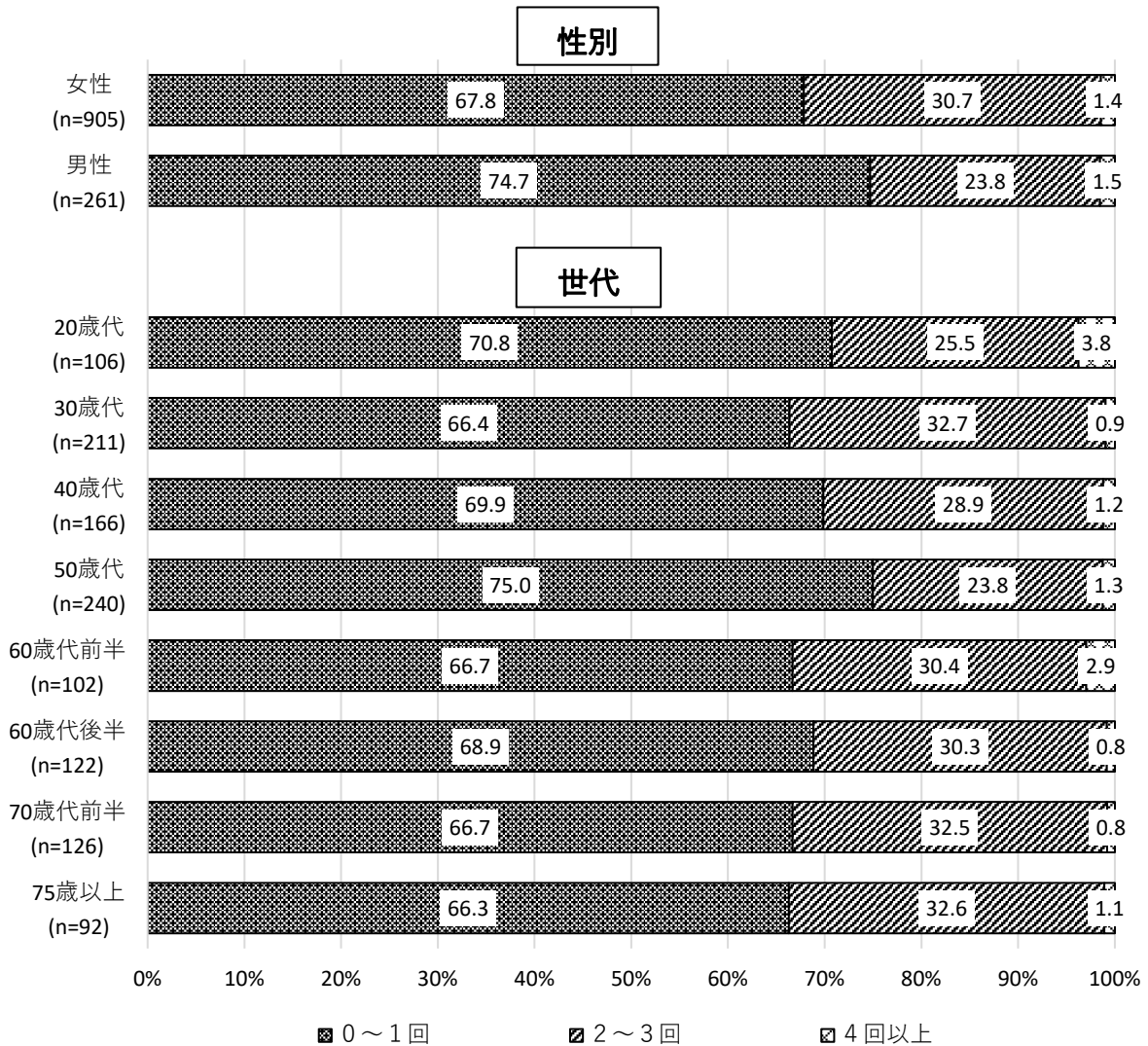
間食は1日何回とりますか

図2-36-21



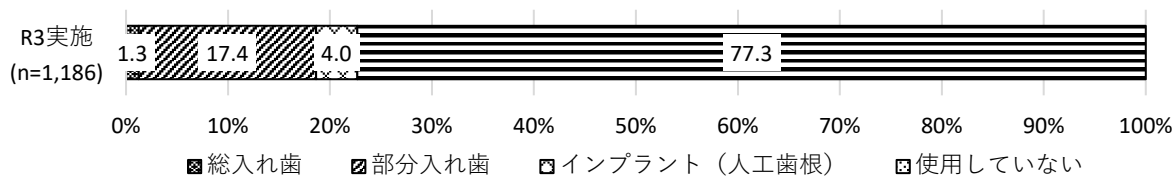
全体では、間食数が少ない「間食は1日に0回から1回とる」が約7割で最も多く、2回以上（2から3回+4回以上）が約3割であった。男女別では、男性が「間食は1日に0回から1回とる」割合は約4分の3を占めており、女性より高かった。世代別では、「間食は1日に0回から1回とる」割合は20歳代と50歳代で7割を超えて高かった。

図2-36-22



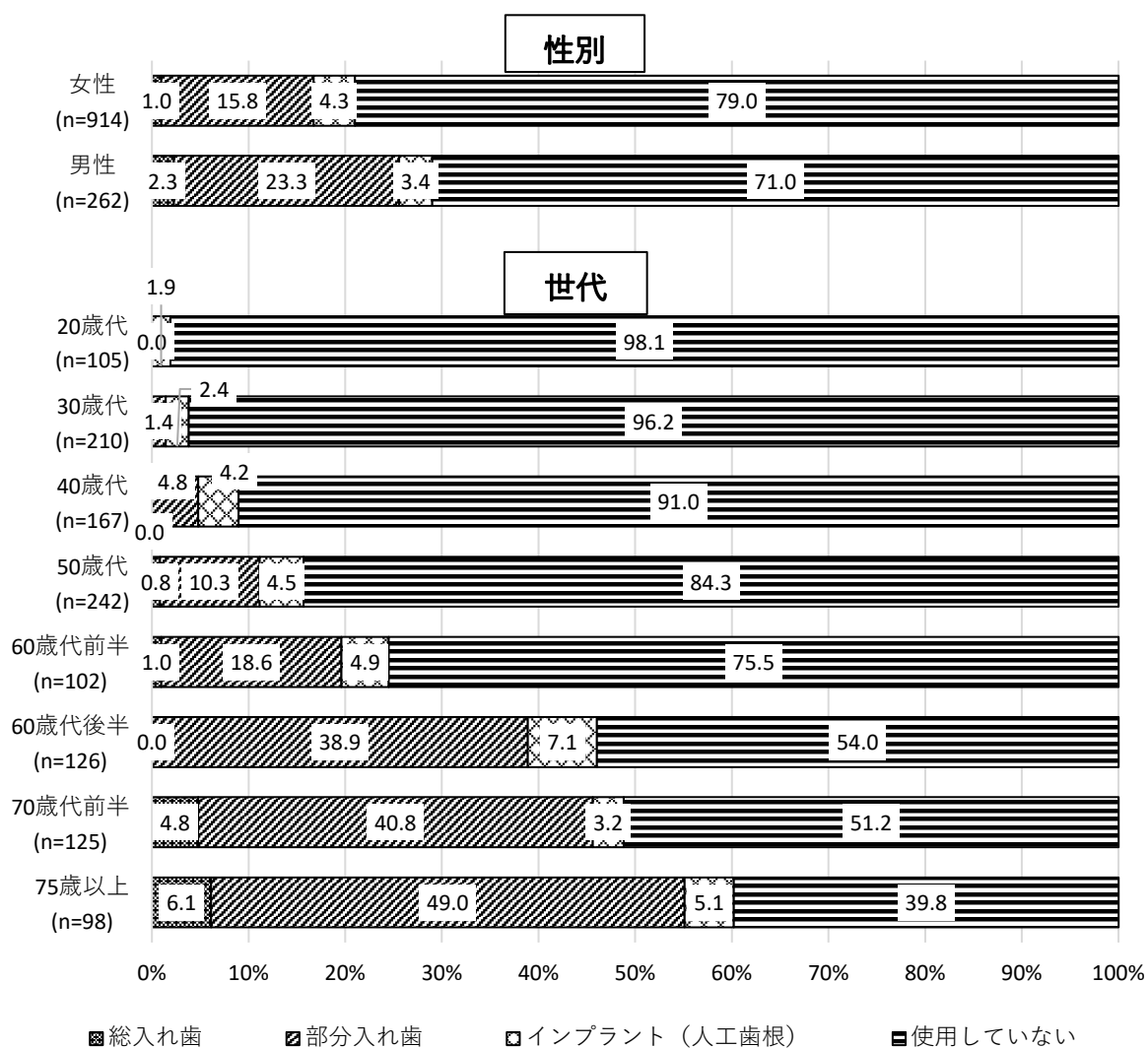
入れ歯（インプラント）を使っているか

図2-36-23



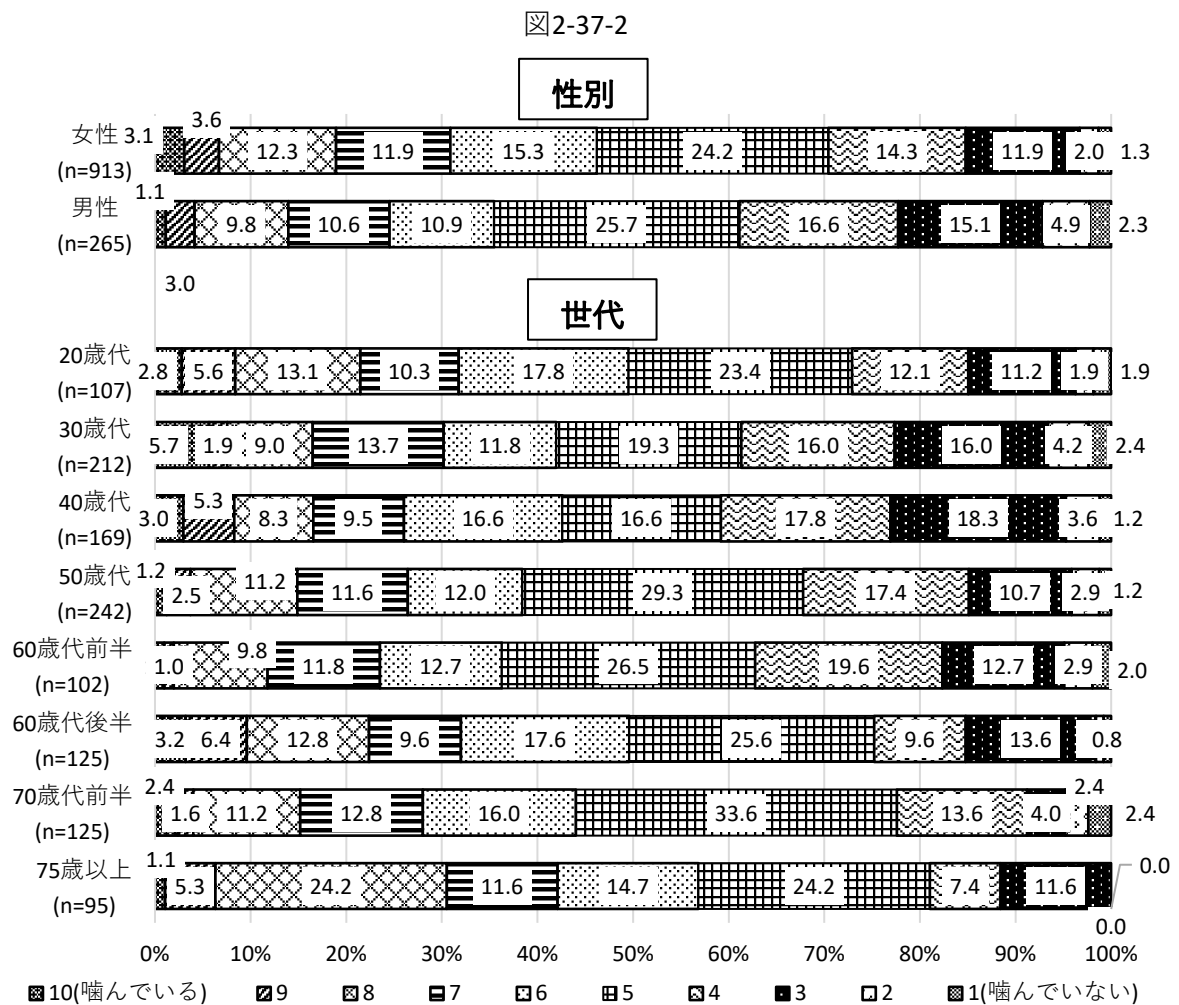
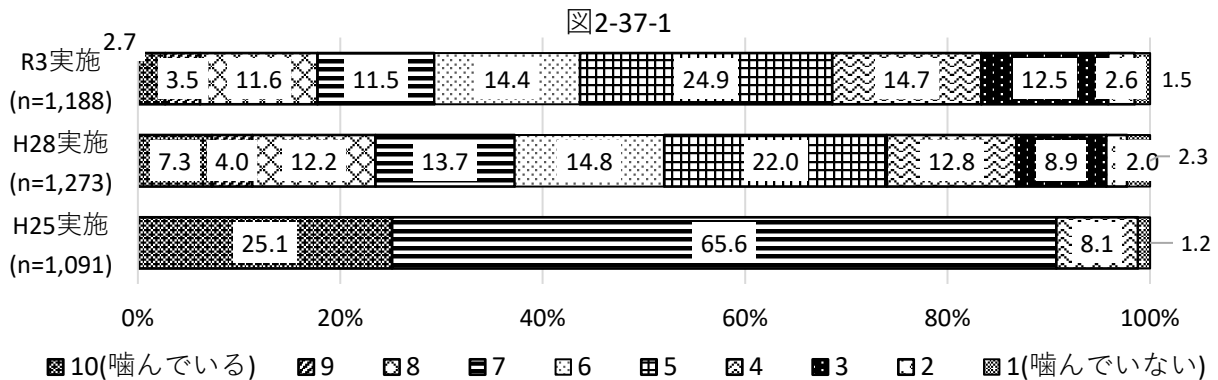
全体では、入れ歯（インプラント）を使用している割合は2割を超えており、部分入れ歯を使用割合が最も高かった。男女別では、男性では入れ歯（インプラント）を使用している割合は3割近くを占めており、女性より高かった。世代別では、世代が上がるにつれて、入れ歯（インプラント）の使用割合が増加し、40歳代では1割に満たないが、60歳代前半では約4分の1、60歳代後半と70歳前半の世代では半数近くを占め、75歳以上は6割を超えていた。

図2-36-24



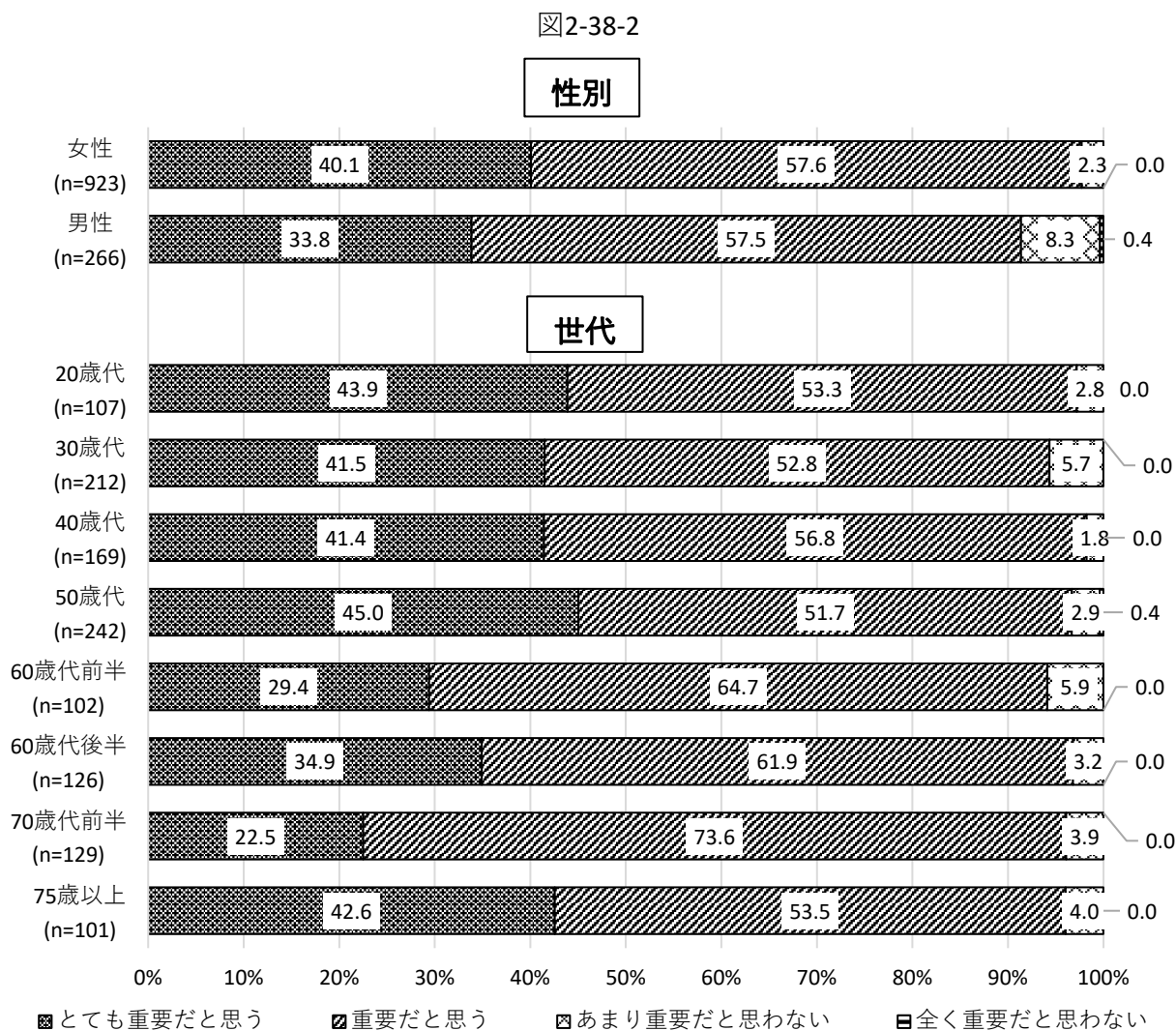
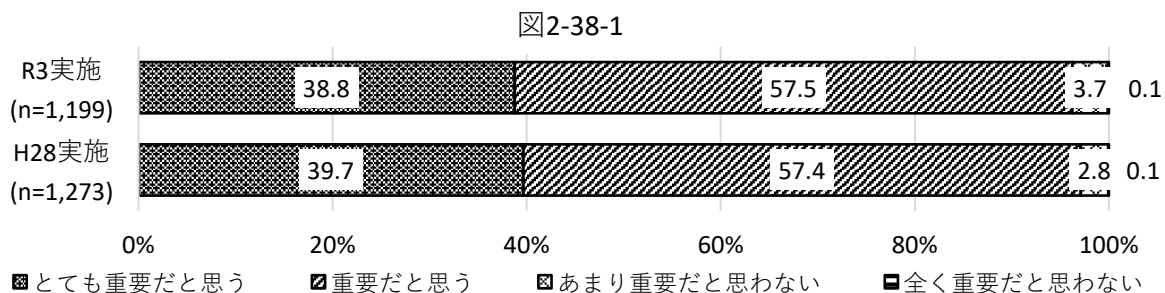
問37 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか？（1つに○）

全体ではゆっくりよく噛んでいる（6～10）割合は43%で前回調査より低下した。男女別では、女性の割合は約46%で、男性の割合の約35%より高かった。世代別では、ゆっくりよく噛んでいる割合は、20歳代から60歳代前半まで世代が上がるにつれて低下しているが、60歳代後半以上は高い傾向で、特に75歳以上が最も高かった。



問 38 ゆっくりよく噛んで食べることを重要だと思いますか？（1つに○）

全体では、ゆっくりよく噛んで食べるのが重要である（「とても重要だと思う」＋「重要だと思う」）と回答した割合は 95%以上で前回調査と同等であった。男女別では、重要であると回答した割合は女性が男性より高かった。世代別では、ゆっくりよく噛んで食べるのが重要であると回答した割合は大差がなかったが、「とても重要だと思う」と回答した割合は、60歳前半から70歳前半までの世代は低い傾向にあった。



問 39 噛ミング30（カミングサンマル）という言葉や意味を知っていますか？（1つに○）

全体では、言葉は知っている（「言葉も意味も知っている」＋「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」）の割合は30%で前回調査より低下した。男女別では、言葉は知っている割合は女性が男性より高かった。世代別では、言葉は知っている割合は20歳代から50歳代までは同等で、60歳前半以上の世代で高い傾向があり、特に70歳代前半で最も高かった。

※噛ミング30（カミングサンマル）とは、平成21年に厚生労働省が提唱した、ひと口につき30回以上噛むことを推奨した歯科保健分野からの食育の目標。

図2-39-1

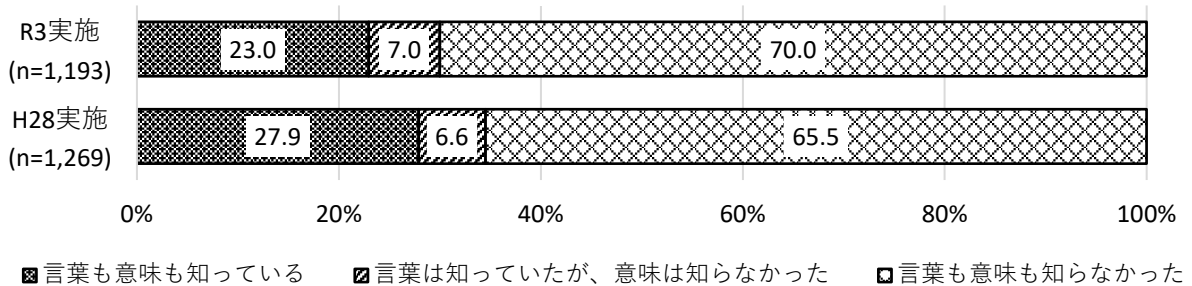
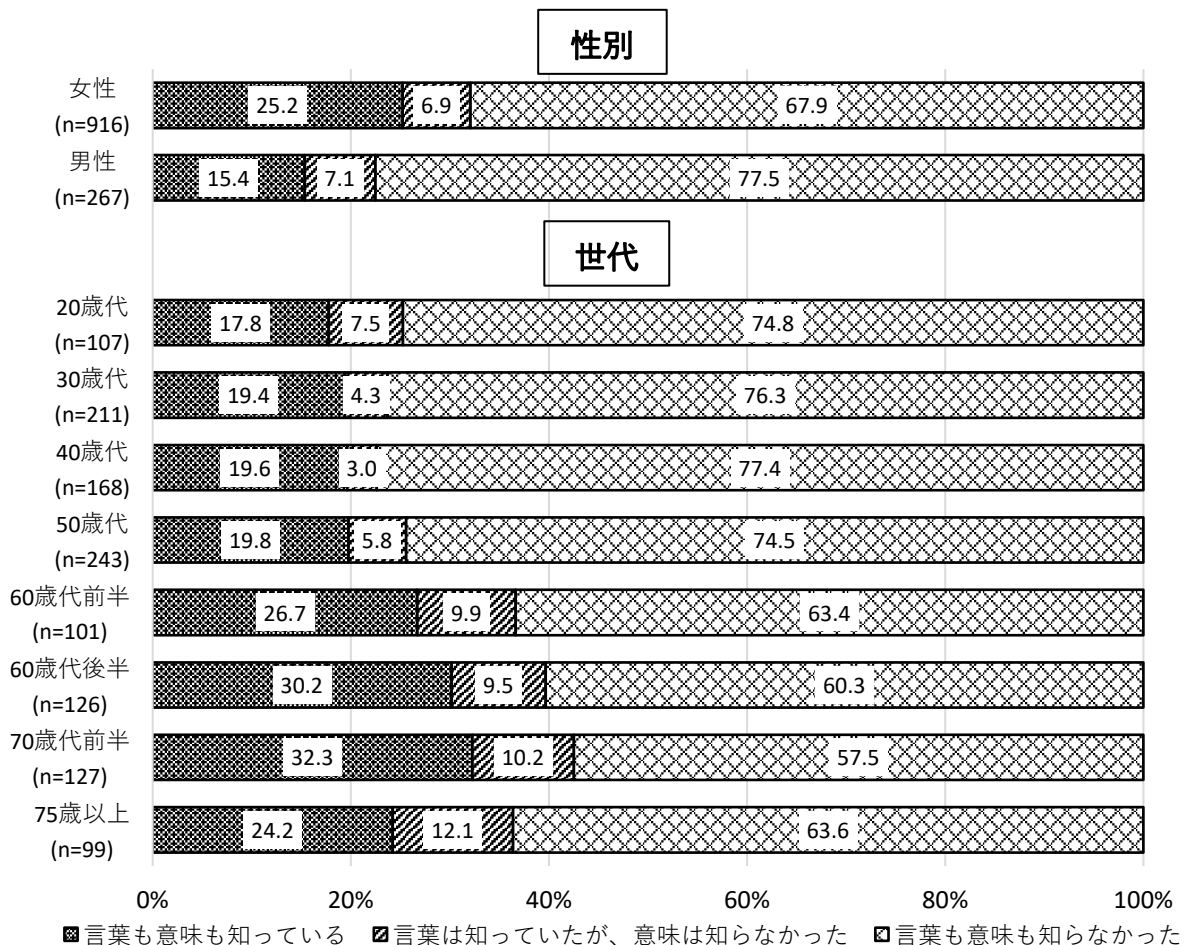


図2-39-2



問 40 噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか？（1つに○）

全体では、関心がある（関心がある+どちらかといえば関心がある）割合は約 63%で前回調査より低下した。男女別では、女性の関心がある割合は男性よりやや高かった。世代別では、関心がある割合は 60 歳代前半が最も低く、他の世代は同等であった。

図2-40-1

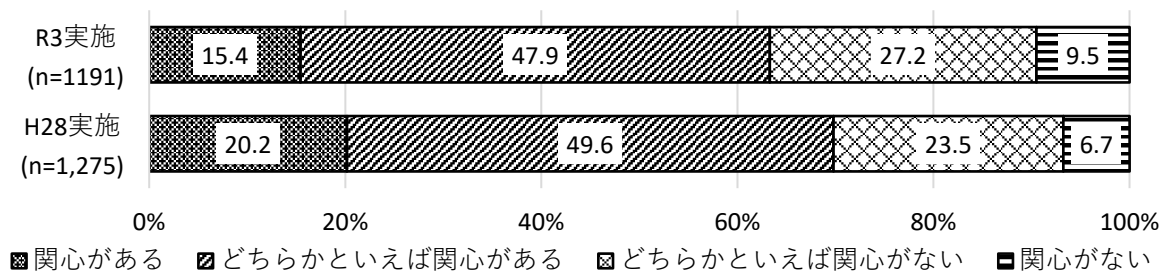
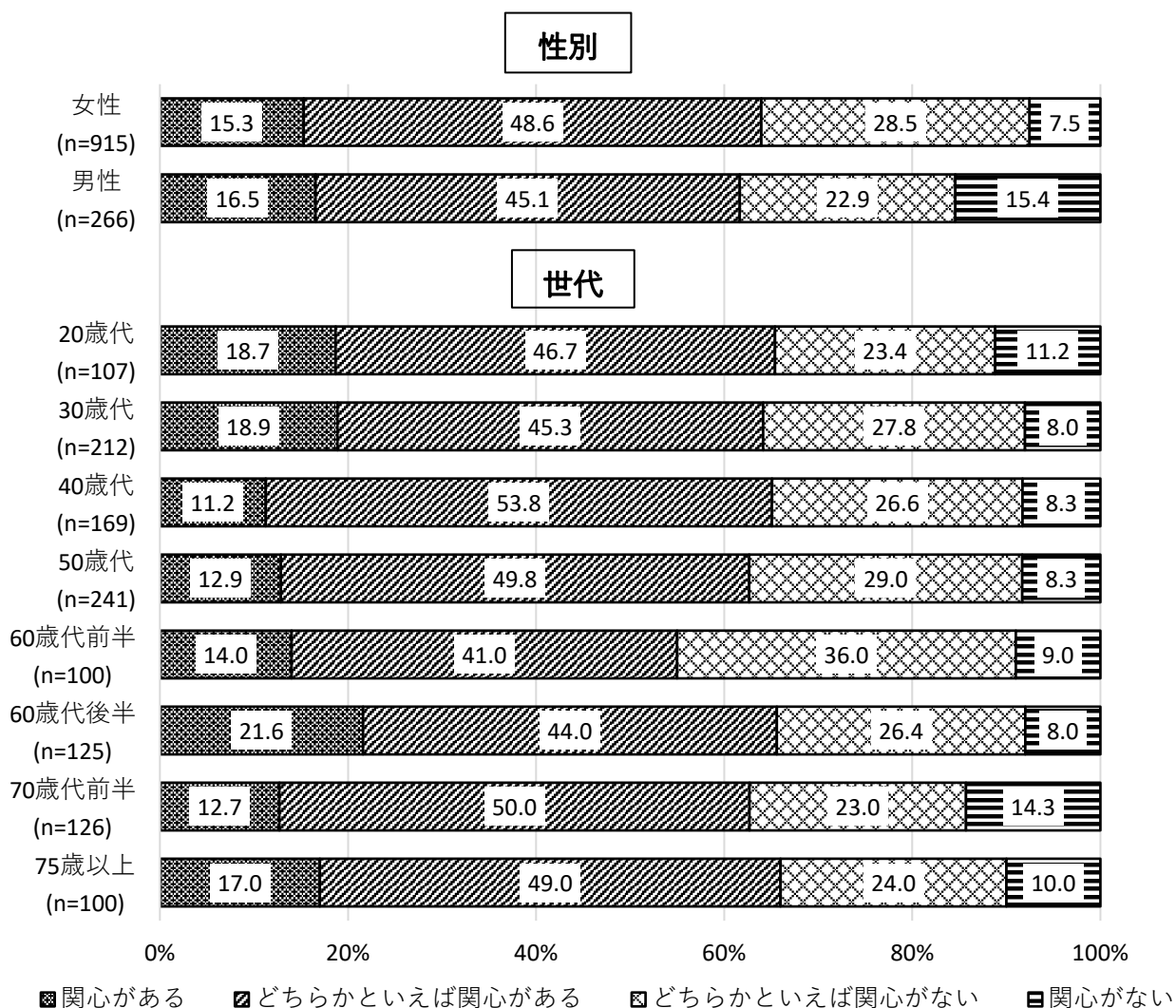


図2-40-2



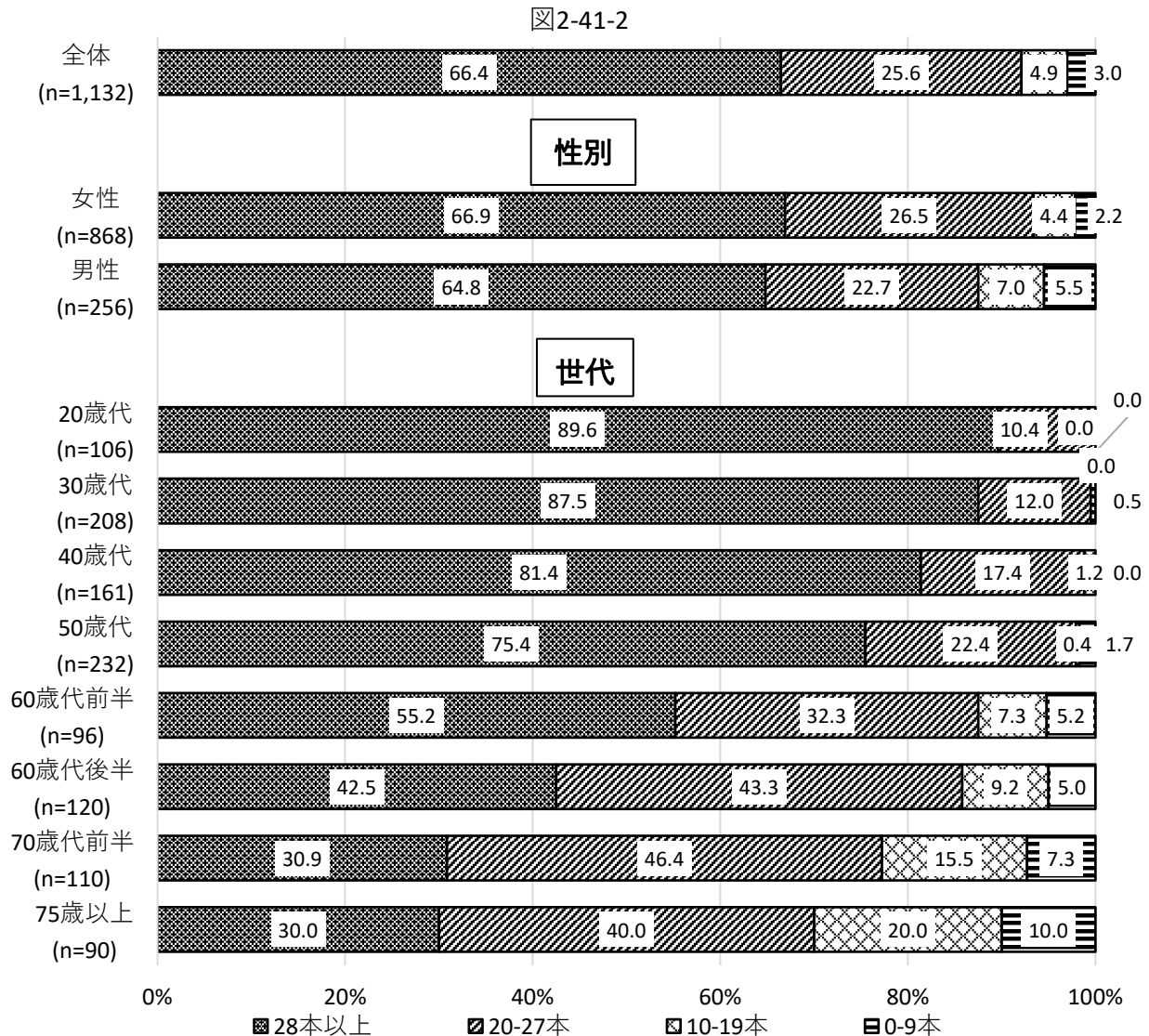


**問 41 あなたの歯の数は現在何本ですか？**

※成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で 32 本です。なお、かぶせた歯、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。

全体では、現在の歯の本数の回答は、平均26.8本で 過去の調査結果と同等であった。また20本以上（「20～27本」＋「28本以上」）の割合は9割を超えていた。男女別では、女性の20本以上と回答した割合が男性より高かった。世代別では、20本以上と回答した世代の割合は、年齢とともに減少しており、60歳代前半以上の世代になると減少率が高く、75歳以上では70%と最も低かった。

26.8 本	(R3 年実施 平均)
25.9 本	(平成 28 年実施 平均)
26.7 本	(平成 25 年実施 平均)
27.1 本	(平成 22 年実施 平均)



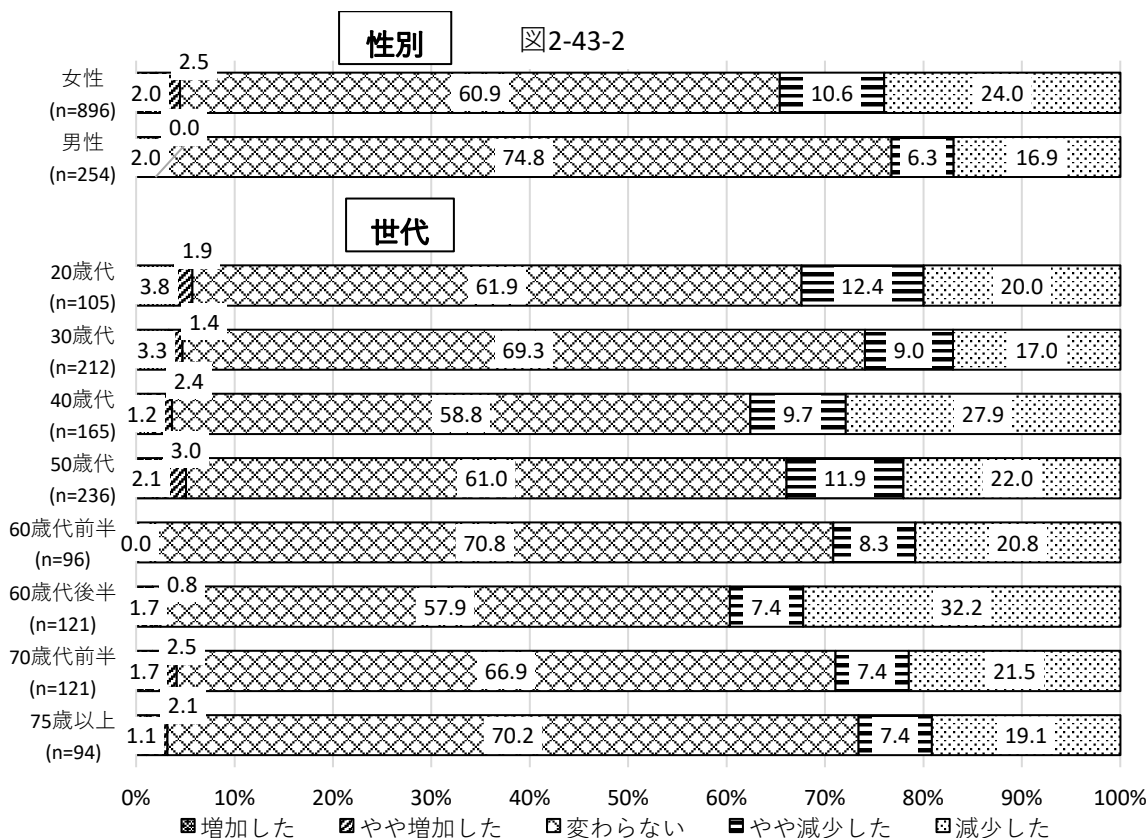
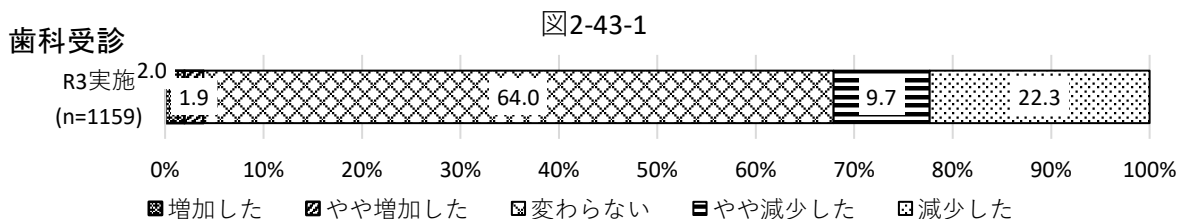
**問 42 前回、いつ歯科治療及び歯の健康診査を受けましたか？**

前回の歯科治療からの間隔の平均は、1年2か月となっており、前回調査（1年0か月）よりおよそ2か月長くなった。また歯の健康診査の間隔の平均は、10か月となっており、前回調査（10か月）と同等であった。

歯科診療	およそ1年2か月
歯の健康診査	およそ10か月

**問 43 新型コロナウイルス感染症の拡大後、歯科受診や医科受診の回数(頻度)は変わりましたか？(それぞれ1つに○)**

全体では、**歯科受診**については「変化なし」の割合が6割を超えており、減少（「減少」＋「やや減少」）の32%が増加（「増加」＋「やや増加」）の約4%を大きく上回っていた。男女別では、男性の「変化なし」割合が約4分の3を占めており、また女性の方が男性より減少の割合が高かった。世代別では、すべての世代で「変化なし」の割合が最も高かった。またすべての世代で減少が増加を大きく上回っており、特に60歳代後半が最も高く、次いで40歳代が高かった。



全体では、**医科受診**については「変化なし」の割合が約3分の2であり、減少（「減少」＋「やや減少」）の約28%が増加（「増加」＋「やや増加」）の約4%を大きく上回っていた。医科受診の回数（頻度）は歯科受診と同様の傾向であった。男女別では、男性の「変化なし」割合が約4分の3であり、女性の方が男性より減少の割合が高かった。世代別では、すべての世代で「変化なし」の割合が最も高かった。またすべての世代で減少の割合が増加の割合を大きく上回っており、特に40歳代の減少の割合が最も高く、次いで60歳代後半が高かった。

医科受診

図2-43-3

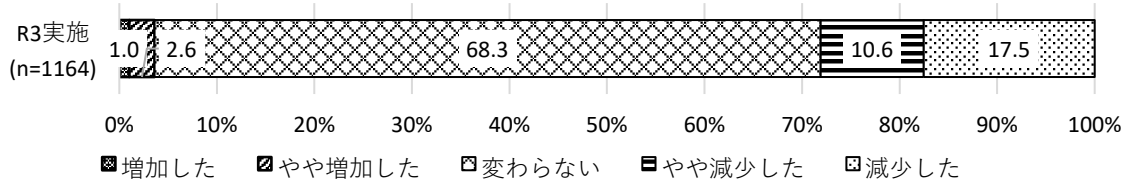
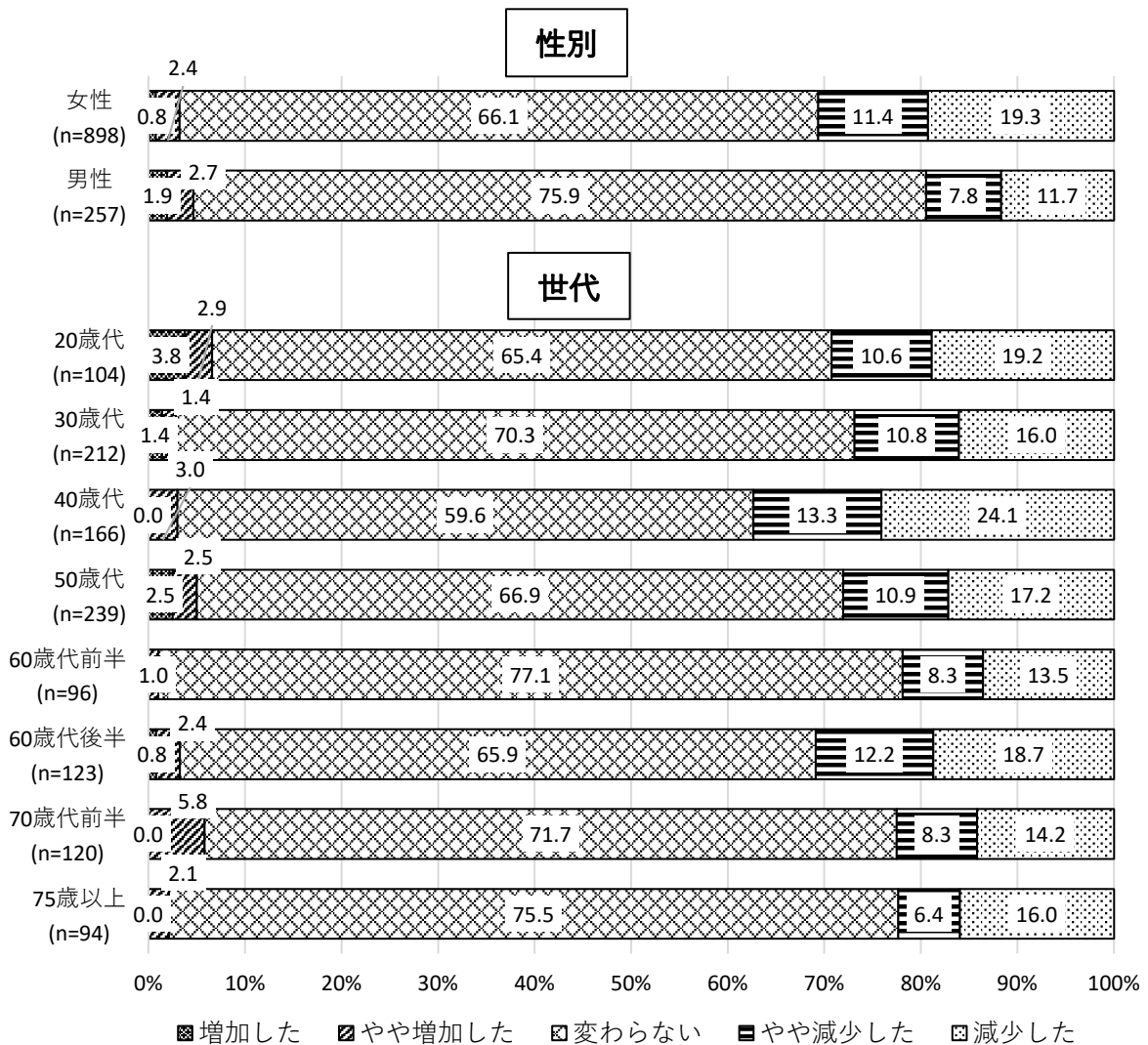


図2-43-4



**問 44 新型コロナウイルス感染症の拡大後、お口や全身の健康状態はどうか？**  
 (それぞれ1つに○)

全体では、口の健康状態については「変化なし」の割合が7割を超えており、良い（「良い」＋「やや良い」）の約15%が悪い（「悪い」＋「やや悪い」）の約12%をやや上回っていた。男女別では、女性の悪い割合が、男性よりやや高かった。世代別では、すべての世代で「変化なし」の割合が最も高かった。また20歳代、30歳代、60歳代後半および75歳以上の世代の良い割合が高かったが、60歳代後半および75歳以上の世代では悪い割合も高い傾向が認められた。

お口の健康状態

図2-44-1

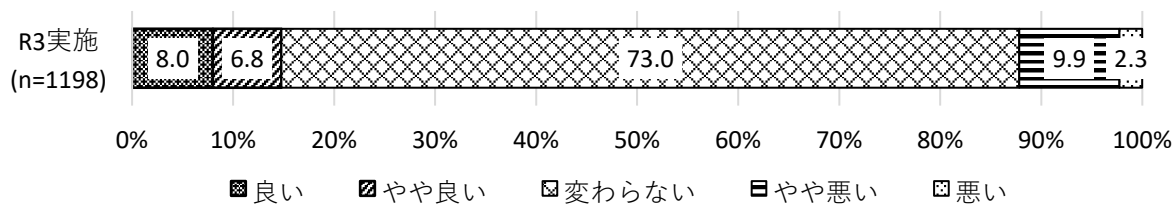
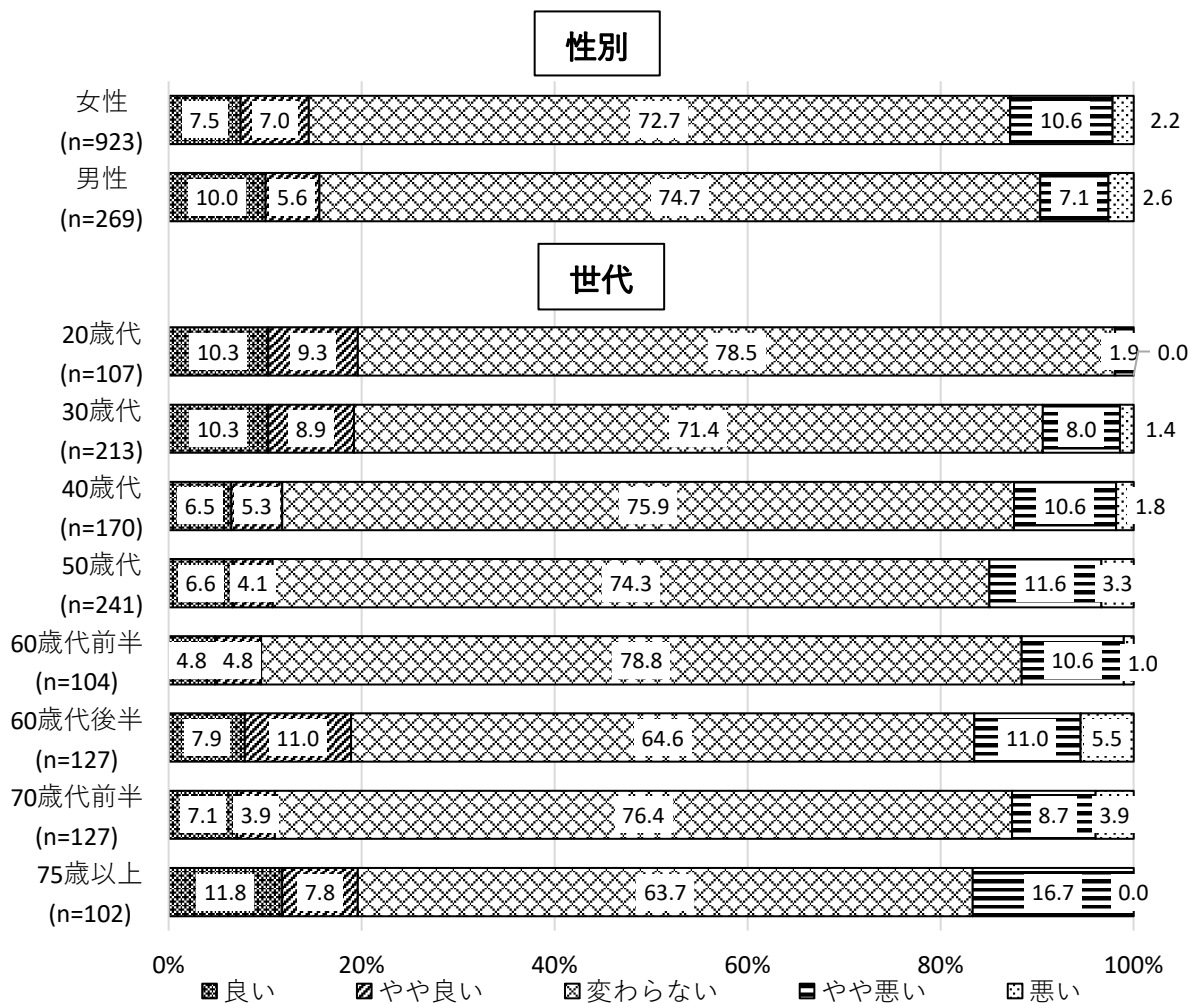


図2-44-2



全体では、全身の健康状態については「変化なし」の割合が約3分の2であり、悪い（「悪い」＋「やや悪い」）の約21%が良い（「良い」＋「やや良い」）の約14%を上回っていた。全身の健康状態の悪い割合が口の健康状態より高い傾向が認められた。男女別では、女性の悪い割合が、男性よりやや高かった。世代別では、すべての世代で「変化なし」の割合が最も高かった。また20歳代と75歳以上の世代の良い割合は高く、20歳代、50歳代および75歳以上の世代は悪い割合が高かった。

全身の健康状態

図2-44-3

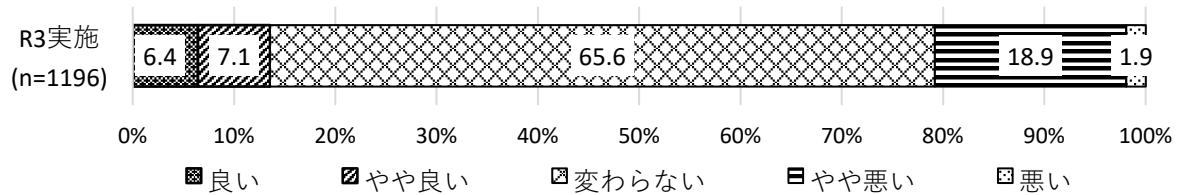
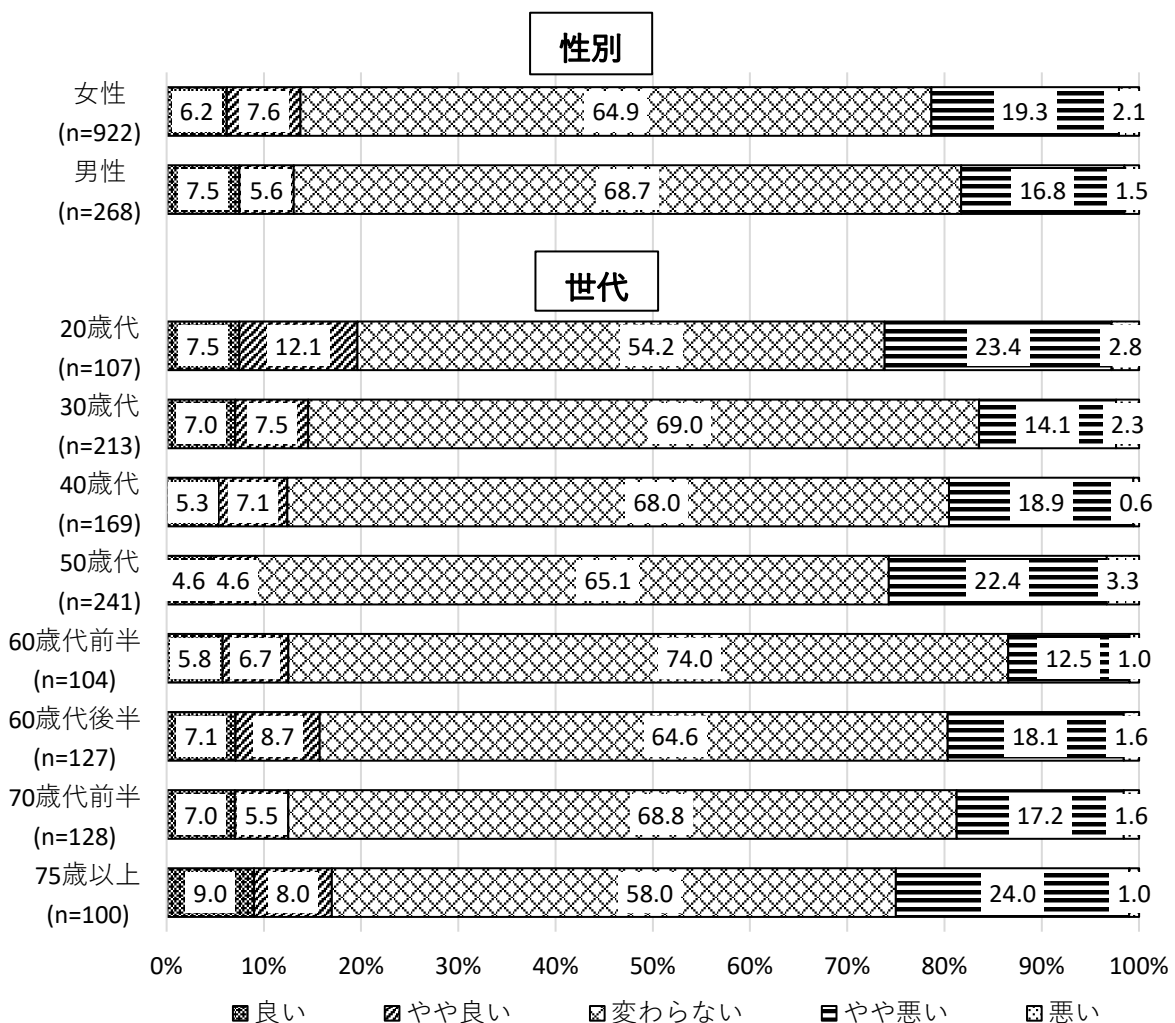


図2-44-4





### 第3節 子どもの生活と食育に関する意識

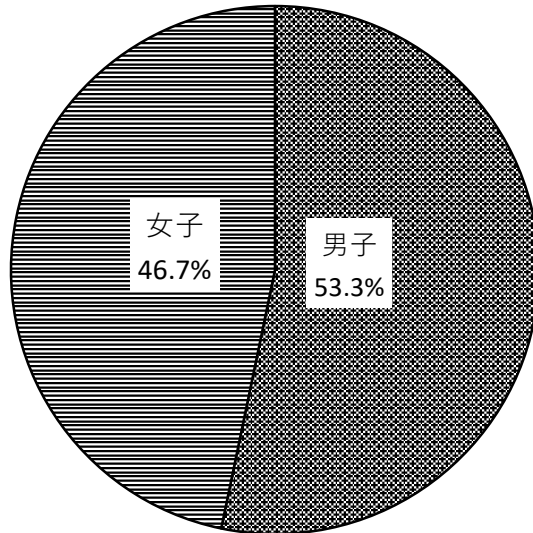




子属1 そのお子様の性別を教えてください。(1つに○)

【性別】

ほぼ男女半々であった。



R3実施  
(n=291)

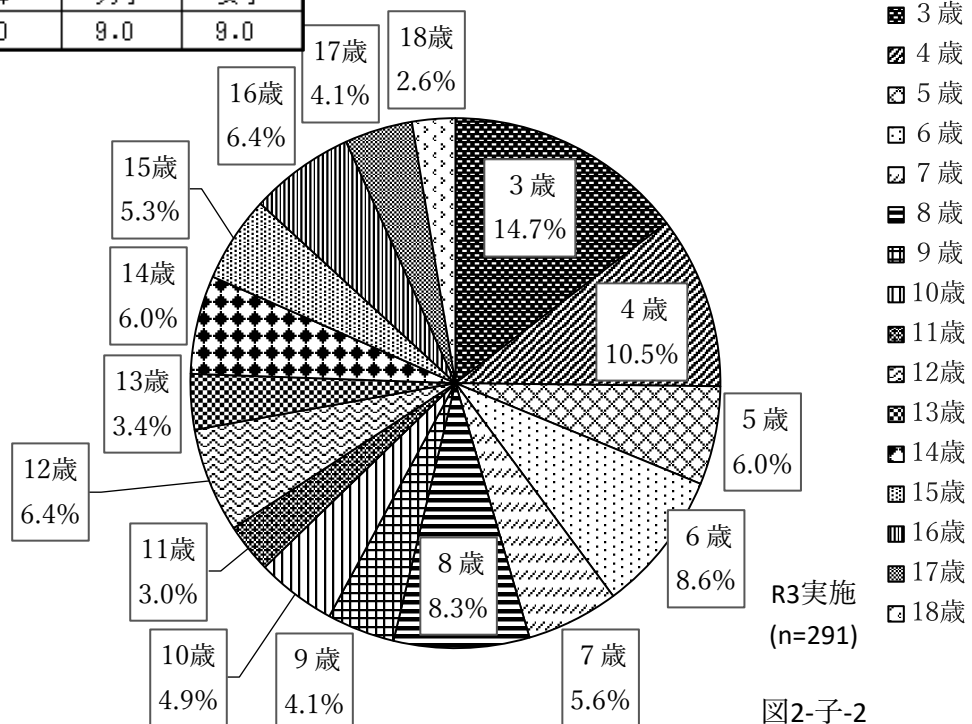
図2-子-1

子属2 そのお子様の年齢を教えてください。(1つに○)

【年齢】

男女間にほとんど差は無く平均10歳で、小学5年から6年生といえる。

平均	全体	男子	女子
	10.0	9.0	9.0



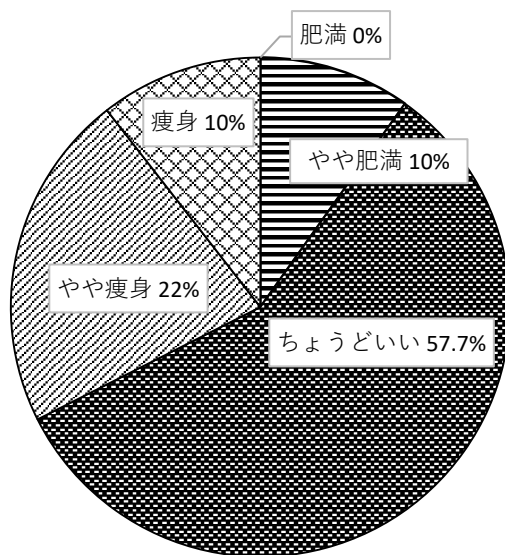
R3実施  
(n=291)

図2-子-2

子属3 そのお子様の体格について教えてください。(1つに〇)

【体格】

「ちょうどよい」が6割近く、次いでやや痩身が2割で、やや肥満、痩身は10%であった。



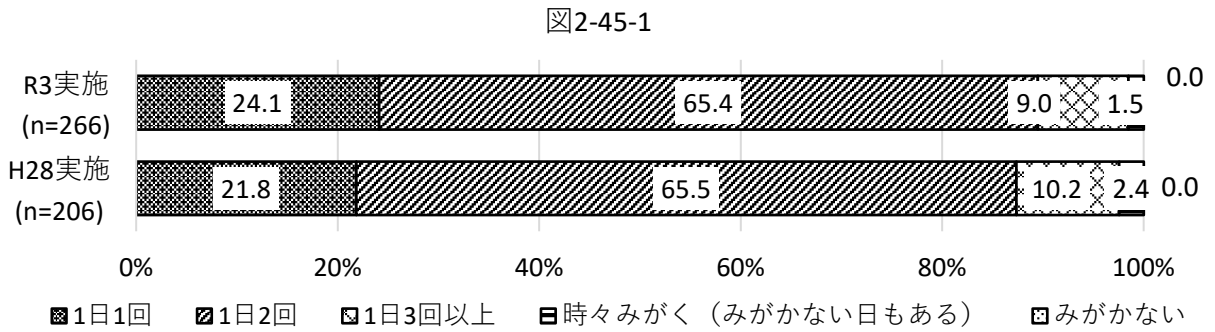
R3実施  
(n=266)

図2-子-3

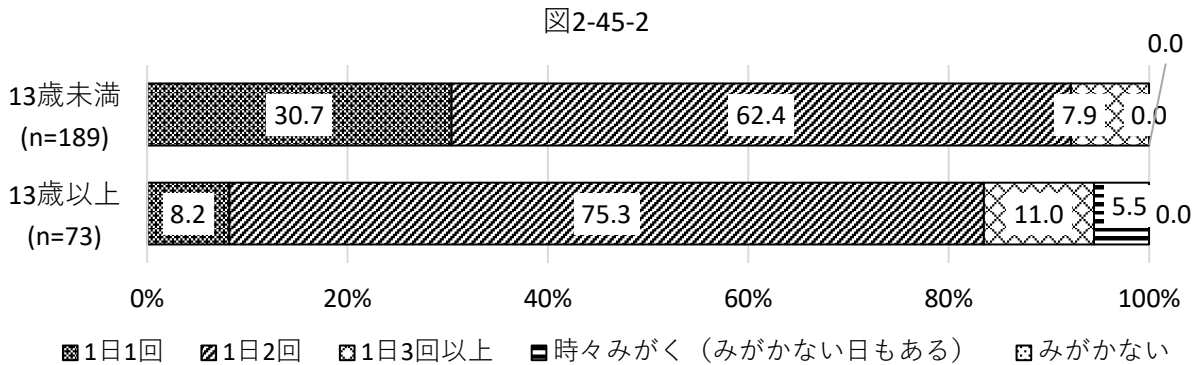
問 45 そのお子様の歯磨きの頻度を教えてください。(1つに〇)

歯磨きの頻度は1日2回以上(2回+3回以上)の割合が約4分の3であった。前回調査と比較してその割合は同等であった。13歳以上の歯磨きの頻度は13歳未満と比較すると多くなる傾向にあるが、「時々みがく(みがかない日もある)」も増えている。

全体的には歯磨きの頻度と所得との大きな関連性は認められなかった。



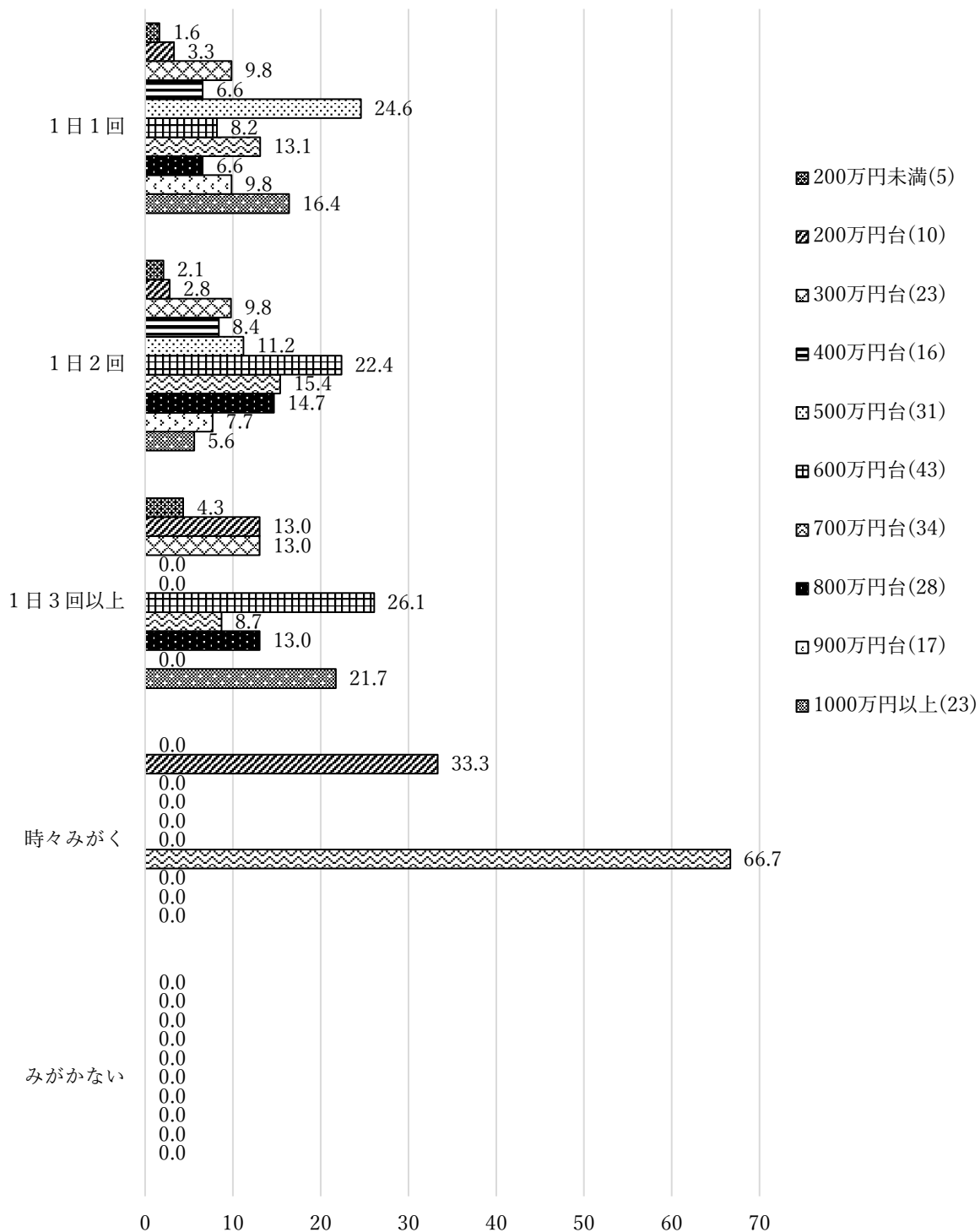
歯磨き × 年齢



歯磨き×所得

図2-45-3

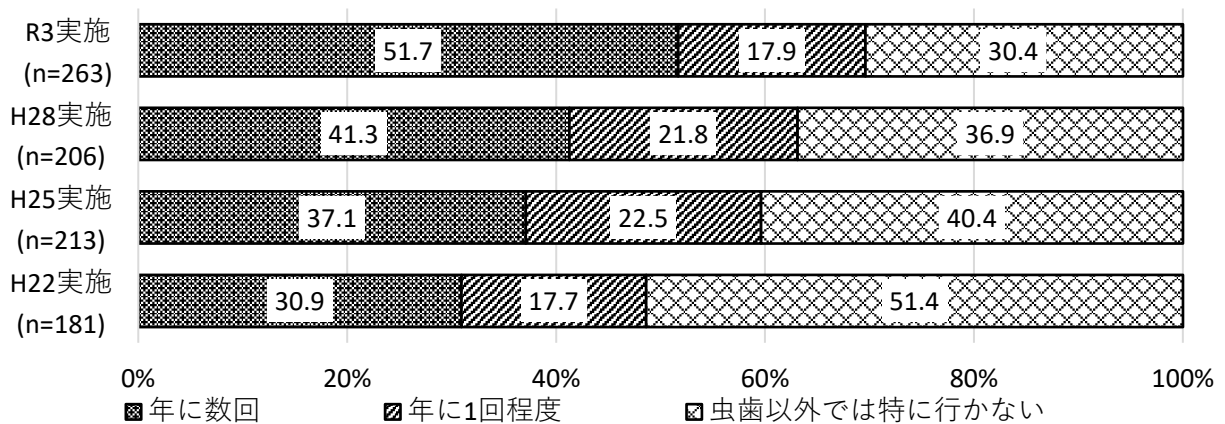
(%)



問 46 そのお子様の歯科検診の頻度（学校での検診を除く）を教えてください。（1つに〇）

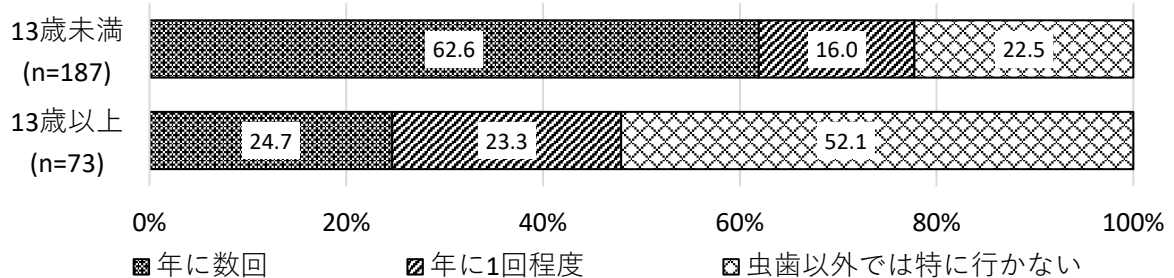
歯科検診の頻度は過去の調査と比較して回数が増加している。また13歳未満の者の歯科検診の回数は、13歳以上の者より多かった。所得別では歯科検診の頻度が年に数回では300万円台の割合が最も多く、次いで400万円台および1000万円以上が多かった。年に1回程度では500万円台の割合が最も多く、次いで300万円台および600万円台が多かった。むし歯以外では特にいかなる所得でも300万円台の割合が最も多く、次いで600万円台および1000万円以上が多かった。全体的には歯科検診の頻度と所得との大きな関連性は認められなかった。

図2-46-1

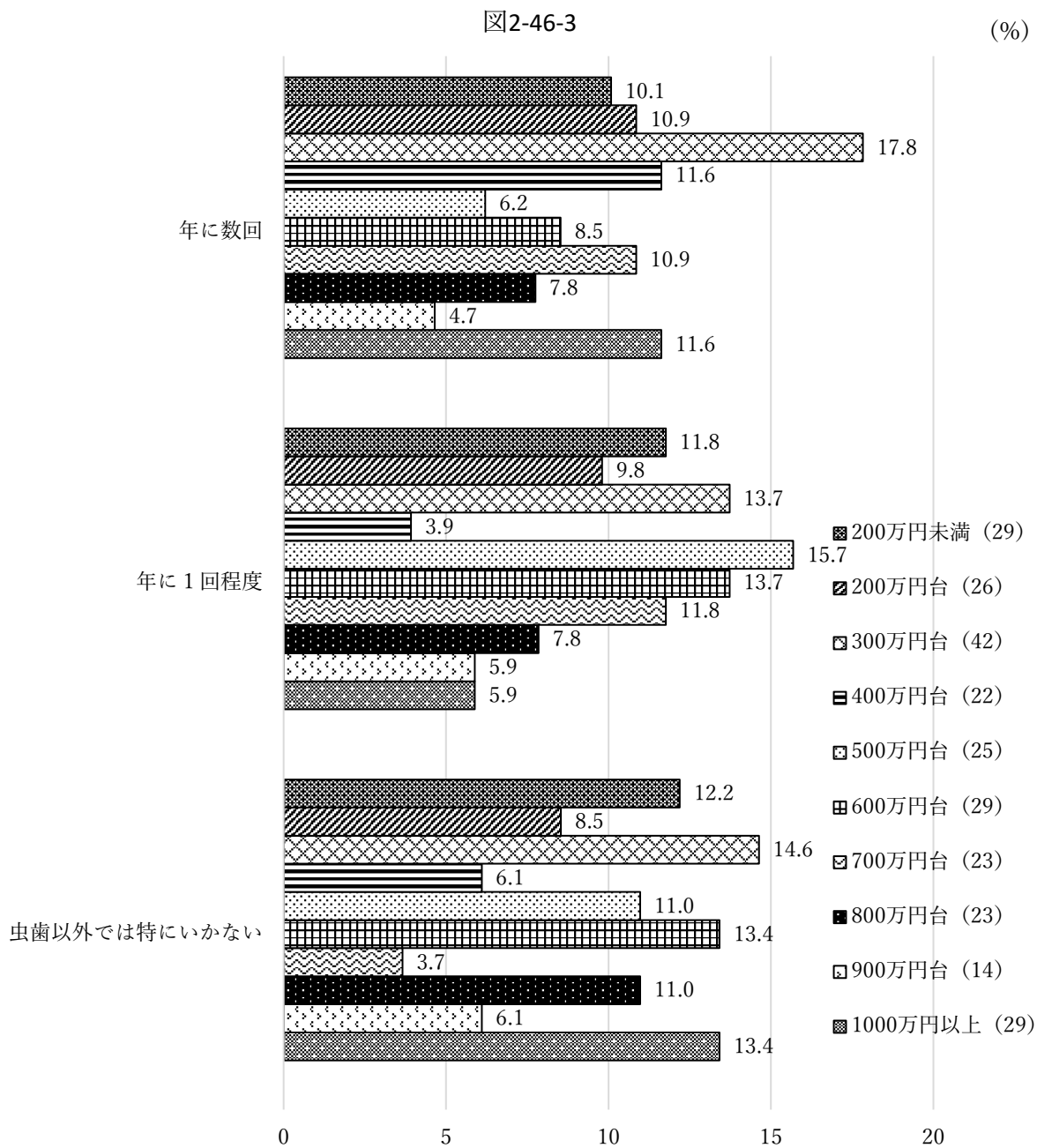


歯科検診頻度 × 年齢

図2-46-2



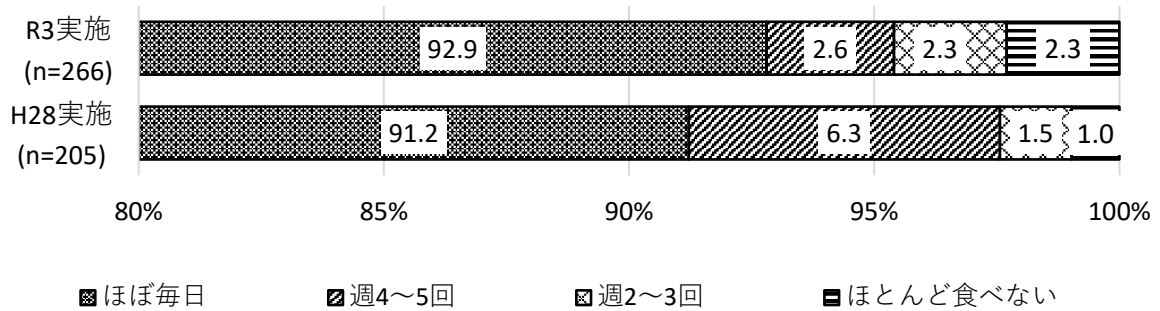
歯科検診頻度×所得



問 47 そのお子様は朝食をどの程度の頻度でとっていますか？（1つに○）

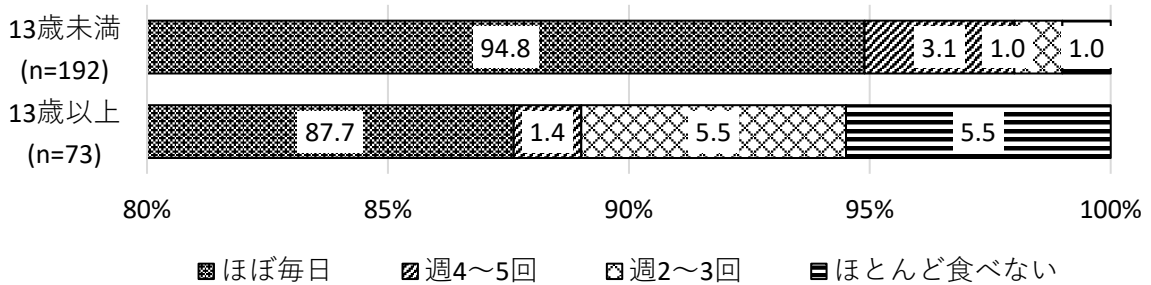
全体の9割以上が毎日朝食をとっており、「ほとんど食べない」との回答は2.3%とごくわずかであるものの、13歳以上ではその割合は5.4%になっている。世帯所得階層別では、階層間でかなりバラツキがあるが、300万円未満層では、食べない割合が高い傾向にある。

図2-47-1

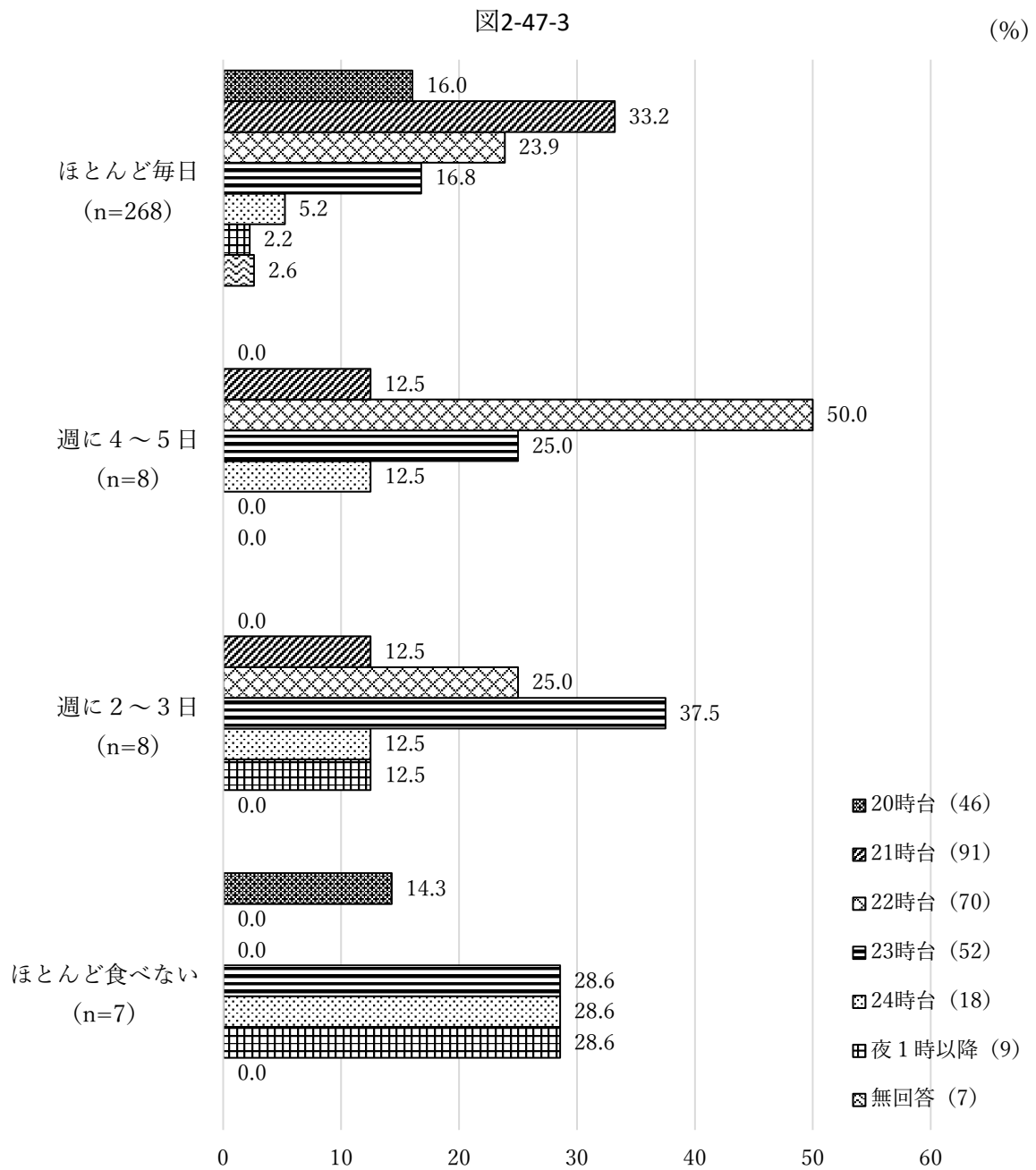


朝食の頻度×年齢

図2-47-2

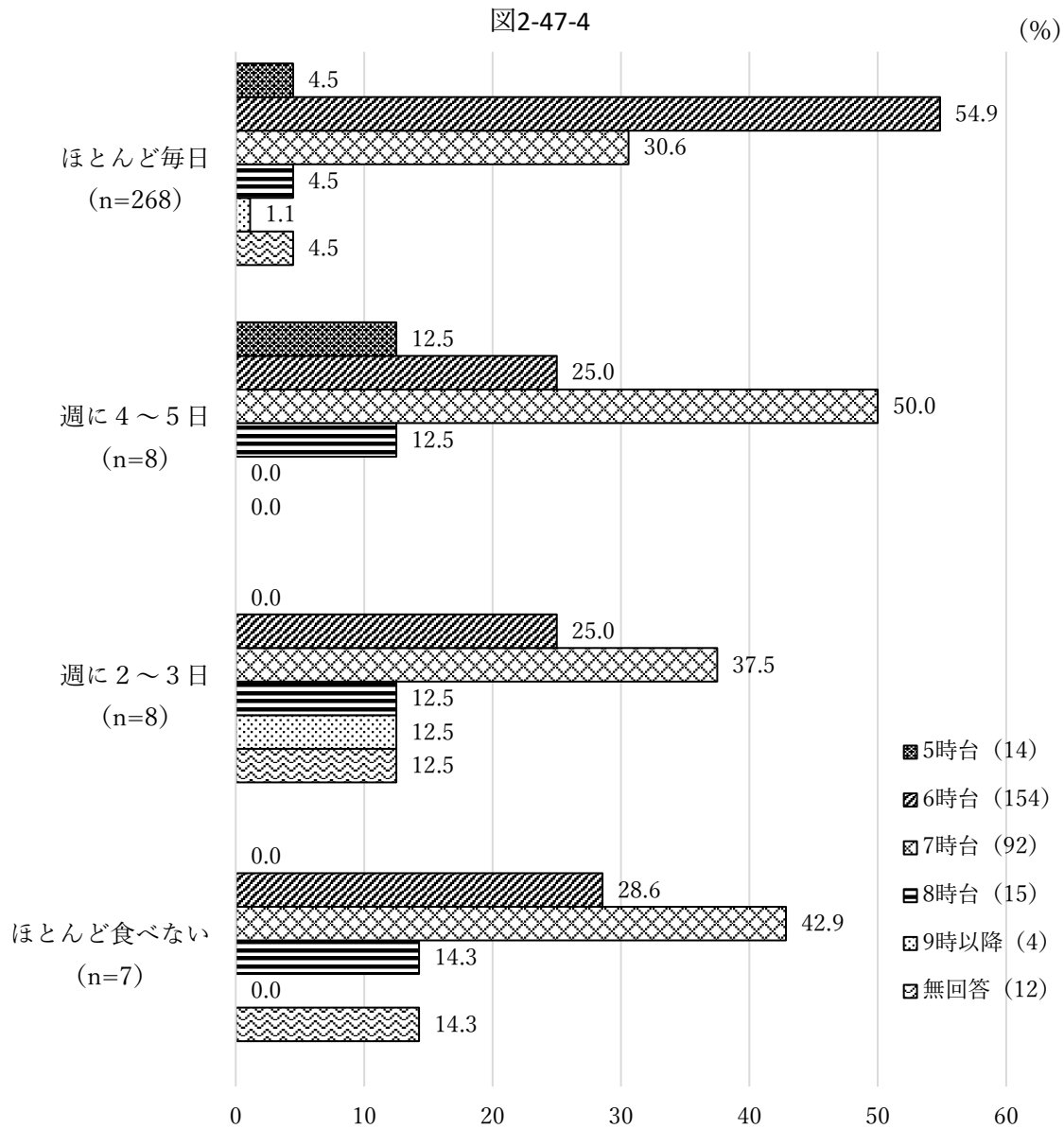


朝食の頻度×就寝時間





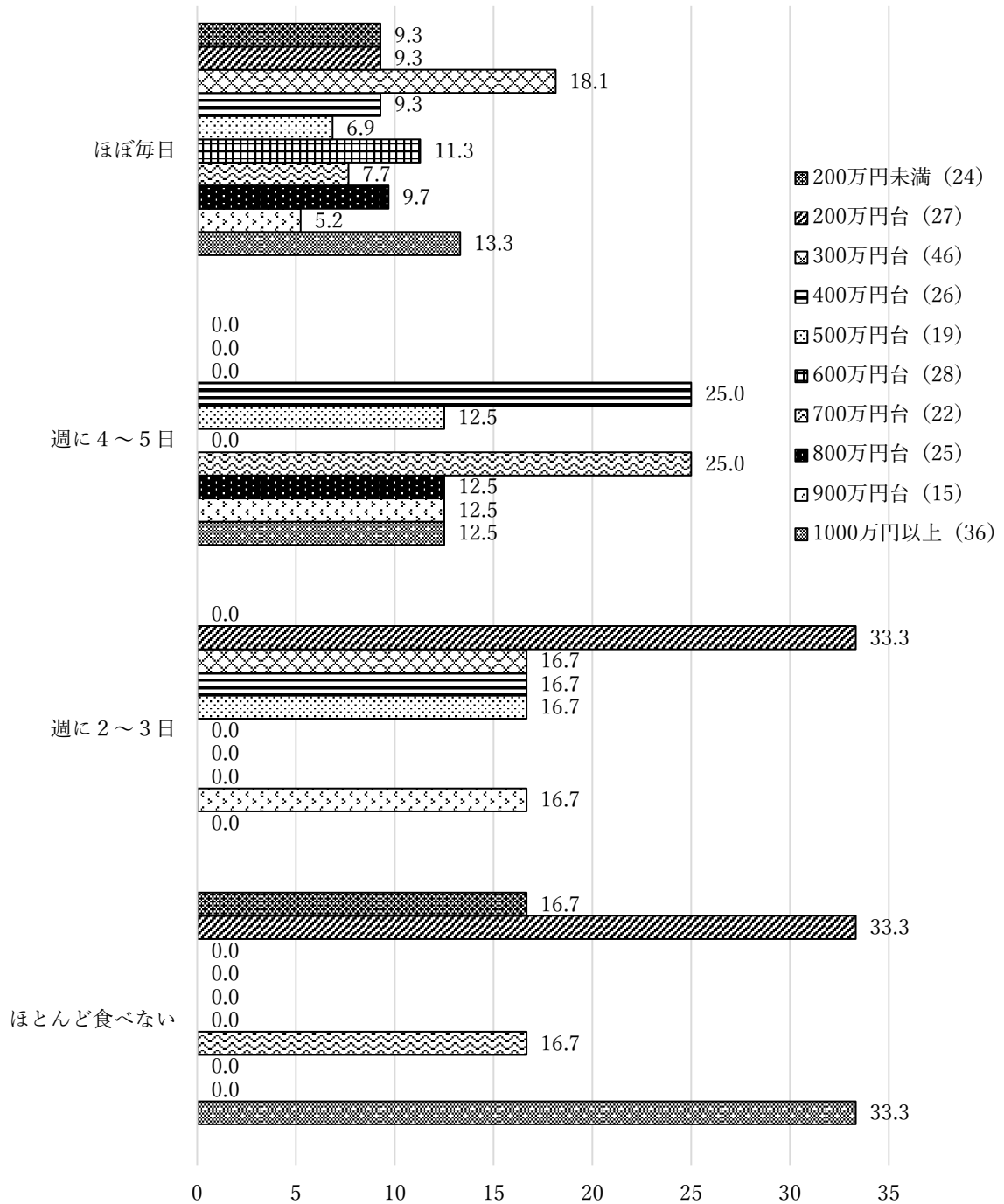
朝食の頻度×起床時間



朝食の頻度×所得

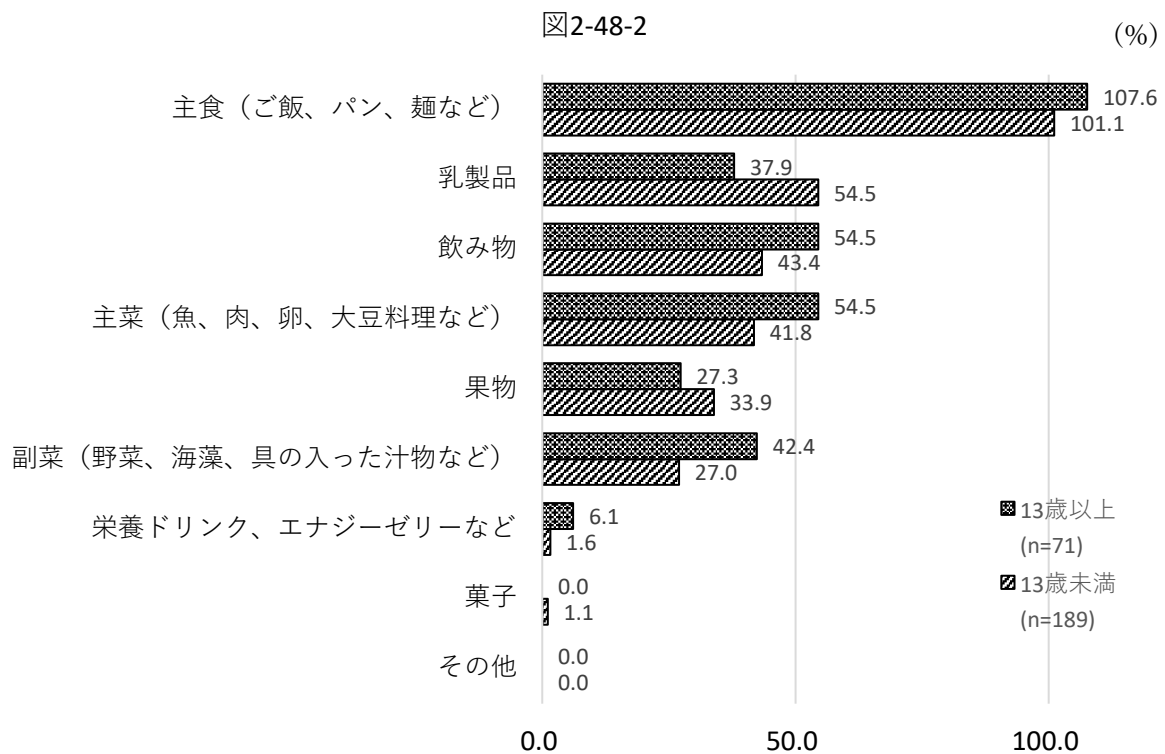
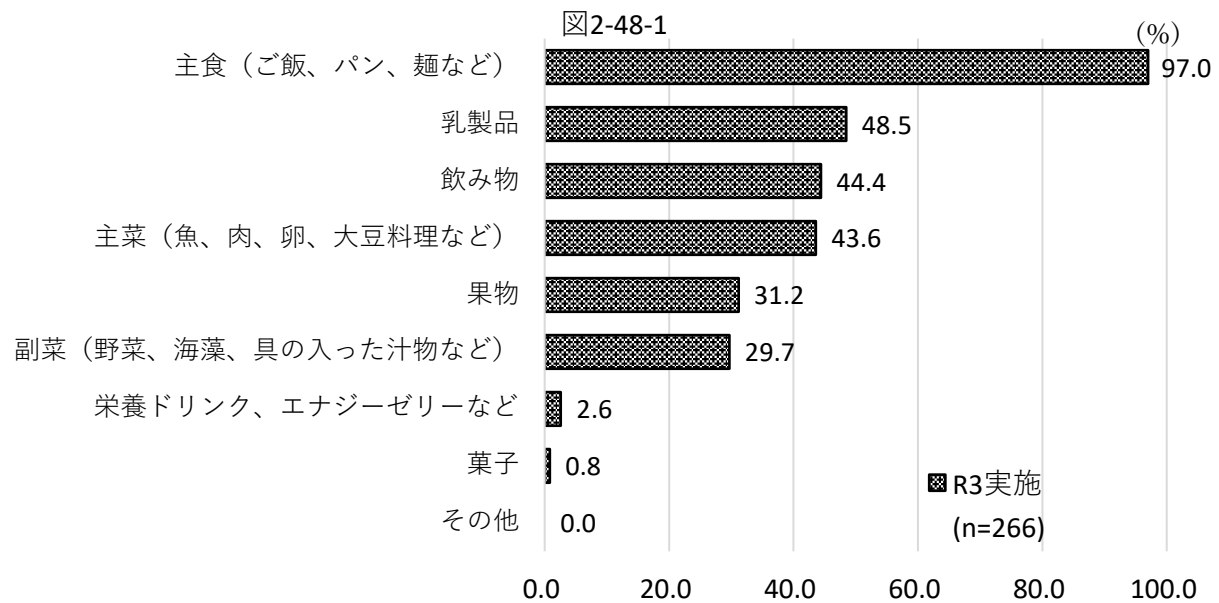
図2-47-5

(%)

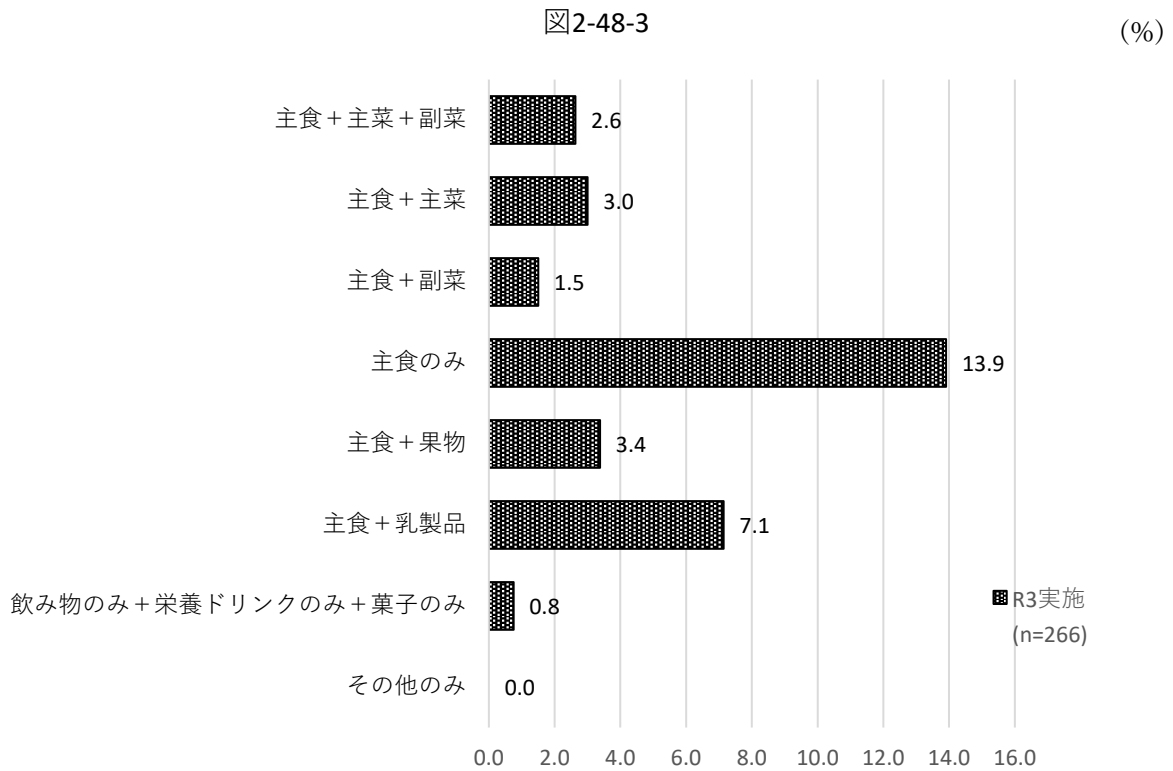


問 48 そのお子様がとる朝食は主にどのようなメニューですか？（該当するものすべてに○）

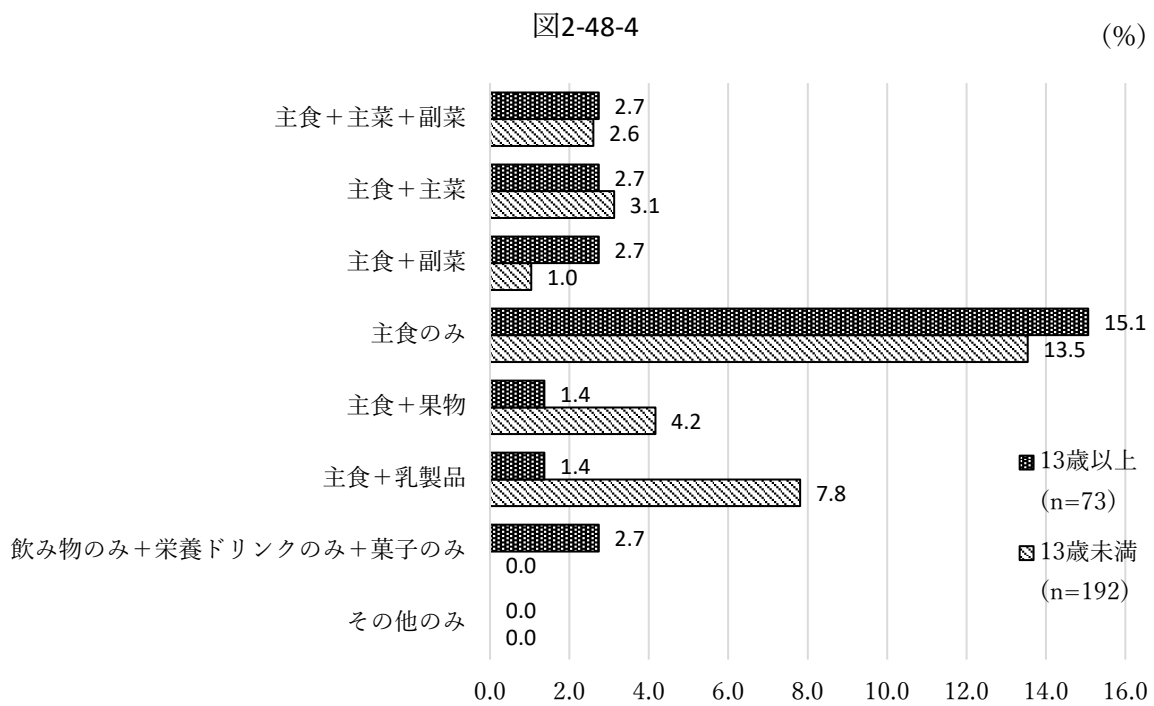
主食（ご飯、パン、麺など）がほとんどを占めており、13歳未満と以上での顕著な差はみられない。主食との組み合わせでは、主食のみが最も多く、13歳未満では次いで主食と乳製品の組合せが多くなっている。所得階層ごとでかなり朝食のとり方に差がみられるが、回答数が少ない階層もあり、特徴的傾向は読み取れない。



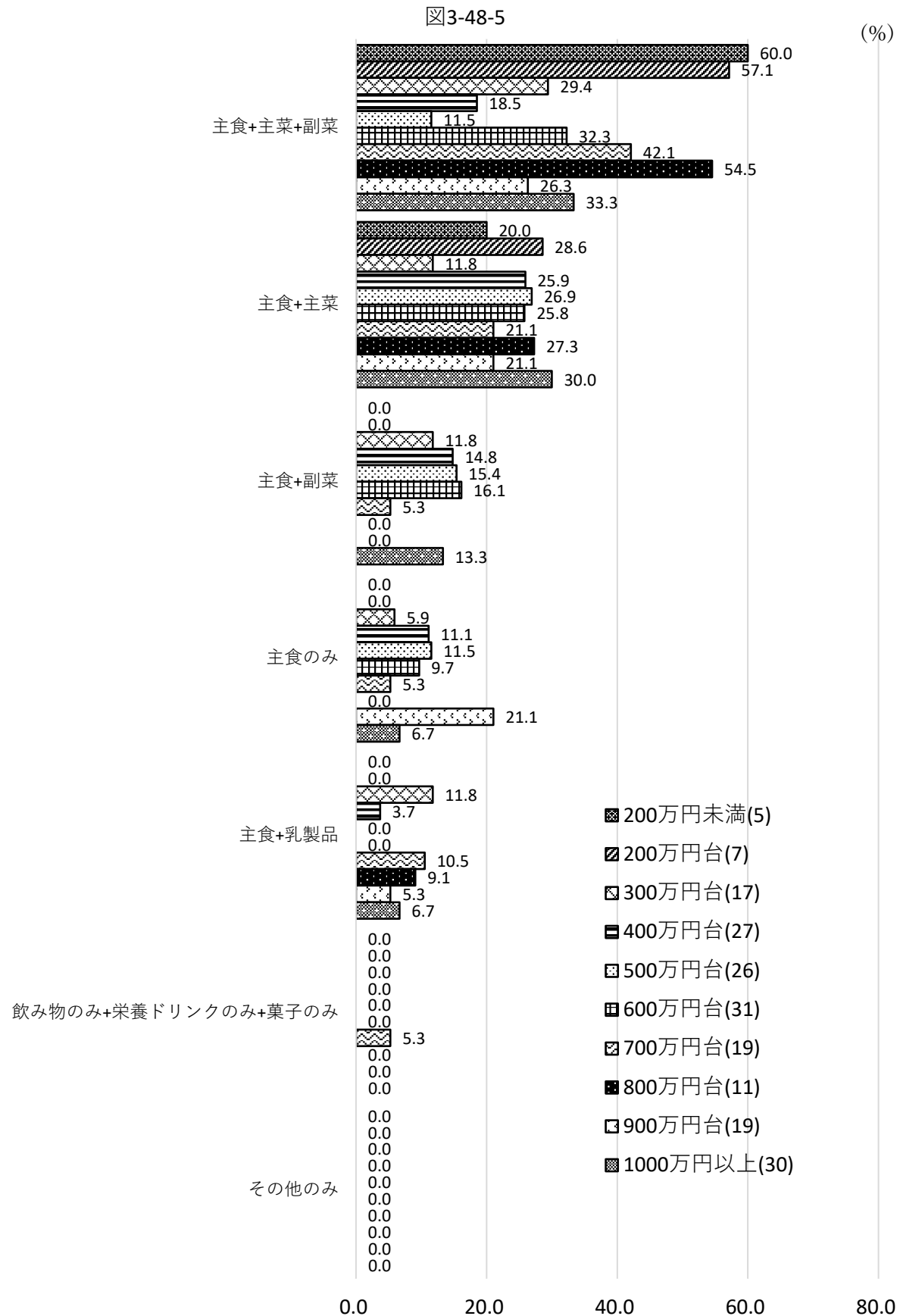
朝食の組み合わせ



朝食の組み合わせ×年齢

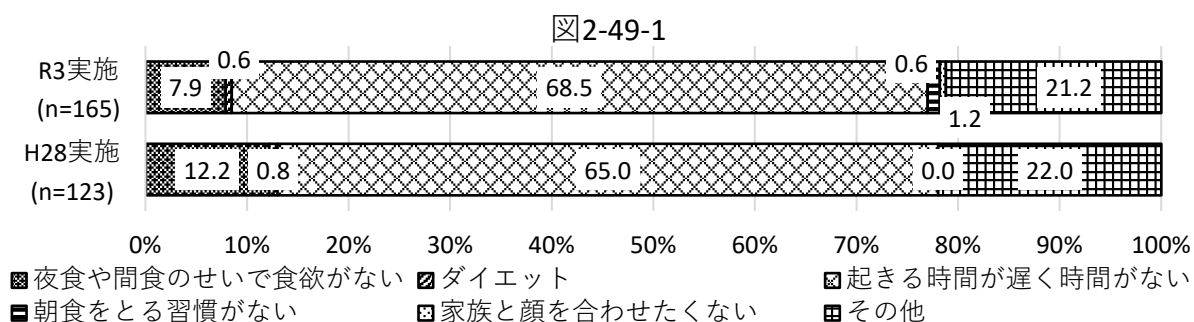


朝食の組み合わせ×所得

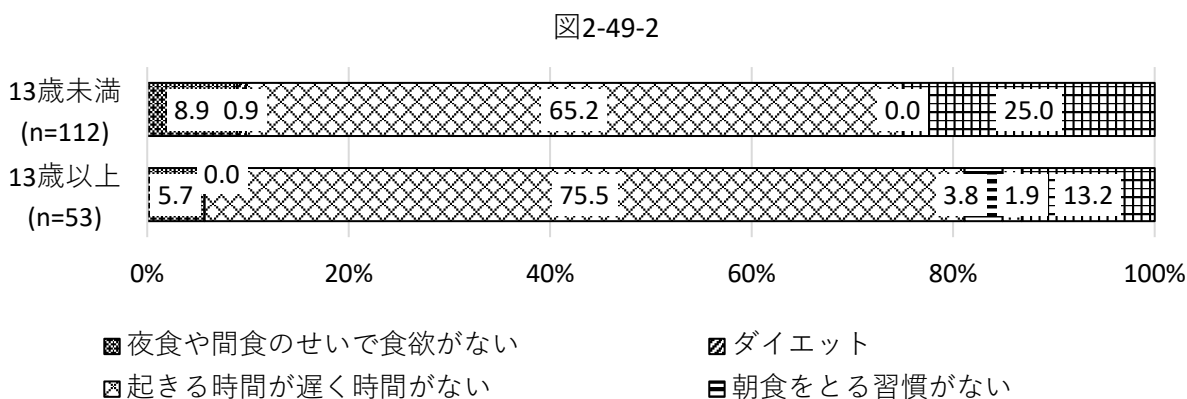


**問 49 そのお子様が朝食をとらないときは、どのような理由があると思いますか？**  
 (それぞれ1つに○)

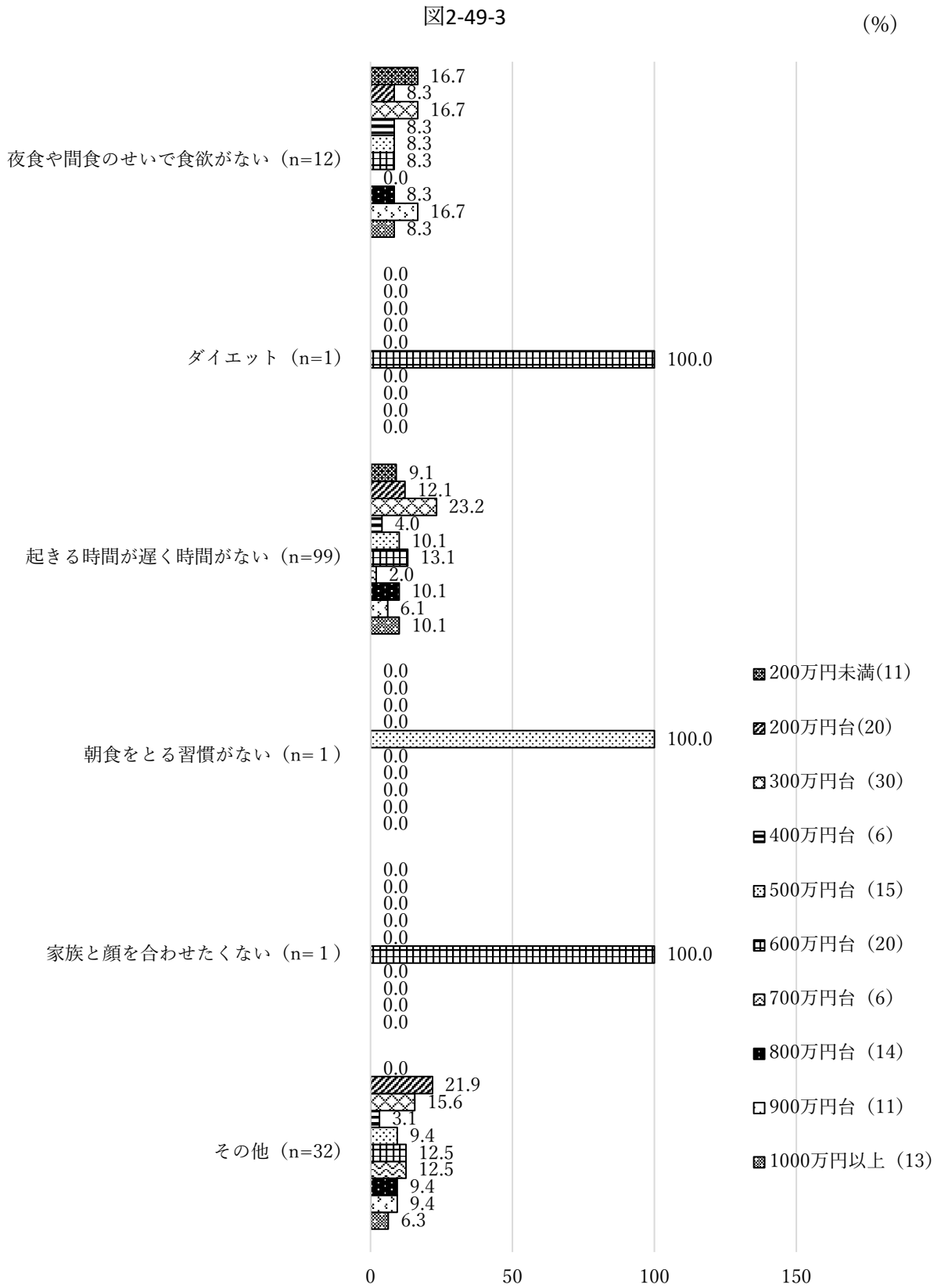
全体では、起きる時間が遅いという理由が、3分の2以上を占め最も多い。さらに、13歳以上では、その割合は4分の3以上と上昇する。所得別では300万円台で全回答者が起きる時間が遅いと回答が目立つ。また、「夜食や間食のせいで食欲がない」は、200万円未満、300万円台で高く、900万円台でも高い。総じて、低所得の階層では、子供の就寝時刻が遅いことがこれらの背景にある理由と推測される。



**朝食をとらない理由×年齢**

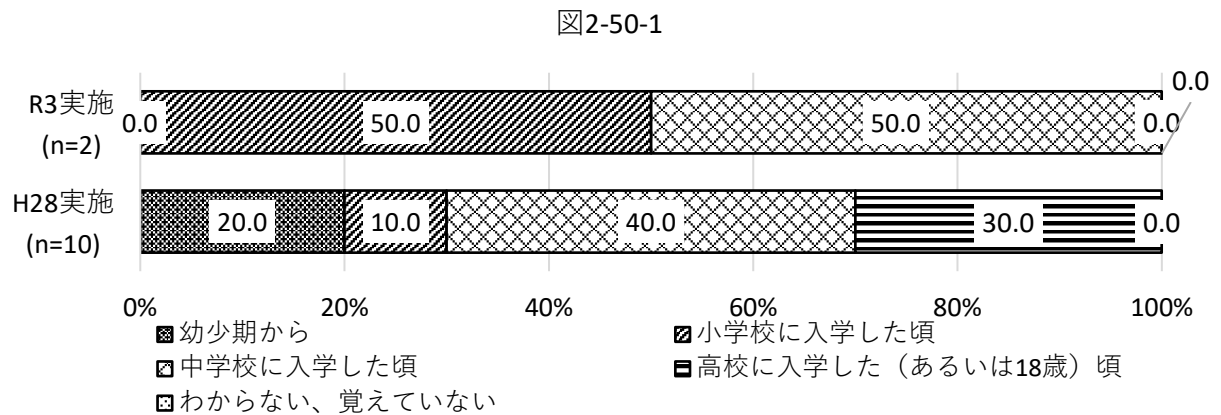


朝食をとらない理由×所得



**問 50 問 49 で 4 を選んだ方に伺います。そのお子様が朝食をとらなくなったのは、いつ頃からですか？（1つに○）**

朝食をとらなくなった時期は、小学校と中学校に入学した頃との回答がそれぞれ5割で2分されている。13歳未満と以上での区分や世帯所得階層別については、回答数が極めて少なく、比較はできない。

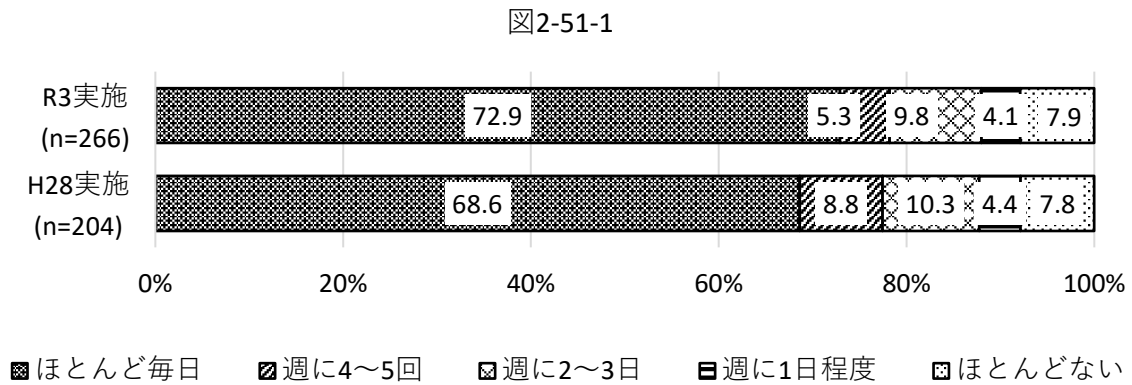




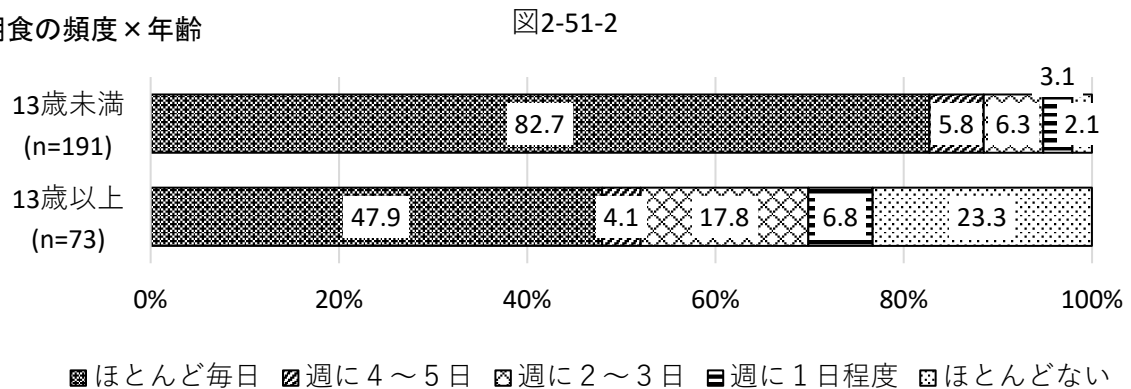
問 51 そのお子様はどれぐらいの頻度で家族と一緒に朝食や夕食をとっていますか？  
 (それぞれ1つに○)

朝食

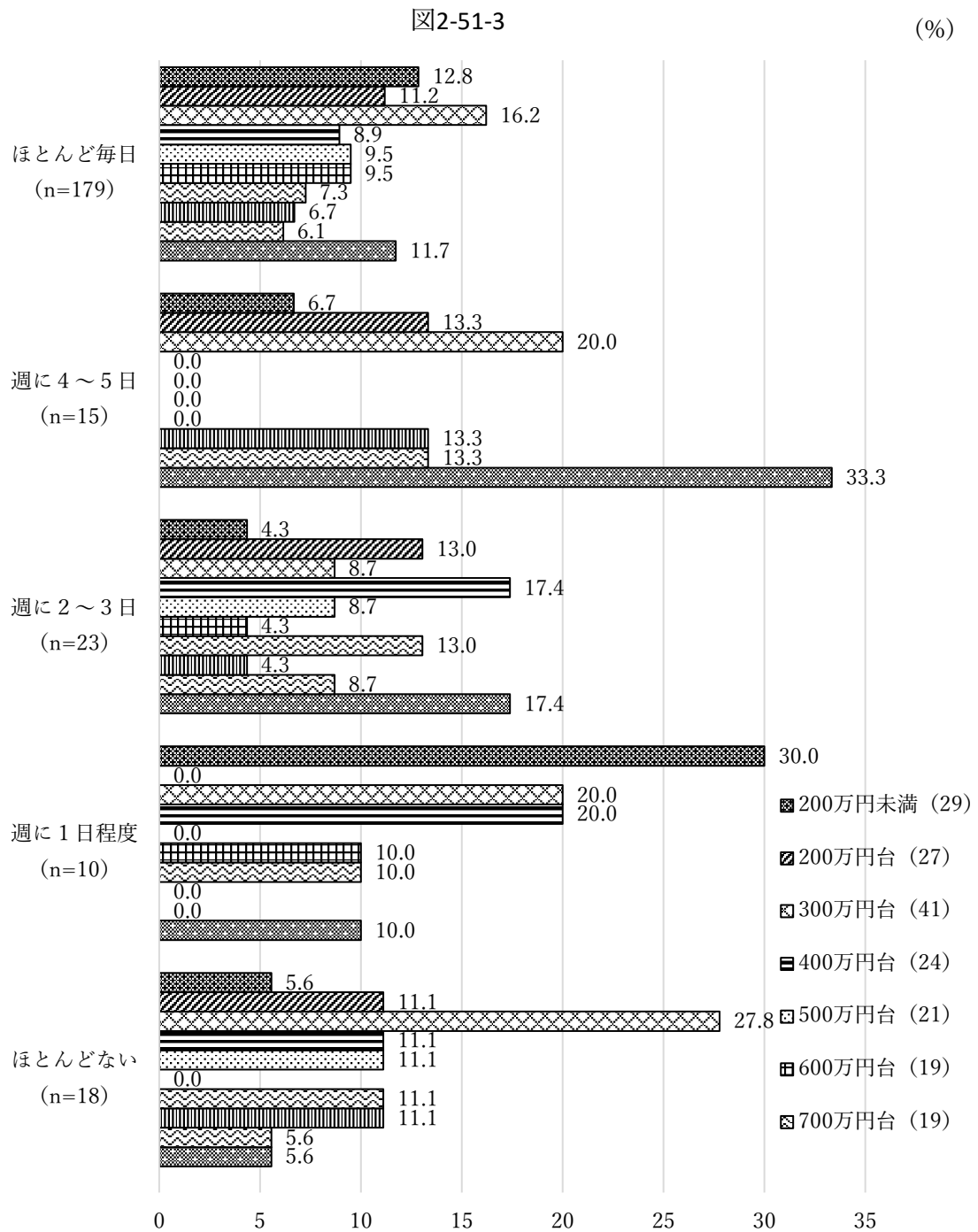
全体では、ほとんど毎日とっている割合は7割を超えているが、13歳以上では、5割に達しない水準へ低下している。世帯所得階層別では、全体に階層ごとのばらつきが大きい。



朝食の頻度×年齢

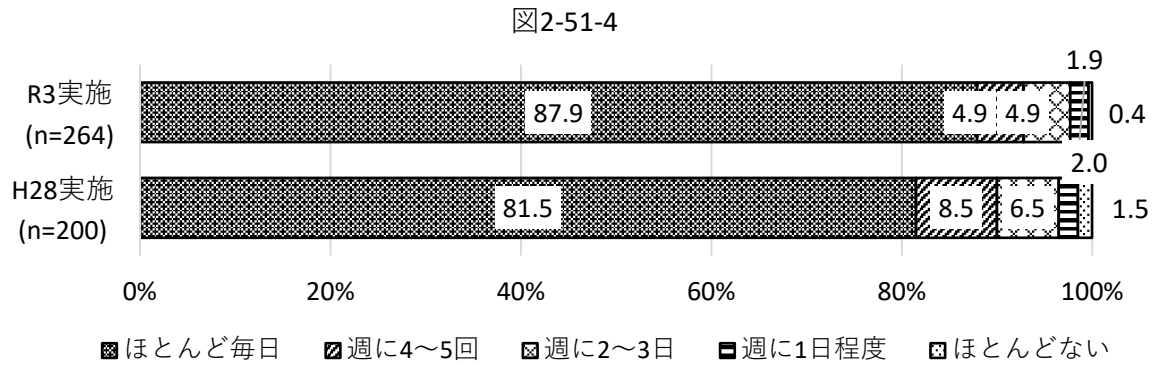


朝食の頻度×所得

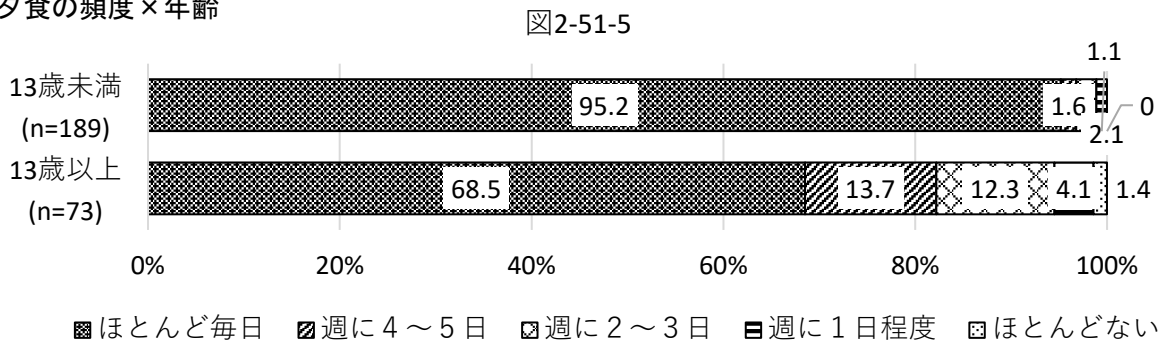


夕食

全体では、9割近くの回答者が、ほとんど毎日とっている。13歳未満と以上では、その割合に大きな差があり、13歳未満では95%であるのに対して、13歳以上では3分の2程度に低下する。世帯所得階層別にみると、顕著な傾向はみられない。



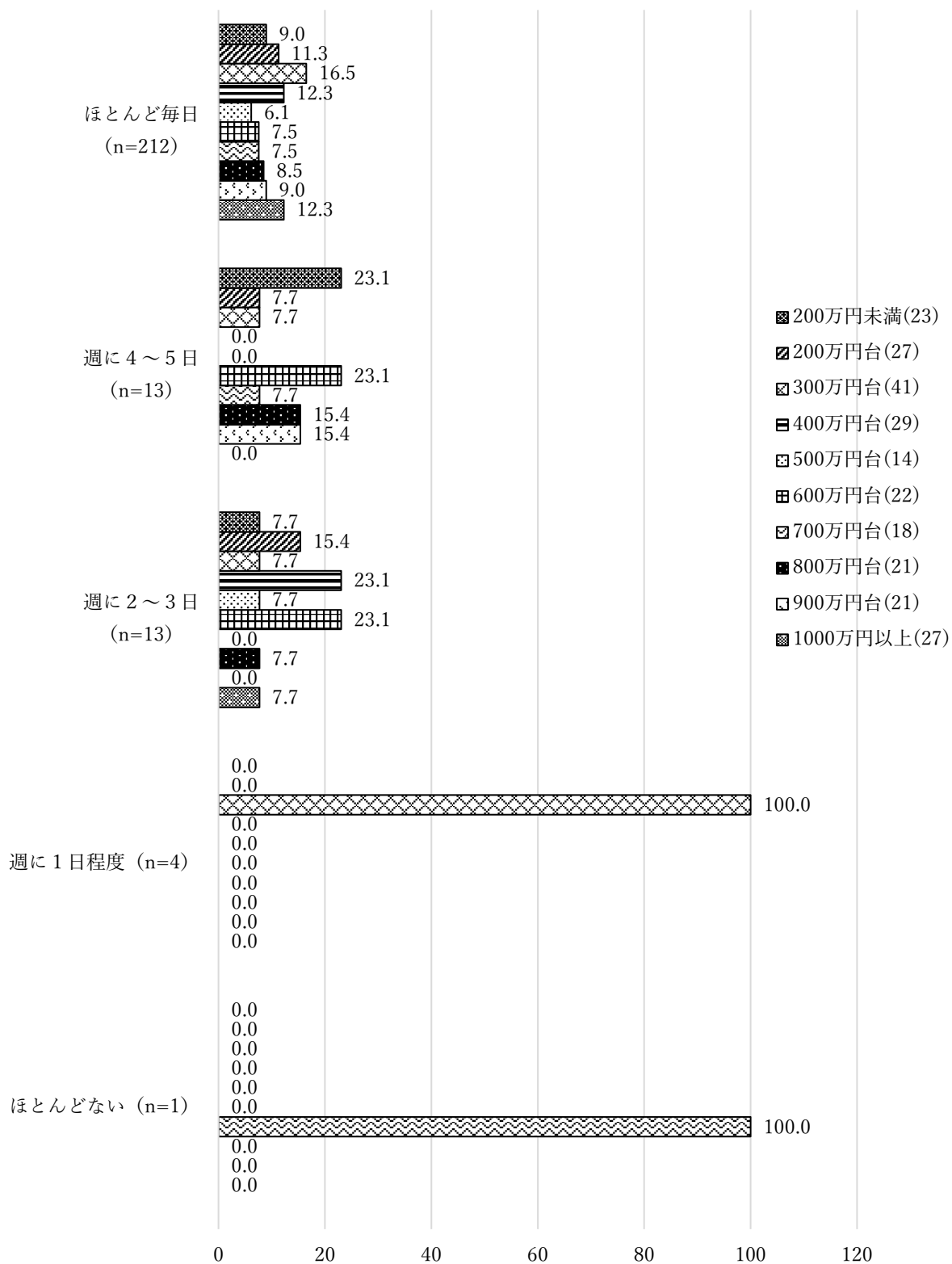
夕食の頻度 × 年齢



夕食の頻度×年齢

図2-51-6

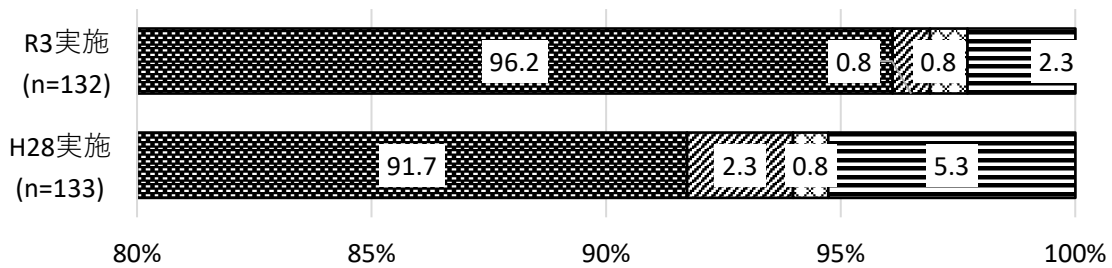
(%)



問 52 そのお子様が一人で朝食や夕食をとる理由はなんだと思いますか？（1つに〇）

全体では、家族との時間が合わないとの理由が9割を超えている。年齢別でも、その点に差はない。世帯年齢階層別では、同理由が低所得階層でやや高い傾向にある。

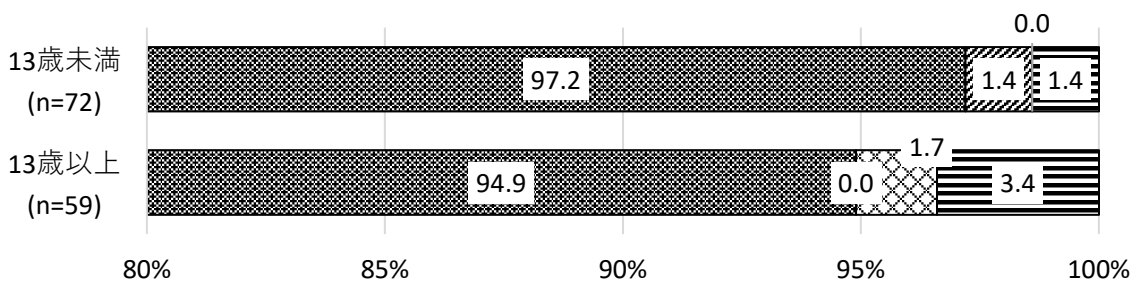
図2-52-1



- 家族と本人の出勤時間や帰宅時間があわないため
- ▨ 一緒に食べる習慣がないため
- ▩ 家族と顔を合わせたくないため
- ▤ その他

朝食一人食の理由×年齢

図2-52-2

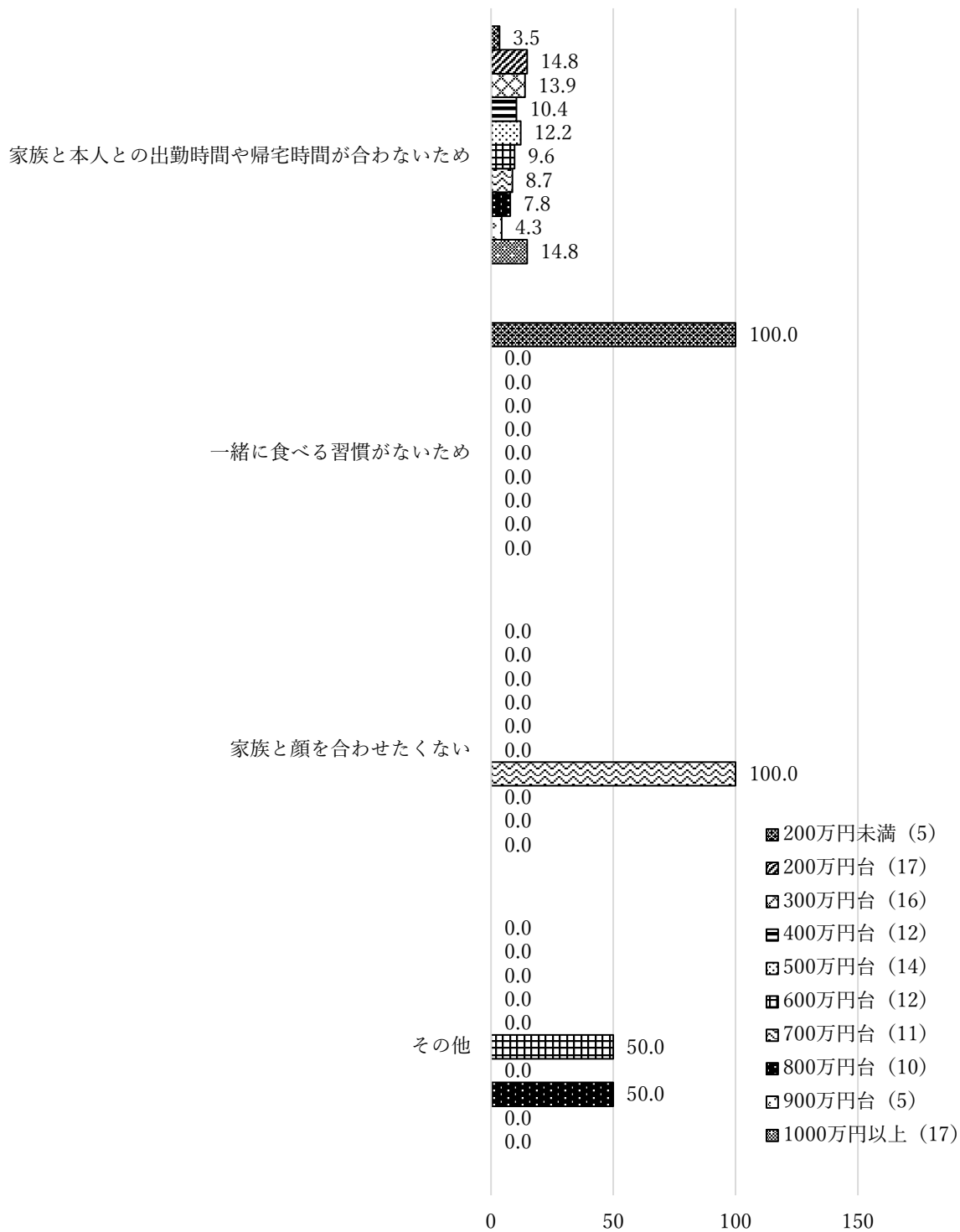


- 家族と本人の出勤時間や帰宅時間があわないため
- ▨ 一緒に食べる習慣がないため
- ▩ 家族と顔を合わせたくないため
- ▤ その他

朝食一人食の理由×所得

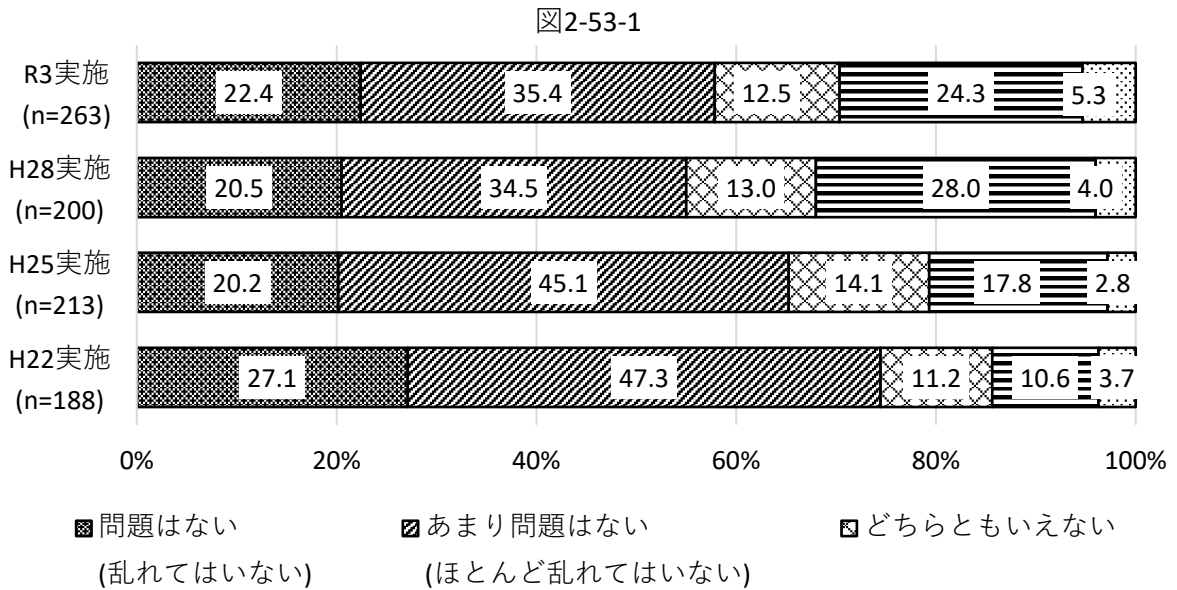
図2-52-3

(%)

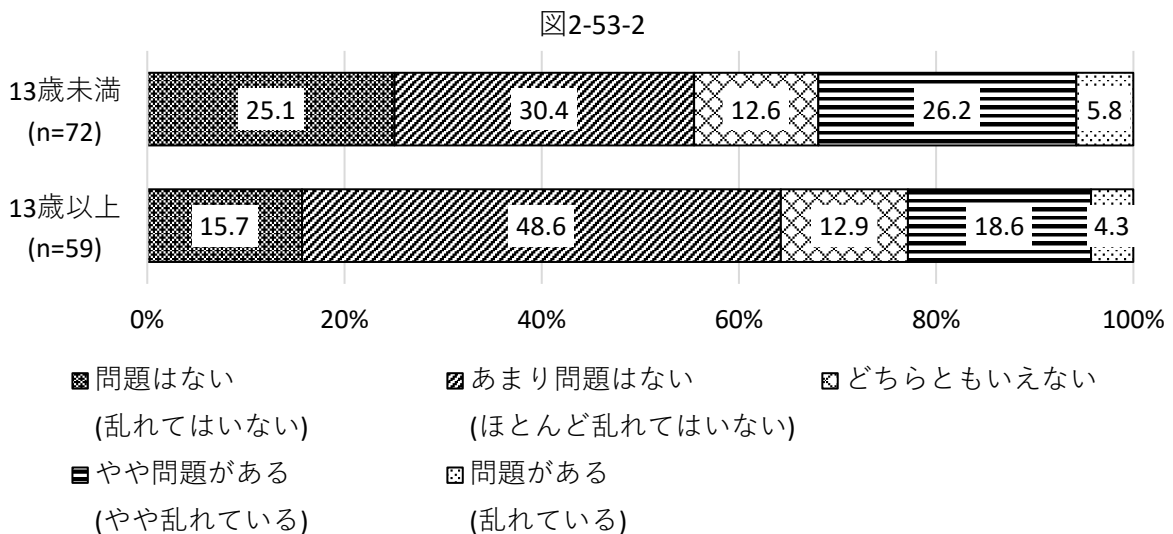


問53 そのお子様の現在の食生活に問題があると思いますか？（1つに○）

前回（H28）調査の結果と大きな差違はなく「問題はない」「あまり問題ない」6割近くに達しているが、過去3回の調査と比較すると、全体として、食生活の質が低下傾向にある。13歳で区分した年齢別では、13歳以上で、6割以上が問題ないと回答している。世帯所得階層別にみると、300万円台で「やや問題がある」、1000万円台で「問題がある」の回答が多く、子供の食生活の問題は、低所得層のみの問題とは言いがたい。



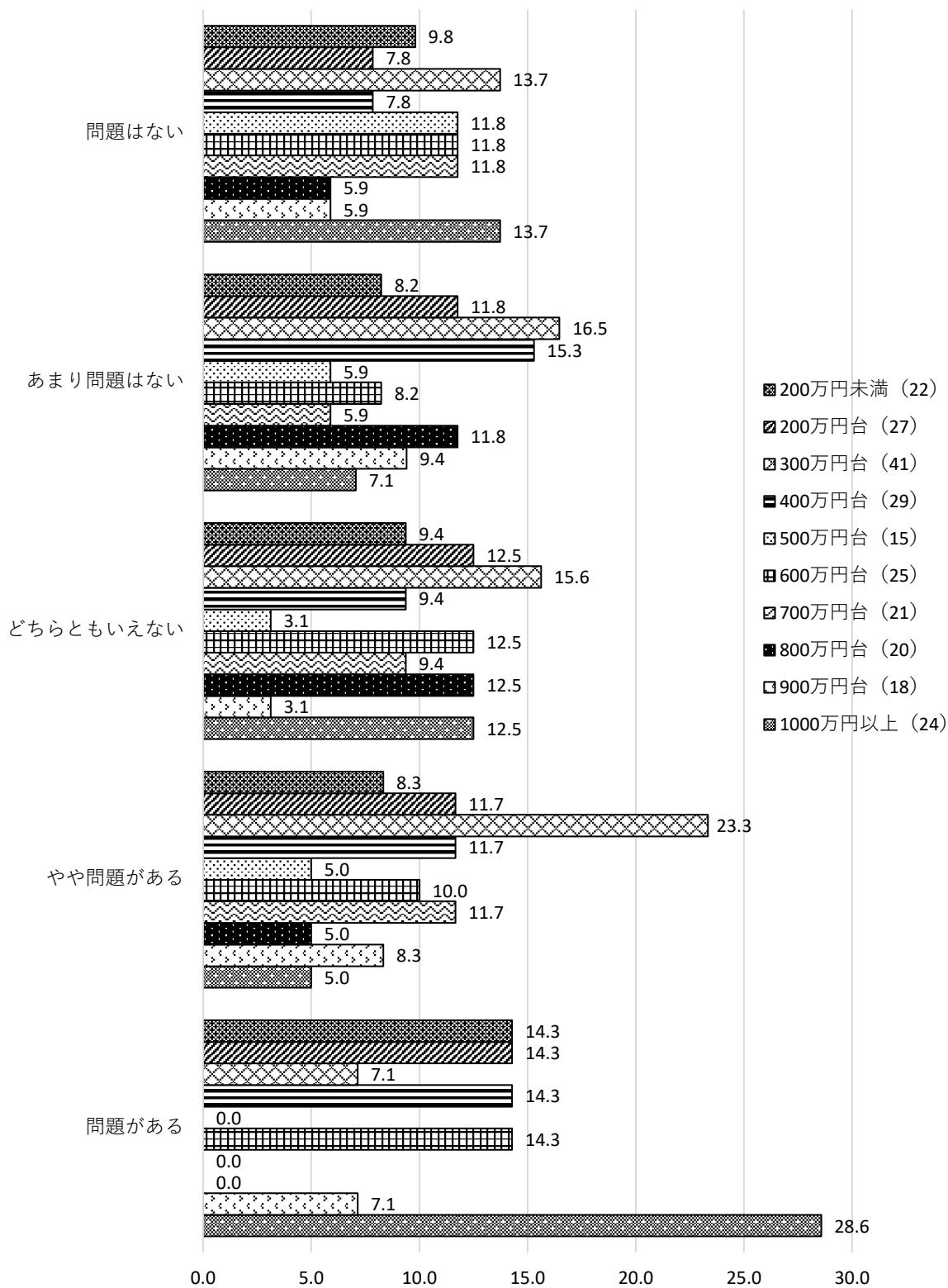
食生活に問題×年齢



食生活に問題×所得

図2-53-3

(%)





**問 54 問 53 で 4 または 5 を選んだ方に伺います。特にどのような点に問題があると思いますか？（該当するものすべてに○）**

子供の食生活に問題があるとの回答者では、その理由として「好き嫌いが多い」が最も多く。次いで「栄養バランスの偏り」、3位が「間食が多い」となっている。年齢区分では、13歳未満で好き嫌いが多い傾向がある。これに対して、13歳以上では、「間食が多い」、「食事の時間が不規則」が多くなっている。世帯所得階層別では、階層ごとのバラツキが大きく、200万円未満では単身世帯が多くなっている為か「家族と一緒に食事をとっていない」「食事の時間が不規則である」「食が細い」などが他の階層と比べて高い割合を示している。

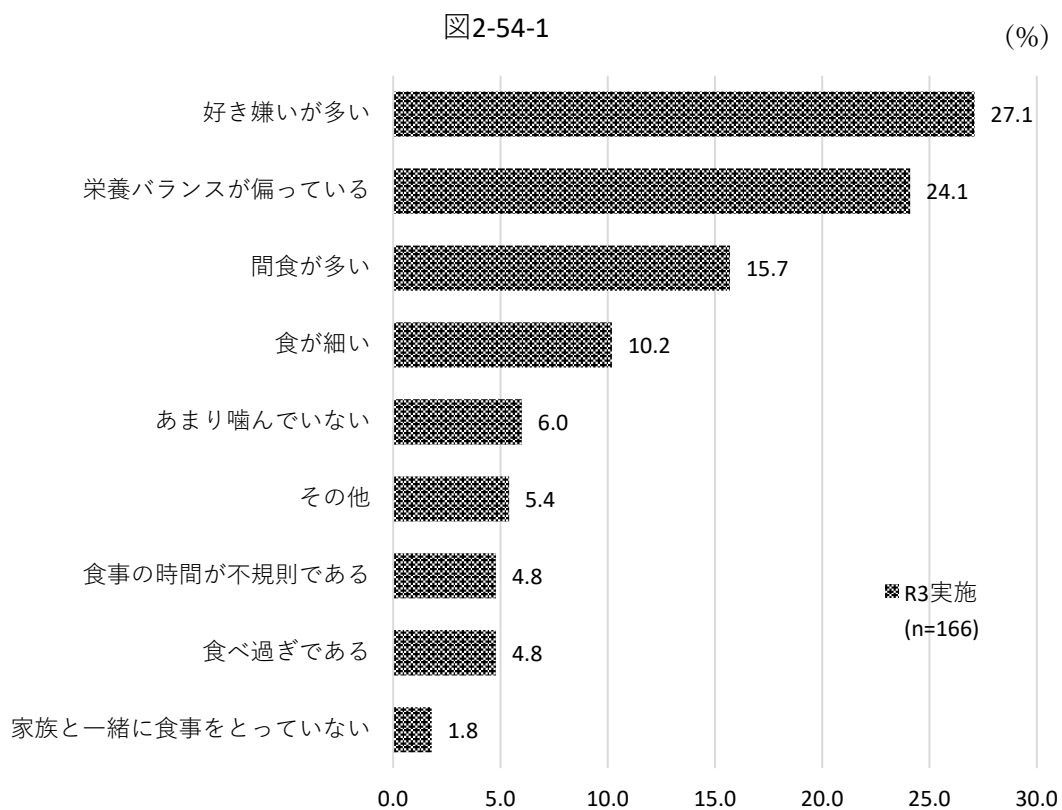
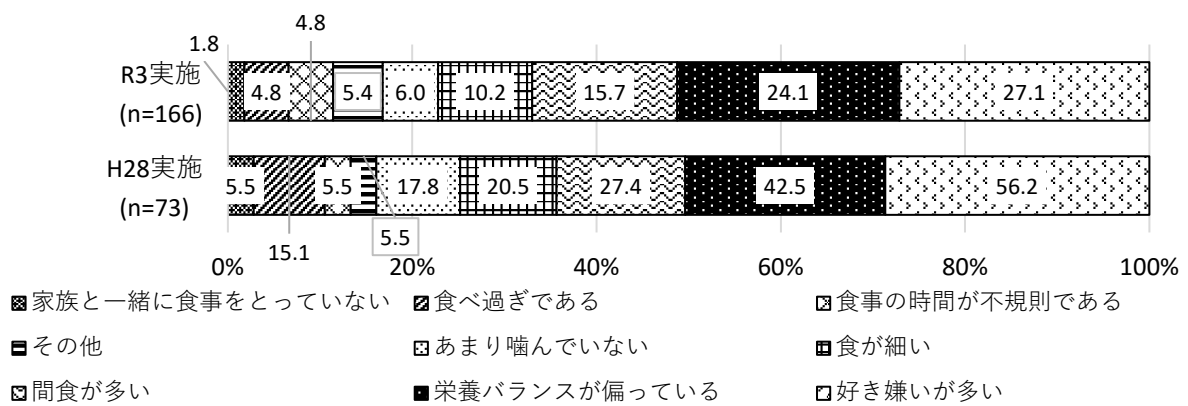


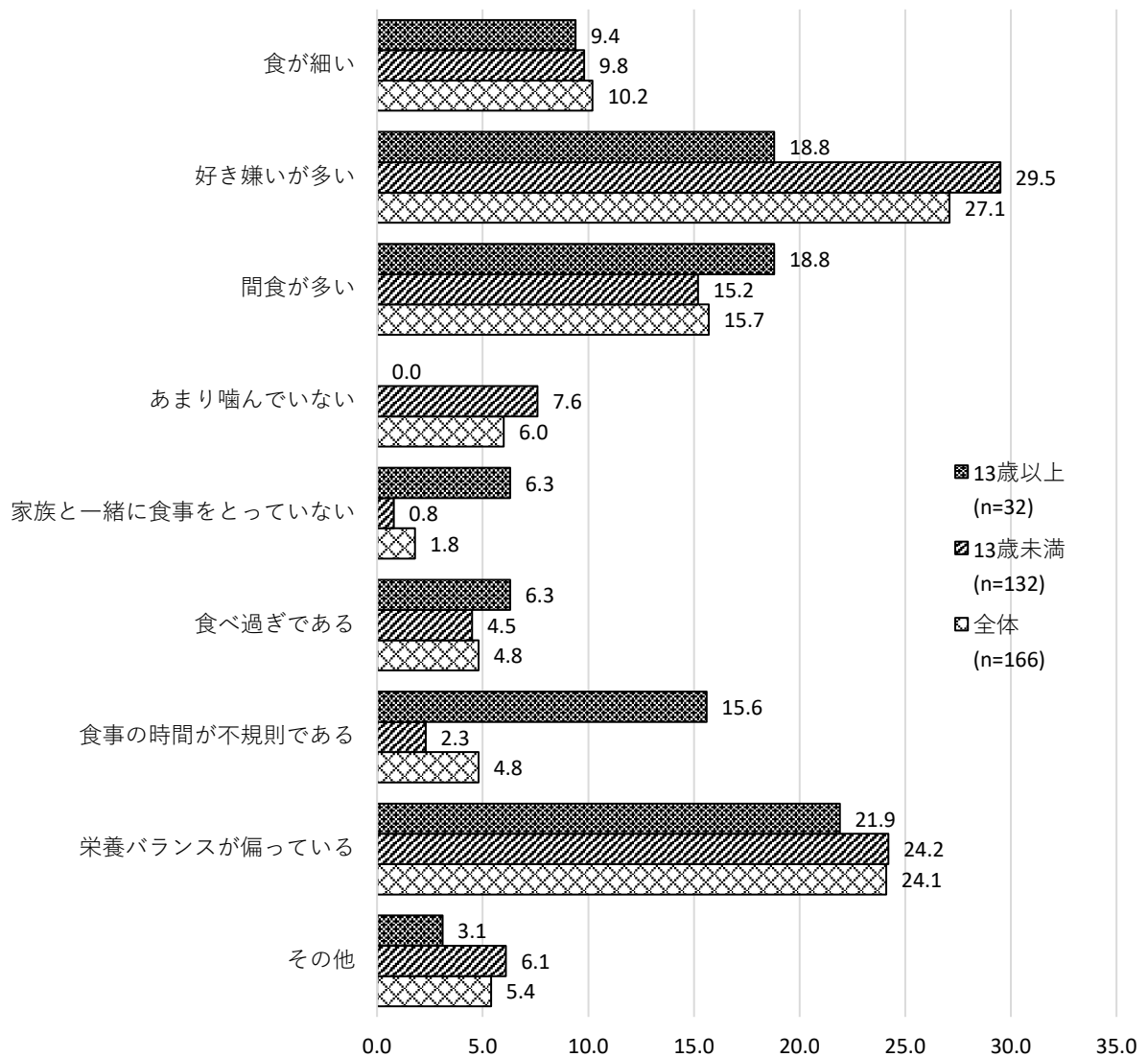
図2-54-2



問題点×年齢

図2-54-3

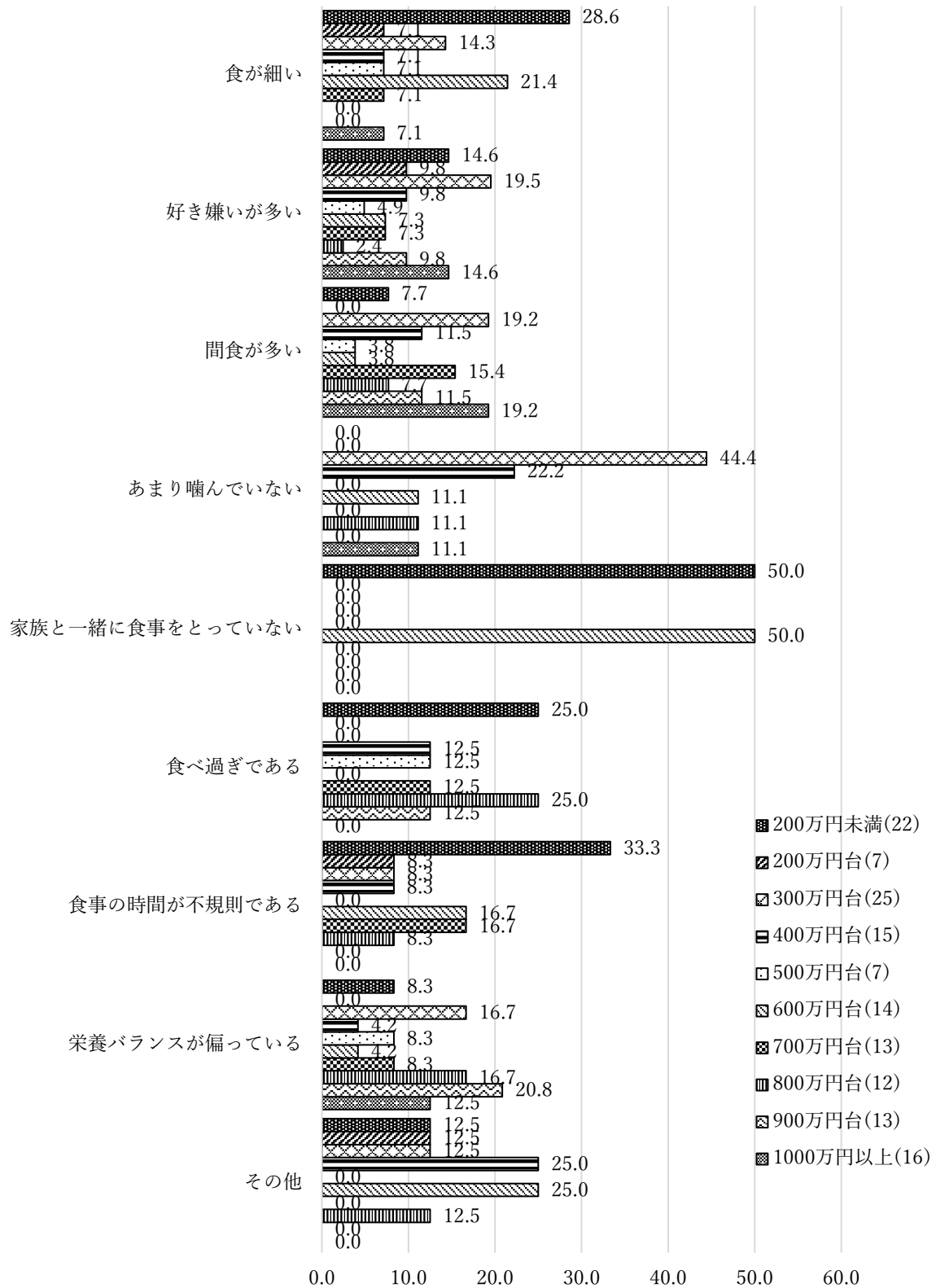
(%)



問題点×所得

図2-54-4

(%)

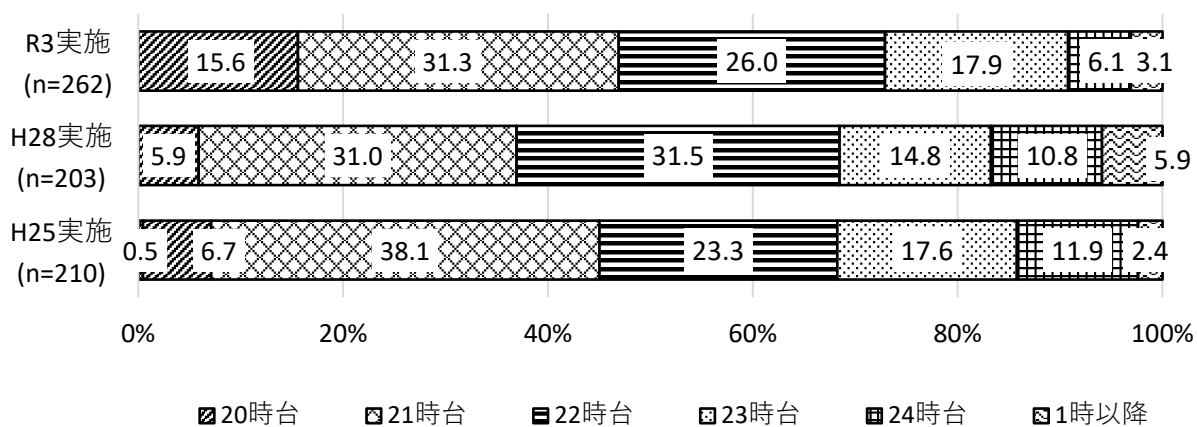


問 55 そのお子様は何時頃に寝て、何時頃に起きていますか？（それぞれ1つに○）

就寝時刻

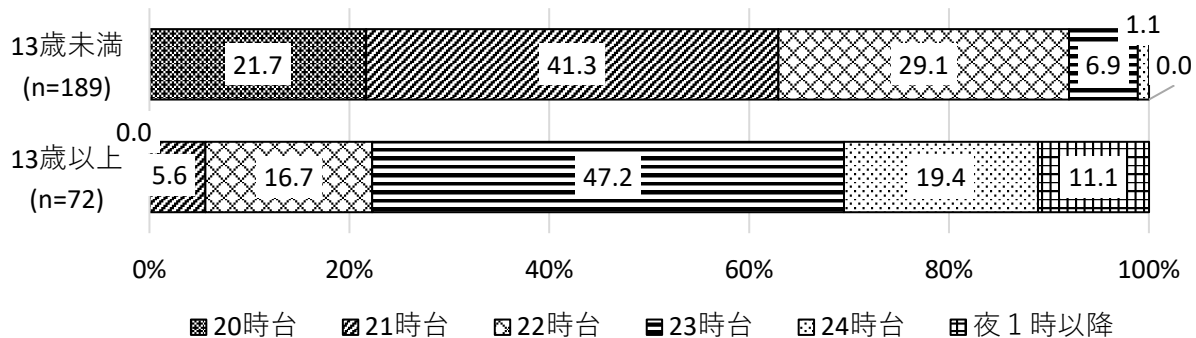
前回調査と比較して、10時台での就寝が減少し、就寝時間が若干早くなっている。年齢区分では、就寝時刻に大きな差があり、13歳未満では6割で9時台には就寝しているのに対して、13歳以上では11時台が5割近くで最も多く、1時以降の就寝も1割を超えている。世帯所得階層別では、8時台の就寝割合が300万円～400万円台で高く、その前後の階層で低下している。

図2-55-1



就寝時間×年齢

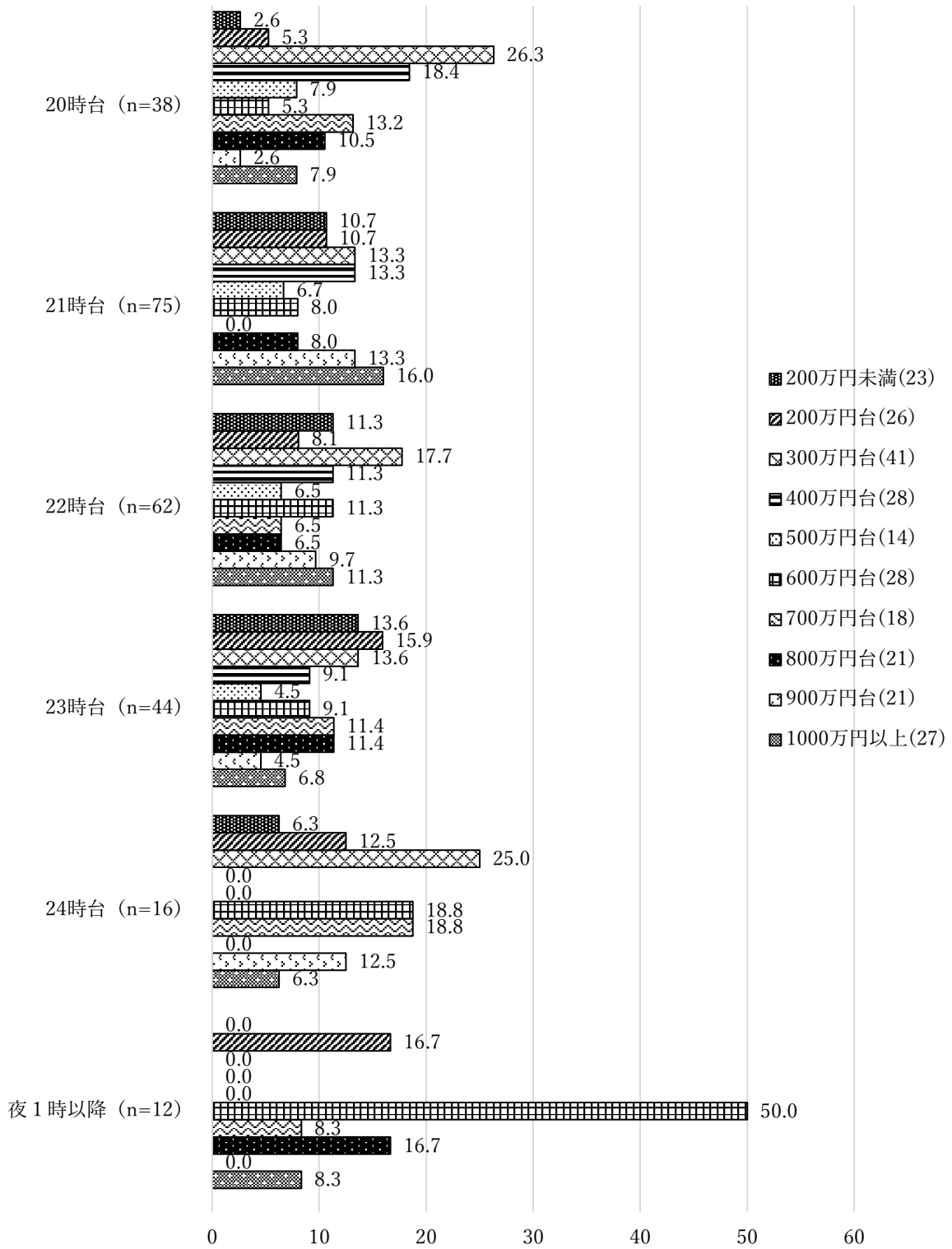
図2-55-2



就寝時間と所得

図2-55-3

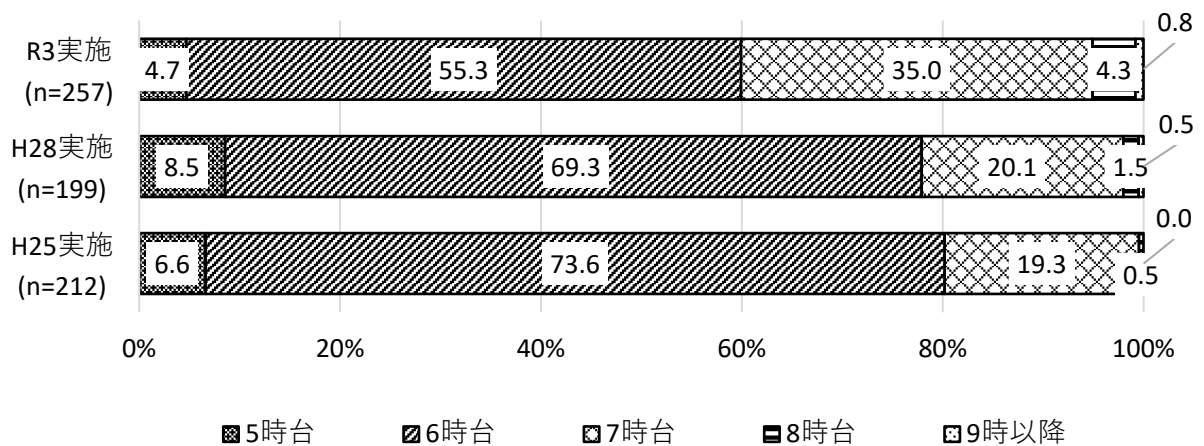
(%)



起床時刻

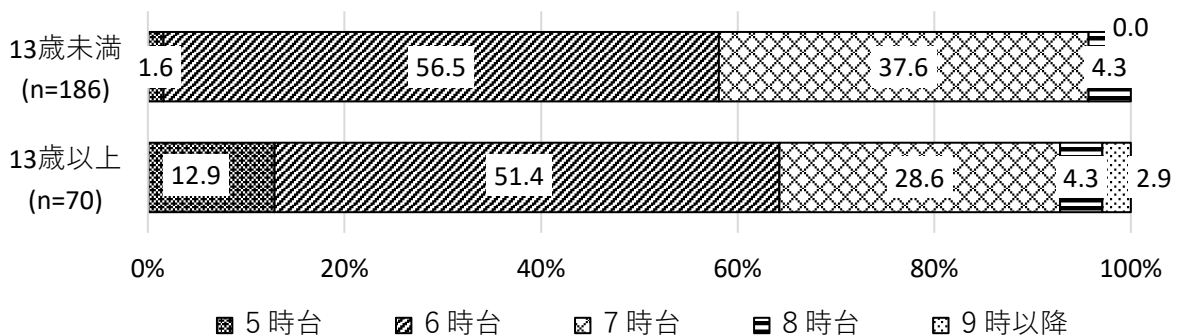
起床時刻は、6時台が減少し7時台が増加している点は、コロナ禍の影響と考えられる。年齢区分では、13歳未満では6時台が最も多いが、13歳以上においても同様に6時台が多く、5時台の割合が1割程度となっている。世帯所得階層別では、他の項目と同様に、階層ごとのバラツキが大きい。

図2-55-4



起床時間×年齢

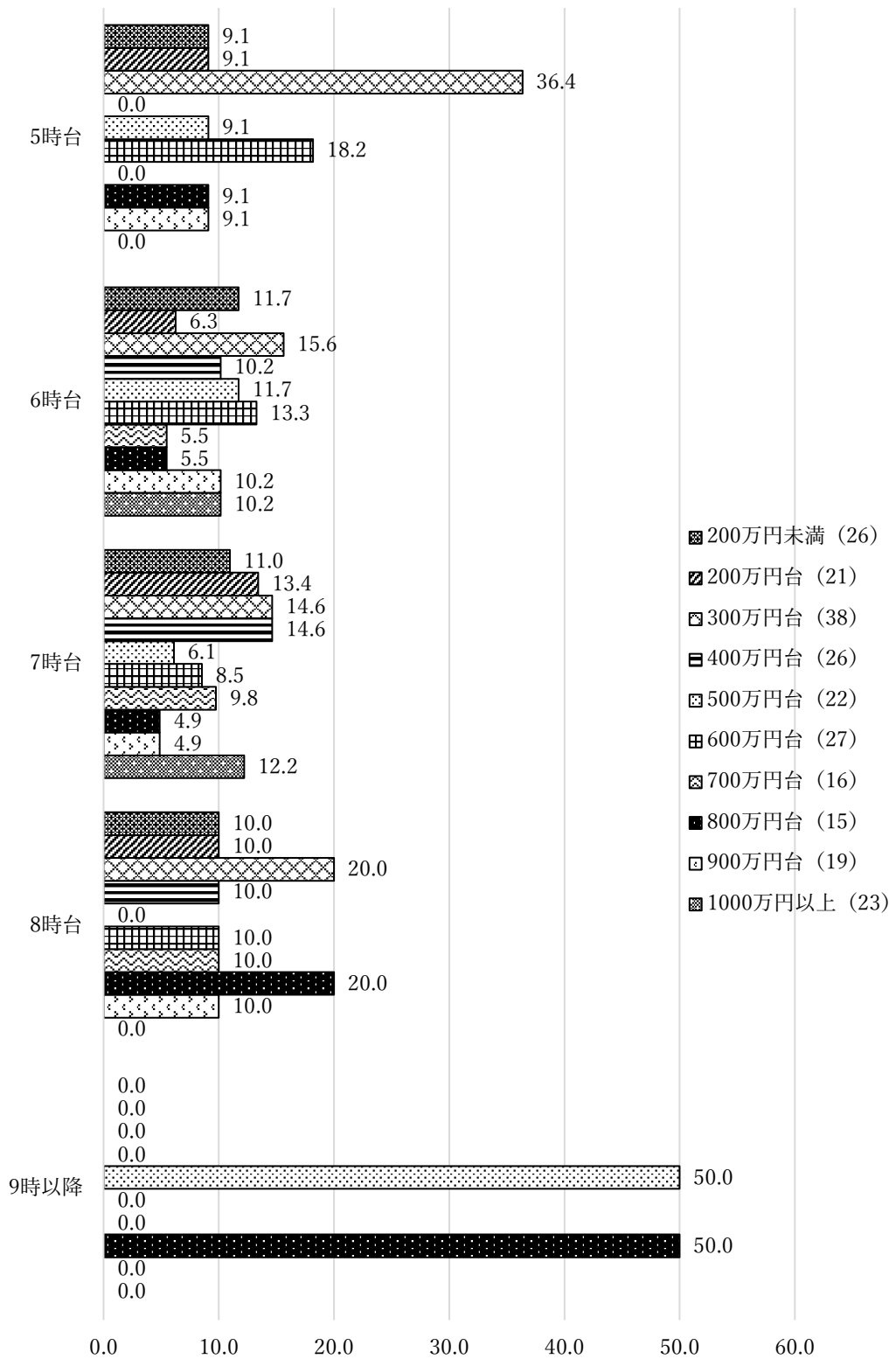
図2-55-5



起床時間×所得

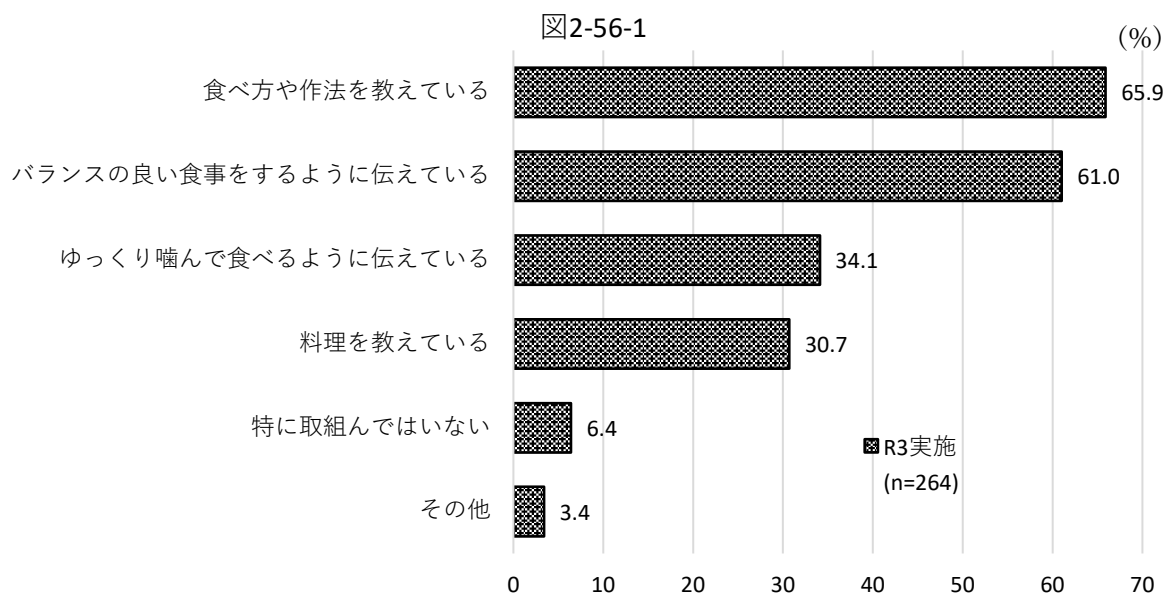
図2-55-6

(%)

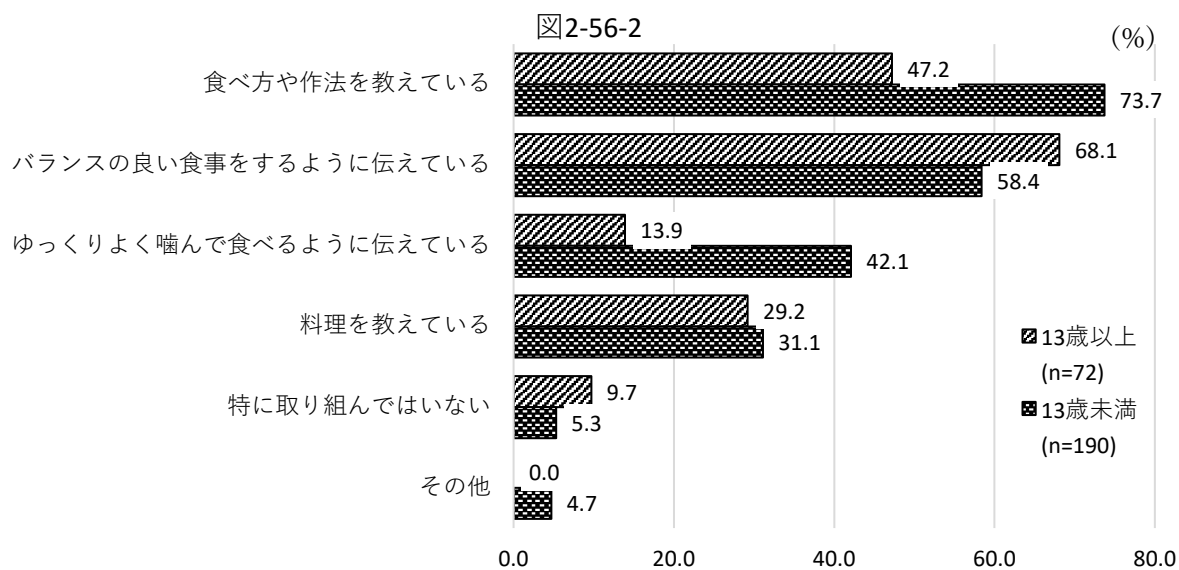


**問 56 あなたはそのお子様に対して、食育に関する取組みをされていますか？**  
 (該当するものすべてに○)

食べ方や作法を教えること、次いでバランスの良い食事をするのが、最も一般的に行われている。年齢別にみると、13歳未満で食べ方や作法を教える割合が高くなっている点は、子供の発育上、納得できる結果といえる。世帯所得階層別では、200万円未満および200万円台で全体に取り組みの割合が低くなっている。

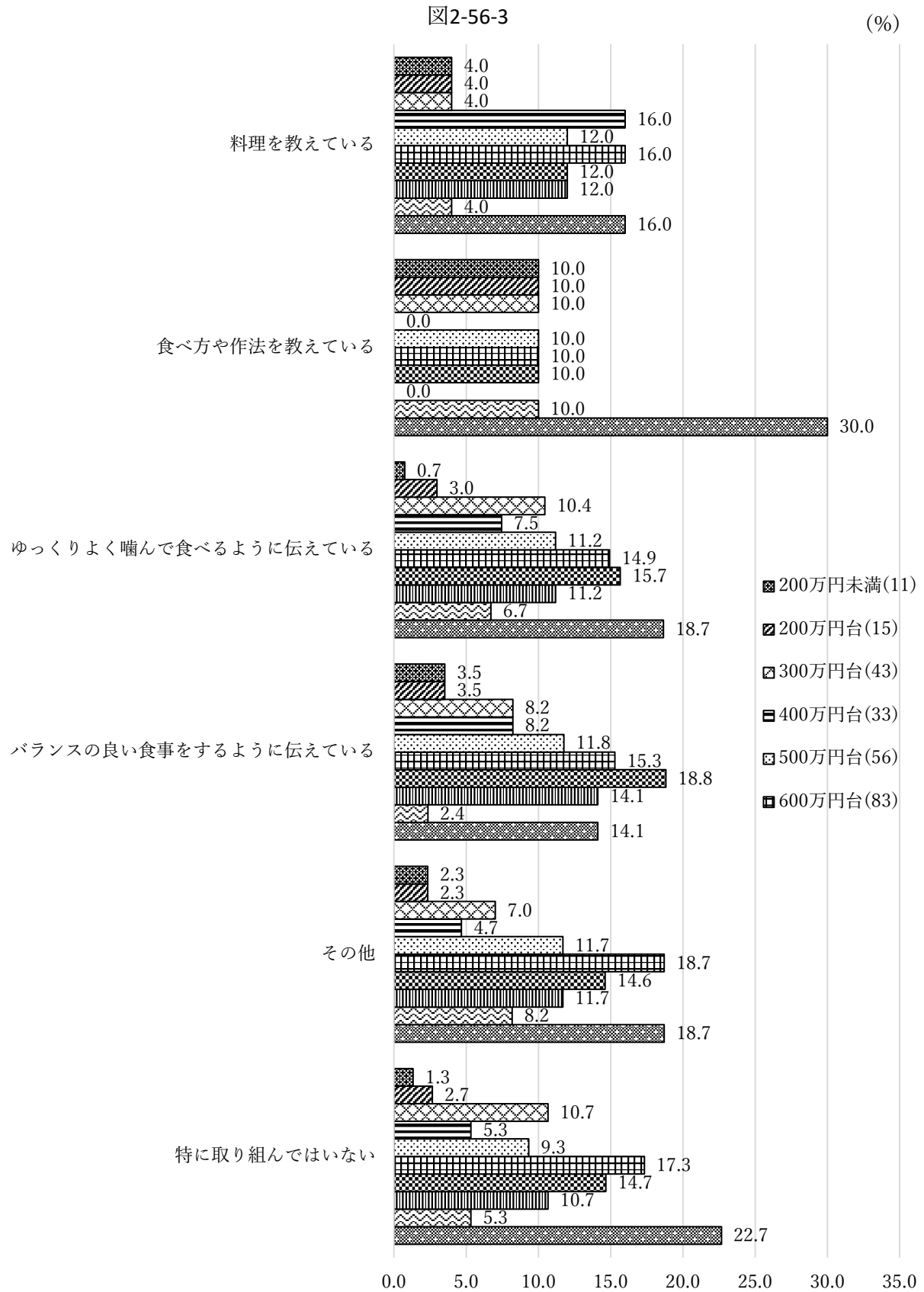


**食育と年齢**





食育と所得





## 第3章 質問と回答（単純集計）



問1 現在、毎日の食事を「おいしい」と感じているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
感じている	735	60.8	64.5	36.2	41.0
やや感じている	315	26.1	25.3	59.6	54.7
どちらともいえない	108	8.9	7.1	—	—
あまり感じない	41	3.4	2.3	2.8	2.6
感じない	5	0.4	0.4	0.4	0.1
無回答	5	0.4	0.4	1.0	1.5
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

問2 現在の食生活に満足しているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
満足している	393	32.5	34.3	24.8	—
まあまあ満足している	621	51.4	50.5	64.9	—
どちらともいえない	141	11.7	10.2	—	—
やや不満	42	3.5	3.8	8.0	—
不満	9	0.7	0.9	1.2	—
無回答	3	0.2	0.2	1.2	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

問3 食事は楽しいですか? (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
楽しい	526	43.5	46.8	42.4	—
まあまあ楽しい	492	40.7	40.6	51.6	—
どちらともいえない	123	10.2	9.4	—	—
あまり楽しくない	45	3.7	2.3	4.0	—
楽しくない	17	1.4	0.6	0.9	—
無回答	6	0.5	0.3	1.1	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

問4 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、  
日常の食事にどのような変化がありましたか？（すべてに○）

項目	回答数	構成比(%)
家で食事をする回数が増えた	622	51.4
家で料理をする回数が増えた	472	39.0
栄養バランスに配慮するようになった	208	17.2
1回の食事にかかる費用を節約した	105	8.7
1日の食事の回数を減らした	32	2.6
食欲が減退した	50	4.1
ほとんど変化はない	412	34.1
その他	20	1.7
無回答	5	0.4
計	1209	100.0

問5 「食育」という言葉やその意味を知っていますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
言葉も意味も知っていた	669	55.3	56.2	45.6	—
聞いたことはあったが、意味は知らなかった	451	37.3	35.7	31.6	—
言葉も意味も知らなかった	81	6.7	7.2	4.8	—
無回答	8	0.7	0.9	3.9	—
計	1209	100.0	100.0	82.0	—

問6 「食育」という言葉を最初にどこで知りましたか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
家庭	67	6.0	3.6	—	—
友人、知人	46	4.1	3.7	—	—
自分の通っていた学校	126	11.3	5.4	—	—
子供の保育所（園）、幼稚園、学校	115	10.3	6.2	—	—
松戸市の広報やイベント	113	10.1	4.5	—	—
わからない、覚えていない	366	32.7	8.7	—	—
その他	277	24.7	3.8	—	—
無回答	10	0.9	0.8	—	—
非該当	89				
計	1120	100.0	100.0	—	—

※H28のみ分母=1202、回答権なし20件を含む

問7 「食育」に関心がありますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
ある	320	26.5	34.3	31.3	31.6
ややある	470	38.9	40.7	52.3	51.4
どちらともいえない	278	23.0	16.8	—	—
あまりない	108	8.9	5.7	11.6	8.4
ない	18	1.5	1.5	2.7	2.3
無回答	15	1.2	1.1	1.0	3.4
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

※H25・22のみ「わからない」の項目あり、1.2%、2.8%それぞれあった。

問8 食育活動のなかで、あなたや家庭がすでに取り組んでいる (いた) もの (すべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
食生活の改善	511	42.3	17.1	—	—
食事の作法 (箸使いやテーブルマナーの指導など)	420	34.7	12.2	—	—
農林漁業体験	68	5.6	2.5	—	—
食文化や伝統の継承	188	15.6	7.0	—	—
食を通じたコミュニケーション	283	23.4	9.5	—	—
食べ物の無駄 (食品ロス) の削減	743	61.5	19.9	—	—
自然や生産者への感謝 (食事前後の挨拶の指導など)	427	35.3	14.4	—	—
安全な食を選べる力の養成	308	25.5	13.5	—	—
その他	15	1.2	0.6	—	—
とくにはない	143	11.8	2.9	—	—
無回答	4	0.3	0.2	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問9 今後、家庭や松戸市、学校が進めていくべきだと思う食育活動（すべてに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
食生活の改善	337	27.9	8.5	—	—
食事の作法（箸使いやテーブルマナーの指導など）	470	38.9	10.3	—	—
農林漁業体験	305	25.2	5.8	—	—
食文化や伝統の継承	411	34.0	8.9	—	—
食を通じたコミュニケーション	282	23.3	7.1	—	—
食べ物の無駄（食品ロス）の削減	803	66.4	13.9	—	—
自然や生産者への感謝（食事前後の挨拶の指導など）	530	43.8	12.6	—	—
安全な食を選べる力の養成	454	37.6	11.4	—	—
学校の授業での子どもへの食育	436	36.1	9.8	—	—
学校給食での子どもへの食育	507	41.9	10.5	—	—
その他	15	1.2	0.3	—	—
とくにはない	59	4.9	0.6	—	—
無回答	10	0.8	0.2	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問10 食育に関するボランティアのなかで、参加したことがある活動（すべてに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	55	4.5	3.6	—	—
農林漁業等に関する体験活動	83	6.9	5.4	—	—
食生活の改善に関する活動	37	3.1	4.4	—	—
生活習慣病予防などのための料理教室	80	6.6	9.6	—	—
食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	55	4.5	4.2	—	—
食品の安全や表示に関する活動	31	2.6	3.8	—	—
食育に関する国際交流活動	13	1.1	1.4	—	—
その他	7	0.6	0.5	—	—
とくにはない	929	76.8	62.3	—	—
無回答	43	3.6	4.7	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—



## 問11 食育ボランティアで参加してみたいもの(すべてに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	265	21.9	14.1	—	—
農林漁業等に関する体験活動	193	16.0	7.7	—	—
食生活の改善に関する活動	132	10.9	9.7	—	—
生活習慣病予防などのための料理教室	334	27.6	20.9	—	—
食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	220	18.2	8.2	—	—
食品の安全や表示に関する活動	207	17.1	11.4	—	—
食育に関する国際交流活動	125	10.3	5.3	—	—
その他	5	0.4	0.4	—	—
とくにはない	441	36.5	19.3	—	—
無回答	30	2.5	3.0	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

## 問12 朝食をどの程度の頻度でとっていますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
ほぼ毎日	938	77.6	84.9	85.5	81.8
週4～5日	67	5.5	4.4	2.4	3.8
週2～3日	73	6.0	3.6	5.9	6.1
ほとんど食べない	124	10.3	5.9	5.6	7.9
無回答	7	0.6	1.2	0.5	0.4
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

## 問13 朝食は主にどのようなメニューですか？(すべてに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
主食(ご飯、パン、麺など)	1034	85.5	32.2	—	—
主菜(魚、肉、卵、大豆料理など)	484	40.0	17.9	—	—
副菜(野菜、海藻、具の入った汁物など)	418	34.6	16.9	—	—
果物	392	32.4	—	—	—
乳製品	552	45.7	—	—	—
飲み物	508	42.0	17.0	—	—
栄養ドリンク・エナジーゼリーなど	56	4.6	1.1	—	—
菓子	20	1.7	—	—	—
その他	11	0.9	0.3	—	—
無回答	29	2.4	0.8	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

※H28は「菓子、果物、乳製品」の項目をあわせての数値。13.7%であった。

問 14 朝食をとらない（とれない）ときの理由は何ですか？（すべてに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
食欲がない	269	22.2	23.4	—	—
ダイエット	48	4.0	3.6	—	—
準備や後片付けが面倒	56	4.6	2.0	—	—
朝食より優先したいことがある、時間が ない	434	35.9	16.6	—	—
お金の節約	23	1.9	1.4	—	—
朝食をとる習慣がない	74	6.1	3.2	—	—
その他	78	6.5	8.8	—	—
無回答	421	34.8	41.0	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 15 朝食をとらなくなった時期はいつですか？（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
小学校に入る前から	6	8.1	7.0	—	—
小学校に入った頃から	2	2.7	2.3	—	—
中学校に入った頃から	5	6.8	5.8	—	—
高校に入った頃から	10	13.5	8.1	—	—
専門学校や大学に入った頃から	11	14.9	10.5	—	—
就職した頃から	16	21.6	24.4	—	—
結婚した頃から	3	4.1	3.5	—	—
出産した（子育てが始まった）頃から	4	5.4	3.5	—	—
子どもが独立した頃から	4	5.4	5.8	—	—
自分や配偶者が仕事をリタイアした頃か ら	3	4.1	5.8	—	—
その他	8	10.8	19.8	—	—
無回答	2	2.7	3.5	—	—
非該当	1135				
計	74	100.0	100.0	—	—

※H28 は分母=86、回答権なし 40 件を含む

問 16 主食・主菜・副菜を組み合わせるように配慮した食事をとっていますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
1日3食とも配慮している	173	14.3	20.3	—	—
1日2食は配慮している	435	36.0	38.9	—	—
1日1食は配慮している	413	34.2	31.1	—	—
あまり配慮していない	137	11.3	7.0	—	—
全く配慮していない	34	2.8	1.9	—	—
無回答	17	1.4	0.9	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 17 食品の安全に関心がありますか？ (1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
ある	554	45.8	56.5	—	—
まあまあある	477	39.5	36.8	—	—
どちらともいえない	89	7.4	4.7	—	—
あまりない	38	3.1	0.9	—	—
ない	10	0.8	0.2	—	—
無回答	41	3.4	1.0	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 18 安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか？ (すべてに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
消費(賞味)期限や製造日の確認	961	79.5	18.6	—	—
アレルギー表示の確認	167	13.8	2.6	—	—
産地の確認	616	51.0	13.9	—	—
保存方法や使用方法の確認	640	52.9	12.1	—	—
においや見た目での確認	667	55.2	12.4	—	—
包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	668	55.3	12.2	—	—
食材や調理品の室温放置をしない	627	51.9	11.6	—	—
肉の十分な加熱	775	64.1	13.9	—	—
健康食品などから特定の栄養素を過剰に摂取しない	240	19.9	2.0	—	—
その他	33	2.7	0.5	—	—
無回答	21	1.7	0.2	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 19 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
している	193	16.0	26.0	28.2	—
ややしている	299	24.7	30.3	35.4	—
どちらともいえない	204	16.9	13.1	13.9	—
あまりしていない	321	26.6	20.7	17.8	—
していない	172	14.2	8.5	4.2	—
無回答	20	1.7	1.4	0.5	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

問 20 地元産（松戸産を含む千葉県産）の食材を購入していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
積極的に購入するようにしている	124	10.3	15.9	13.2	14.3
目につけば購入するようにしている	400	33.1	33.3	45.2	42.3
高くなければ購入するようにしている	332	27.5	28.2	13.8	15.8
気にして購入していない	335	27.7	21.4	26.4	26.9
その他	2	0.2	—	0.6	—
無回答	16	1.3	1.2	0.8	0.6
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

問 21 行事食を伴う伝統的な行事のうち、自宅で行っているもの (すべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
正月 (1月:おせち、お雑煮、七草粥など)	1055	87.3	16.3	15.6	—
節分 (2月:豆、恵方巻きなど)	753	62.3	11.6	12.1	—
桃の節句 (3月:ひな菓子、五目寿司など)	481	39.8	7.8	8.4	—
春分の日 (3月:ぼた餅など)	214	17.7	3.9	4.4	—
端午の節句 (5月:ちまき、かしわ餅など)	473	39.1	7.3	7.3	—
七夕 (7月:そうめんなど)	197	16.3	2.6	1.8	—
土用 (7月:うなぎ、餅など)	559	46.2	9.1	9.0	—
お盆 (8月:団子など)	233	19.3	4.1	4.4	—
十五夜 (9月:月見団子など)	175	14.5	3.0	3.1	—
秋分の日 (9月:おはぎなど)	292	24.2	5.7	5.7	—
七五三 (11月:千歳飴など)	141	11.7	2.2	3.0	—
冬至 (12月:かぼちゃなど)	544	45.0	9.8	9.3	—
大晦日 (12月:そばなど)	1031	85.3	15.5	15.1	—
その他	13	1.1	0.4	0.6	—
無回答	54	4.5	0.6	0.0	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

問 22 「だし」を素材 (昆布やかつお節など) からとっていますか? (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
毎回とっている	91	7.5	11.6	—	—
時々とっている	207	17.1	23.7	—	—
市販のだしを使っている	860	71.1	61.8	—	—
とっていないし、市販のだしも使っていない	36	3.0	1.7	—	—
無回答	15	1.2	1.2	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 23 生活習慣病の予防や改善のために適正体重の維持や減塩食などを実践しているか  
(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
実践している	202	16.7	19.3	—	—
まあまあ実践している	570	47.1	48.9	—	—
あまり実践していない	311	25.7	23.2	—	—
実践していない	104	8.6	6.9	—	—
わからない	8	0.7	0.8	—	—
無回答	14	1.2	0.9	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 24 食品ロス削減のために意識して適量の食材を購入、調理、外食時には注文しているか  
(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
気をつけている	394	32.6	30.7	—	—
まあまあ気をつけている	615	50.9	49.0	—	—
どちらともいえない	110	9.1	11.0	—	—
あまり気を付けていない	48	4.0	5.7	—	—
気を付けていない	26	2.2	2.3	—	—
無回答	16	1.3	1.3	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 25 環境に配慮した食材、食品を選ぶようにしているか(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)
気をつけている	154	12.7
まあまあ気をつけている	503	41.6
どちらともいえない	305	25.2
あまり気を付けていない	161	13.3
気を付けていない	68	5.6
無回答	18	1.5
計	1209	100.0

問 26 どのように配慮した食材、食品を選んでいるか (すべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)
地元や近隣地域で生産された食材、食品を選んでいる	324	49.3
旬の食材を選んでいる	500	76.1
過包装でない食材、食品を選んでいる	174	26.5
プラスチック容器を使わない食品を選んでいる	50	7.6
農薬や化学肥料を控えた食材を選んでいる	277	42.2
その他	11	1.7
無回答	5	0.8
非該当	552	
計	657	100.0

問 27-1 どれぐらいの頻度で家族や友人と一緒に朝食をとっているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
ほとんど毎日	548	45.3	49.5	—	—
週に4～5日	62	5.1	6.0	—	—
週に2～3日	148	12.2	11.2	—	—
週に1日程度	63	5.2	7.1	—	—
ほとんどない	355	29.4	24.0	—	—
無回答	33	2.7	2.2	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 27-2 どれぐらいの頻度で家族や友人と一緒に夕食をとっているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
ほとんど毎日	760	62.9	63.5	—	—
週に4～5日	91	7.5	7.5	—	—
週に2～3日	94	7.8	9.8	—	—
週に1日程度	39	3.2	5.6	—	—
ほとんどない	153	12.7	8.9	—	—
無回答	72	6.0	4.8	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 28 一人で朝食や夕食をとる場合の理由はなにか（すべてに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
本人以外の時間が合わないため	507	41.9	42.0	—	—
本人の時間が合わないため	360	29.8	22.8	—	—
一緒に食べる習慣がないため	46	3.8	2.1	—	—
その他	129	10.7	11.9	—	—
無回答	254	21.0	21.2	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 29 野菜や果物などの栽培（趣味を含む）をしているか（すべてに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
自宅の庭で栽培している	183	15.1	16.7	49.4	56.2
ベランダや屋内でプランターなどで栽培している	154	12.7	13.8	30.5	35.6
自家所有の畑で栽培している	16	1.3	2.1	7.4	4.9
市民農園や知り合いの畑でしている	32	2.6	3.5	9.9	7.9
していない	829	68.6	60.5	—	—
その他	9	0.7	1.8	2.0	45.3
無回答	24	2.0	1.6	0.7	0.4
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

問 30 子ども達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要か（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
学校のほう	47	3.9	2.5	2.3	2.6
やや学校のほう	73	6.0	4.4	3.8	2.1
同じくらい	503	41.6	37.3	37.3	30.9
やや家庭のほう	250	20.7	20.0	24.9	23.9
家庭のほう	296	24.5	32.1	28.9	37.6
無回答	40	3.3	3.7	2.8	2.8
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0



問31 地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会があれば、参加したいと思うか（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
思う	142	11.7
やや思う	227	18.8
どちらともいえない	314	26.0
あまり思わない	291	24.1
思わない	217	17.9
無回答	18	1.5
計	1209	100.0

問32 過去1年間に、地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会に参加したか（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
参加した	99	26.8
参加していない	262	71.0
無回答	8	2.2
非該当	840	
計	369	100.0

問33 レシピサイト「クックパッド」に松戸市公式のページがあることを知っているか（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
知っていて、掲載レシピを作ったことがある	18	1.5
知っていて、閲覧したことがある	36	3.0
知っているが、閲覧したことはない	49	4.1
知らなかった	1091	90.2
無回答	15	1.2
計	1209	100.0

問 34 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この1週間であなたの心理面にどのような変化がありましたか。（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
気分が爽快なときが、かなり増えた	6	0.5
気分が爽快なときが、やや増えた	28	2.3
変化なし	545	45.1
気分が晴れないときが、やや増えた	428	35.4
気分が晴れないときが、かなり増えた	186	15.4
無回答	16	1.3
計	1209	100.0

問 35-1 現在のお口の健康状態及び全身の健康状態はどうか？（お口の健康状態）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
10（よい）	125	10.3	11.8	23.8	15.5
9	86	7.1	8.0	—	—
8	208	17.2	16.9	—	—
7	163	13.5	14.5	49.0	55.8
6	110	9.1	12.4	—	—
5	208	17.2	17.2	—	—
4	143	11.8	7.3	21.6	23.9
3	87	7.2	6.3	—	—
2	12	1.0	1.1	—	—
1（よくない）	31	2.6	2.8	3.3	3.1
無回答	36	3.0	1.8	2.3	1.7
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

問 35-2 現在のお口の健康状態及び全身の健康状態はどうか？（全身の健康状態）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
10（よい）	97	8.0	12.5	22.9	—
9	100	8.3	10.2	—	—
8	239	19.8	20.0	—	—
7	194	16.0	15.9	56.4	—
6	112	9.3	11.1	—	—
5	226	18.7	15.2	—	—
4	118	9.8	6.4	13.9	—
3	68	5.6	4.1	—	—
2	14	1.2	1.0	—	—
1（よくない）	12	1.0	1.6	1.6	—
無回答	29	2.4	2.0	5.2	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

問 36-1 口の健康状態などについて（歯ぐきが腫れることがあるか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	331	27.4
いいえ	852	70.5
無回答	26	2.2
計	1209	100.0

問 36-2 口の健康状態などについて（歯が痛んだり、しみたりすることがあるか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	483	40.0
いいえ	702	58.1
無回答	24	2.0
計	1209	100.0

問 36-3 口の健康状態などについて（かかりつけの歯医者があるか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	951	78.7
いいえ	245	20.3
無回答	13	1.1
計	1209	100.0

問 36-4 口の健康状態などについて（歯の治療は早めに受けるようにしているか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	854	70.6
いいえ	332	27.5
無回答	23	1.9
計	1209	100.0

問 36-5 口の健康状態などについて（歯ぐきから血が出ることがあるか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	396	32.8
いいえ	787	65.1
無回答	26	2.2
計	1209	100.0

問 36-6 口の健康状態などについて（口臭が強い（ある）という自覚はあるか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	331	27.4
いいえ	850	70.3
無回答	28	2.3
計	1209	100.0

問 36-7 口の健康状態などについて（たばこを吸うか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	123	10.2
いいえ	1074	88.8
無回答	12	1.0
計	1209	100.0

問 36-8 口の健康状態などについて（代用甘味料使用の食品を好んで飲食するか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	148	12.2
いいえ	1037	85.8
無回答	24	2.0
計	1209	100.0

問 36-9 口の健康状態などについて（知人や友人とよく食事をするか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
はい	195	16.1
いいえ	969	80.1
無回答	45	3.7
計	1209	100.0

問 36-10 口の健康状態などについて（歯磨きを1日何回するか）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
1回	157	13.0
2回	648	53.6
3回以上	379	31.3
時々みがく（みがかない日もある）	9	0.7
みがかない	1	0.1
無回答	15	1.2
計	1209	100.0

問 36-11 口の健康状態などについて (間食は1日何回とるか) (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
0～1回	815	67.4
2～3回	344	28.5
4回以上	17	1.4
無回答	33	2.7
計	1209	100.0

問 36-12 口の健康状態などについて (入れ歯 (インプラント) を使っているか) (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
総入れ歯	15	1.2
部分入れ歯	206	17.0
インプラント (人工歯根)	48	4.0
使用していない	917	75.8
無回答	23	1.9
計	1209	100.0

問 37 普段ゆっくりよく噛んで食べるか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
10 (噛んでいる)	32	2.6	7.2	13.8	—
9	41	3.4	4.0	—	—
8	138	11.4	12.0	—	—
7	137	11.3	13.6	54.3	—
6	171	14.1	14.6	—	—
5	296	24.5	21.8	—	—
4	175	14.5	12.7	31.1	—
3	149	12.3	8.8	—	—
2	31	2.6	2.0	—	—
1 (噛んでいない)	18	1.5	2.3	0.8	—
無回答	21	1.7	1.1	0.0	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

問 38 ゆっくりよく噛んで食べることを重要だと思うか（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
とても重要だと思う	465	38.5	39.4	—	—
重要だと思う	689	57.0	57.0	—	—
あまり重要だと思わない	44	3.6	2.8	—	—
全く重要だと思わない	1	0.1	0.1	—	—
無回答	10	0.8	0.7	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 39 噛ミング 30（カミングサンマル）という言葉や意味を知っているか（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
言葉も意味も知っている	274	22.7	27.5	—	—
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	84	6.9	6.5	—	—
言葉も意味も知らなかった	835	69.1	64.6	—	—
無回答	16	1.3	1.4	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 40 噛み方、味わい方といった食べ方に関心があるか（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
関心がある	184	15.2	20.0	—	—
どちらかといえば関心がある	570	47.1	49.2	—	—
どちらかといえば関心がない	324	26.8	23.2	—	—
関心がない	113	9.3	6.7	—	—
無回答	18	1.5	0.9	—	—
計	1209	100.0	100.0	—	—

問 41 現在の歯の本数

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
0～9本	34	2.8	4.0	3.8	2.8
10～19本	56	4.6	6.3	4.7	3.3
20～27本	290	24.0	26.7	25.8	22.5
28本以上	752	62.2	55.1	65.7	71.4
無回答	77	6.4	7.9	—	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

平均（本） 26.8 25.9 26.7 27.1

問 42-1 前回受けた歯科治療の時期

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
1ヶ月以内	226	18.7			
1～3ヶ月前	137	11.3			
4～6ヶ月前	80	6.6			
7ヶ月～1年前	115	9.5			
1～5年前	135	11.2			
5年以上前	24	2.0			
無回答	492	40.7			
計	1209	100.0			

問 42-2 前回受けた歯の健康診査の時期

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
1ヶ月以内	191	15.8			
1～3ヶ月前	167	13.8			
4～6ヶ月前	91	7.5			
7ヶ月～1年前	73	6.0			
1～5年前	77	6.4			
5年以上前	14	1.2			
無回答	596	49.3			
計	1209	100.0			

問 43-1 新型コロナウイルス感染症の拡大後、歯科受診や医科受診の回数（頻度）は変わったか（歯科受診）（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)
増加した	23	1.9
やや増加した	22	1.8
変わらない	742	61.4
やや減少した	113	9.3
減少した	259	21.4
無回答	50	4.1
計	1209	100.0

問 43-2 新型コロナウイルス感染症の拡大後、歯科受診や医科受診の回数（頻度）は変わったか（医科受診）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
増加した	12	1.0
やや増加した	30	2.5
変わらない	795	65.8
やや減少した	123	10.2
減少した	204	16.9
無回答	45	3.7
計	1209	100.0

問 44-1 新型コロナウイルス感染症の拡大後、お口や全身の健康状態はどうか（お口の健康状態）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
良い	96	7.9
やや良い	81	6.7
変わらない	875	72.4
やや悪い	119	9.8
悪い	27	2.2
無回答	11	0.9
計	1209	100.0

問 44-2 新型コロナウイルス感染症の拡大後、口や全身の健康状態はどうか（全身の健康状態）（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)
良い	77	6.4
やや良い	85	7.0
変わらない	785	64.9
やや悪い	226	18.7
悪い	23	1.9
無回答	13	1.1
計	1209	100.0



## 属1 あなたの性別 (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
男性	270	22.3	20.7	19.1	19.1
女性	927	76.7	78.6	80.6	80.8
無回答	12	1.0	0.8	0.3	0.1
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

## 属2 あなたの年齢 (令和3年7月1日現在) (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
20歳代	107	8.9	6.9	9.6	12.9
30歳代	213	17.6	10.3	16.6	22.8
40歳代	170	14.1	15.4	20.7	19.3
50歳代	243	20.1	20.0	19.6	22.6
60歳代前半 (60～64歳)	104	8.6	9.9	17.8	22.3
60歳代後半 (65～69歳)	127	10.5	12.7	—	—
70歳代前半 (70～74歳)	129	10.7	14.6	15.6	—
70歳代後半以上 (75歳以上)	103	8.5	9.5	—	—
無回答	13	1.1	0.6	0.2	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

## 属3 出身地は松戸市か (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
はい	282	23.3	19.2	18.6	—
いいえ (千葉県内)	170	14.1	12.0	11.5	—
いいえ (千葉県外)	745	61.6	67.8	69.7	—
無回答	12	1.0	0.9	0.3	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

属4 あなたの主な職業（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
会社員	306	25.3	17.5	19.5	23.7
公務員・団体職員	81	6.7	3.3	4.0	3.6
自営業（農業以外）	57	4.7	4.0	4.3	4.9
農業	4	0.3	0.3	0.5	0.3
パート・アルバイト	259	21.4	21.9	23.5	21.9
専業主婦（主夫）	302	25.0	34.6	33.5	32.7
学生	21	1.7	1.3	1.7	1.6
無職	154	12.7	14.7	9.3	8.4
その他	14	1.2	1.5	2.9	2.4
無回答	11	0.9	0.9	0.7	0.4
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

属5-1 あなた以外の同居家族の人数

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
0人	134	11.1	5.2	9.1	—
1人	409	33.8	31.1	25.5	—
2人	285	23.6	24.1	24.4	—
3人	259	21.4	20.7	26.4	—
4人	74	6.1	6.4	8.6	—
5人	18	1.5	2.4	2.7	—
6人	8	0.7	1.2	1.2	—
7人	1	0.1	0.2	0.5	—
無回答	21	1.7	8.6	1.4	—
計	1209	100.0	99.9	99.8	

※H28、H25で8人以上14人までの同居人数は、0.2%8人で10人が0.1%、H28。0.2%8人で14人が0.1%、H25。

属5-2 あなた以外の同居家族の人数（18歳以下）

項目	回答数	構成比(%)	H28	H25	H22
0人	857	70.9	25.1	66.9	—
1人	157	13.0	11.9	14.5	—
2人	140	11.6	10.2	14.8	—
3人	28	2.3	2.3	2.5	—
4人	5	0.4	0.2	0.3	—
5人	1	0.1	0.1	0.1	—
無回答	21	1.7	50.3	0.8	—
計	1209	100.0	100.1	99.9	

属5-3 あなた以外の同居家族の人数 (70歳以上)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
0人	905	74.9	17.6	85.1	—
1人	246	20.3	21.2	11.9	—
2人	36	3.0	4.1	1.7	—
3人	1	0.1	0.2	0.2	—
無回答	21	1.7	56.7	1.1	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

属6 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入面にどのような変化があったか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
変化なし	860	71.1
1割程度減少	78	6.5
1割～3割減少	108	8.9
3割～5割減少	39	3.2
5割～7割減少	20	1.7
7割以上減少	25	2.1
増加した	31	2.6
その他	18	1.5
無回答	30	2.5
計	1209	100.0

属7 世帯計の所得 (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
200万円未満	107	8.9	10.1	5.9	—
200万円台	134	11.1	11.3	9.2	—
300万円台	181	15.0	13.6	15.4	—
400万円台	121	10.0	11.7	12.8	—
500万円台	104	8.6	11.0	13.1	—
600万円台	110	9.1	8.5	9.9	—
700万円台	85	7.0	7.2	7.5	—
800万円台	80	6.6	4.7	7.8	—
900万円台	57	4.7	5.1	4.6	—
1,000万円以上	148	12.2	9.9	9.6	—
無回答	82	6.8	6.9	4.2	—
計	1209	100.0	100.0	100.0	—

子属1 子供の性別（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
男子	155	53.3	48.5	51.6	53.4
女子	136	46.7	51.5	48.4	46.6
非該当	918		0.0	0.0	0.0
計	1209	100.0	100.0	100.0	100.0

子属2 子供の年齢

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
3歳	39	13.4	—	—	—
4歳	28	9.6	—	—	—
5歳	16	5.5	1.5	—	—
6歳	23	7.9	9.7	—	—
7歳	15	5.2	10.7	—	—
8歳	22	7.6	7.8	—	—
9歳	11	3.8	5.8	—	—
10歳	13	4.5	11.7	—	—
11歳	8	2.7	6.3	—	—
12歳	17	5.8	5.8	—	—
13歳	9	3.1	7.8	—	—
14歳	16	5.5	5.3	—	—
15歳	14	4.8	9.2	—	—
16歳	17	5.8	5.3	—	—
17歳	11	3.8	8.7	—	—
18歳	7	2.4	3.9	—	—
無回答	25	8.6	0.5	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	—	—

子属3 子供の体格（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
肥満	1	0.3	2.4	0.9	—
やや肥満	26	8.9	8.3	8.4	—
ちょうどよい	153	52.6	51.9	52.8	—
やや痩身	58	19.9	30.1	30.4	—
痩身	28	9.6	6.3	7.5	—
無回答	25	8.6	1.0	0.0	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	100.0	—

問 45 子供の歯磨きの頻度 (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
1日1回	64	22.0	21.8	—	—
1日2回	174	59.8	65.5	—	—
1日3回以上	24	8.2	10.2	—	—
時々みがく (みがかない日もある)	4	1.4	2.4	—	—
みがかない	0	0.0	0.0	—	—
無回答	25	8.6	0.0	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	—	—

問 46 子供の歯科検診の頻度 (学校での検診を除く) (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
年に数回	136	46.7	41.3	36.9	29.6
年に1回程度	47	16.2	21.8	22.4	16.9
虫歯以外では特に行かない	80	27.5	36.9	40.2	49.2
無回答	28	9.6	0.0	0.5	4.2
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	100.0	100.0

問 47 子供は朝食をどの程度の頻度でとっているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
ほぼ毎日	247	84.9	90.8	—	—
週4～5日	7	2.4	6.3	—	—
週2～3日	6	2.1	1.5	—	—
ほとんど食べない	6	2.1	1.0	—	—
無回答	25	8.6	0.5	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	—	—

問 48 子供がとる朝食は主にどのようなメニューか（すべてに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
主食（ご飯、パン、麺など）	258	88.7	31.6	—	—
主菜（魚、肉、卵、大豆料理など）	116	39.9	18.0	—	—
副菜（野菜、海藻、具の入った汁物など）	79	27.1	13.6	—	—
果物	83	28.5			
乳製品	129	44.3			
飲み物	118	40.5	20.9	—	—
栄養ドリンク、エナジーゼリーなど	7	2.4	0.8	—	—
菓子	2	0.7			
その他	0	0.0	0.0	—	—
無回答	28	9.6	0.2	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	85.1	—	—

※H28 は「菓子、果物、乳製品」の項目をあわせての数値。15.0%であった。

問 49 子供が朝食をとらないときはどのような理由があると思うか（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
夜食や間食のせいで食欲がない	13	4.5	7.3	—	—
ダイエット	1	0.3	0.5	—	—
起きる時間が遅く時間がない	113	38.8	38.8	—	—
朝食をとる習慣がない	2	0.7	0.0	—	—
家族と顔を合わせたくない	1	0.3	0.0	—	—
その他	35	12.0	13.1	—	—
無回答	126	43.3	40.3	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0		

問 50 子供が朝食をとらなくなったのはいつ頃からか（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
幼少期から	0	0.0	20.0	—	—
小学校に入学した頃	1	50.0	10.0	—	—
中学校に入学した頃	1	50.0	40.0	—	—
高校に入学した（あるいは18歳）頃	0	0.0	30.0	—	—
わからない、覚えていない	0	0.0	0.0	—	—
非該当	1207		0.0	—	—
計	2	100.0	100.0	—	—

※H28 は分母=10（全て回答権なし）問 45 で「朝食をとる習慣がない」の回答数 0

問 51-1 子供はどれぐらいの頻度で家族と一緒に朝食をとっているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
ほとんど毎日	194	66.7	68.0	—	—
週に4～5日	14	4.8	8.7	—	—
週に2～3日	26	8.9	10.2	—	—
週に1日程度	11	3.8	4.4	—	—
ほとんどない	21	7.2	7.8	—	—
無回答	25	8.6	1.0	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0		

問 51-2 子供はどれぐらいの頻度で家族と一緒に夕食をとっているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
ほとんど毎日	232	79.7	79.1	—	—
週に4～5日	13	4.5	8.3	—	—
週に2～3日	13	4.5	6.3	—	—
週に1日程度	5	1.7	1.9	—	—
ほとんどない	1	0.3	1.5	—	—
無回答	27	9.3	2.9	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	—	—

問 52 子供が一人で朝食や夕食をとる理由はなんだと思うか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
家族と本人との出勤時間や帰宅時間が合わないため	127	43.6	59.2	—	—
一緒に食べる習慣がないため	1	0.3	1.5	—	—
家族と顔を合わせたくないため	1	0.3	0.5	—	—
その他	3	1.0	3.4	—	—
無回答	159	54.6	35.4	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	—	—

問 53 子供の現在の食生活に問題があると思うか（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
問題はない	59	20.3	19.9	20.1	27
あまり問題はない	93	32.0	33.5	44.9	47.1
どちらともいえない	33	11.3	12.6	14	11.1
やや問題がある	64	22.0	27.2	17.8	10.6
問題がある	14	4.8	3.9	2.8	3.7
無回答	28	9.6	2.9	0.5	0.5
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	100.0	100.0

問 54 特にどのような点に問題があると思うか（すべてに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
食が細い	17	21.8	10.4	13.6	14.8
好き嫌いが多い	45	57.7	28.5	52.3	55.6
間食が多い	26	33.3	13.9	9.1	11.1
あまり噛んでいない	10	12.8	9.0	6.8	3.7
家族と一緒に食事をとっていない	3	3.8	2.8	6.8	11.1
食べ過ぎである	8	10.3	7.6	—	—
食事の時間が不規則である	8	10.3	2.8	—	—
栄養バランスが偏っている	40	51.3	21.5	—	—
その他	9	11.5	2.8	11.4	—
無回答	1	1.3	0.7	0.0	3.7
非該当	1131				
計	78	100.0	100.0	100.0	100.0

問 55-1 子供は何時頃に寝て、何時頃に起きているか（就寝時刻）（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
20 時台	41	14.1	5.8	6.6	—
21 時台	82	28.2	30.6	37.5	—
22 時台	68	23.4	31.1	22.9	—
23 時台	47	16.2	14.6	17.2	—
24 時台	16	5.5	10.7	11.7	—
夜 1 時以降	8	2.7	5.8	2.3	—
無回答	29	10.0	1.5	1.4	—
非該当	918				—
計	291	100.0	100.0	100.1	—



問 55-2 子供は何時頃に寝て、何時頃に起きているか (起床時刻) (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
5時台	12	4.1	8.3	6.6	—
6時台	142	48.8	67.0	72.8	—
7時台	90	30.9	19.4	19.2	—
8時台	11	3.8	1.5	0.5	—
9時以降	2	0.7	0.5	0.0	—
無回答	34	11.7	3.4	0.9	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	100.0	—

問 56 子供に対して、食育に関する取組をしているか (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28	H25	H22
料理を教えている	81	27.8	13.4	—	—
食べ方や作法を教えている	174	59.8	31.3	—	—
ゆっくりよく噛んで食べるように伝えている	90	30.9	13.9	—	—
バランスの良い食事をするように伝えている	161	55.3	34.3	—	—
その他	9	3.1	4.6	—	—
特に取り組んではない	17	5.8	1.9	—	—
無回答	27	9.3	0.7	—	—
非該当	918				
計	291	100.0	100.0	—	—



## 第 4 章 自由記述



1. 松戸市で食育に関するセミナー等開催されましたらぜひ参加したいです。オンラインウェビナーだとより参加しやすいかと思えます。
2. 親や老人が子供に対し食の大切さを教えることが大事であり学校でも教えるべきである。カラダによいものも悪いものもすべて身につく肉は食べないほうがよい。
3. 1人暮らし向けの値段が高いサラダがあれば良いと思う。鉄分やビタミンCなどに重視した料理が売られていれば買いたい。
4. アンケートを取るのは良いが、いきなり送付し、お礼などもなく、何日までに送れ。とは少々勝手が過ぎると感じた。一度担当部署で上記について話し合い、改善される事を望みます。アンケートで終わる事なく、1つ1つ結果を出せるよう頑張ってください。以上。
5. 共働きの為、朝食時や夕食時は作って食べるだけで精一杯。食育の大切さはわかっているが、実際はなかなか家庭で実践できない。学校でもなるべく時間を作って欲しい。
6. 学校での教育はもちろん大切だと思いますが、やはり家庭でのそれがベースになると思います。通常、学校より家庭にいる時間（関わる時間）の方が多からず。食事においても、週21食のうち、学校では基本5食のみですから。子供たちは、先生を見て育つより、親や家族を見て育つ割合の方が多と思われる。
7. 地元野菜に関心を持つために農業体験など気軽にできる機会があるといいなと思いました。
8. 自分自身の小・中の家庭科の時習った基本をしっかり身につけているつもりで生活しております。栄養価表も（新しいもの）持っています。個人としてはコミュニケーション嫌いで気が向くとき以外と検診等で指定された時以外人とのつきあひしません。食事会や料理教室の様な所へ行くのは本当に疲れますから、体力に合う範囲で買物、調理等やっております。「食育」小さな頃から教育（学校）したり、家で親のやっている事を見せたりすると自然に身につくと思います。
9. 小学校の給食が美味しい、大好きと言っています。ヘルシーでバランス良く、とてもありがたいです。食育もお話してくれているようですが、可能なら、収穫や農家見学等の体験を通した食育もしていただけたら嬉しいです。
10. 2人家族なので時々はおそうざいを購入するのですが、全体的に味が濃く感じます。高齢化した家族となれば、作らずに済むおそうざいは便利ですが、もっと薄味にならないかと思えます。表示で「塩分控えめ」などあればと思います。食育の一環として味のバランスはむずかしいですが…。
11. 食品にアレルギーがある人や病気で治療中の人は仕方ないが食べれる量以上の物を購入したり、作ったり、又外食時にも食べきれない量を買ひ、注文する人は、それぞれの分野で努力している人に対する感謝がないような気がする。季節の旬の物を安くおいしく頂けることに感謝する。全ての行事についてとは言わないが、出来る範囲で行事としての食べ物を少しでも食べていき、後生世に継いでいきたい。せめて公やけの場所では、最低限のマナーを守り、周囲の人に不快感を与えないよう。幼少期から親がしっかりとしつけて教えることが大切だと思う。学校まかせはいけない。
12. 松戸市も今後共食育について、特に未成年の子供達中心に進めていただきたい。また、高齢者につ

いての食育も必要と思います。

13. 離乳食教室はあっても幼児食は中々教えてくれる所はなく、どの程度大人からの取り分けしても良いのか分からなかったりするので、幼児食教室の充実させて欲しい。
14. 現在子どもが主に食を学ぶ場は、家庭または保育園・幼稚園・学校かと思います。しかし後者が準備etcが必要な食育を行うのは負担も大きいと思います。メディアやSNSetcの情報から自然と食育に関する内容を知ったり学べたりする環境も現代において有効なのでは？と感じました。
15. 高校にも是非給食を提供して頂きたいです。育ちざかりの高校生の栄養摂取と毎日忙しい親の負担（お弁当）を軽減するためをお願いしたい。
16. 私自身が食育について刺激を受けたアンケートでした。食育について学びたいと思います。
17. 直接関係ありませんが、松戸にも地元野菜が販売できる「道の駅」ができるといいですね。
18. 言葉の意味について実は正確に知らない人が多いと思いますので啓発は必要かと思います。地味なことかもしれませんが、とても大事なことであると思います。
19. 食育専門の職員を学校などに配置してほしい。
20. 学校給食は食育のために充実させてほしいと思います。学校や保育所、幼稚園の給食費が無料であってほしいと思います。
21. 季節の行事食をもっと子供に知らしめて欲しい。旬のものが美味しいと、差も食べて理解できると良い。
22. テレビ・ラジオ・新聞等での特に「健康食品」と称するもののCMに大して、行政としてもっと積極的に指導できないのか！化学的（生物学的・栄養学的）に正しくないことをあたかも事実であるかのようにセンデしているメーカーの主張が言い放し、言ったもん勝ちすぎてひどすぎよ！たとえば「コラーゲン食品」のCMでは「コラーゲンが必要だ」と言って、自社の製品をさかんにすすめているけれど一実際の人体は「コラーゲン食品」を食べたからといって、それがそっくり自分の体のコラーゲンになるわけではない。そもそも必要なのは「必須アミノ酸のバランス」であって、バランスを欠いて過じょうに摂取したアミノ酸は筋肉等で消費されるか脂肪としてたくわえられるだけで意味がない。それにそもそも「コラーゲン」なんてものはスーパーのお菓物売り場にある「ゼラチン（ゼリーの素）」とほとんど同じものでわざわざバカ高いカネを払ってまで買うもんじゃない。「健康食品のコラーゲン」はほとんどサギだ！
23. 問9にも記載しましたが、新鮮で美味しい食品を購入出来る様が変わって欲しいです。野菜はJAさんで購入していますが、お肉や魚は中々厳しく、特に魚は残念に感じており、わざわざ遠くで買ったり、イトーヨーカドーさんの様に安心・安全な食品を提供して頂きたいです。コロナ禍で更に感じるようになった衛生面。店内が薄暗かったり、お店の問題かとは思いますが、環境も大切だと思うので、買う気を失くしてしまいます。本当に不便で困っています。どうか改善して頂く、願うばかりです。何卒宜しくお願い致します。

24. とても奥が深く気を付けて行きたいと思います。
25. 家族が給食業界で働いていますが、松戸市の給食の食品ロスが多すぎると思います。牛乳も余ったものは捨てる、給食を食べる時間が短いからおかわりできずあまったものはすてる、たべ残しも多い。改善した方がいいのではと思います。
26. 箸使い等の食事の作法は、就職してからとても気にするようになった。丁寧な人はとても印象がよく見える、一方、雑な人は印象が悪く、食事の方法も汚い。また、食事の作法は人の身なりや行動、労作にも現れるように見える。丁寧な人に仕事を任せると、成果物もよいものとなる。しかし、雑な人は大した成果物を残さない。次に一緒に仕事をするとき、丁寧な食事の作法を身に付けている人と仕事をしたいと思ってしまう。小さなことだが、食事の作法1つとっても、社会に出て働くために必要な人格形成を任っていると考える。
27. 食事のマナーを家庭・学校共に教育するべきだと思う。はしの使い方（正しい持ち方）など日本の伝統を守って欲しいです。 ・色どり、バランスなど目で楽しみ、舌で楽しみ、食事を楽しい生活の一部にしたい。 ・今は冷凍食品など簡単にお腹を満たす事は出来るが、目で楽しんでない分、心が満たないのでは？と考えてしまいます。共働きや母子家庭が増えて、食事の時間が楽しめない子供達が増えているのではないかと思います。その分給食等でも食育を進めて欲しいです。
28. あまり食育について意見されるとつらい。子供は思い通りに食べない。こちらがバランス良く作っても全く食べない事も毎日の様にある。
29. 食べる事はとても大切なことです。コロナの影響でなかなか家族以外の友人達と楽しく会食することができなくてさみしい思いがします。何を食べるかも大事ですが、どんな物でも、家族やいろいろな人達と楽しく食べた思い出はとても大切な思い出になると思います。子供も大人も、みんな明るい笑顔で和気あいあいと過ごせる日が早く戻ってくるといいなと思っています。
30. テレビ等による激辛食品の食べ比べや大食い競争の番組などは少々やりすぎのような気がします。
31. 独身1人生活なので子供の事はわかりません。
32. 食生活は生きる事の基本であり、食に関する知識や食習慣を身に付ける事は必須事項だと感じる。健康的で豊かな暮らしを営む為にも食育は重要であり、食べるという行為をもっと大切に感じるべきだと痛感致します。
33. 「食育」この課題を見る度、思い出す事があります。歯の抜ける時期、他の子供達が抜けるのを見て「自分の歯も抜けた」と自慢気に見せてくれた子、それは虫歯のかけたものでした。朝食は無し。夕食はコンビニの鮭おにぎりのみ、栄養のバランスとれた食事は給食のみ。その子にお腹いっぱい給食を食べさせる事しか出来ませんでした。家庭での食育は、なかなか難しいと、ましてやこのコロナ禍でいろいろ難しい事が多くなっているのでは。
34. 食育は子供だけでなく、中・高年の男性などあまり料理をしない大人にも必要だと思います。（高齢化・独居世帯の増加、飲食店や第一次産業の方々への尊敬の念。）
35. 昔に比べアレルギーの人が多いいと思います。人間が弱くなっているのではないのでしょうか。

36. 両親共働きの家庭では食育が難しいようで三角食べができない、箸置きを使わないなどがあるようです。家庭科などの授業では嫌々聞いて流してしまいますし、評価をつけるものではないと思います。大人になって一生付き合う課題です。給食の時間などで急がずゆっくりと身に付けて欲しいと考えます。
37. 季節の行事に関する料理や、松戸、千葉の伝統料理など知る（学ぶ）機会が子供、大人共にあるといいと思います。
38. 大切なことであり、ぜひ行政として推進して欲しい。
39. 食育推進のご活躍に期待いたします。頑張ってください。応援します。
40. 国内自給率をあげ国産品を大切にし、添加物の少ない食品を選ぶことが食の安全につながることを伝えてほしい。
41. 市役所の人達も制服があった方がいいのでは？ どうですか？ 机の上（周り）が散雑の気がします。
42. 千葉大での食の安全と安心を考える市民の会で●じています。地元でこんな大学があり、大学も地元の参加を求めています。参加、P.Rも大事です。
43. 家族がみんな肥満の人達を見ると、食育についての親の責任を痛感します。
44. 金がない（年金生活）ので、安い物より買えない。その時にある物より食べられない。
45. 近年、共働기가多く、家庭で食育をする機会が減っていると思います。時間的に余裕がないので、行事等は学校で積極的に行っていけば良いと思います。
46. 小学校、中学校で学校給食を充実したものにしてください。
47. 食べ物の大切さ、感謝の気持ち等、給食等を通じてよく教えてほしい。
48. やはり小さい頃の習慣や知識が大事かと思う。なので、母親や食事を作る人は面倒な事も多いかと思うが、子供達の未来の為に頑張ろう！
49. 食事だけでなく全て（生活全般）、他人任せが多い。子供の健康、家族の健康は家事担当の者がしっかりやるべきです。・揃って食事をする習慣が減っているので、個食やスマホをいじってのながら食事を許しているのでは…。一緒に作ったり、片づけをする事も少なくなっていると思う。時には買ってくるのも良いが、きちんと親が作れば感謝の気持ちも優しさも生まれると思う。
50. 食育は一朝一夕に出来るものではなく、小さい頃からの家庭でのしつけの積み重ねが大切だと思います。家庭に無関心で仕事ばかりの父親もだめです。忙しい中でも家族全員のことを各人が考えて心掛けないと、食育はうまくいきません。学校でも機会があれば良いきっかけにはなると思います。一番はいつも側にいる人の言葉かけ、学びの努力ではないでしょうか。



51. 大人にも食育の機会があれば、その子供や家庭にも伝えることが出来ると思います。私はそのような機会があれば参加したいと考えます。独りですが。
52. 80代に入っても元気で暮らして居ります。
53. 子育て世代の方々があまりにも忙しくて、子供の食育にまで手が回らないのではと感じます。
54. 食育に関して松戸市が取り組むことで、住民に対してどのような影響を求めているのか分かりません。食は大事だけれど、禁煙を増やしてほしいと思いました。
55. 学校給食の牛乳を止めてほしい。お茶にしてほしい。なるべく有機、無農薬の食材を使った給食にして、学力、体力などの変化にどのような影響があるのか試してほしい。松戸市として学校別でもよいので、統計を取ってほしい。
56. 子供が給食を食べる時間も少ない。中3は15分、中2は10分、中1は5分ぐらいしかない。朝8時から部活終わりまで、給食しかないのに食べられていない。ひどい状況だと思います。前の栄養士さんの献立が美味しくなくて残飯ばかりでした。「セロリののり酢あえ」中学生が食べられるとは思いません。子供が、ハンバーグが美味しくないと言うのは、不思議でした。魚も生臭いとよく言います。小学校の時の栄養士さんの給食は「おいしい、おいしい」と好評でした。人気がある、子供達の食べられる献立を松戸市の学校で共有してほしいです。
57. 妊婦～産後の食育に関する自治体主催の講演や教室の内容は、いつも難易度が高過ぎて実践しづらいことが多いと思います。家族の健康を考えると理想はありますが、共働きの中、食事バランスのとれた手作り料理を毎日提供することは私にとって至難です。その分、食事の時間は楽しく出来るよう心掛けています。もっと市販、冷食などを取り入れた現実的で実践しやすい内容になると、ためになるなと思います。
58. 好き嫌いせずに、何でも食べられるように教育してほしい。
59. 冷凍食品やレトルト品があまりにも多く出回っているで、若い主婦の方の手抜きが少し気になる。子供達の味覚も心配です。
60. 松戸のスーパーは質が悪いのに、値段は高い。スーパーが少ない。
61. クックパッドに松戸市公式サイトがあると聞き、PRをもっとして欲しいです。低カロリー高タンパクの料理を知りたい。筋肉をつくり、脂肪をおさえる調理法などetc
62. 息子夫婦、孫と6人家族ですが、コロナの前は毎週土日一緒に食事をしていましたが、今は行事のある時、正月、暮、誕生日等以外是一緒にという事がなくなって、お互いさみしい思いをしています。この頃は何でも少し多い目に作って食べてもらう様にしています。
63. 食事という言葉、大切ですね。子供への教育進めて下さい。
64. 家庭でも外食時でも食べ物を無駄に購入したり、注文する事は絶対避けているつもりです。それでも学校給食や外食産業、スーパー、コンビニ等で多くの食品が廃棄されている現状を大変残念に思

います。日本は戦争こそ無いものの、災害がとても多い国です。日頃から自然の恵に感謝し、食生活を大切に思う毎日を送れたら、災害時に食糧入手が困難になっても慌てず冷静に対応出来るのではないのでしょうか。食べる事は命に関わる大事な習慣…と捉えています。

65. 50代になって、改めて歯が大事だと感じています。学校のように決められた歯科検診がないので、自分でなかなか歯科に行かず、いつのまにか虫歯になってしまっています。学校でも年1回くらいしか検診がないので、もっと回数を増やしてほしいです。20才以上の市民にも無料で受診できるようなシステムにしてもらえたら、口の健康につながるので、考えていただきたいです。
66. 家庭でも色々教えたいなと思っておりますが、使い慣れない食材や、地域での違い等で難しいなど感じることも多いです。給食で今日はこんなものを食べたよ、と子供から聞くと様々な食材を使用してくれて有難いなと思っております。
67. 子供の食育は家庭で行うことが理想ですが、理想を実現できる家庭環境の子供ばかりではないので、学校給食を活用して、低学年時からプログラムを組んで行なったらいかがでしょうか。
68. 減塩は効果ないです。よい塩をとることが重要です。
69. 1人親世帯や経済的な問題で食事に不自由している子供に、無償であたたく栄養のある食事を提供する人NPO法人等の活動が多くなれば良いと思う。
70. 農業体験はとても良い食育だと思うので、安価にどンドン畑を貸せばいいと思う。
71. スーパーなどの野菜の提供の仕方。（環境問題を考えると過包装すぎる気がする。清潔感はあるが、結果的にゴミが増える原因になると思っています）
72. お疲れ様です。私も農食関連の仕事をしています。食の安定供給や各種KPI（自給率・温室効果ガス）、持続性を達成する根幹を形成するのが食育だと思っています。サステナブルフードの高い値段をはね返す価値を感じられるような食育を、大人も子どもも受ける必要があると考えます。非常に難しい話ですが…、自分も分かっている安いのを食べます。
73. コロナが有っても無くても重要な事と思います。家庭で母親が毎日食事を作り、家族の健康を守る事が基本だと思います。大変でしたが、昨年65才で定年退職するまで毎日弁当を作り、食事を作り巣立った子供達もその背中を見て育ったと思います。今でも嫁いだ後でも実家で食べた献立をリクエストし届けております。
74. 「これが良い」「あれは悪い」ということだけでなく、小さい時から「何故」ということも教えるべきだと思っている。子供の理解力を信じ、一度身に付けた習慣は一生のものだと思う。★選択肢の表現の「まあまあ」というのに違和感があります。「ある程度」などではどうか？
75. 子ども達に迷惑かけないように生活しようと思っております。
76. 飲食業等でアルバイトをしていて気がついたが、食事マナーが悪い子供が多いように感じる。（ほとんどの場合、その親もマナーが悪い）その悪循環を止めるためにも、学校での食の教育を強化すべきであると思う。

77. 現代感覚のない質問が多く、市の「食」「食育」に対する取組には、期待が全く持てないと感じました。令和の時代に取り組むべき「食育」とは何であるのか、まずは市の組織に属しているメンバー自らが、よく考え、昭和的な思考をアップデートしてください。それまでは税金を使わないでください。
78. 食育教育を学校まかせにせず市が”力”を入れて実施してほしい。
79. ホームページなどに食育のページを作ったり、子供がかよう保育園などに食育のパンフレットなどを置いていただけると手にとりやすく助かる。保育園で調理の仕事をしているのですが、そういう人を対象にしたセミナーなどをしてほしい。
80. 不要な添加物を使わない食品、食材がより出回ってもらいたい。包装やパッケージはリサイクルしやすいものを使っている企業が増えると良い。購入する側も食品を作る苦労を理解してぜいたくのない様に心がけていかなければならないと感じる。
81. 娘は高校の部活でかなりハードな運動をしています。朝練の後から昼食までにお腹がすいてしまい、紛らすためにチョコやグミ等お菓子をこっそり食べたりしている様です。コロナで教室での飲食が×になってしまったせいもあり、本当ならおにぎりやパンなどの捕食を摂らせてあげたい所ですが・・・
82. コンビニやレトルト食品の多さ種類に驚かされて居ます。我々の世代は食べ物の本来持つ旨みを幼少時から記憶させられて居ますが、今の子供達、若い人はそれに関しては何が旨いのか新鮮なのか記憶するチャンスが減少している感じがします。夕食時に空腹を満たすだけでなくメンタルな面で楽しさや食の話題があると良いのと思います。以前松戸市の勉強会で非行に走る子供達の食育研究を発表された先生のお話が記憶にあります。やはり家庭での朝食夕食は大切にされなければいけないと感じています。若いママさん達パパさん達には共に頑張ってもらいたいと思います。
83. 食育を学校で行う場合、教員だけでなく、栄養士などが関わるのも良いと思う。また、部活動等でもスポーツ栄養について指導してくれる人がいても良いと思う。(教員以外)外部委託する等。
84. この社会の環境で、安定して食事がとれない状況により栄養失調にもなりました。収入がないことによるものなので食育とは直結しないとは思いますが、そういった人への給付や援助を考えていただきたく思いました。
85. 地球の気候、気象環境が変わり食に危機感が有り各自の食生活に命を守る為にも勉強が必要だと思いました。
86. 食育という言葉は知っていて、漠然としたイメージはあっても、内容は理解していないので健診の時や園、学校などで子供から触れさせる機会を増やして家庭に持ち帰って取り組むようにして欲しい。大人も子供と一緒に食育を通して学んでいきたい。
87. 食べる事にあまり興味がないので・・・
88. 松戸市に住んで50年、このようなアンケートは初めてですが、とてもいいアンケートだと思う。ぜ

- ひ、改善の参考にして頂きたい。
89. 安心、安全、限りある資源これからの世代にとっては、食育は非常に重要になってくると思う。家庭、学校問わず、食育を進めて行くべき。
  90. 原材料が外国、特に中国は食べたくない。購入しないようにしている。安全な食料購入したいと思っている。その為、生協を利用している。
  91. 外食したい時もオリンピックの開催しか考えていないため政府の圧力により、飲食店にしわ寄せが行く。食育を考えるのならオリンピックやめませんか。松戸市も考えた方が良くと思います。
  92. 特にありません。担当者様にはごくろう様でございます。市民の健康のため、よろしく申し上げます。
  93. 個人情報がいくつかあり不愉快だった。職権乱用かと思った。まして子供情報まで…。指名の記入なくてもパソコンで調べればわかる事だから。
  94. 地域のセンター等で料理教室の開催を希望します。
  95. 食育のコトよりも、松戸市のコロナ人数多すぎです。経営者は困っております。松戸市も、もっと強く、きびしくして下さい。コロナ減りませんよ！！老人が多すぎます。子供が居ない夫婦にも、もっと気をつけてほしい。
  96. 食事に関する知識はとても大事なことと思います。小学校、中学校、高校と年齢に即した教育が必要だと思います。家庭ではなかなかはしりがちで、差が出やすいと思われるので。
  97. 家庭科の調理実習の時間がすごく好きだったけど、小・中・高と少なかったと思う。だしの取り方うんぬんも、もちろん大事だけど一般家庭の、普通の食事でも重要な事をもっと教えてほしかった。野菜の保存方法、冷凍したら長保ちする。とか。簡単な1人暮らし用調理とか。あとは最近は自然災害が多いから、そういう時に役立つ食事、調理法。私は食関係の大学へ進んだので良かったですが、離乳食についてとか、赤ちゃんについて、男子がまだ食についての授業を受けている間に指導するべき。大人になってからでは頭が固くなっている人も多いのでわかいうちにお願ひしたい。
  98. 若い人達に、体に良い食べ物を食べる習慣をつけてほしい。（砂糖、保存料などの添加物についての知識をつけてもらいたい。）
  99. 食育は、パルシステムで第1回の講義を受けました。キレる子供が増え、国から、生協に、食育を頼んだとの事でした。それには、驚きました。国が生協に、依頼をするなんて。私は、3人の子供がいて、20歳の時、子供達は心身ともに健康で子育ては成功したと思いましたが、現在、子供達も、40歳を超え身体は、不健康です。松戸産の無農薬の野菜を食べる事が出来、幸せな毎日です。主婦としては、食べ物を無駄にした事はありません。自慢できます。
  100. 学校給食での行事献立やお花見給食などがあるそうで、少しでも日本の良い文化を記憶に残るよう継続して頂けたらと思います。

101. コロナ禍で入学し、給食も前を向いて食べるなど、会食の楽しさを知らずに育つのが心配。おちついたら、学校でも会食の楽しさを味わえる食育を実施してほしいです。
102. 特にありません。”孤食”が増えていることで子ども達にも、大きな影響があると思います。人間は”共食”する生き物だと思うので、食卓を囲むことで協調性や社会性が育まれる場であると思います。今後の食育推進は大切だと思っています。
103. コロナの影響で外で食べる機会が減っているので感染が落ち着いたら子供と参加できる食育のイベントに積極的に参加したい。
104. 幼稚園や学校などで食育の大切さを学ばせてほしいです。日常でスーパーや身近な生活で知識を学べる機会が増えるといいです。
105. こういう状況だからこそ、食育を大事にしていきたいと思う。生きる為の食の大切さ、食べる事の楽しさを知って、皆が自身の健康を大切にすべきだと思う。
106. 子供の頃から、食事は楽しいものだと思うよう、家族や学校等で皆で一緒に、が大事だと思う。又、その中でも、マナーを身につけることも必要。
107. 食育は子供の頃から受けることが大切なので、学校でも大いにとり上げて欲しいと思います。
108. 子供の頃から母親によく嘔んで食べなさいと手作り料理や食べ方、箸の持ち方、作法等、教わりました。病気せずに丈夫な体です。結婚して、子供達にも教えてきたのですが、娘も結婚して、孫達を見ていると、好き、嫌いが多く、健康な体がつくられないし、生きていけなくなるヨと話しながら、改めて食育の大切さ学びを必要と思います。
109. 松戸の特産品をもっと広めてほしい（市民に）。テレビでは見るが手に入らない<矢切ねぎやあじさいねぎ>自分の住んでいる市に誇れる品があるのを知る事が大切だと思う。
110. 単身赴任で松戸市に引越して、まだ何も松戸市の事を知りません。むずかしい時期ではありますが、イベント等がある時は積極的に参加していきたい。（情報不足が問題です）
111. 子どもたちのために食育で支援したいと思います。
112. 食育とは健康な身体を作るおもとだだと思います。昔はそんな言葉もなく、今の子供達は食べたい物が何でも食べられる時代です。口にするもので自分の身体が出来ていくことを大切に思っています。
113. 3食が前提でのアンケートかたよっている気がします。広い知識の下で個々のより良い形を尊重して欲しいですね。
114. 食生活が変わってきて、ゴミの量も変わったので、リサイクルできるプラスチックのゴミの日を増やしてほしい。実生活とゴミのバランスが合わず困ってる。
115. 食の安全を伝えてほしいです。中国の地溝油の話聞いてゾッとしました。あたりまえの安全の大

切さと、それを維持している人々の存在のありがたみを周知するといいかないと思いました。よろしくお願ひ致します。

116. 小・中学校での食育に関する教育を更に推進してほしい。食品ロスには飽食の時代においては、認識不足になってしまう恐れがある問題であるため。
117. ・日テレの「青空レストラン」という番組はとても食育に良い番組だとずっと思っていました。生産者、加工者、消費者の三つの立場の人がそれぞれ登場し、食物について理解しやすいと思います。 ・ファミレスの子供メニューはきちんと主食、たんぱく質、ビタミン類などきちんと栄養バランスをとってほしいと思う。全てのレストランが必須でやってくれるようにしてほしい。
118. 「ま・ご・わ・や・さ・し・い」が毎日困った時の指標です。子供が巣立って、今度は自分が年老いる時にも、大切だと思います。料理が出来ない人でもなるべく簡単に摂れるような例の一覧があると良いと思います。(ゆで卵とか、ゴマのドレッシングやふりかけとか、芋けんぴとかetc.)
119. 食育についてあまり考えたことはなかったが、食品ロスには少し気をつけている。まだ食べられる食品が捨てられるのはとても気になる。スーパーでパートをしていた頃、たくさんの商品(食品)が捨てられていくのに気がつき、自分は気をつけようと思っている。
120. 農園に行ったり、料理を手伝ってもらったり、積極的に食育を行っていますが、食育をどうやっていいかわからない方もいると思います。食育を家でやる方法等、発信して頂けるとヒントになるかと思っています。
121. これからも食材、食習慣、栄養に気を付けていきたいと思っています。
122. 知識が無く、お役に立てなく申し訳なく思います。ありがとうございました。
123. 医食同源、旬の食材等、口から入るものは体をつくる大切なものという気持ちで食事を考える事が大切と伝えながら食事を作り、一緒に食べてきました。今は食事にかかる時間もお金もいかに少なく、楽に…と重要視されているようです。食アレルギーの増加も気になります。いつでも、どこでも、自分の好きなものが食べられる事を求める。世界中の食材を興味・好みで取り寄せる。そのくせ、自国の食品ロスは増大な量。孤食が個食に変わり、食卓を囲むという姿は減少。食事とは何であるのか? もっと本質から考え、世界の食料事情も学び、世界中の子供たちが安心して食事の出来る状況になる事を願います。
124. 学校、家庭で好き嫌いを減らして、食べ物がある事に感謝。嫌いだから残して良いでなく、無意識に食べ物は有り難く、残しちゃいけないものと思うくらいな環境になったら良いなって思います。(昔は好きな物を好きな時に食べれる訳じゃなかったから、食への有難みも違ったと思う。今、とても恵まれていて、好き嫌いが多という事はそれだけ恵まれているって事だと思いますが、肉・魚・野菜、それぞれ命を頂いている。食べるものがあるという有り難さが、少しでも子供に伝われば良いなって思います。)
125. 食事は人生の喜びなので、とても大切だと思います。
126. 家庭よりも学校で教育する方が、より周知されると思います。給食のメニューを取り上げ、食材に

- 対する知識（生産→食卓までの流れ・栄養等、問8、9、10、11に関する全ての事）を身に付けさせ、考えさせる事が出来るように思います。合わせて、松戸市も広報・イベントを利用して、食育に関心を持たせる活動を続けていくと良いと思います。
127. 幼少期の食育も大変だが、夫婦間でのマナーの違い、食生活に対する価値観の違いが、ゆくゆくは子の食生活へ繋がると思う。コロナ禍で難しいと思うが、家族でマナーや食事（献立・買い物から）について学べる、考えられる機会があればなーと思います。
128. スーパーに並んでいる食材が何故安いのか、どのようにして生産され並ぶのか、知らない人が多すぎ。物には適正な価格、価値があると思う。
129. 車が無くても行ける、地産の野菜等の売場が街中にもっと欲しい。近場のマートに、北海道や九州の産地の野菜を見る度（かなり多い）鮮度の事やコスト、千葉松戸は野菜を作らないのかと心配になる。
130. バランスの良い食事を、常日頃教えていますがパートをしている為、中々時間が取れず、簡単なメニューばかりになりがちです。一時期、oisix等も頼んでいましたが、思ったほど野菜が少なく感じ、現在はあまり頼んでいない。野菜が不足すると疲れやすいので、今後は娘の成長も考え、栄養も考えなければと思います。コロナ禍になり、デリバリーが増えました。昔からコンビニ、スーパー等のお弁当は利用はしていない。
131. 家族揃っての食事は、とても大事であると思っています。
132. 食べる事は、丈夫な身体を作るためにとても大事な事だと思います。偏った栄養摂取にならないよう、何でもバランスよく、まんべんなく食べる事が大事だと考えています。
133. 食育や食に関する知識があるので、子供に教えるなど活用できる場があれば貢献したいと思う。
134. 娘が幼い頃から様々な料理を手作りして、食に関心を持ってもらえるように努めてきたが、全く興味を示さないのがとても残念。家庭で教えることではあるけど、学校や地域でも食の大切さを学べる機会があるとよいと思います。
135. 今回のアンケートで、行事食をあまり食べていないと感じたので、地域のスーパーなどで売る時に行事食についての情報を一緒に見えるようにするなど、行事食を知れる機会が増えると良いなと感じた。
136. 農園の情報をインスタやフェイスブックから得ているが、市で一元管理した見やすいサイトを作って欲しいです。
137. 小売店での食品の前取り普及をもっとして欲しい。
138. 食べ残すことが多い。困っています。
139. 食事はとても大切な時間。何を食べるの栄養面も大切ではあるが、誰と食べるか何を話すかとコミュニケーションを取り易い。家族がいるのに一人の食事は美味しくない。増して子供ならなおさら

であるだろう。マナーなり、一日の出来事なり話すことは、心も豊かにしてくれる。食事の栄養で、体が出来上がるのは分かるが、特に子供とは心のつながりを持って欲しい。「愛されている」「大切にされている」という気持ちは、大人になって他人や家族を思いやれる元になっているから。口腔内のケアは大切。昔の治療で金属アレルギーがひどくなり、再度治療をしないおす事となる。歯のみがき方、大切さを学校などで教えてあげて欲しい。

140. たまたま、今日も知人と子供の食育について話す時間がありました。私立高校などでは、部屋で食育トレーニングをし、その為に別途かなりの金額を支払っているとも聞いています。しかし、それだけ力を入れている学校の子供たちは、栄養面も毎日細かく管理され、成長期に必要な栄養を摂取することでエネルギー不足になりにくいとのこと。このケースは運動部ですが、幼児の時期から子供の成長に合わせた食育がとても大切だと思います。義妹が養護教諭ですが、朝食抜きの子供や菓子を食べてくる子供も多いとか…。親の責任ではないのでしょうか。“食育”という言葉を知らずに子育てを終えましたが、子供にとって安全なもの手作りのものを心掛ける事は重要だと思います。
141. 食育についての意見としては、1日のカロリー摂取量や栄養素の種類、又は一年間の年間栄養バロメーターの批准はどのようにして、体脂肪に関わるのでしょうか？成人病に対しては、パーセンテージとしては大きいのですか？食育については大変良い事だと思います。知らないよりか知っていた方が良いと思います。
142. 小学校からではなく保育園から始める事を望みます。
143. 回答が遅くなりすみませんでした。✂切りが8月末とっていました。少しでもお役に立てたら…。また何かありましたら、ご協力します。
144. 私は現在大学4年生なのですが、正直食育を学んだ記憶がないので、食はこれからの人生でずっと関わっていくもので、大切なものであるため、今からでもきちんと学びたいと個人的には思いました。提出が遅れてしまい、申し訳ありません。
145. 市長様、市役所担当部署様、東京農大大江教授様、私は本アンケート調査に協力いたしました。つきましては、アンケート集計結果を私宛に報告をお願いします。
146. 松戸市はこども発達センターや日大松戸歯学部附属病院があり、きちんと専門の勉強をされた歯科医師の先生が摂食指導を出来るので、乳児期の最初期のスプーンで1口あげる時の注意点など食べさせ方、飲み込ませ方を年に1・2回母親又は妊婦向けの講演会などがあるといいのではないのでしょうか。（離乳食の時期に適切な食べさせ方をするのは大事だと、私は教えて頂ける機会があり、とても良かったので。） 聖徳の保育課の先生の食育についての講習会に参加した事もあります。それも良かったです。
147. 小学校では箸の持ち方やよく噛んで食べること、食べる前と終わってからの挨拶など教育されたが、マナーや食文化、栄養バランスなどももう少し踏み込んだ知識の教育があっても良かったと思います。簡単にと言うよりは本人のちゃんと身になるような…。
148. アンケートなのに、押しつけられて迷惑！！やめて欲しい！！税金の無駄使い、紙などももったいない！！



149. とにかく食品ロスを取りくんで欲しいです。
150. 牛ですら子供時代にしか飲まない牛乳を人間がえんえん飲むのはおかしい。給食に出るとかありえない。この動物は殺して食べても良いんだっていう主差別は子供間のいじめの要因の1つにもなっていると思います。アメリカでは荒れた学校で菜食給食を取り入れた所学力も上がり、いじめもなくなったそうです。
151. “食育”ということを考えられる精神的余裕のある方ばかりではないのが、現状なのではないでしょうか。子を出産し、離乳食から食事のことを考え、子育てが出来る日々を過ごせる様になって、取り組める事ではないでしょうか。豊かな食生活は心も豊かにしてくれます。
152. 是非とも松戸市の食育に参会し多くの方と食の大切さを共に学びたいと存じます。
153. 娘が小学生で学校で様々な食育をしていただいています。特に自分で育てた野菜や調理の一端を担うことで、「食」に対して興味関心が高まり、いろいろと話をしてくれます。それが家庭につながっていき、また家庭でも「食」の体験につながるものを取り入れたいと思うようになりました。このような連携が、意識を高めるのだなあ実感しています。
154. コロナ禍で各市民センターでの料理教室が出来ないのがショック、残念！！今後、夏休みは親子料理だけでなく、(最近の親は共働きが多いので)じじ、ばば、孫での料理教室や作法等開催出来たら良いですね！当分無理でしょうけど…
155. アンケート内容については、何もありませんが、用紙の中で1枚の紙をひろげた時見えにくい、あーこんなうんざりと思ってしまう。パッと見るとわかりにくかったです。文字列をきちんと見えやすく、答えの番号をたてに選びやすく作成した方が見やすいと思います。松戸の子ども達が食べる楽しさを心にもって欲しいです。お返事おそくなりすみません。私の子供、その同級生達は小学校の給食がたのしみで、いろいろと子供が教えてくれました。作ってくれた方々が教室へ顔を出してくれて(大丈夫?おいしいでしょ〜?)手作りのふりかけや生徒達の作ったじゃがいもを使用したことなど声かけに日々来てくれて変化と学びがあったようです。ちょっとしたことでしょうが、親が給食をたべる会等が月に1回はありました。学校給食に感謝しています。同じ話題と食に子供がかかわることの大切さ自体が今は少しづつ忘れかけはじめているのかもしれませんが。コンビニで弁当がわりに、パン等買って、習い事に行く、フードコートで食べて時間つぶしてじゅくへ行く姿が日常化していることに心が痛みます。(両親も大変でしょうし、子ども達もガンバッテルし…)例えば絵に表現したり、作法の4コママンガみたいのを松戸広報に記載してはいかがでしょうか？
156. 年を重ねるにつけ、小さい頃からの食事の大切さを感じます。若いと気づけなかつたりする事を大人が整えてあげられればと思います。投函が遅くなり申し訳ありませんでした。
157. 期日を確認しておらず、遅くなってしまい申し訳ありません。食育にあてはまるか分かりませんが、うちの子は食物アレルギーがあり、幼少期には少し苦勞をしました。自分はアレルギー持ちではないので、1からアレルギーについて勉強したり、病院を選んだり…他のアレルギーのある方かアレルギーっ子の親子さん等とお話したり、情報交換できるような場があればいいのになと思っております。(私が知らないだけでしたら申し訳ありません…)あと、子どもも私も畑に興味があるので市の農業体験など参加してみたいです。

158. 食育は何より「体験」が大切だと思います。だれかと一緒に食べるとおいしいこと、自分が食べている食材が提供されるまでの過程を知ること、色々な食文化があること…など、家庭での食育を推進する事業の充実も進めていただきたいことはもちろんですが、それ以上に松戸市の子ども達がたとえ貧富の差があったとしてもこれらの体験を行えるチャンスがあるように、是非学校での食育体験を充実していただきたいです。
159. このアンケートで、食育の視点を改めて認識できたと感じています。「食育ボランティア」というのがあるのを初めて知ったので、コロナが落ち付いたら参加してみたいと思いました。
160. 子どもの食生活の乱れは生活習慣病につながります。生きる力、知・徳・体と言われますが、食がなければ活動できません。これからも食の大切さを広めて頂きたいと思います。
161. “食育”とても身近で大切な事ですが、日本では、あまり、重視されて来ておらず、“お腹を満たせば良い”と考える若い世代の多さに驚いています。あまりにも便利になり過ぎた為でしょうか。私自身も、疲れたり、時間がない時はついつい…難しい…
162. 保育園の給食に揚げ物が多すぎる。和食ほとんどなし。もっと和食を大切にしてほしい。
163. 「広報まつど」に松戸市の郷土料理のレシピ等を1品でもいいので毎号のせてほしいです。
164. 子に食育について教える場を作ってもらいたい。家庭では家の事情で個人差が出てしまう為、小中学校時に学校で教える場を作してほしいです。
165. コロナ禍で毎日で調理をすることが多くなり、かつデリバリーを利用する機会も増えた中、料理に関する知識のない1人暮らしの方やレシピのレパートリーが少なく、同じものばかり食べている方などに簡単で誰でも作れる、かつ栄養に関する情報を盛り込んだ献立を広報等に掲載し、食生活をよりよくするために活動や、地元の飲食店でのデリバリーでもバランスのよい食事をとるための方法などを市民の方に伝えていただきたいです。また、食育とは少し離れてしまうのですが、松戸市の高齢者の低栄養傾向の者の割合に関する統計を掲載していただきたいです。
166. 思っているが実行するのはむずかしい。
167. 食育に関する良い記事を見つけたのでシェアします。240を超える国や地域で読まれており、1034の言語で幅広く読まれているそうです。
168. 学校と家庭が連携して取り組むことが大切。
169. 郷土料理を知る機会がないので、料理教室など開催して欲しい。(レシピブックでもいい) コロナで難しいと思うので。高校生になるとなかなか、イベントなどもないので(対象が小学生まで)一緒に学ぶ機会があると嬉しい。
170. 食育は大切な事と思います。
171. スポンサー様に悪い事は言えないので、TVでは無理があると思います。学校で教えて家庭でも教え

- て、考える習慣が付けば良いと思います。
172. 松戸市が無料の広報紙を作って、無料で各家庭に配ってはどうか。その中に色々な特集を組んで欲しい。
173. 食育は子供に対する事だと思っていた。
174. 「学校給食に有機を」などの取り組みを聞いたことはあるけれども、オーガニックなどは正直健康などに影響はないと考えているので、農業・化学肥料不使用などを取り組む必要性は食育ではいらないと思う。むしろ地産地消を取り組むべき（松戸市もJAとうかつ中央と農家組合と連携して）
175. 東京都公立学校に勤務している栄養士です。食育について他者よりも興味関心が高いと思っています。松戸市は子育てしやすい街を謳っていますが、子供たちへの食育についてどのような、取り組みをされているか見えてこないように感じます。（子ども食堂も全地域にはない？松戸駅にはない？）せっかくアンケートなので役立てていただけると幸いです。
176. また、このようなアンケート調査がございましたら、ご協力できればと強く思っております。（各全体での結果）
177. 来年から学童を利用予定ですが、長期休み中の昼食について気になっています。夏のお弁当保管、栄養バランスが片寄らないかなど心配です。長期休暇でも給食に代わるものがあると良いなと思います。
178. 家庭菜園にはまっています。2才・5才の子供と野菜を収穫したり楽しんでいますが、食べてくれるのは別物です。こんな時代だから大変な野菜作りや、お米のでき方など教えてあげられたらなと思っています。
179. 一食一食意識してかみしめてゆっくり噛んで食べて… 笑って過ごしたい。
180. 地元の食材が手に入りやすい場所（道の駅等）があると良いと思う。
181. 両親ともに働いているため、なかなか子供の食事に対して細やかな気づかいが難しい。学校や保育園での取組みに感謝しております。
182. （家庭）生きる上での基本なので、大切にしていきたい。（学校）作って下さる方への感謝を忘れないよう、暑い中、寒い中で作る姿（生産者も調理室も）をVTRなどで見せてやって頂きたいです。
183. 研究結果楽しみにしております。頑張ってください。
184. 早い、安い、移動中でも食べやすい。すぐ買えて、ゴミが少ないこと。これ以上に食事に求めることはありません。
185. 学校で楽しく友達と学ぶ機会が増えてくれればもっと子供も興味をもってくれると思います。学校での調理実習はとても楽しかった様なので。

186. 松戸市公式のクックパッドがあることを初めて知りました。参考にしてみたいと思います。
187. 年齢にあった栄養を美味しくとるための知識や技術棟を学ぶことが出来ればいいなと思います。時間とお金がなくてなかなか現状は難しいですが…。
188. 全て、松戸直産のものを利用した上で、松戸ならではの料理研究会などあれば良いと思います。食育と同時に松戸市の財政に貢献できる工夫をするべきだと思います。
189. 食育が広まる様、頑張ってください。

付録 調査票・関連資料



# 食育に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、市民の皆様には松戸市政にご協力いただきまして、お礼申し上げます。

さて、松戸市では、市民の皆様が食の大切さと郷土の素晴らしさを知り、生涯を通じて健やかな生活を送っていただくため、「松戸市食育推進計画」を策定し、食育の推進を図っております。

現在は「第4次松戸市食育推進計画」の策定に向け、有識者などから組織される「松戸市食育推進会議」と市が連携し、議論を行っております。

そこで、松戸市としてより効果的に食育を推進するため、市民の皆様の食に関するお考えや食習慣、家庭の環境などをお聞きし、「第4次松戸市食育推進計画」の策定や食育の推進に係る施策へ反映させることを目的に、本調査を実施いたします。

この調査票は、住民基本台帳をもとに20歳以上の市民3,000人を無作為に抽出し、お送りさせていただきました。調査結果は市の食育推進および学術目的のみに利用し、他の用途には使用いたしません。また、皆様の回答は全て統計的に処理されますので、個人の情報を公表するなどプライバシーを侵害することはありません。

以上の趣旨をご理解いただき、本調査へご協力下さいますようお願いいたします。

令和3年7月

松戸市長 本郷谷 健次

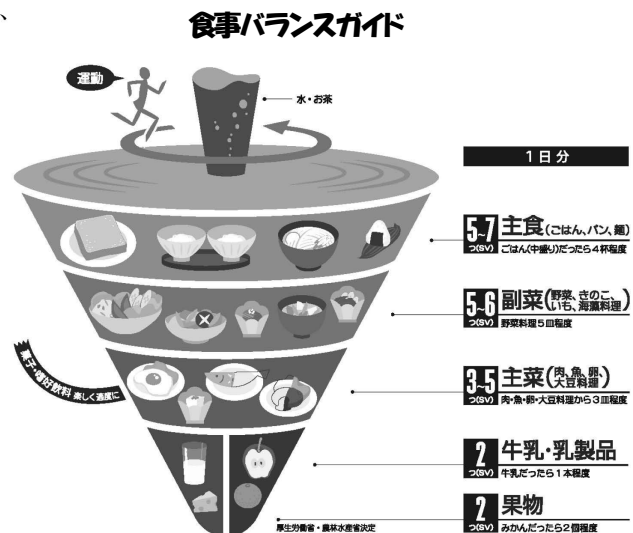
## ご記入にあたっての注意

- この調査は、普段、食材を購入したり、料理を作っている方にお願いするものです。もし、宛名の方以外の方(配偶者など)が主に担当している場合は、その方が記入して下さい。
- 後半のお子様についての質問には、複数のお子様がいる場合は、もっとも年齢の低いお子様(ただし、3歳以上)について回答して下さい。
- ご記入いただけましたら、お手数ですがこの調査票(直接記入して下さい)を同封の返信用封筒に入れて返送して下さい。切手は不要です。匿名式調査ですので差出人の記入も不要です。
- 誠に勝手ながら、令和3年7月31日(土)までに投函して下さいますようお願いいたします。

\*記入上のご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

・松戸市健康福祉部健康福祉政策課  
電話:047-704-0055/FAX:047-704-0251  
Eメール:mckenhuku@city.matsudo.chiba.jp

・東京農業大学 国際食料情報学部・教授  
大江靖雄(おおえやすお)  
電話・FAX:03-5477-2772  
Eメール:yo207358@nodai.ac.jp



問1 あなたは現在、毎日の食事を「おいしい」と感じていますか？（1つに○）

1. 感じている 2. やや感じている 3. どちらともいえない 4. あまり感じない 5. 感じない

問2 現在の食生活に満足していますか？（1つに○）

1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満

問3 食事は楽しいですか？（1つに○）

1. 楽しい 2. まあまあ楽しい 3. どちらともいえない 4. あまり楽しくない 5. 楽しくない

問4 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常の食事にどのような変化がありましたか？（該当するものすべてに○）

1. 家で食事をする回数が増えた 2. 家で料理をする回数が増えた  
3. 栄養バランスに配慮するようになった 4. 1回の食事にかかる費用を節約した  
5. 1日の食事の回数を減らした 6. 食欲が減退した 7. ほとんど変化はない  
8. その他( )

問5 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていますか？（1つに○）

※食育とは「食に関する知識と食を選ぶ力を身に付けるために求められる学び」と定義されています。

1. 言葉も意味も知っていた 2. 聞いたことはあったが、意味は知らなかった  
3. 言葉も意味も知らなかった(次の問6を飛ばして問7に進んでください)

問6 あなたは「食育」という言葉を最初にどちらで知りましたか？（1つに○）

1. 家庭 2. 友人、知人 3. 自分の通っていた学校  
4. 子供の保育所(園)、幼稚園、学校 5. 松戸市の広報やイベント  
6. わからない、覚えていない 7. その他( )

問7 あなたは「食育」に関心がありますか？（1つに○）

1. ある 2. ややある 3. どちらともいえない 4. あまりない 5. ない

問8 以下の食育活動のなかで、あなたや家庭がすでに取り組んでいる(いた)ものはありますか？  
(該当するものすべてに○)

1. 食生活の改善 2. 食事の作法(箸使いやテーブルマナーの指導など)  
3. 農林漁業体験 4. 食文化や伝統の継承  
5. 食を通じたコミュニケーション 6. 食べ物の無駄(食品ロス)の削減  
7. 自然や生産者への感謝(食事前後の挨拶の指導など) 8. 安全な食を選ぶ力の養成  
9. その他( ) 10. とくにはない



問9 同様に、今後、家庭や松戸市、学校が進めていくべきだと思う食育活動はありますか？  
(該当するものすべてに○)

- |                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 食生活の改善                    | 2. 食事の作法 (箸使いやテーブルマナーの指導など) |
| 3. 農林漁業体験                    | 4. 食文化や伝統の継承                |
| 5. 食を通じたコミュニケーション            | 6. 食べ物の無駄 (食品ロス) の削減        |
| 7. 自然や生産者への感謝 (食事前後の挨拶の指導など) | 8. 安全な食を選ぶ力の養成              |
| 9. 学校の授業での子どもへの食育            | 10. 学校給食での子どもへの食育           |
| 11. その他 ( )                  | 12. とくにはない                  |

問10 以下の食育に関するボランティアのなかで、あなたが参加したことのある活動はありますか？  
(該当するものすべてに○)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動 | 2. 農林漁業等に関する体験活動     |
| 3. 食生活の改善に関する活動       | 4. 生活習慣病予防などのための料理教室 |
| 5. 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動 | 6. 食品の安全や表示に関する活動    |
| 7. 食育に関する国際交流活動       | 8. その他 ( )           |
| 9. とくにはない             |                      |

問11 問10の食育ボランティアで参加してみたいものはありますか？ (該当するものすべてに○)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動 | 2. 農林漁業等に関する体験活動     |
| 3. 食生活の改善に関する活動       | 4. 生活習慣病予防などのための料理教室 |
| 5. 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動 | 6. 食品の安全や表示に関する活動    |
| 7. 食育に関する国際交流活動       | 8. その他 ( )           |
| 9. とくにはない             |                      |

問12 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？ (1つに○)

- |         |          |          |             |
|---------|----------|----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週4～5日 | 3. 週2～3日 | 4. ほとんど食べない |
|---------|----------|----------|-------------|

問13 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか？ (該当するものすべてに○)

- |                        |                     |           |        |
|------------------------|---------------------|-----------|--------|
| 1. 主食(ご飯、パン、麺など)       | 2. 主菜(魚、肉、卵、大豆料理など) |           |        |
| 3. 副菜(野菜、海藻、具の入った汁物など) | 4. 果物               | 5. 乳製品    | 6. 飲み物 |
| 7. 栄養ドリンク・エナジーゼリーなど    | 8. 菓子               | 9. その他( ) |        |

問14 朝食をとらない(とれない)ときの理由は何ですか？ (該当するものすべてに○)

- |                           |           |               |
|---------------------------|-----------|---------------|
| 1. 食欲がない                  | 2. ダイエット  | 3. 準備や後片付けが面倒 |
| 4. 朝食より優先したいことがある、時間がない   | 5. お金の節約  |               |
| 6. 朝食をとる習慣がない(問15に回答願います) | 7. その他( ) |               |

問 15 問 14 で選択肢 6 を選んだ方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか？  
(1つに○)

1. 小学校に入る前から
2. 小学校に入った頃から
3. 中学校に入った頃から
4. 高校に入った頃から
5. 専門学校や大学に入った頃から
6. 就職した頃から
7. 結婚した頃から
8. 出産した(子育てが始まった)頃から
9. 子どもが独立した頃から
10. 自分や配偶者が仕事をリタイアした頃から
11. その他( )

問 16 あなたは主食・主菜・副菜を組み合わせるように配慮した食事をとっていますか？(1つに○)

1. 1日3食とも配慮している
2. 1日2食は配慮している
3. 1日1食は配慮している
4. あまり配慮していない
5. 全く配慮していない

問 17 あなたは食品の安全に関心がありますか？(1つに○)

1. ある
2. まあまあある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. ない

問 18 あなたが安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか？

(該当するものすべてに○)

1. 消費(賞味)期限や製造日の確認
2. アレルギー表示の確認
3. 産地の確認
4. 保存方法や使用方法の確認
5. においや見た目での確認
6. 包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒
7. 食材や調理品の室温放置をしない
8. 肉の十分な加熱
9. 健康食品などから特定の栄養素を過剰に摂取しない
10. その他( )

問 19 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？(1つに○)

1. している
2. ややしている
3. どちらともいえない
4. あまりしていない
5. していない

問 20 あなたは地元産(松戸産を含む千葉県産)の食材を購入していますか？(1つに○)

1. 積極的に購入するようにしている
2. 目につけば購入するようにしている
3. 高くなければ購入するようにしている
4. 気にして購入していない
5. その他( )

問 21 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、あなたのご自宅で行っているものはありますか？

(該当するものすべてに○)

1. 正月(1月:おせち、お雑煮、七草粥など)
2. 節分(2月:豆、恵方巻きなど)
3. 桃の節句(3月:ひな菓子、五目寿司など)
4. 春分の日(3月:ぼた餅など)
5. 端午の節句(5月:ちまき、かしわ餅など)
6. 七夕(7月:そうめんなど)
7. 土用(7月:うなぎ、餅など)
8. お盆(8月:団子など)
9. 十五夜(9月:月見団子など)
10. 秋分の日(9月:おはぎなど)
11. 七五三(11月:千歳飴など)
12. 冬至(12月:かぼちゃなど)
13. 大晦日(12月:そばなど)
14. その他( )

問22 「だし」を素材（昆布やかつお節など）からとっていますか？（1つに○）

1. 毎回とっている
2. 時々とっている
3. 市販のだしを使っている
4. とっていないし、市販のだしも使っていない

問23 生活習慣病の予防や改善のために適正体重の維持や減塩食などを実践していますか？（1つに○）

1. 実践している
2. まあまあ実践している
3. あまり実践していない
4. 実践していない
5. わからない

問24 食品ロス削減のために意識して適量の食材を購入、調理、外食時には注文していますか？（1つに○）

1. 気をつけている
2. まあまあ気をつけている
3. どちらともいえない
4. あまり気を付けていない
5. 気を付けていない

問25 環境に配慮した食材、食品を選ぶようにしていますか？（1つに○）

1. 気をつけている
2. まあまあ気をつけている
3. どちらともいえない
4. あまり気を付けていない
5. 気を付けていない

問26 問25で選択肢1、2を選んだ方に伺います。どのように配慮した食材、食品を選んでいきますか？  
（該当するものすべてに○）

1. 地元や近隣地域で生産された食材、食品を選んでいる
2. 旬の食材を選んでいる
3. 過包装でない食材、食品を選んでいる
4. プラスチック容器を使わない食品を選んでいる
5. 農薬や化学肥料を控えた食材を選んでいる
6. その他( )

問27 どれぐらいの頻度で家族や友人と一緒に朝食や夕食をとっていますか？（それぞれ1つに○）

朝食

1. ほとんど毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. 週に1日程度
5. ほとんどない

夕食

1. ほとんど毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. 週に1日程度
5. ほとんどない

問28 あなたが一人で朝食や夕食をとる場合の理由はなんですか？（該当するものすべてに○）

1. 本人以外の時間が合わないため
2. 本人の時間が合わないため
3. 一緒に食べる習慣がないため
4. その他( )

問29 あなたは野菜や果物などの栽培（趣味を含む）をしていますか？（該当するものすべてに○）

1. 自宅の庭で栽培している
2. ベランダや屋内でプランターなどで栽培している
3. 自家所有の畑で栽培している
4. 市民農園や知り合いの畑でしている
5. していない
6. その他( )

問 30 子ども達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？（1つに○）

1. 学校のほう
2. やや学校のほう
3. 同じぐらい
4. やや家庭のほう
5. 家庭のほう

問 31 あなたは地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会があれば、参加したいと思いますか？（1つに○）

1. 思う
2. やや思う
3. どちらともいえない
4. あまり思わない
5. 思わない

問 32 問 31 で選択肢 1、2 を選んだ方に伺います。あなたは、過去 1 年間に、地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会に参加しましたか？（1つに○）

1. 参加した
2. 参加していない

問 33 レシピサイト「クックパッド」に松戸市公式のページがあることを知っていますか？（1つに○）

1. 知っていて、掲載レシピを作ったことがある
2. 知っていて、閲覧したことがある
3. 知っているが、閲覧したことはない
4. 知らなかった

問 34 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この 1 週間でああなたの心理面にどのような変化がありましたか？（1つに○）

1. 気分が爽快なときが、かなり増えた
2. 気分が爽快なときが、やや増えた
3. 変化なし
4. 気分が晴れないときが、やや増えた
5. 気分が晴れないときが、かなり増えた

あなたの歯やお口についてお聞きします。

問 35 あなたの現在のお口の健康状態及び全身の健康状態はどうですか？（それぞれ 1 つに○）

お口の健康状態

- よい よくない
10. … 9. … 8. … 7. … 6. … 5. … 4. … 3. … 2. … 1.

全身の健康状態

- よい よくない
10. … 9. … 8. … 7. … 6. … 5. … 4. … 3. … 2. … 1.

問 36 あなたのお口の健康状態などについて、以下の質問にお答えください。（それぞれ 1 つに○）

- |                         |       |        |
|-------------------------|-------|--------|
| ・歯ぐきが腫れることがありますか？       | 1. はい | 2. いいえ |
| ・歯が痛んだり、しみたりすることがありますか？ | 1. はい | 2. いいえ |
| ・かかりつけの歯医者さんはいますか？      | 1. はい | 2. いいえ |
| ・歯の治療は早めに受けるようにしていますか？  | 1. はい | 2. いいえ |
| ・歯ぐきから血が出ることがありますか？     | 1. はい | 2. いいえ |
| ・口臭が強い(ある)という自覚はありますか？  | 1. はい | 2. いいえ |

- ・たばこを吸いますか？ 1. はい 2. いいえ
- ・代用甘味料使用の食品を好んで飲食しますか？ 1. はい 2. いいえ
- ・知人や友人とよく食事をしますか？ 1. はい 2. いいえ
- ・歯磨きを1日何回しますか？ 1. 1回 2. 2回 3. 3回以上  
4. 時々みがく(みがかない日もある) 5. みがかない
- ・間食は1日何回とりますか？ 1. 0~1回 2. 2~3回 3. 4回以上
- ・入れ歯(インプラント)を使っていますか？ (該当するものすべてに○)  
1. 総入れ歯 2. 部分入れ歯 3. インプラント(人工歯根) 4. 使用していない

問37 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか？(1つに○)

- 噛んでいる 噛んでいない
10. … 9. … 8. … 7. … 6. … 5. … 4. … 3. … 2. … 1.

問38 ゆっくりよく噛んで食べることを重要だと思いますか？(1つに○)

- 1. とても重要だと思う 2. 重要だと思う
- 3. あまり重要だと思わない 4. 全く重要だと思わない

問39 噛ミング30(カミングサンマル)という言葉や意味を知っていますか？(1つに○)

- 1. 言葉も意味も知っている 2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3. 言葉も意味も知らなかった

問40 噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか？(1つに○)

- 1. 関心がある 2. どちらかといえば関心がある
- 3. どちらかといえば関心がない 4. 関心がない

問41 あなたの歯の数は現在何本ですか？

※成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で32本です。なお、かぶせた歯、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。

( \_\_\_\_\_ 本)

問42 前回、いつ歯科治療及び歯の健康診査を受けましたか？

- 1. 歯科診療 ( \_\_\_\_\_ )日前 2. 歯の健康診査 ( \_\_\_\_\_ )日前

問43 新型コロナウイルス感染症の拡大後、歯科受診や医科受診の回数(頻度)は変わりましたか？

(それぞれ1つに○)

歯科受診

- 1. 増加した 2. やや増加した 3. 変わらない 4. やや減少した 5. 減少した

医科受診

- 1. 増加した 2. やや増加した 3. 変わらない 4. やや減少した 5. 減少した



子属2 そのお子様の年齢を教えてください。(令和3年7月1日現在)

( \_\_\_\_\_ 歳)

子属3 そのお子様の体格について教えてください。(1つに○)

1. 肥満      2. やや肥満      3. ちょうどよい      4. やや痩身      5. 痩身

問45 そのお子様の歯磨きの頻度を教えてください。(1つに○)

1. 1日1回      2. 1日2回      3. 1日3回以上  
4. 時々みがく(みがかない日もある)      5. みがかない

問46 そのお子様の歯科検診の頻度(学校での検診を除く)を教えてください。(1つに○)

1. 年に数回      2. 年に1回程度      3. 虫歯以外では特に行かない

問47 そのお子様は朝食をどの程度の頻度でとっていますか?(1つに○)

1. ほぼ毎日      2. 週4~5日      3. 週2~3日      4. ほとんど食べない

問48 そのお子様がとる朝食は主にどのようなメニューですか?(該当するものすべてに○)

1. 主食(ご飯、パン、麺など)      2. 主菜(魚、肉、卵、大豆料理など)  
3. 副菜(野菜、海藻、具の入った汁物など)      4. 果物      5. 乳製品  
6. 飲み物      7. 栄養ドリンク、エナジーゼリーなど      8. 菓子  
9. その他( \_\_\_\_\_ )

問49 そのお子様が朝食をとらないときは、どのような理由があると思いますか?(1つに○)

1. 夜食や間食のせいで食欲がない      2. ダイエット      3. 起きる時間が遅く時間がない  
4. 朝食をとる習慣がない      5. 家族と顔を合わせたくない  
6. その他( \_\_\_\_\_ )

問50 問49で4を選んだ方に伺います。そのお子様が朝食をとらなくなったのは、いつ頃からですか?  
(1つに○)

1. 幼少期から      2. 小学校に入学した頃      3. 中学校に入学した頃  
4. 高校に入学した(あるいは18歳)頃      5. わからない、覚えていない

問51 そのお子様はどれぐらいの頻度で家族と一緒に朝食や夕食をとっていますか?

(それぞれ1つに○)

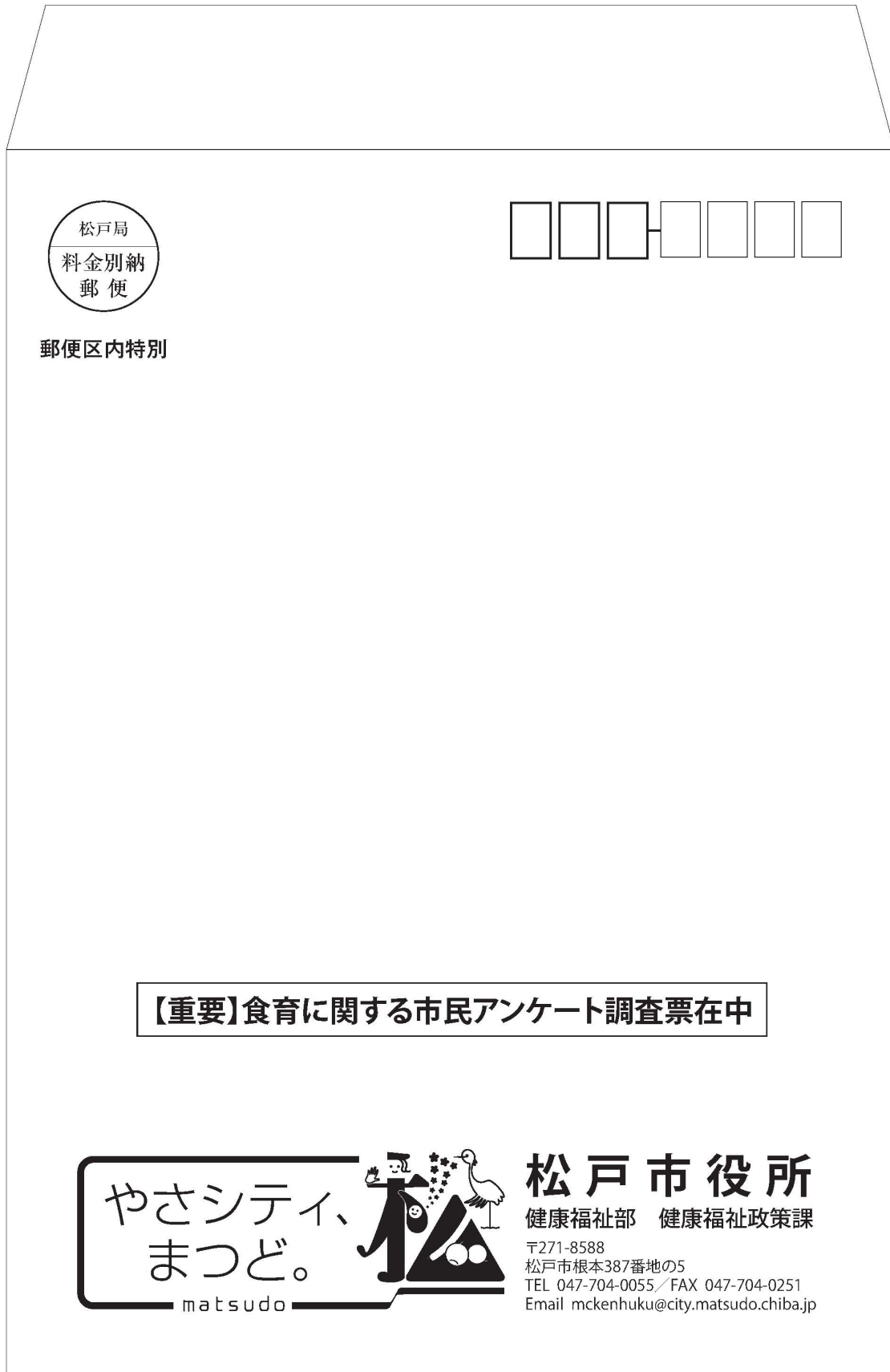
朝食

1. ほとんど毎日      2. 週に4~5日      3. 週に2~3日  
4. 週に1日程度      5. ほとんどない







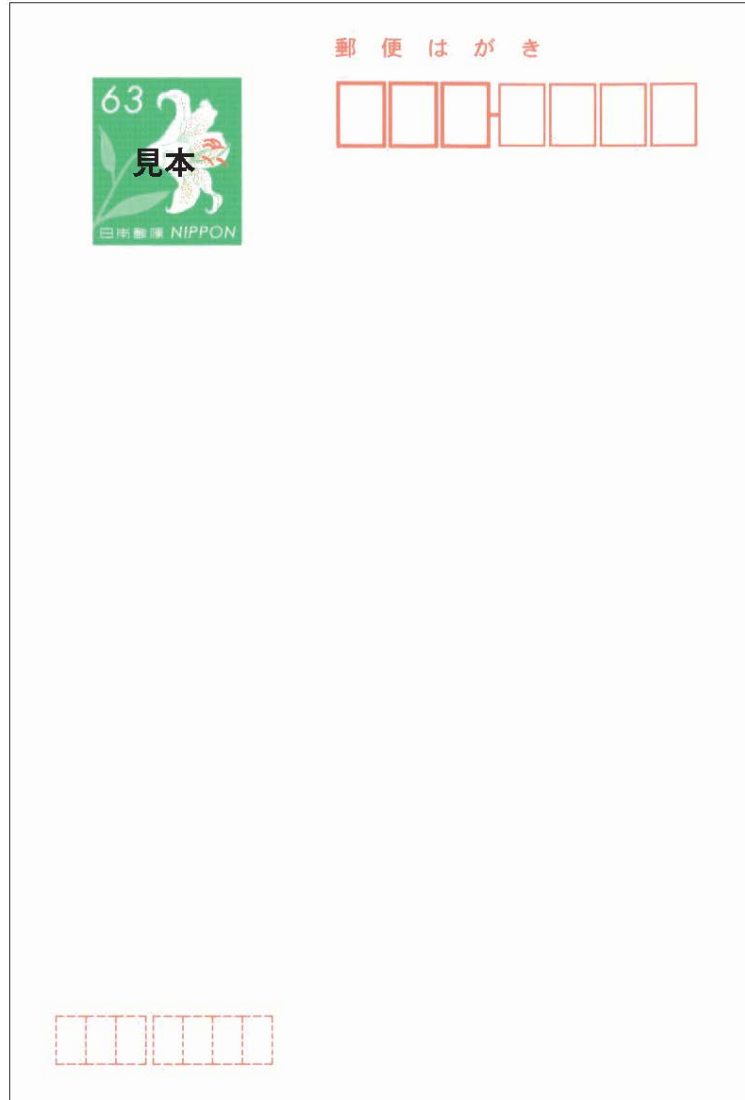
発送用封筒



返信用封筒

 料金受取人払郵便 松戸局承認 <b>2259</b> 差出有効期間 令和4年3月 31日まで (切手不要)	<table border="1"><tr><td>2</td><td>7</td><td>1</td><td>8</td><td>7</td><td>5</td><td>5</td></tr></table>	2	7	1	8	7	5	5
2	7	1	8	7	5	5		
	<p>松戸市 健康福祉部 健康福祉政策課 食育に関する市民アンケート調査担当 行</p>	<p>松戸郵便局留</p>						

督促礼状  
表面



裏面

## 食育に関する市民アンケート調査 ご協力のお礼とお願い

拝啓

時下、ますますご清祥のことと存じ上げます。

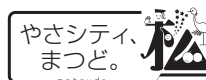
先日、食育に関する市民アンケート調査へのご協力の  
お願いをさせていただいたところですが、早速ご回答  
いただきました方には、心よりお礼申し上げます。

まだご回答いただいていない方には、重ねてのお願い  
で恐縮ではございますが、ご記入の上、ぜひご返送  
くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

令和3年8月



【問い合わせ先】

松戸市役所 健康福祉部健康福祉政策課

電話 047-704-0055 / Fax 047-704-0251

東京農業大学国際食料情報学部 教授 大江靖雄

電話・Fax 03-5477-2772





## 第2部 大学生アンケート

### 第1章 調査の概要





## 1. 調査の目的

松戸市では平成20年3月に松戸市食育推進計画を策定し、「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう食育を推進してきた。本調査では、市内4大学の食に関する意識や実態を知ることにより、第4次松戸市食育推進計画策定の基本資料とすることを目的とした。

## 2. 調査の方法

- (1) 調査地域・・・・・・市内全域
- (2) 調査対象・・・・・・千葉大学園芸学部、聖徳大学児童学部、日本大学松戸歯学部、流通経済大学流通経済学部に在学中の学生
- (3) 抽出方法・・・・・・各大学で100人規模での抽出、実施を依頼
- (4) 調査方法・・・・・・配布、回収を含めて各大学を通じて実施
- (5) 調査期間・・・・・・令和3年7月5日～8月30日

## 3. 調査項目

項目	内容
基本属性	性別、学年、居住地、通学時間、居住形態
生活	部活動やサークル活動、アルバイト、就寝・起床時間
食育に関する意識・関心	食育の言葉の認知、関心度、食育活動、バランスのとれた食事の意識、郷土料理や伝統料理の継承、食事の作法
健康に関する意識	食生活、朝食をとる頻度、朝食の内容、安全な食生活のための取組み
歯科の健康に関する意識	歯磨きの頻度、かかりつけ医の有無
コロナ禍の影響	生活、収入、心身状態、受診頻度

## 4. 回収結果

- (1) 調査票送付数 1,678 人
- (2) 回収数 400 人
- (3) 回収率 54.0%

一部の大学においては、調査実施の都合上 100 件を超過して回収した。他の大学のサンプルとの偏りを解消するため、ランダムに 100 件を抽出し、集計結果に反映させている。この回収率は実回収数 906 人分を調査票送付数 1,678 人分で割り出した数値である。

## 5. 集計にあたって

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって回収率を合計しても 100% ちょうどにはならないことがある。
- (2) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を分母  $n$  として算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると 100% を超えることがある。
- (3)  $n$  (Number of Cases) は比率算出の分母であり、100% が何人の回答者に相当するかを示す。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、分母  $n$  は設問により異なる。また、男女別の合計件数・年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 男女別・世代別の表について、設問の各選択肢における世代間の最大回答数を網掛け、各世代の最大回答数を斜体太字にて示している。
- (7) 集計は、①単純集計、②回答者の属性（性別、学年別、大学別）とクロス集計を行った。

## 6. 調査研究体制

調査研究チーム代表・総括：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部）

調査票設計：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部）

後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

祓川 摩有（聖徳大学児童学部）

古井 恒（流通経済大学流通情報学部）

三島 孔明（千葉大学大学院園芸学研究院）

調査票発送、回収、入力、データベース作成統括：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部），

実施：株式会社ぎょうせい

調査データ解析：大江 靖雄（東京農業大学国際食料情報学部）

歯科データ解析：後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

## 7. 回答者の基本属性

### 【性別】

男女比は、女性がやや多く半数を超えている。

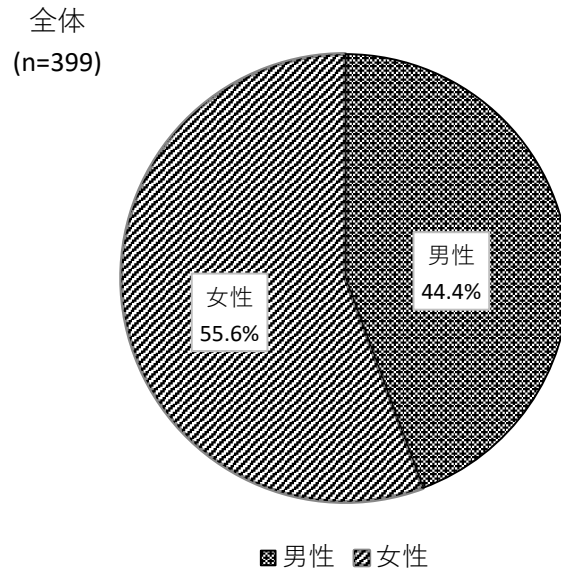


図 1-1

### 【学年】

3年生が4割以上を占め、回答者の中心層をなしている。

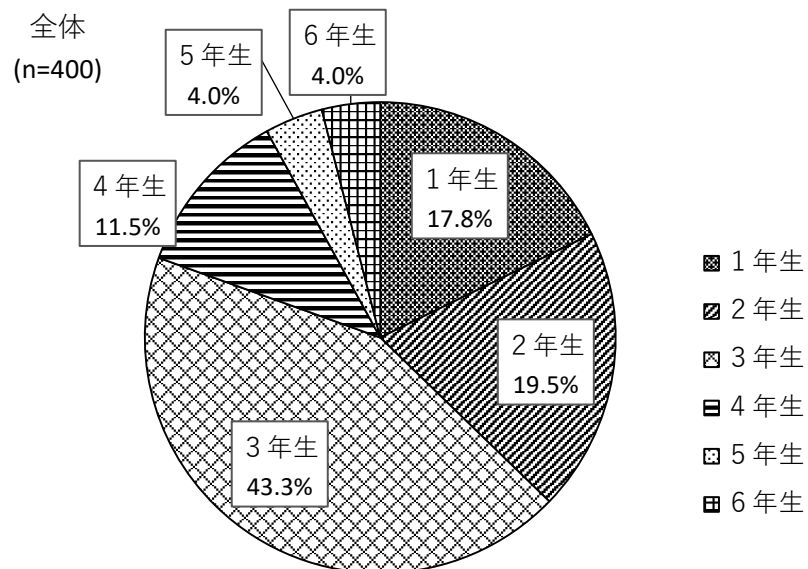


図 1-2

【居住地（松戸市）】

千葉県内が割合では最も高いが、千葉県内と松戸市内と大きな差はなく、ほぼ3分されている。

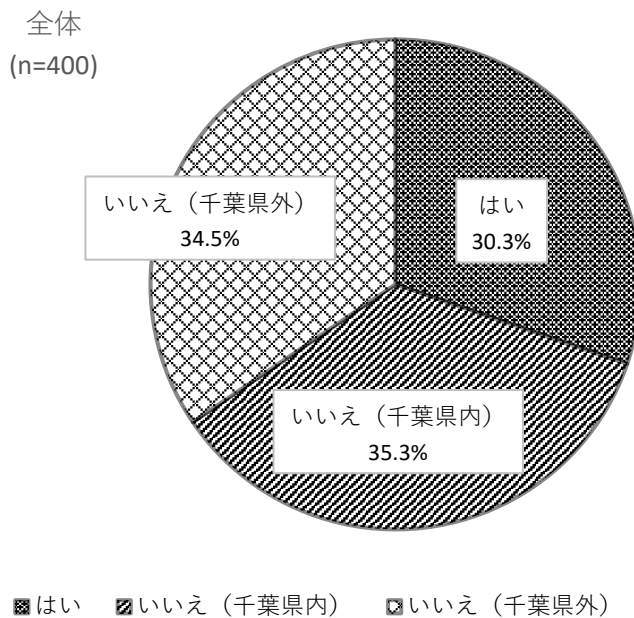


図 1-3

【通学時間（ドア to ドア）】

30分以内が3割近くを占め最も多く、次いで1時間から1時間半程度と45分から1時間程度の順が続いている。6割が1時間以内の通学時間で、4割が1時間以上となっている。

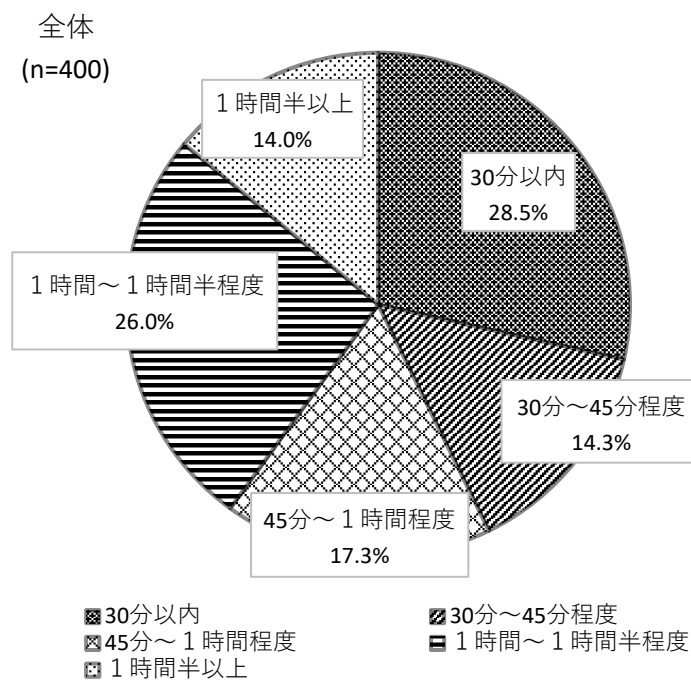


図 1-4

【住居形態】

自宅生が、6割で最も多く、自宅以外では一人暮らしあるいは友人とシェアがほぼ3分の1で、両者合わせて95%を占めている。

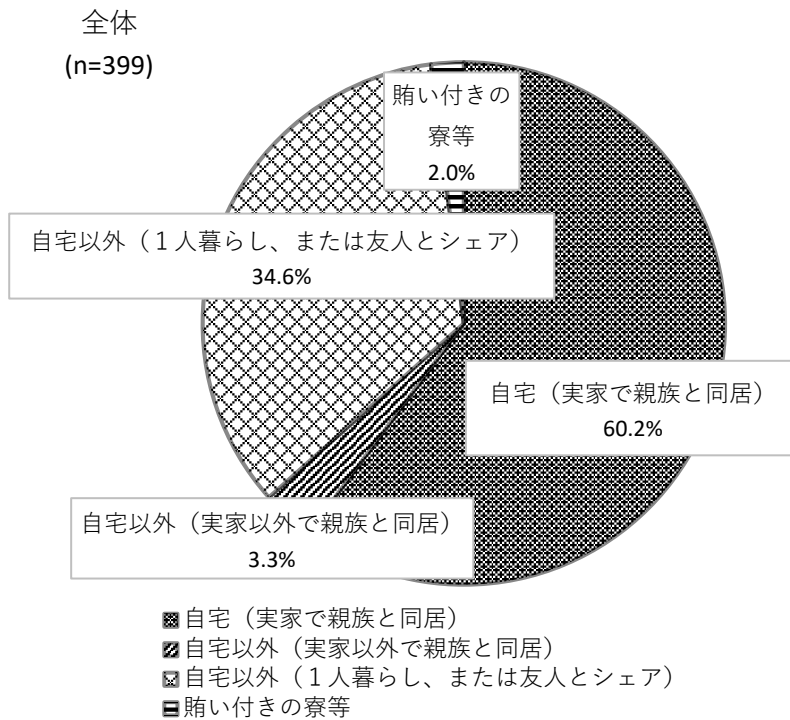


図 1-5

【大学】

大きな差はなく、ほぼ4分されている。

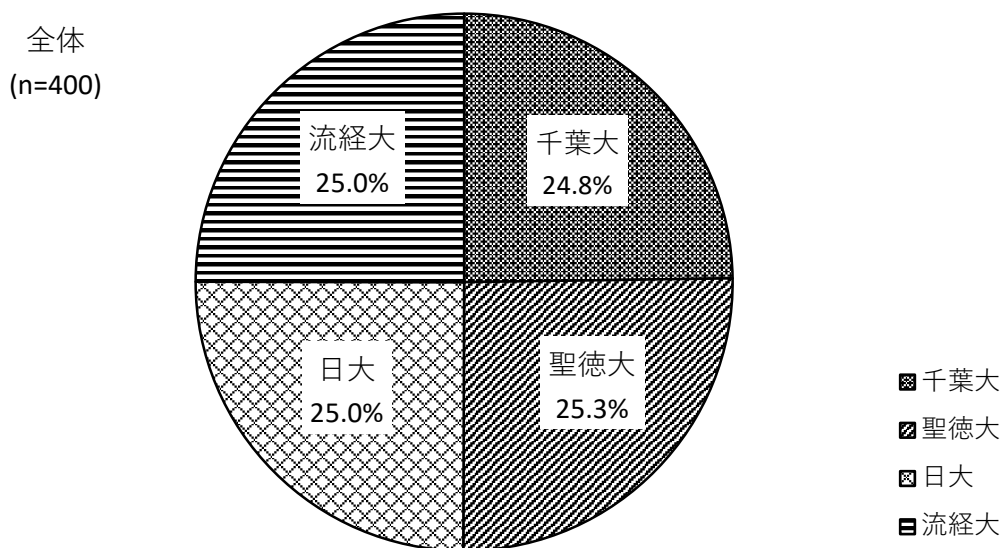


図 1-6

## 第2章 調査結果の分析

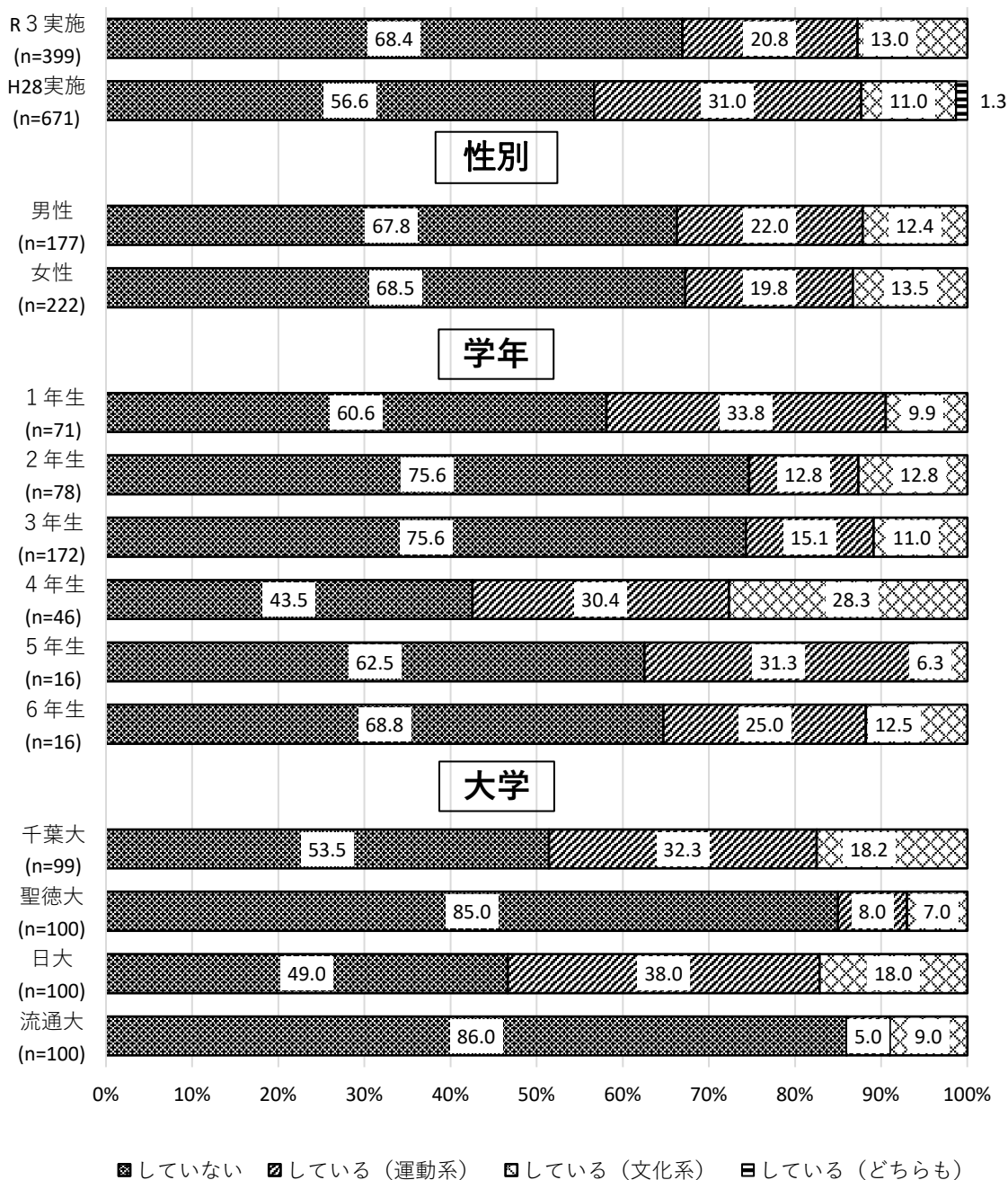




**問 6 あなたは大学（他大学のものも含む）の部活動やサークル活動（週1回以上参加）をしていますか。（該当するもの全てに○）**

全体ではしていない者は、3分の2を超えているが、している者では、2割が運動系、文科系は残り1割程度となっている。学年別では、2年生と3年生でしていない者の割合が高くなるのは、実習等のカリキュラムが理由によると考えられる。大学間で差が大きいのは、この点が反映されているといえる。

図2-6-1

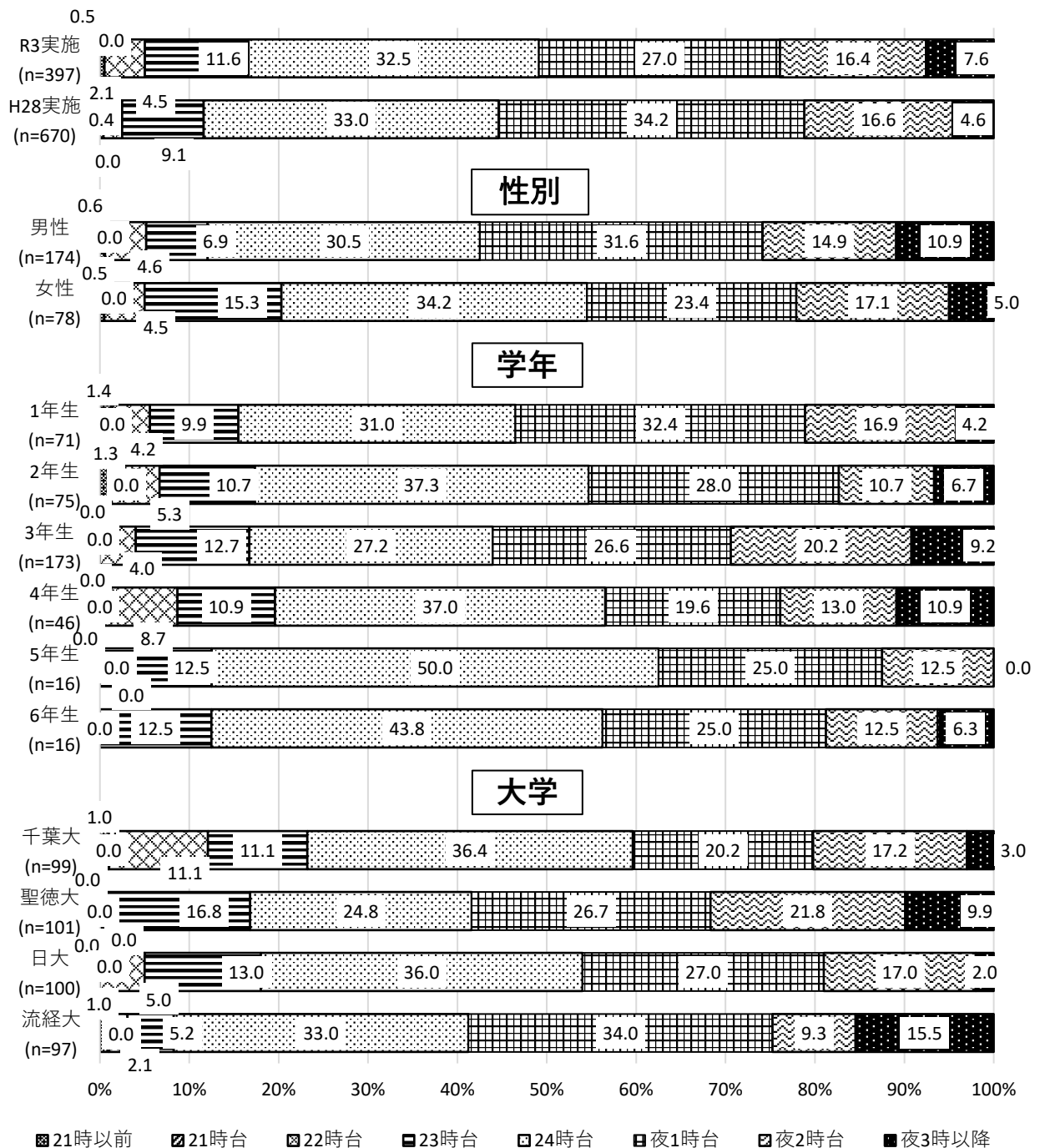


問7 あなたは平日、何時頃に就寝・起床していますか。(1つに○)

就寝時刻

全体では、24時台と1時台で6割となっており、特に男性では半数以上が1時以降に就寝しており夜更かしの傾向がある。学年別では3年生で、夜更かしの傾向が強くなっている。大学別では、千葉大学と日本大学で半数以上が1時前に就寝しているのに対して、聖徳大学では2時以降の就寝が3割を超えており、夜更かしの割合が最も高い。

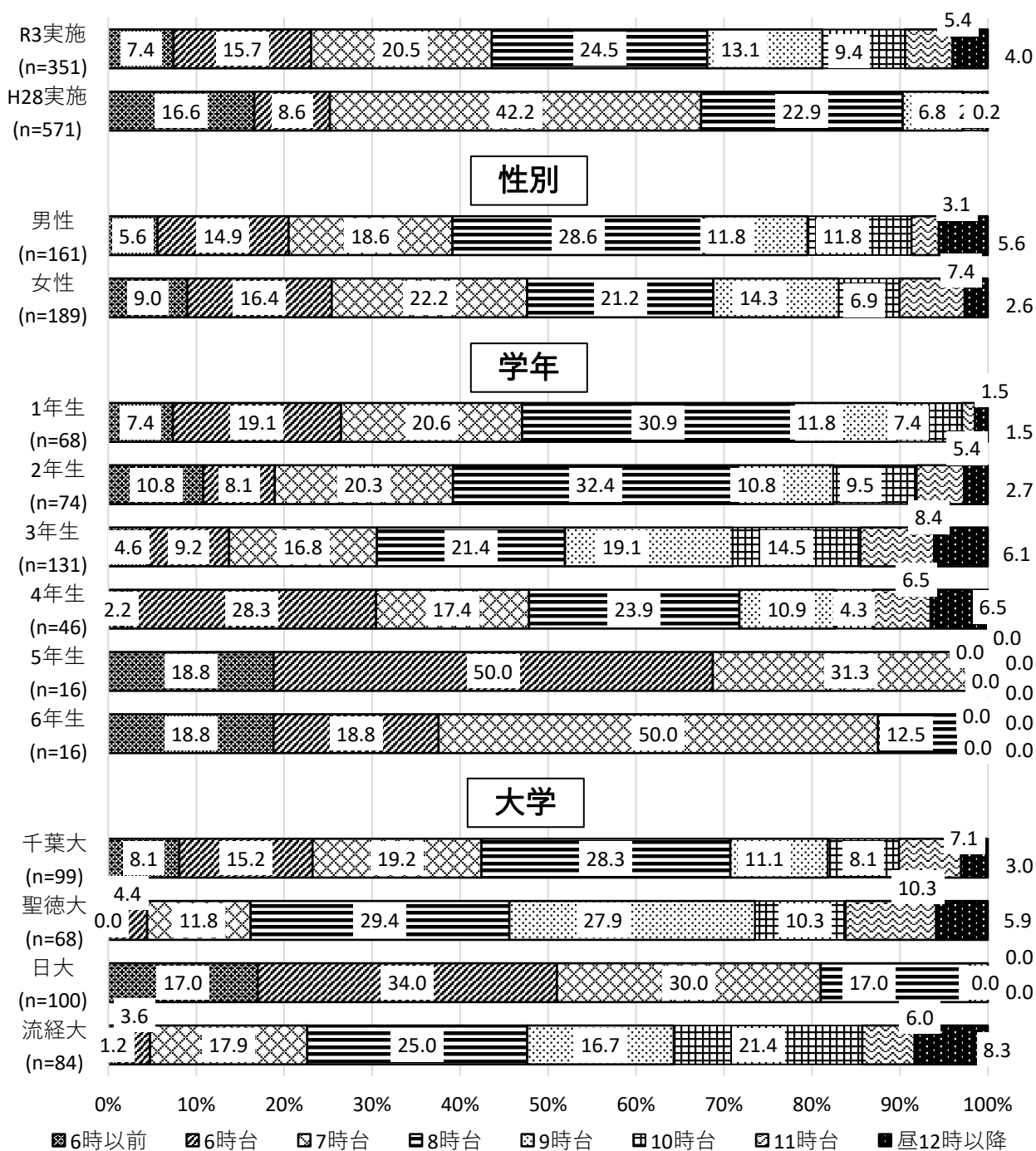
図2-7-1



起床時刻

8時台の起床の割合が最も高く、女性の方が早起きの傾向がある。学年ごとに起床時間がばらついているのは、履修カリキュラムによることが推察される。最も起床時間が早い日本大学についても、履修カリキュラムによるものと思われる。

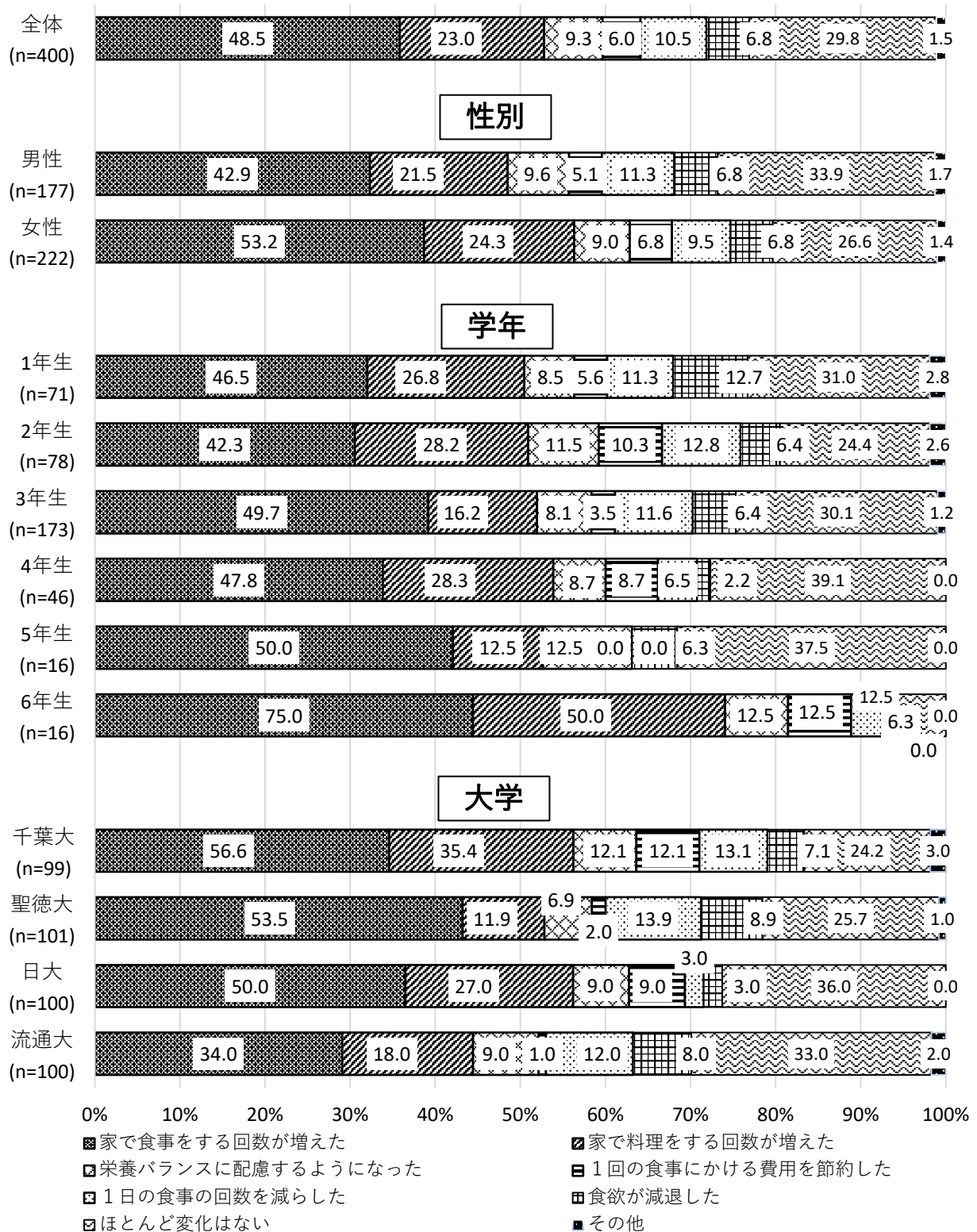
図2-7-2



問 8 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、  
 日常の食事にどのような変化がありましたか？（該当するものすべてに○）

日常の食事の変化

図2-8-1

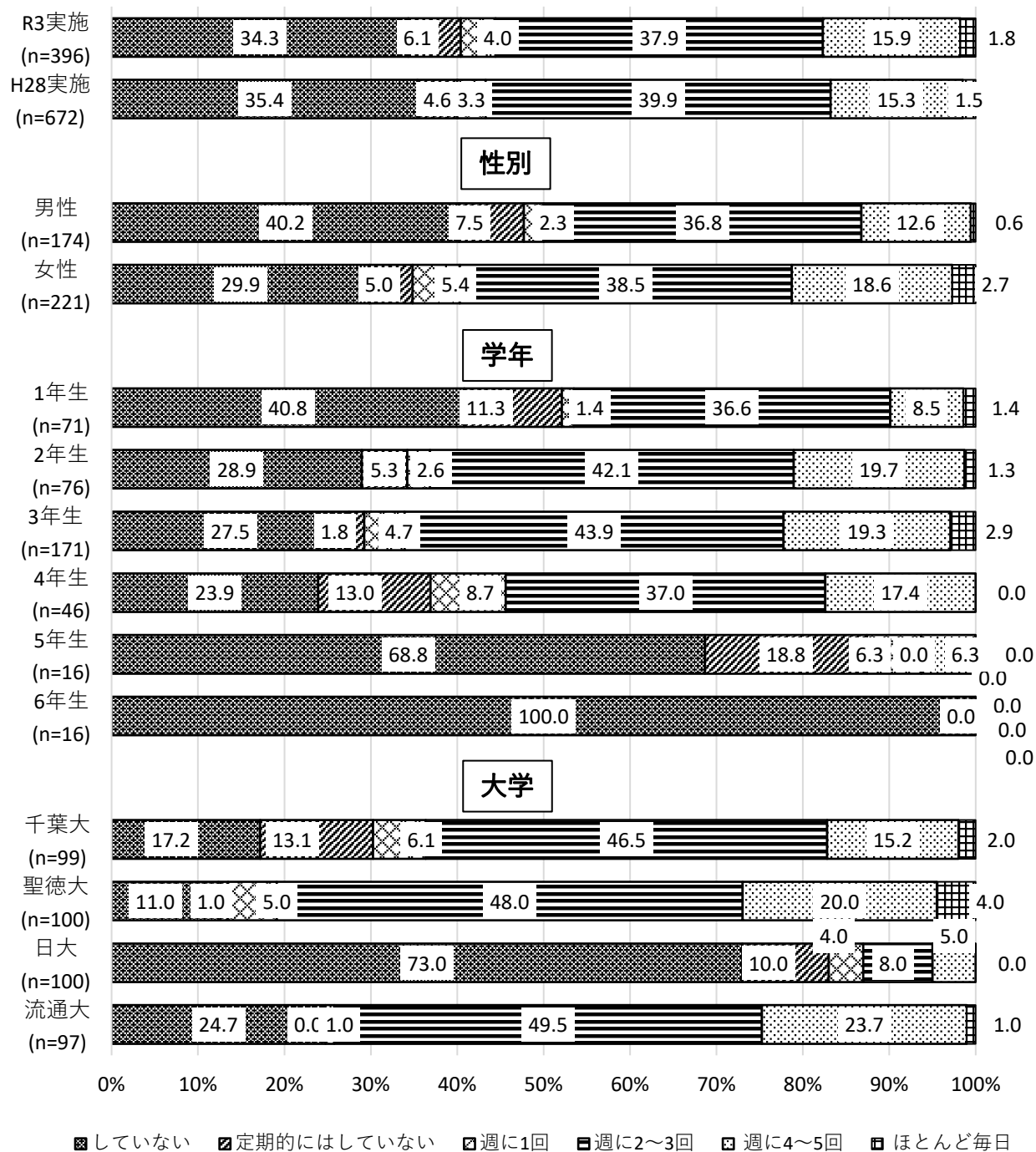


**問9 あなたはアルバイトをどの程度、どの時間帯にしていますか。(それぞれ1つに○)**

週に2～3回が4割近くで最も多いのに対して、していない者も3分の1以上おり、特に男性でその割合が高い。学年別では、1年生が最もアルバイトに熱心といえるが、カリキュラムや就職活動の影響と思われる学年ごとの違いが大きく表れている。大学別では、流通経済大学と聖徳大学で従事の割合が高い。

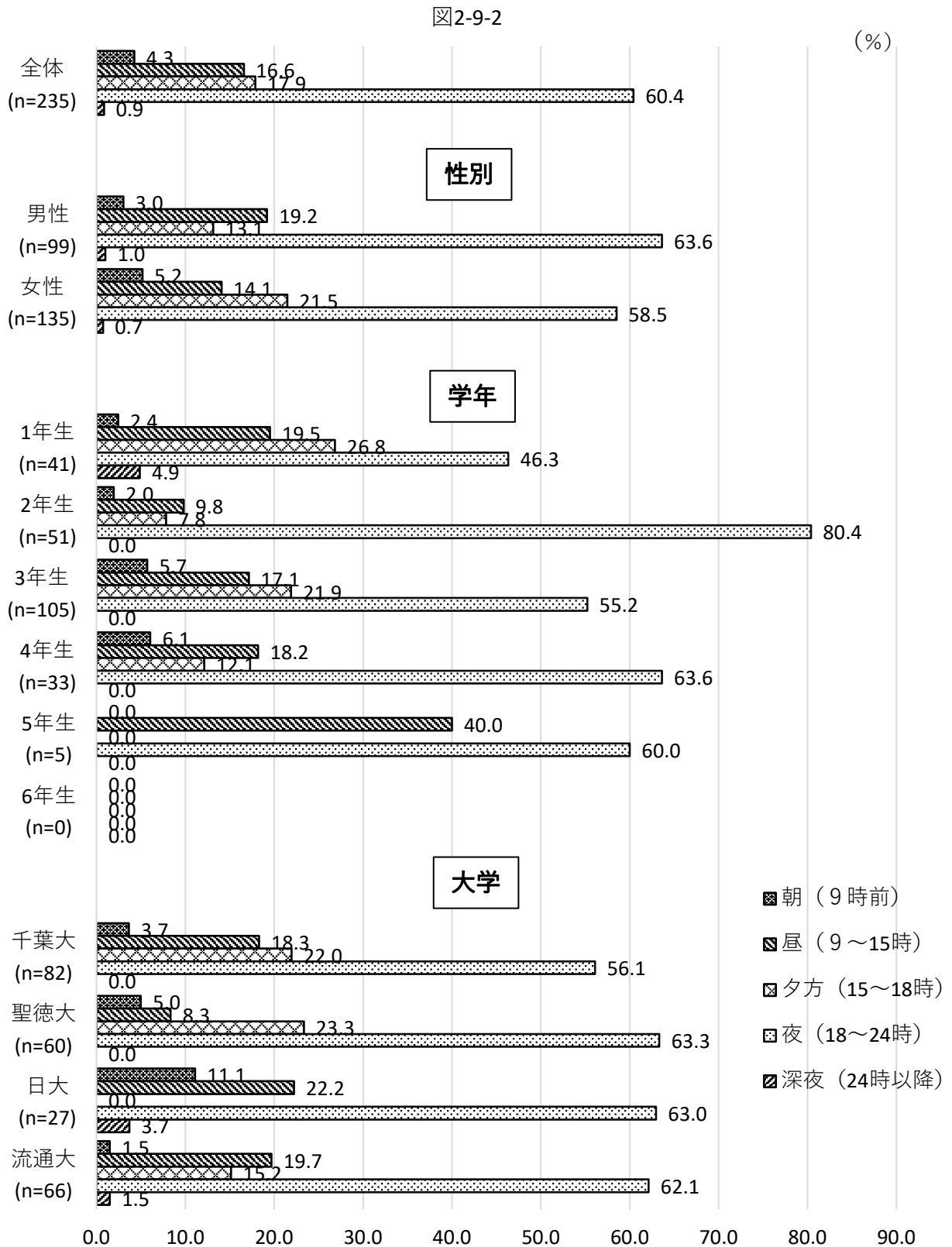
アルバイトの頻度

図2-9-1



アルバイトの時間帯

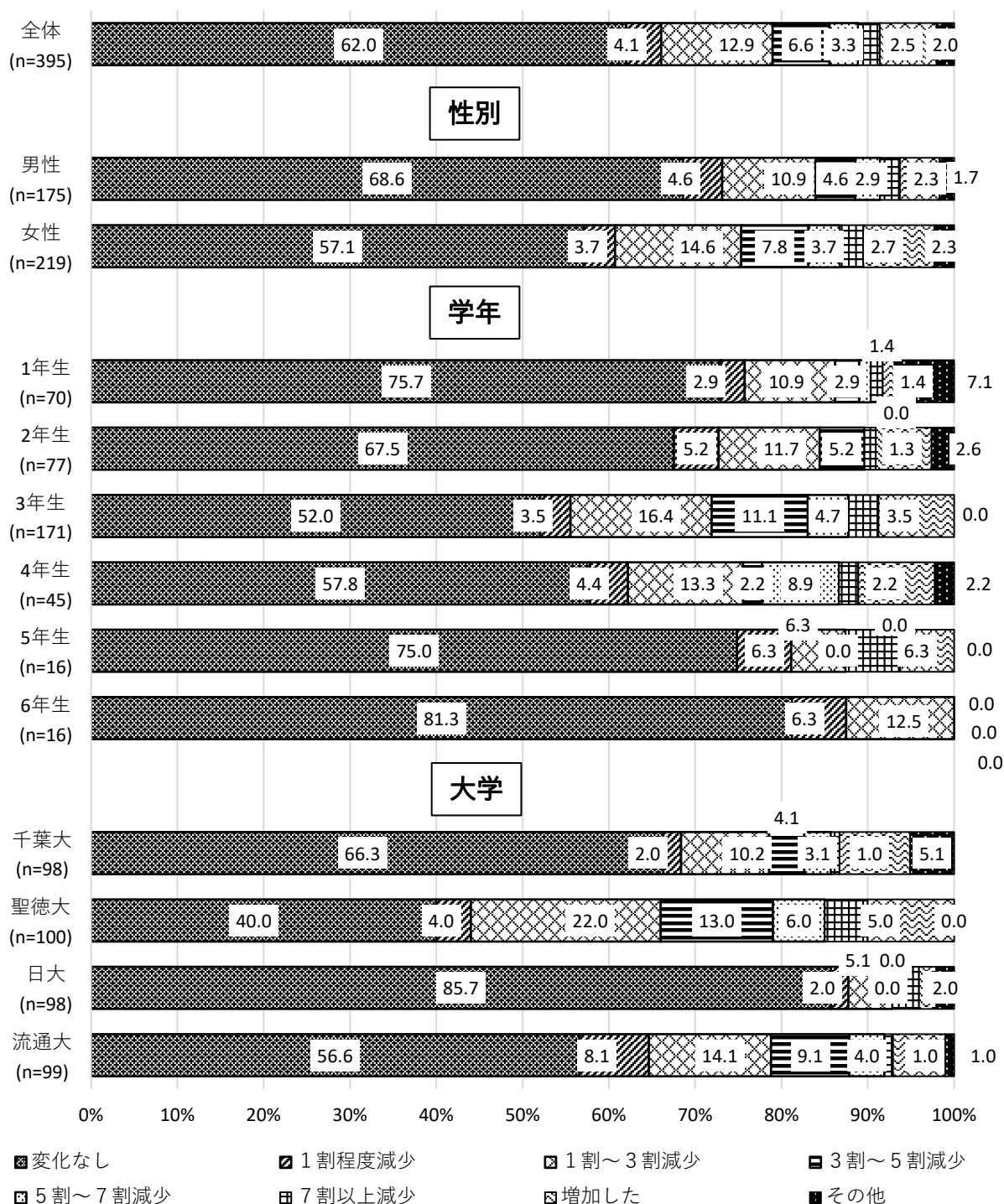
全体の8割が夕方から深夜までの時間で従事している。その割合は、男性、2年生で高い。



問 10 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入面にどのような変化がありましたか？（1つに〇）

変化なしが最も多く6割を超えている。男女別では、女性、学年では3年生、大学別では聖徳大学で収入面の変化が大きくなっている。

図2-10-1

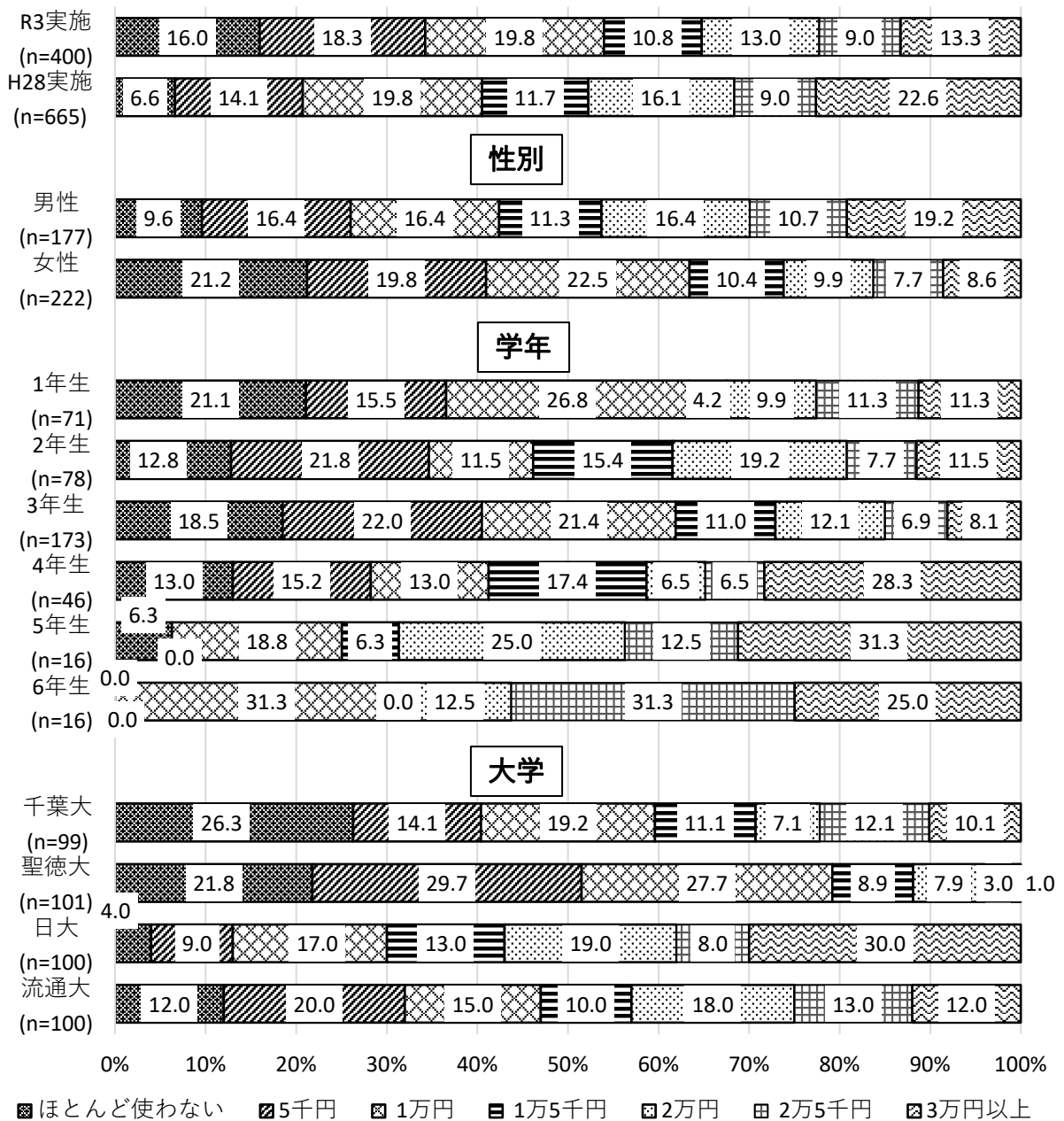


問11 あなたの1ヶ月の食費（外食や飲み物を含む）を教えてください。（1つに○）

※親など同居をしている場合は、自身の所持金で支払う食費のみを対象とします。

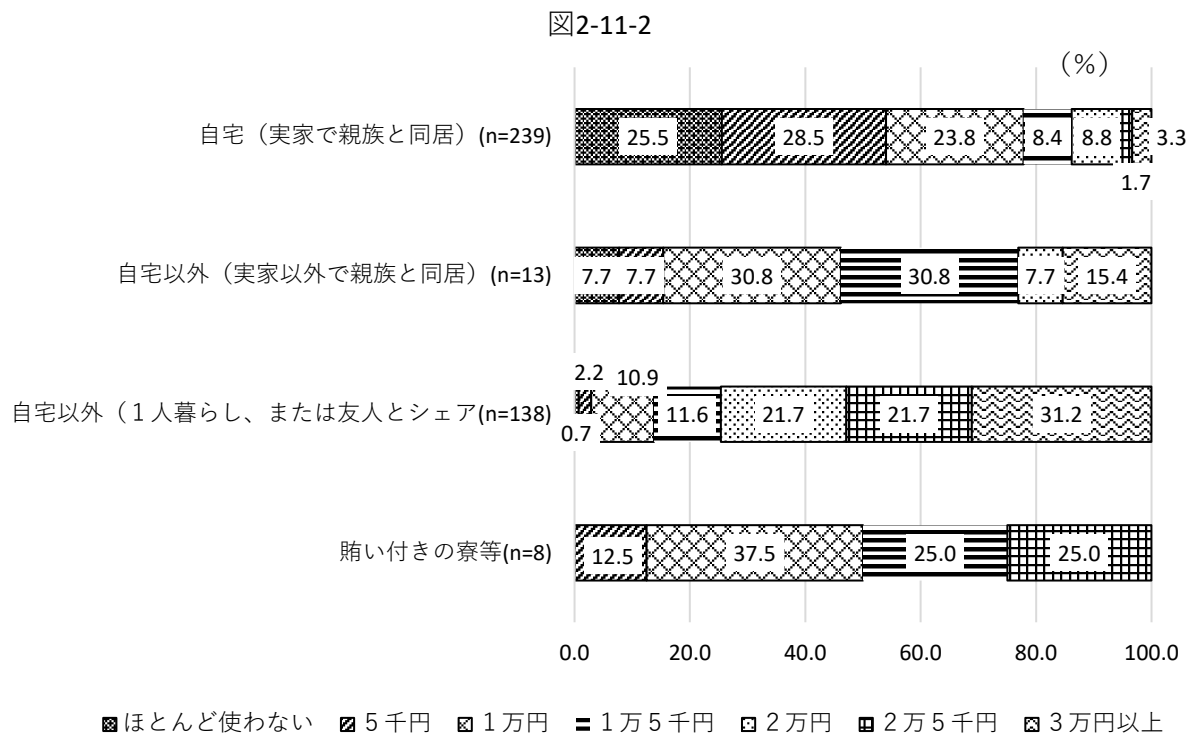
全体に、ほとんど使わないから3万円以上までの間でばらつきがみられるが、女性は、1万円以下が6割以上を占めている点で、明確な差が表れている。学年別では、1年生～3年生で支出額が少ないが、4年生以上で支出額が高くなる。大学別では、日本大学、流通経済大学の順に支出額が高いのに対して、聖徳大学と千葉大学では、低い傾向がある。

図2-11-1





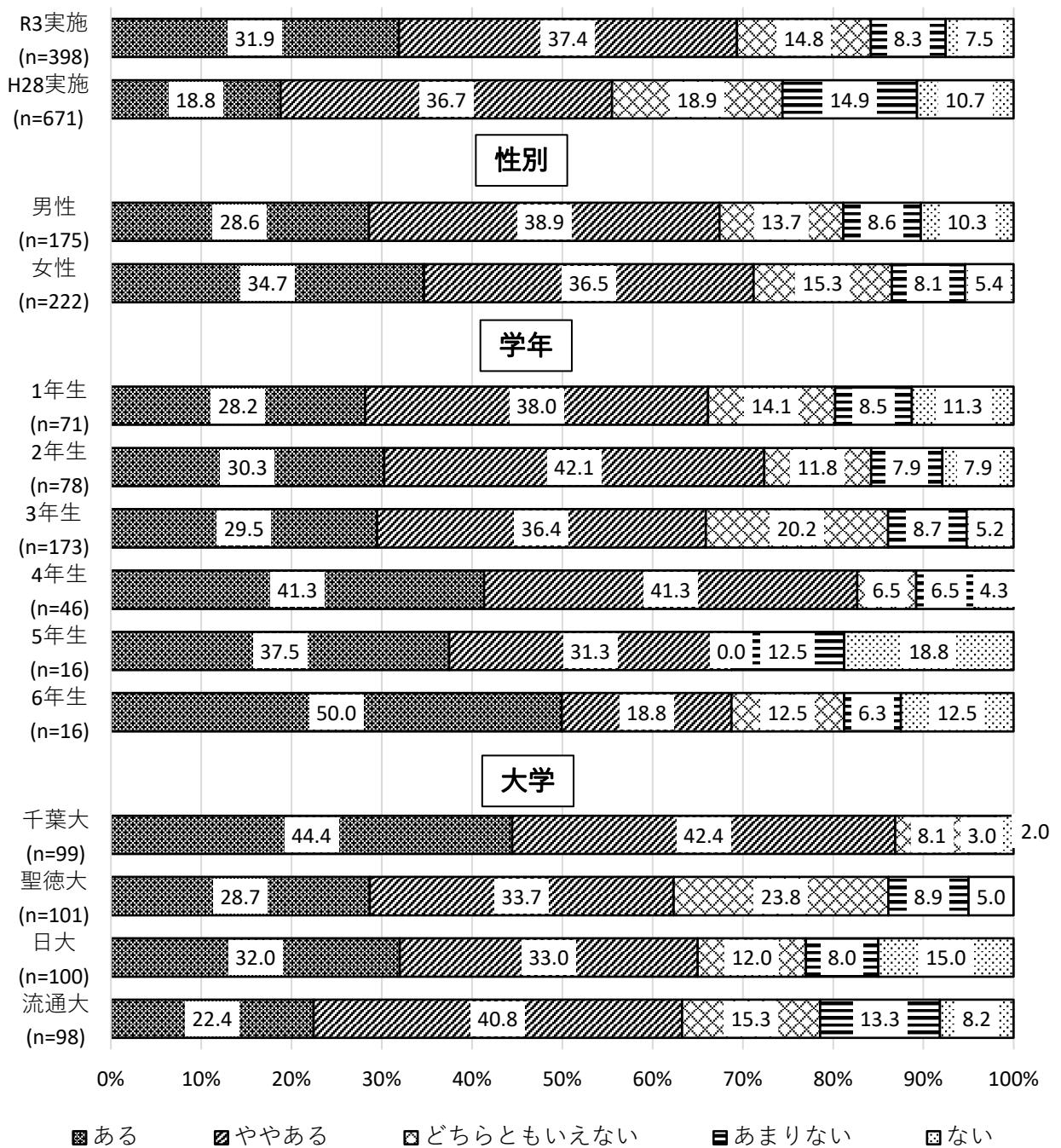
食費×住居形態



問12 あなたは「食育」に関心がありますか。(1つに〇)

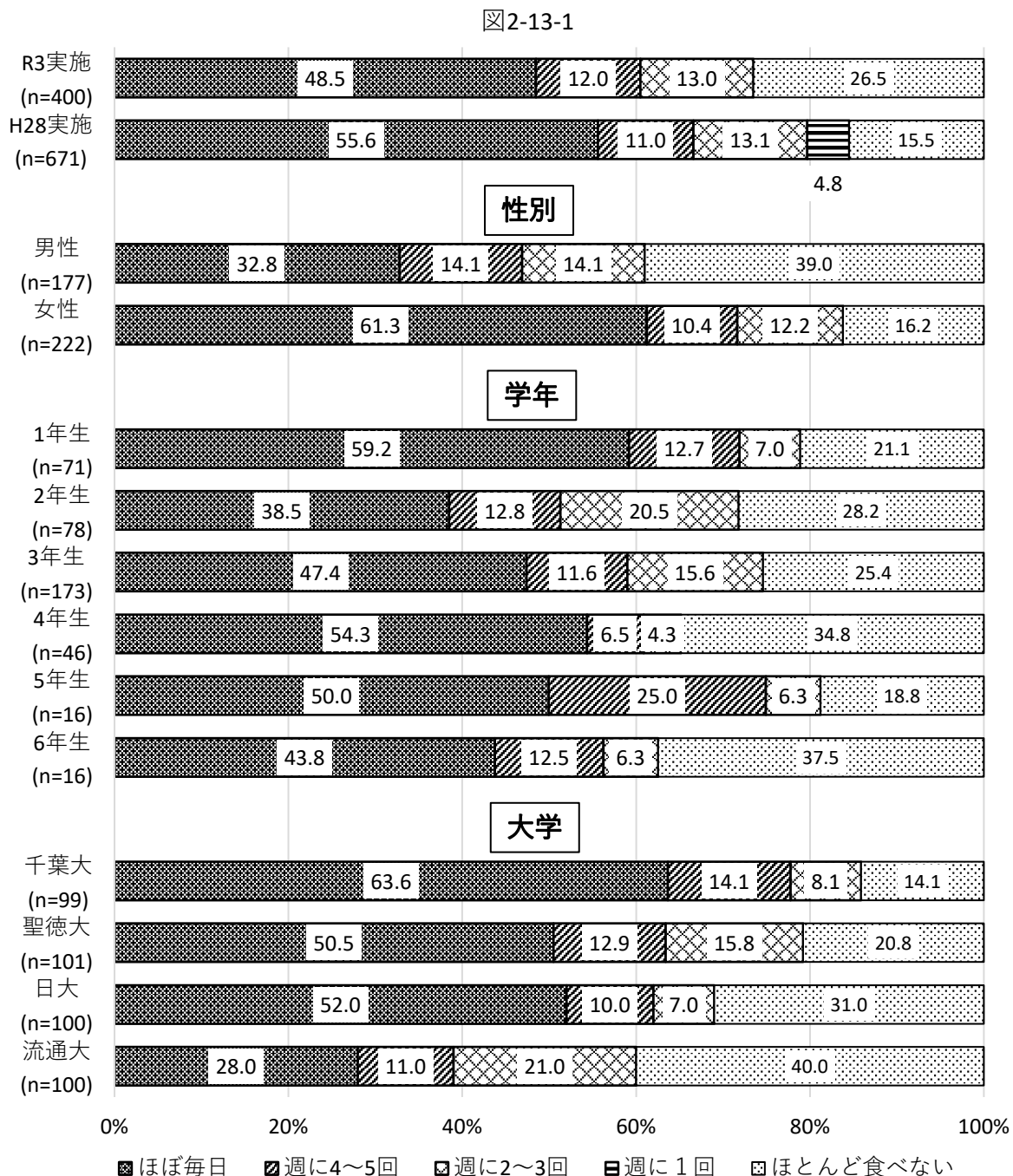
「ややある」を含めると、全体の7割が食育に関心を示しており、男女別では女性の関心が高い。学年別では、「ある」との回答は3年生以下では、3割程度あるのに対して、4年生以上では4割前後、6年生では5割となっている。3年生まで次第に高くなっている。大学別では、千葉大学と聖徳大学で最も高い。

図2-12-1



問 13 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか。(1つに○)

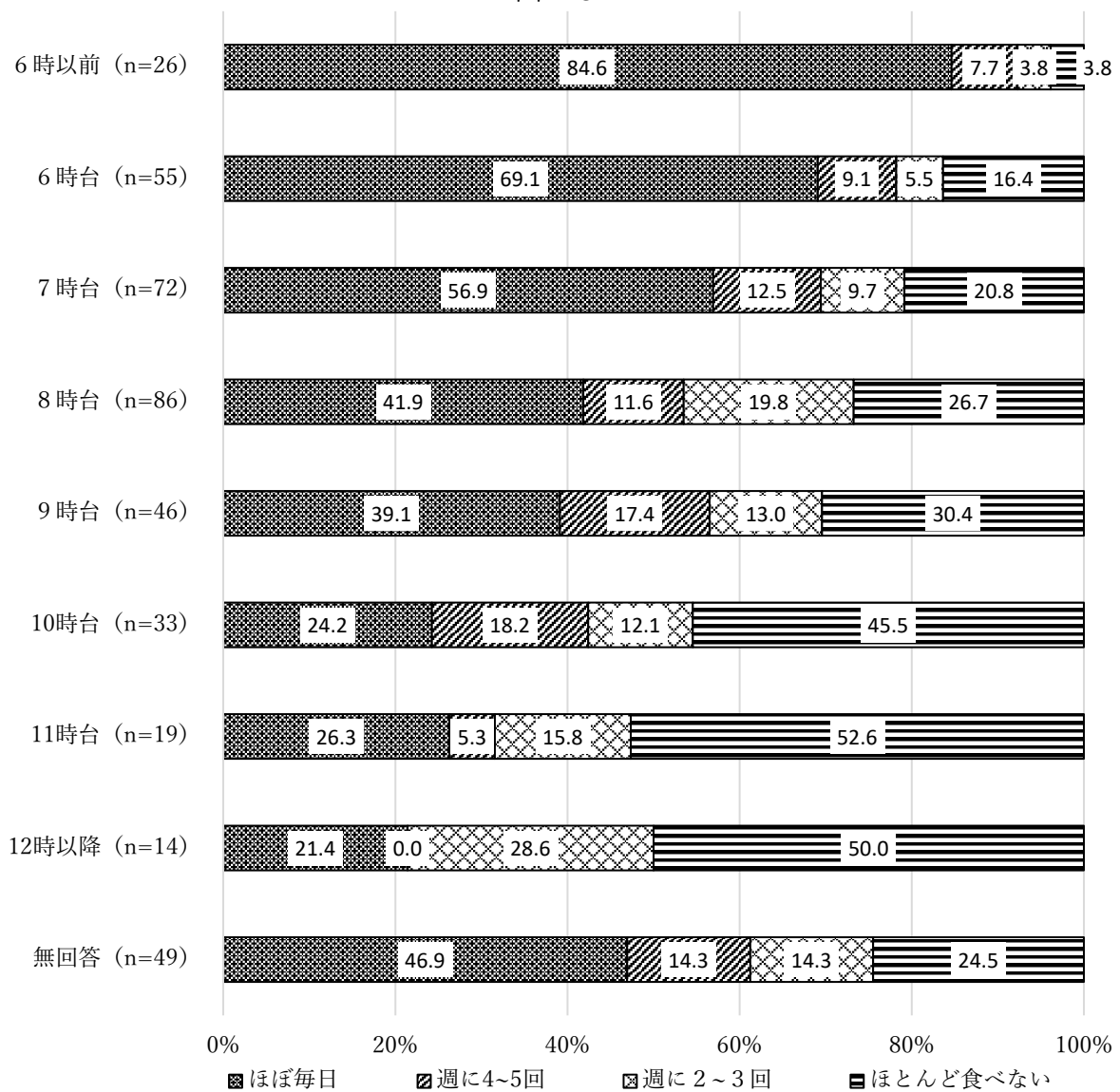
全体の半数近くが、ほぼ毎日朝食をとっているが、男女別では女性で6割と高い。また、学年別では1年生で6割近いが、2年生では4割未満と低下する。大学別では、千葉大学が6割を超えているのに対して、流通経済大学では、3割に達していない。



起床時間×朝食をとる頻度

起床時間と朝食をとる頻度をクロス集計すると、6時以前の起床でほぼ毎日朝食をとる割合が8割を超えており最も高い。その割合は、起床時間が遅くなるとともに低下し、8時台で4割、10時台では4分の1を切り、大きく低下する。このことから、少なくとも7時台には起きることが、朝食をとるためには重要といえる。

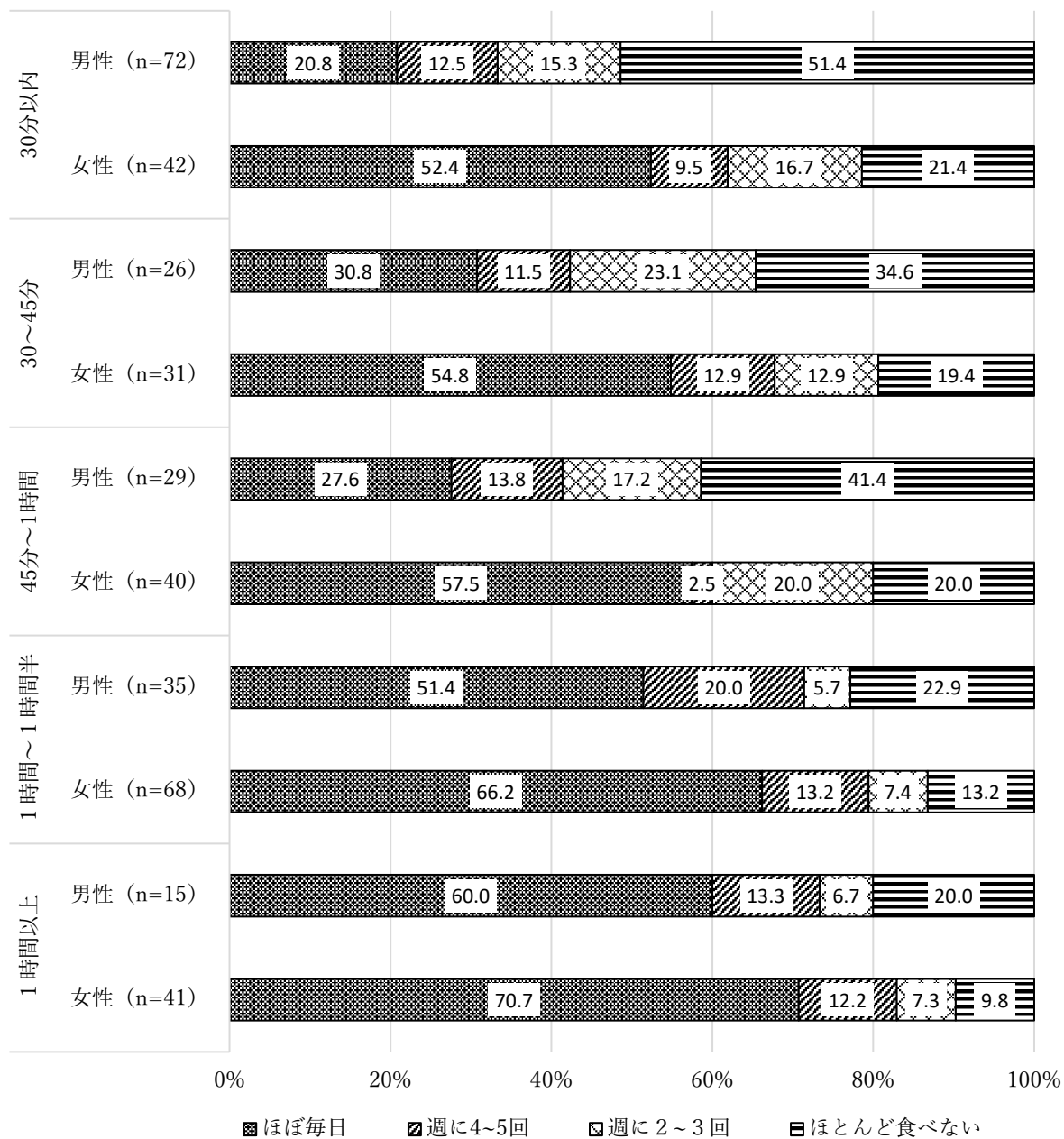
図2-13-2



通学時間×朝食をとる頻度×性別

通学時間別にみると、総じて女性の方が朝食をとる割合は高く5割を超えている。これに対して男性では、30分以内では2割であるのに対して、1時間以上では6割が朝食をとっている。

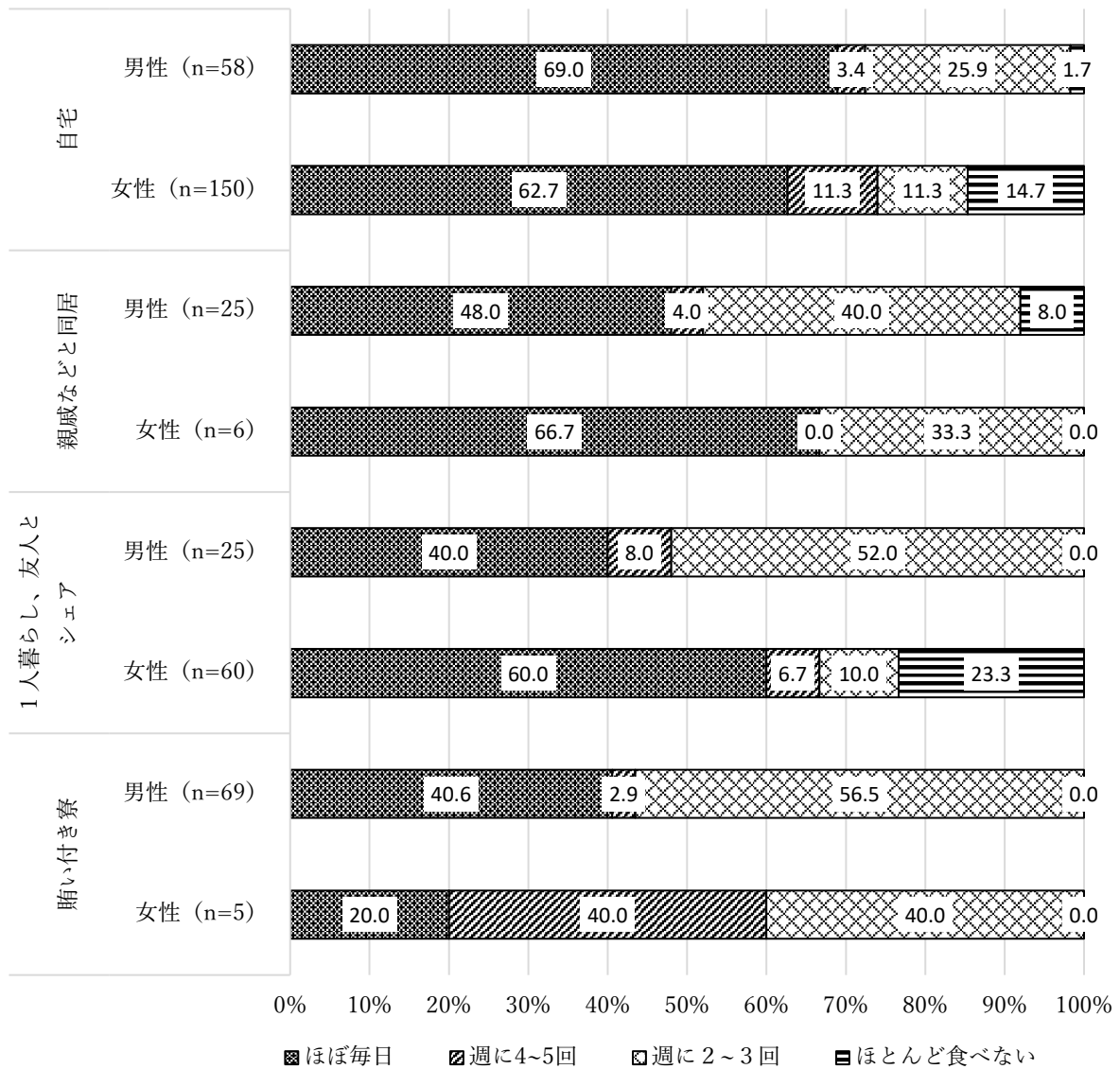
図2-13-3



居住形態×朝食をとる頻度×性別

居住形態と朝食をとる頻度および性別とのクロス集計結果をみると、回答数の多い自宅生で、男女ともに6割を超えているが、男性の方が高く、7割近い。自宅外の居住者では、一人暮らしや友人とシェアしている場合、自宅生より朝食をとる頻度は低下するが、男性の低下割合が大きく、その割合は4割にとどまっている。これは、男女で料理の習慣の有無の違いによるものと考えられる。

図2-13-4



問 14 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか。(該当するものすべてに○)

全体で、8割が主食をとっている。男女別では、各項目で10%以上の差はみられない。学年別では、多数の項目で1年生が最も高く、2年生以降で低下する。大学別では、主食をとる割合は千葉大学と聖徳大学で8割を超えている。

表 1-1 (％)

	回答者数(人)	主食(ご飯、パン、麺など)	主菜(魚、肉、卵、大豆料理など)	副菜(野菜、海藻、具の入った汁物など)	果物	乳製品	飲み物	栄養ドリンク、エナジーゼリーなど	菓子	その他	計
全体(n=386)	386	<b>79.8</b>	31.9	24.1	17.9	27.5	45.3	7.0	3.4	2.6	239.4
男性(n=165)	165	<b>78.2</b>	28.5	22.4	13.3	24.2	41.8	10.3	4.2	3.0	226.1
女性(n=220)	220	<b>81.4</b>	34.5	25.5	21.4	30.0	48.2	4.1	2.7	2.3	250.0
1年生(n=70)	70	<b>80.0</b>	38.6	27.1	22.9	34.3	47.1	7.1	5.7	2.9	265.7
2年生(n=74)	74	<b>74.3</b>	25.7	20.3	17.6	27.0	41.9	8.1	5.4	2.7	223.0
3年生(n=168)	168	<b>82.1</b>	32.7	23.2	16.1	27.4	44.0	4.8	3.0	3.6	236.9
4年生(n=43)	43	<b>76.7</b>	37.2	27.9	14.0	23.3	<b>62.8</b>	7.0	0.0	0.0	248.8
5年生(n=16)	16	<b>75.0</b>	31.3	<b>43.8</b>	<b>31.3</b>	25.0	43.8	<b>25.0</b>	0.0	0.0	275.2
6年生(n=15)	15	<b>93.3</b>	6.7	6.7	13.3	13.3	20.0	6.7	0.0	0.0	160.0
千葉大(n=94)	94	<b>88.3</b>	<b>50.0</b>	37.2	25.5	<b>36.2</b>	55.3	4.3	2.1	2.1	301.1
聖徳大(n=101)	101	<b>83.2</b>	31.7	22.8	16.8	27.7	46.5	3.0	4.0	4.0	239.7
日大(n=93)	93	<b>69.9</b>	23.7	22.6	20.4	25.8	49.5	9.7	2.2	1.1	224.7
流経大(n=98)	98	<b>77.6</b>	22.4	14.3	9.2	20.4	30.6	11.2	5.1	3.1	193.9

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

**問15 あなたが朝食をとらない(とれない)ときの理由は何ですか。(該当するものすべてに○)**

全体では、朝食より優先したいことという理由が5割で、女性の割合が高くなっており、お化粧品・身支度などの時間にあてているためと考えられる。学年別では、6年生で、大学別では、日本大学でその割合が高い。いずれも、実践実習などで多忙なことが考えられる。

表1-2

(%)

	回答者数 (人)	食欲がない	ダイエット	準備や後片付けが面倒	朝食より優先したいことがある、 時間がない	お金の節約	朝食をとる習慣がないから	その他	計
全体 (n=356)	356	33.7	5.3	10.1	<b>50.3</b>	4.8	14.0	11.8	130.1
男性 (n=165)	165	32.1	1.2	13.3	<b>46.7</b>	6.7	23.0	10.3	133.3
女性 (n=190)	190	35.3	8.9	7.4	<b>53.7</b>	3.2	5.8	13.2	127.4
1年生 (n=60)	60	43.3	1.7	15.0	<b>53.3</b>	0.0	16.7	11.7	141.7
2年生 (n=70)	70	37.1	2.9	12.9	<b>48.6</b>	11.4	10.0	8.6	131.4
3年生 (n=157)	157	11.8	3.3	2.2	<b>15.5</b>	1.1	3.9	5.0	42.9
4年生 (n=39)	39	17.9	2.6	15.4	<b>48.7</b>	2.6	25.6	15.4	128.2
5年生 (n=14)	14	7.1	0.0	14.3	<b>14.3</b>	0.0	21.4	0.0	57.1
6年生 (n=16)	16	37.5	0.0	0.0	<b>68.8</b>	18.8	12.5	0.0	137.6
千葉大 (n=73)	73	38.4	6.8	11.0	<b>50.7</b>	8.2	9.6	16.4	141.1
聖徳大 (n=93)	93	34.4	10.8	4.3	<b>44.1</b>	3.2	5.4	18.3	120.4
日大 (n=96)	96	28.1	3.1	12.5	<b>70.8</b>	6.3	16.7	1.0	138.5
流経大 (n=94)	94	35.1	1.1	12.8	<b>35.1</b>	2.1	23.4	12.8	122.3

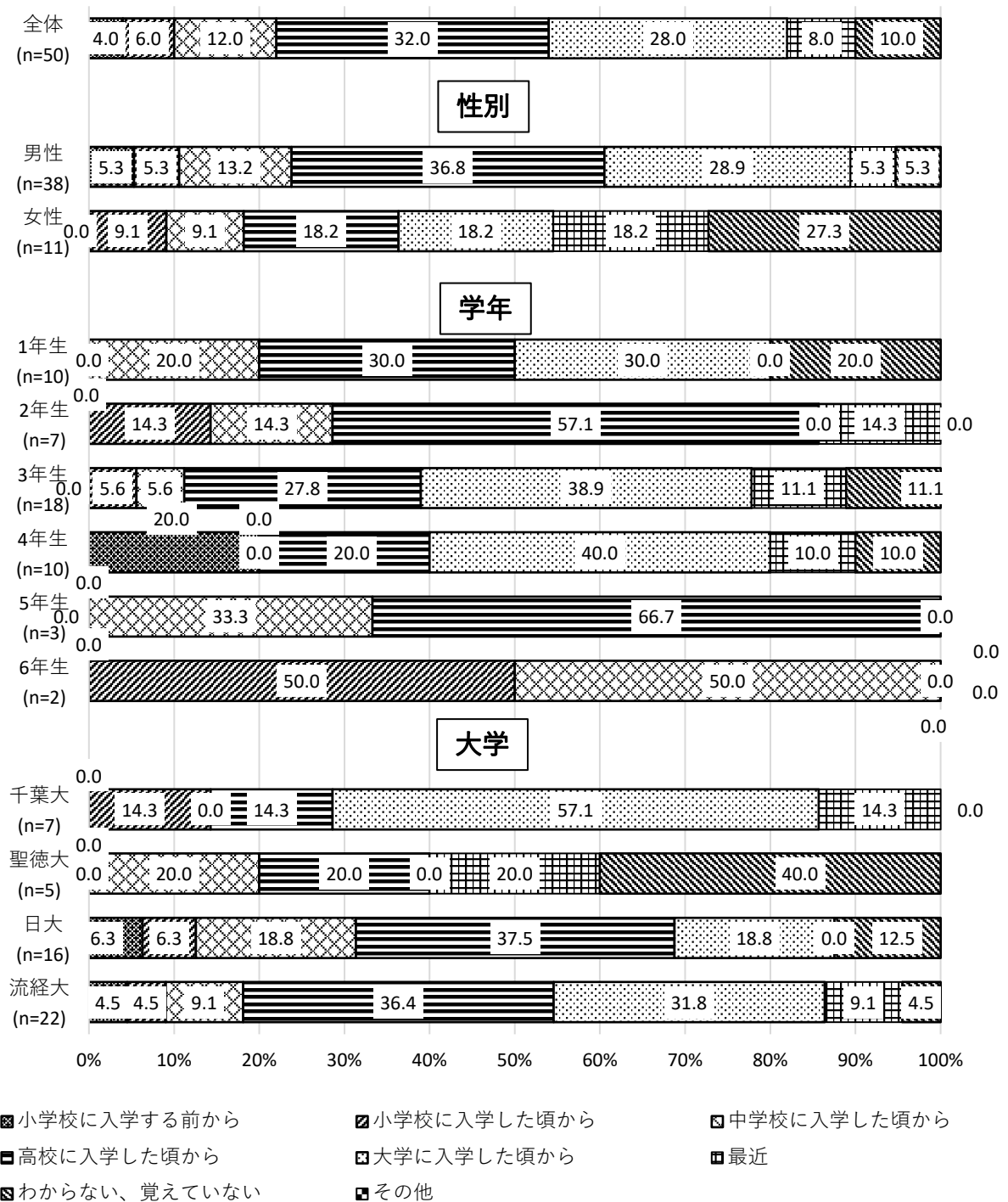
最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。



問 16 問 15 でカと回答した方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか。  
(1つに〇)

高校入学時が最も多く、約3分の1を占め、男性で特にその傾向が強い。次いで大学入学時の順となっている。

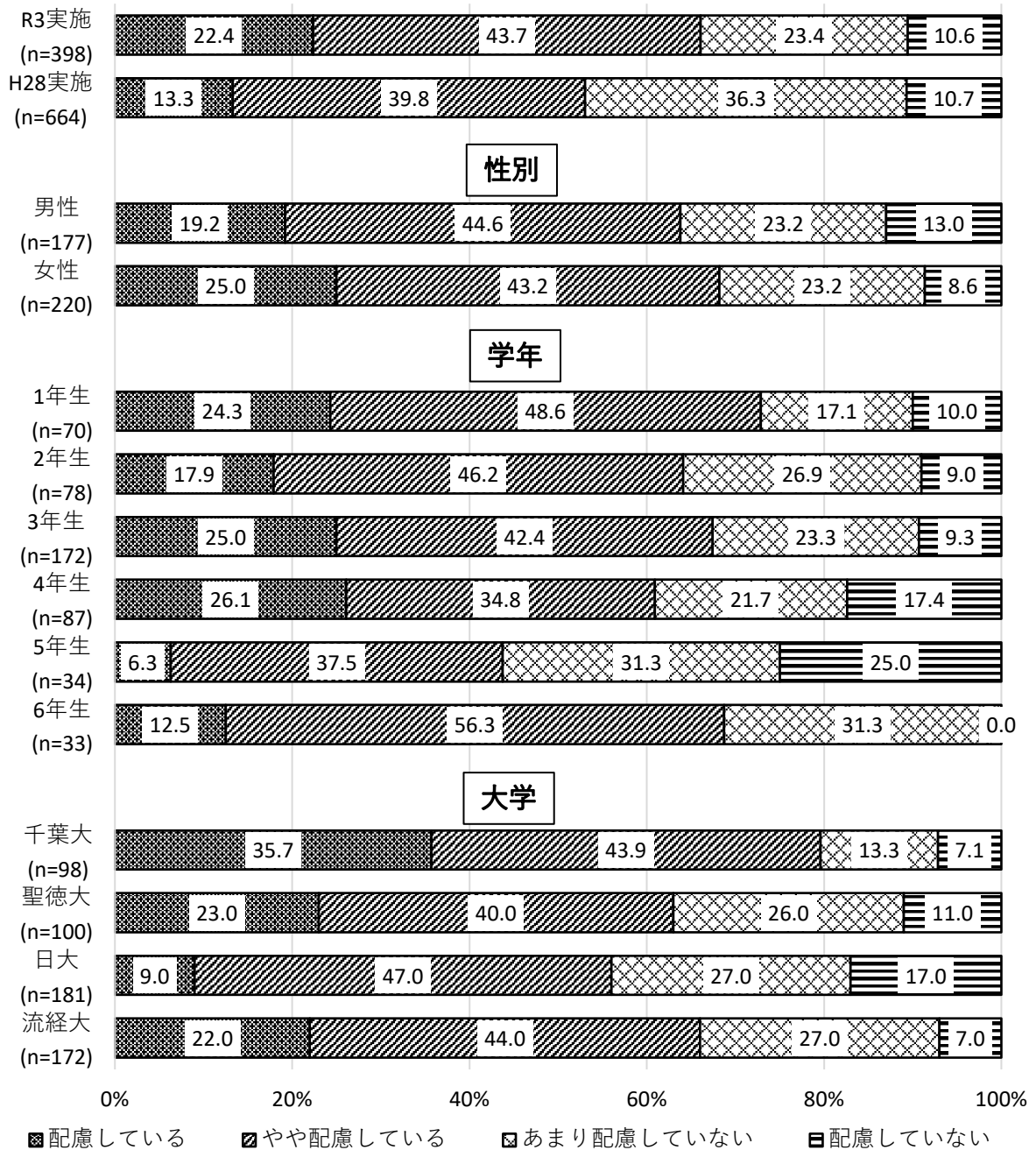
図2-16-1



問17 あなたは普段の食事で、主食・主菜・副菜を組み合わせるなど、栄養バランスに配慮していますか。(1つに○)

栄養バランスへの配慮の有無は、ほぼ3分の2で配慮がみられる。女性でその割合が高い。学年別では、3年生で高くなっている。大学別では、千葉大学で8割近くと高い。

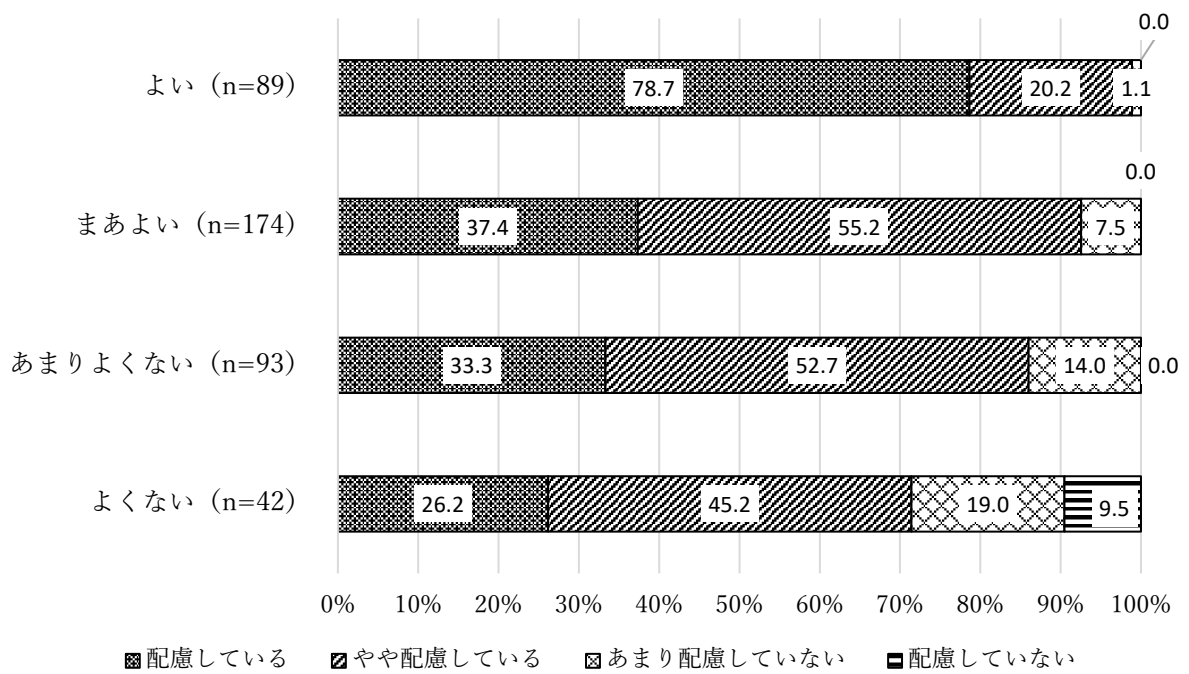
図2-17-1



健康状態×栄養バランスへの配慮

健康状態と栄養バランスのクロス集計では、健康状態がよいほど栄養バランスに配慮しており、両者の正相関関係がみられる。

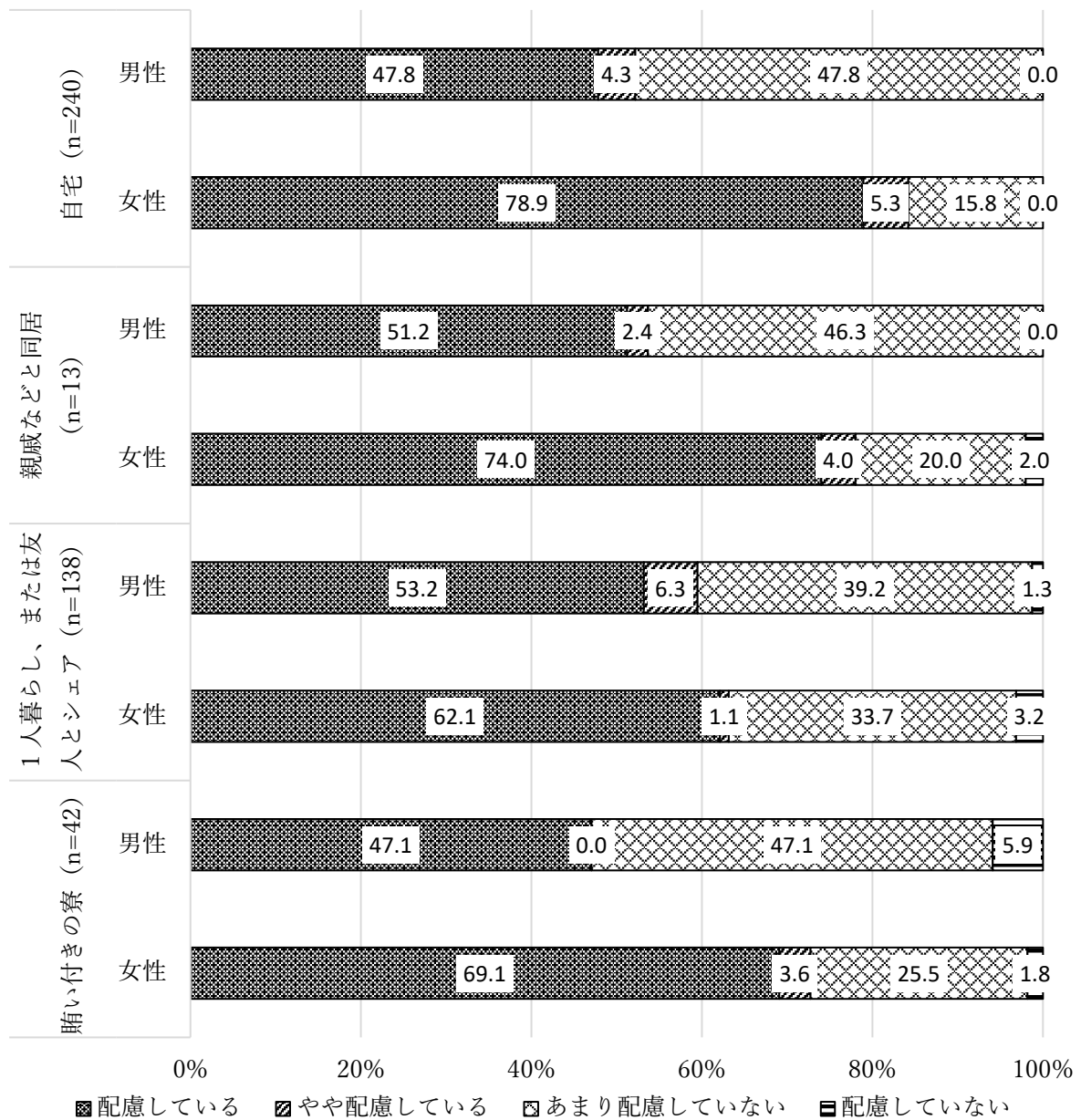
図2-17-2



居住形態×栄養バランス配慮×性別

いずれの居住形態においても栄養バランス配慮とのクロス集計では、総じて女性で配慮の割合が高く男女差が大きい。

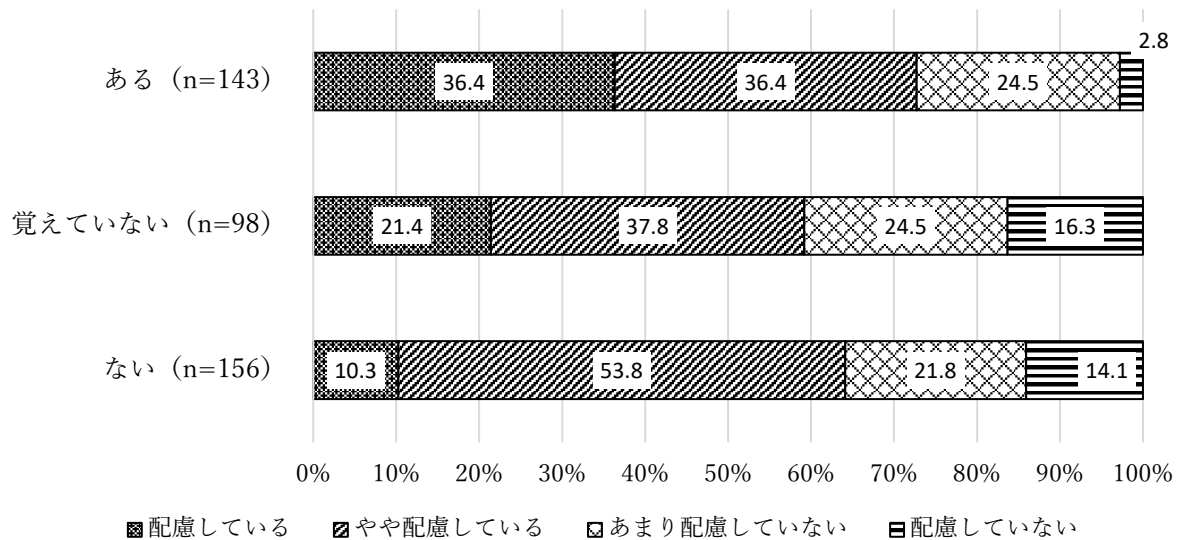
図2-17-3



郷土料理、伝統料理、だしの取り方の教育×栄養バランスへの配慮

郷土料理、伝統料理、だしの取り方の教育を受けたことがあると栄養バランスへの配慮は、明確な相関関係が認められる。このことから、地域や伝統的食文化の教育の重要性を指摘できる。

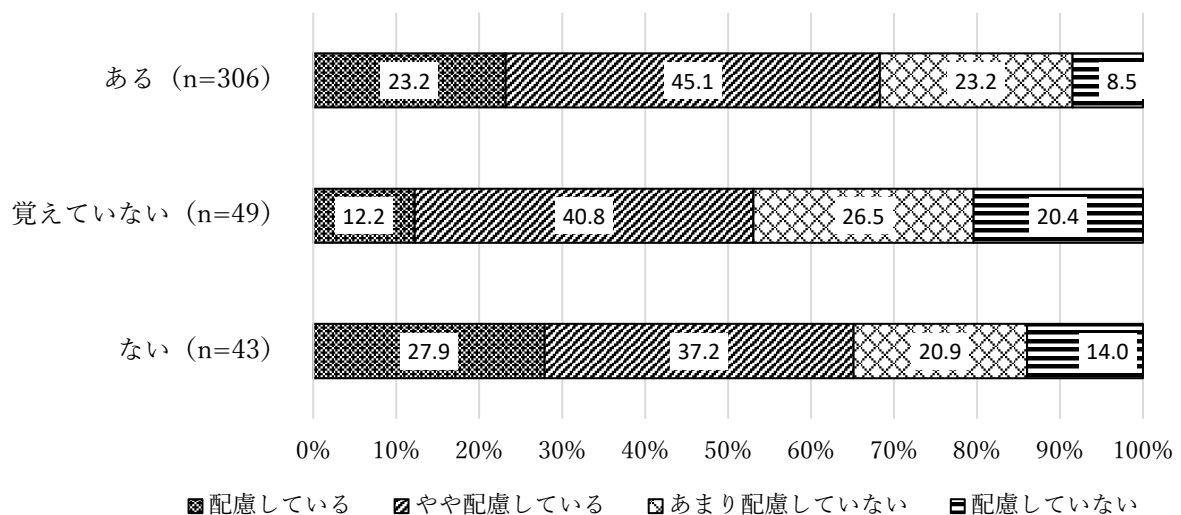
図2-17-4



はし使い、三角食べなどの作法の教育×栄養バランスへの配慮

食事の作法の教育と栄養バランスへの配慮の相関は明らかではない。

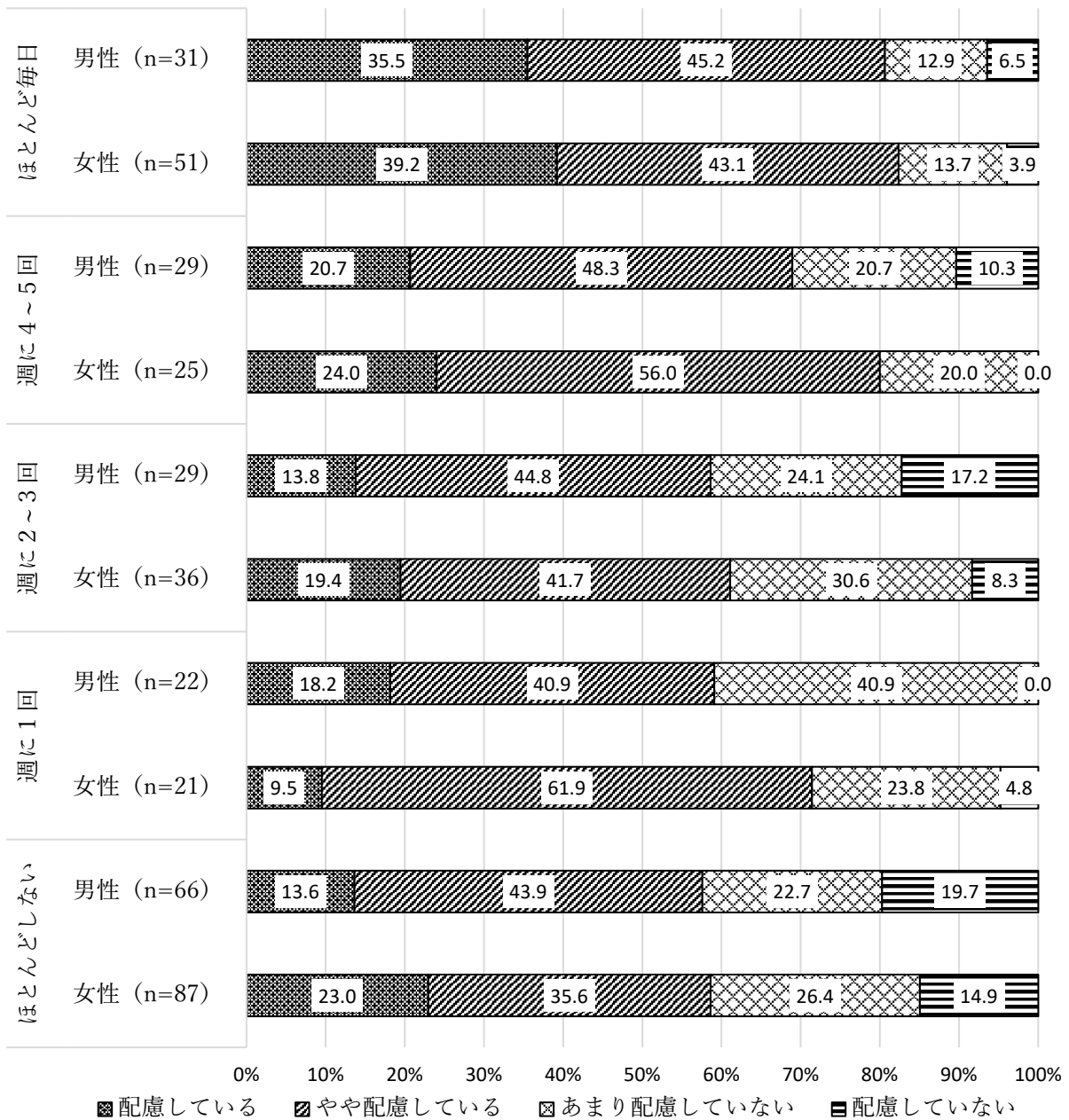
図2-17-5



自炊頻度×栄養バランスへの配慮×性別

自炊頻度と栄養バランスへの配慮および性別との関係については、総じて、女性の方が栄養バランスへの配慮を行っていることと、自炊頻度が高いほど栄養バランスへの配慮も高まる傾向が読み取れる。

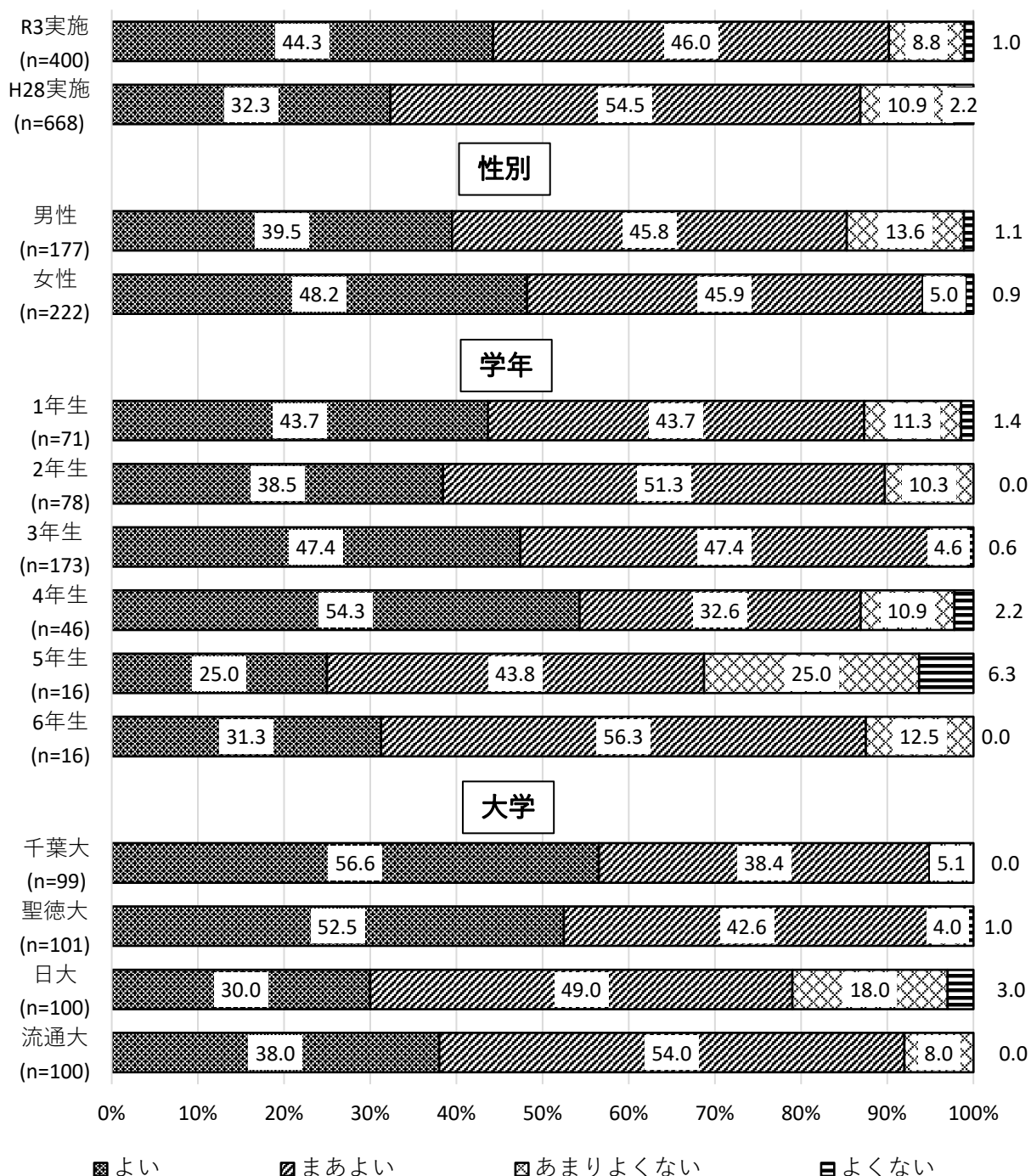
図2-17-6



問 18 あなたの健康状態はどうか。(1つに〇)

全体では「よい」、「まあよい」を合わせて9割近くに達しており、「あまりよくない」は1割となっている。男女別では、女性の方が健康状態がよいとの回答割合が高い。学年別では、高学年で健康状態が低下する傾向となっている。大学別では、日本大学で健康状態が他大学に比べて低くなっている。

図2-18-1



問 19 あなたが安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか。(該当するものすべてに○)

消費期限や製造日の確認が最も一般的な行為となっており、男女別でみると多くの項目で、女性で実践している割合が高い。学年別では4年生と6年生で、大学別では千葉大学で実践している割合が高い。

表 1-3 (％)

	回答者数(人)	消費(賞味)期限や製造日の確認	アレルギー表示の確認	産地の確認	保存方法や使用方法の確認	においや見た目での確認	包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	食材や調理品の室温放置をしない	肉の十分な加熱	健康食品などから特定の栄養素を過剰に摂取しない	その他	計
全体 (n=395)	395	<b>74.2</b>	8.9	24.1	37.0	52.7	24.1	34.7	50.9	10.4	1.5	318.2
男性 (n=175)	175	<b>77.1</b>	9.7	18.9	37.7	51.4	21.7	31.4	48.6	9.1	2.3	308.0
女性 (n=219)	219	<b>72.1</b>	7.8	28.3	36.5	53.4	26.0	37.4	52.5	11.4	0.9	326.5
1年生 (n=71)	71	<b>69.0</b>	7.0	28.2	32.4	53.5	21.1	32.4	50.7	16.9	1.4	312.6
2年生 (n=77)	77	<b>71.4</b>	7.8	24.7	36.4	55.8	24.7	40.3	57.1	7.8	1.3	327.3
3年生 (n=171)	171	<b>75.4</b>	8.2	18.1	35.1	47.4	23.4	27.5	47.4	9.4	1.8	293.6
4年生 (n=45)	45	<b>77.8</b>	13.3	35.6	<b>48.9</b>	64.4	24.4	53.3	48.9	11.1	0.0	377.8
5年生 (n=15)	15	<b>73.3</b>	6.7	26.7	46.7	60.0	33.3	33.3	46.7	6.7	6.7	340.0
6年生 (n=16)	16	<b>87.5</b>	18.8	31.3	37.5	50.0	31.3	43.8	68.8	6.3	0.0	375.3
千葉大 (n=98)	98	<b>66.3</b>	7.1	44.9	41.8	71.4	35.7	55.1	75.5	20.4	0.0	418.4
聖徳大 (n=99)	99	<b>76.8</b>	7.1	11.1	33.3	39.4	19.2	19.2	38.4	5.1	2.0	251.5
日大 (n=98)	98	<b>76.5</b>	10.2	25.5	41.8	54.1	28.6	36.7	43.9	6.1	1.0	324.5
流経大 (n=100)	100	<b>77.0</b>	11.0	15.0	31.0	46.0	13.0	28.0	46.0	10.0	3.0	280.0

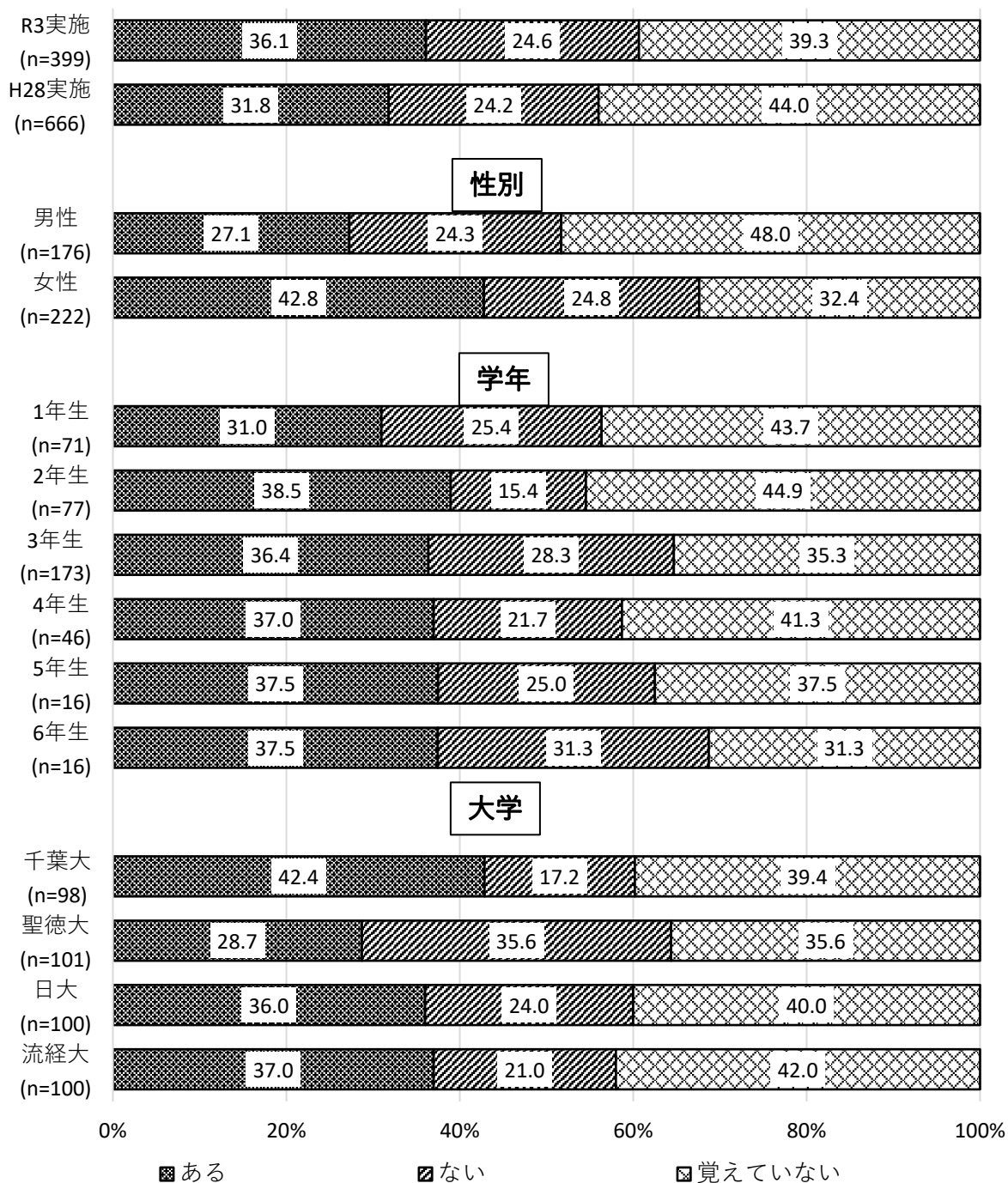
最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。



**問 20 あなたは親などから郷土料理、伝統料理や「だし」の取り方など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を教えてもらったことがありますか。(1つに○)**

全体で、あると答えた割合は3分の1を超えている。多くはないが、男女別で見ると女性では、その割合は4割を超えているのに対して、男性では3割に達しない。学年別では、大きな差はなく、大学別では千葉大学で、あるとの回答が多い。

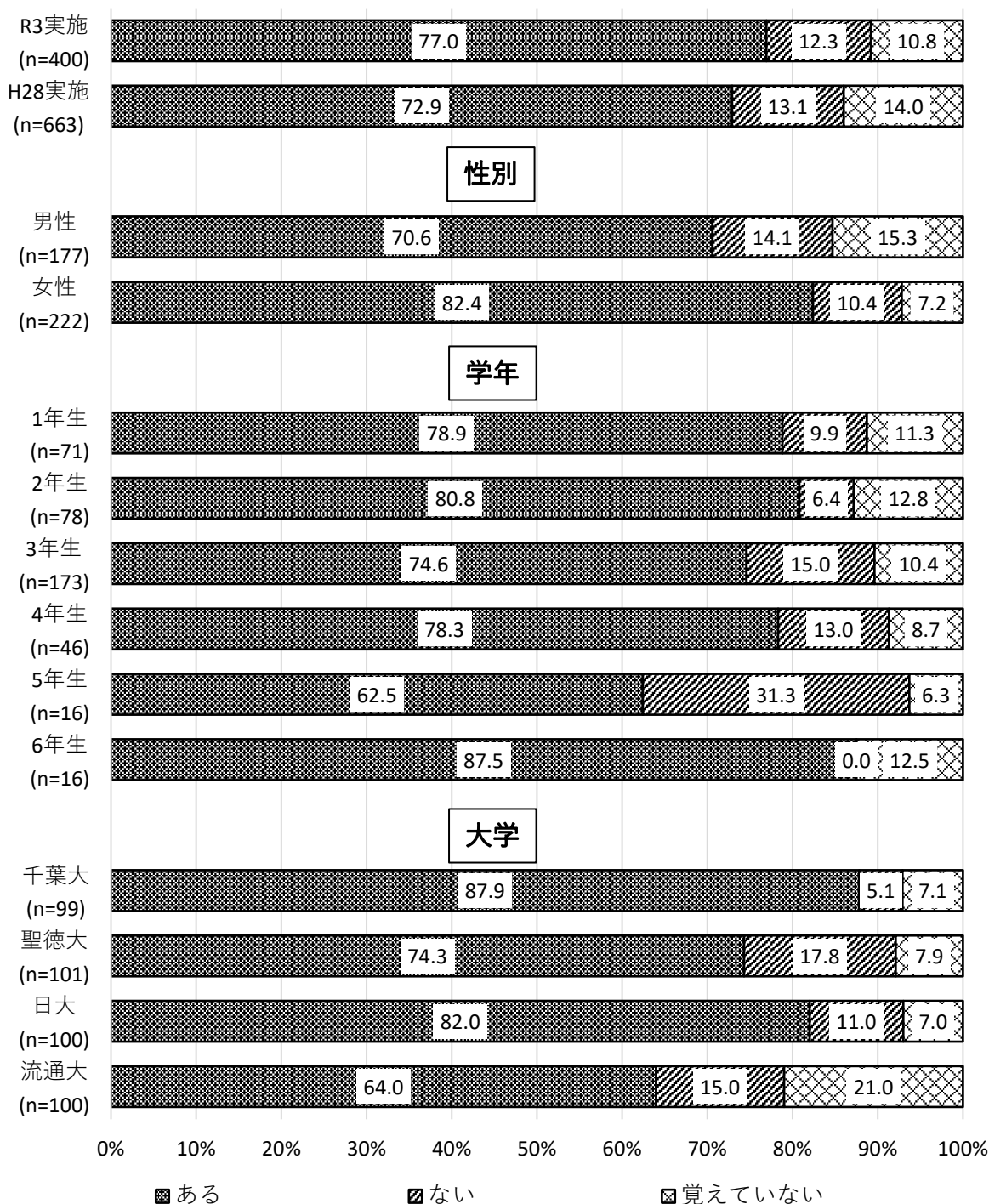
図2-20-1



問 21 あなたは親などから箸づかいや三角食べなどの作法を教えてもらったことがありますか。  
(1つに○)

全体では、8割近くがあると回答しているが、男女間で差がみられ、女性の方が高い。学年別では、回答数の少ない5年6年生を除くと、大差ない。大学別では千葉大学で最も高い。

図2-21-1

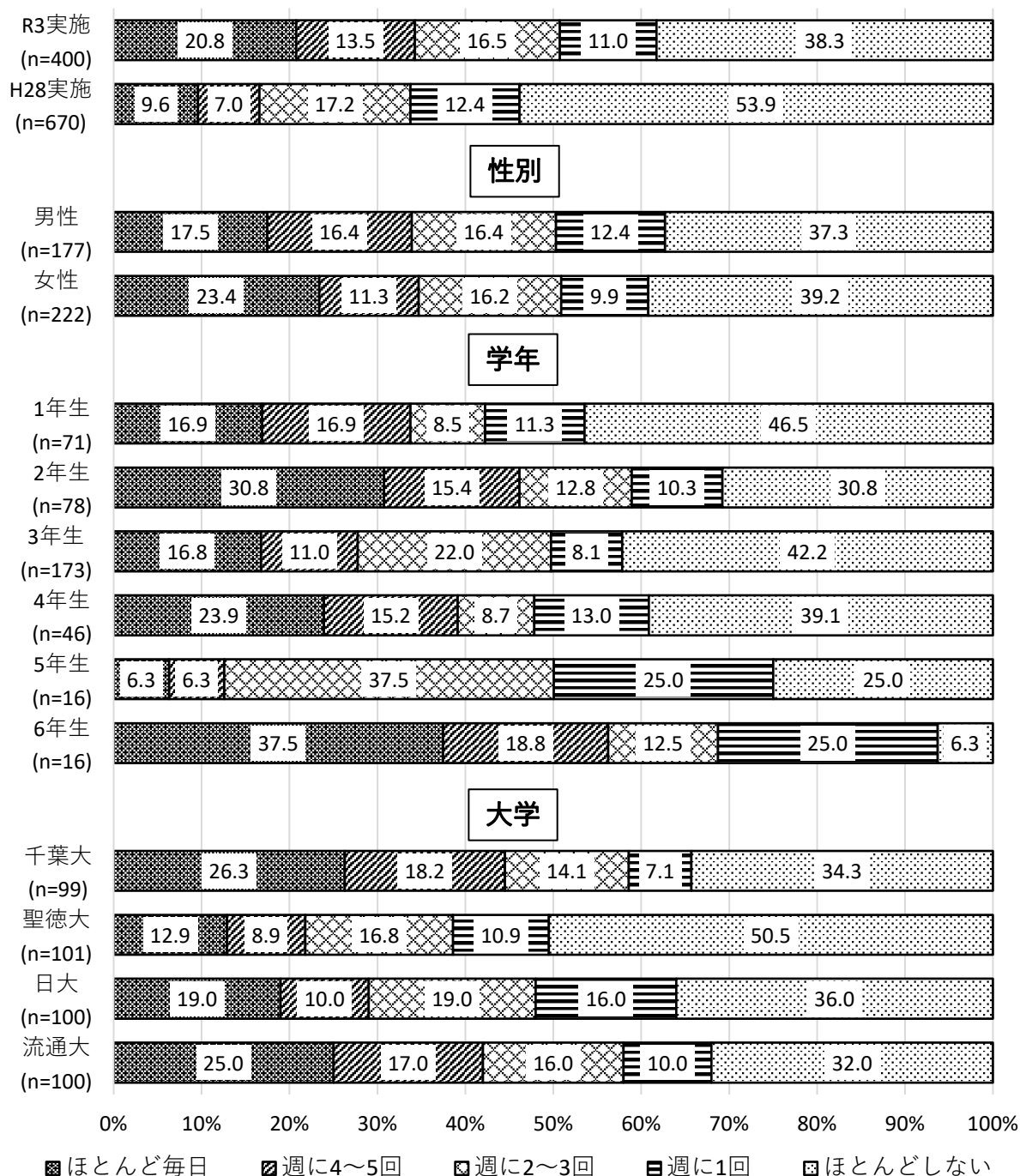


問 22 あなたは自炊をしていますか。(1つに○)

※朝食、昼食、夕食、弁当などは問いません。

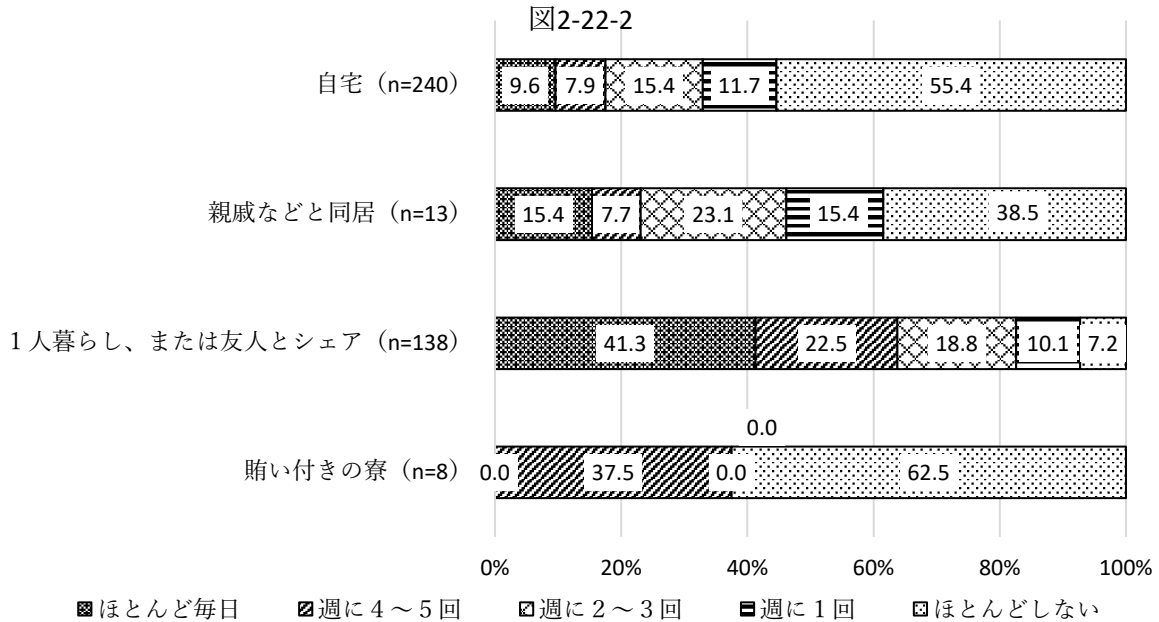
全体では、ほとんどしないが4割近くで、次いでほとんど毎日(20.8%)となっている。男女別では、自炊の頻度は男性で低く、女性で高い。学年別では、2年生で高くなる傾向がある。大学別では、千葉大学と流通経済大学で自炊割合が高い。

図2-22-1



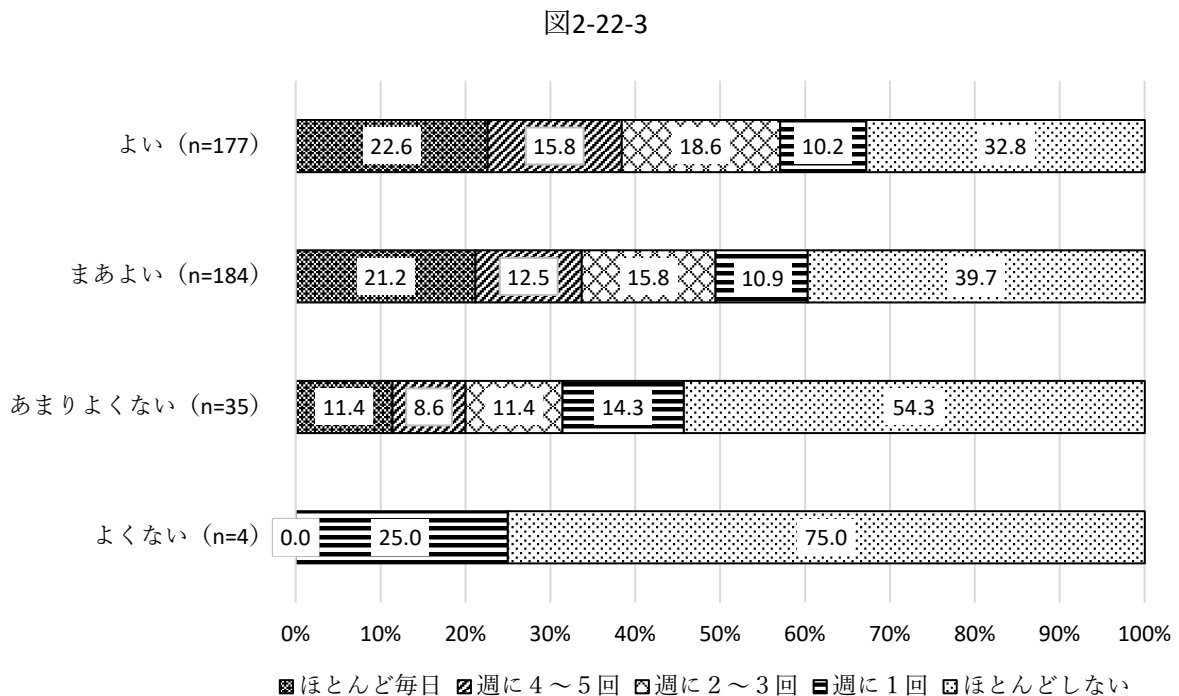
居住形態×自炊頻度

自宅生では、自炊をしていない割合は半数を越えており、自宅以外の1人暮らしや友人と部屋をシェアする場合は、ほとんど毎日自炊をしている割合が4割を超えている。



健康状態×自炊頻度

健康状態と自炊頻度との関係をみると、両者に正の相関関係がみられる。

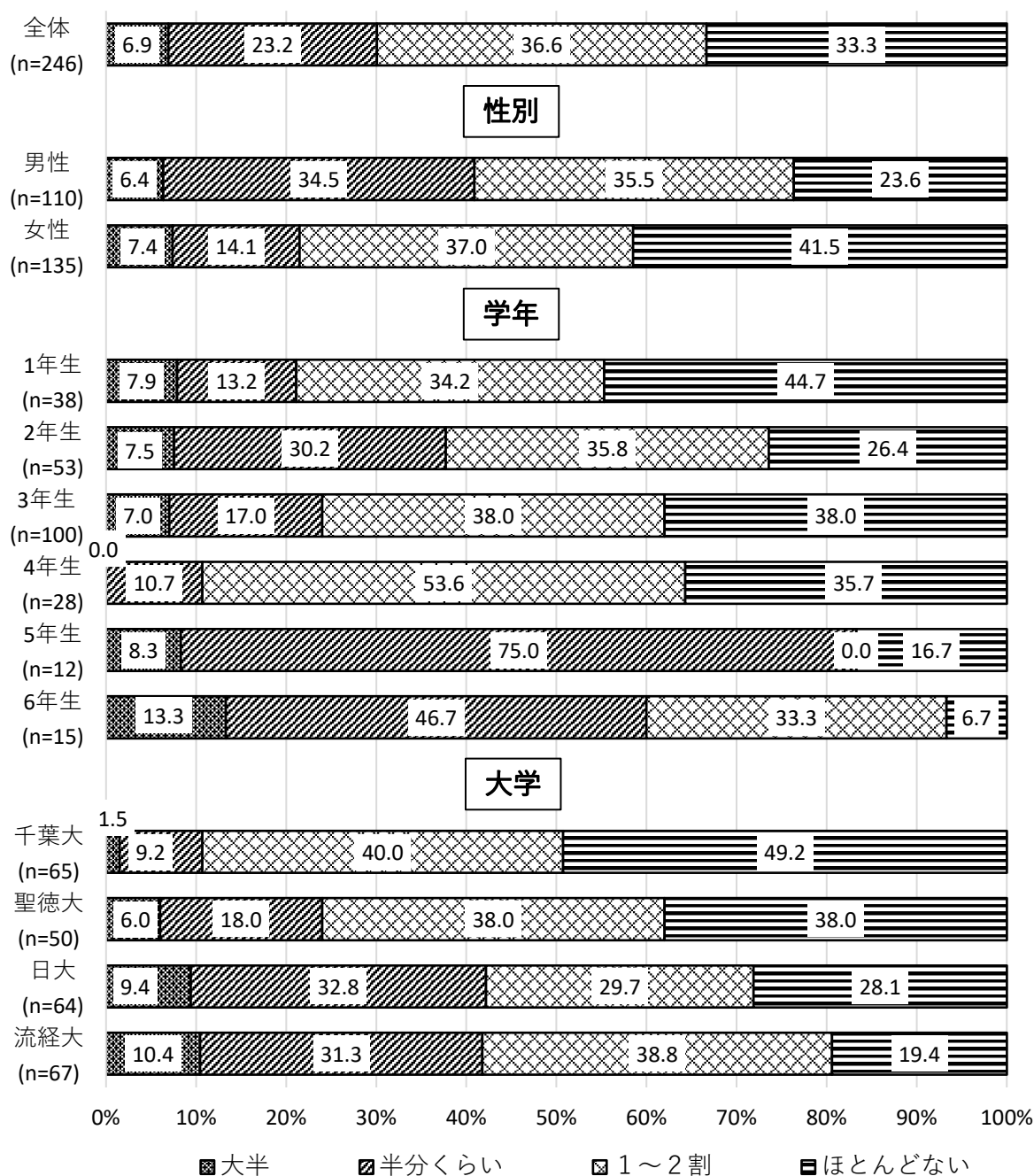


問23 問22でア～エと回答した方に伺います。夕食のうち、「中食」の割合は品数でどのくらいですか。(1つに○)

※「中食」とは、スーパーやコンビニなどで、弁当や総菜などを購入し、自宅で食べることです。

全体では約3分の2が少なからず中食を利用しており、若い世代の食生活では中食が一般的になっている。男女別では、男性の方が中食を利用する割合が高い。学年別では1年生が最も利用者が少なく、大学別では千葉大学が最も利用者が少ない。

図2-23-1



問 24 問 22 でア～エと回答した方に伺います。普段、何を参考にして料理を作ることが多いですか。(該当するものすべてに○)

全体では、「インターネット、アプリ」が約8割と多く、次いで「家族」が約3割となっている。男女別においても同じ傾向だが、男性より女性の方がともに高い。学年別、学校別においてもほぼ同じ傾向となっている。

表 1-4

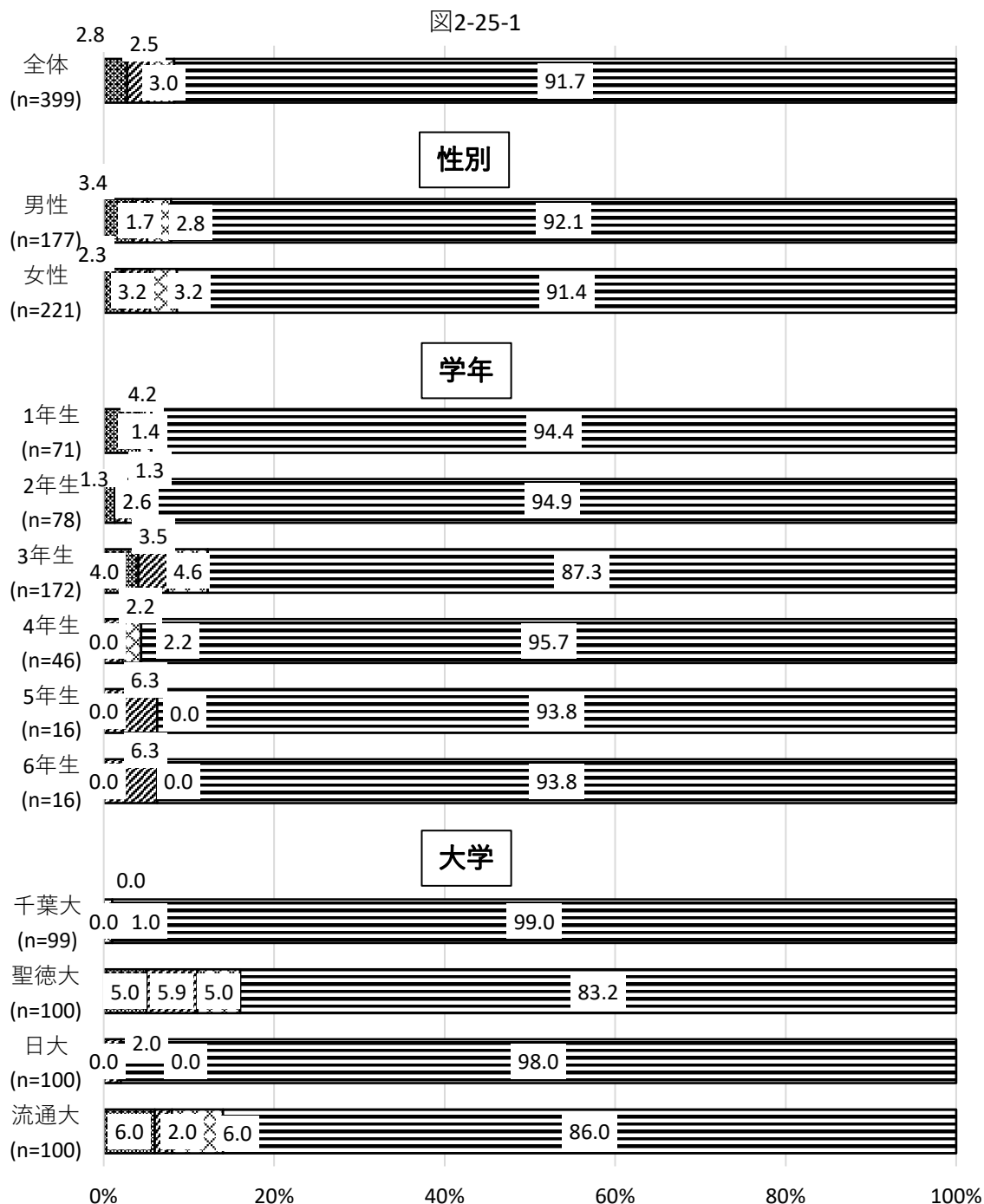
(%)

	回答者数 (人)	テレビ	本、雑誌、新聞	インターネット、アプリ	家族に教わる	友人、知人に教わる	飲食店に教わる	特に何も参考にしない	その他	計
全体 (n=243)	243	15.6	14.4	<b>77.0</b>	32.5	8.2	3.7	11.1	1.2	163.8
男性 (n=109)	109	11.9	11.9	<b>72.5</b>	20.2	7.3	2.8	14.7	1.8	143.1
女性 (n=133)	133	18.8	16.5	<b>81.2</b>	42.1	9.0	4.5	8.3	0.8	181.2
1年生 (n=37)	37	8.1	21.6	<b>78.4</b>	35.1	2.7	2.7	10.8	2.7	162.2
2年生 (n=54)	54	13.0	11.1	<b>68.5</b>	25.9	13.0	0.0	18.5	0.0	150.0
3年生 (n=97)	97	17.5	11.3	<b>77.3</b>	37.1	9.3	5.2	8.2	1.0	167.0
4年生 (n=28)	28	17.9	21.4	<b>85.7</b>	35.7	3.6	7.1	3.6	0.0	175.0
5年生 (n=12)	12	16.7	8.3	<b>83.3</b>	33.3	8.3	0.0	8.3	0.0	158.2
6年生 (n=15)	15	26.7	20.0	<b>80.0</b>	13.3	6.7	6.7	20.0	6.7	180.1
千葉大 (n=65)	65	18.5	27.7	<b>87.7</b>	41.5	7.7	6.2	7.7	1.5	198.5
聖徳大 (n=48)	48	18.8	12.5	<b>75.0</b>	33.3	8.3	2.1	8.3	0.0	158.3
日大 (n=64)	64	12.5	12.5	<b>79.7</b>	21.9	3.1	1.6	14.1	1.6	147.0
流経大 (n=66)	66	10.6	4.5	<b>65.2</b>	33.3	13.6	4.5	13.6	1.5	147.0

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

問 25 レシピサイト「クックパッド」に松戸市公式のページがあることを知っていますか。  
(1つに○)

全体で9割以上が「知らなかった」との回答で、大学別ではわずかに聖徳大学と流通経済大学で掲載レシピの利用者がわずかにいる。総じてPRが課題といえる。

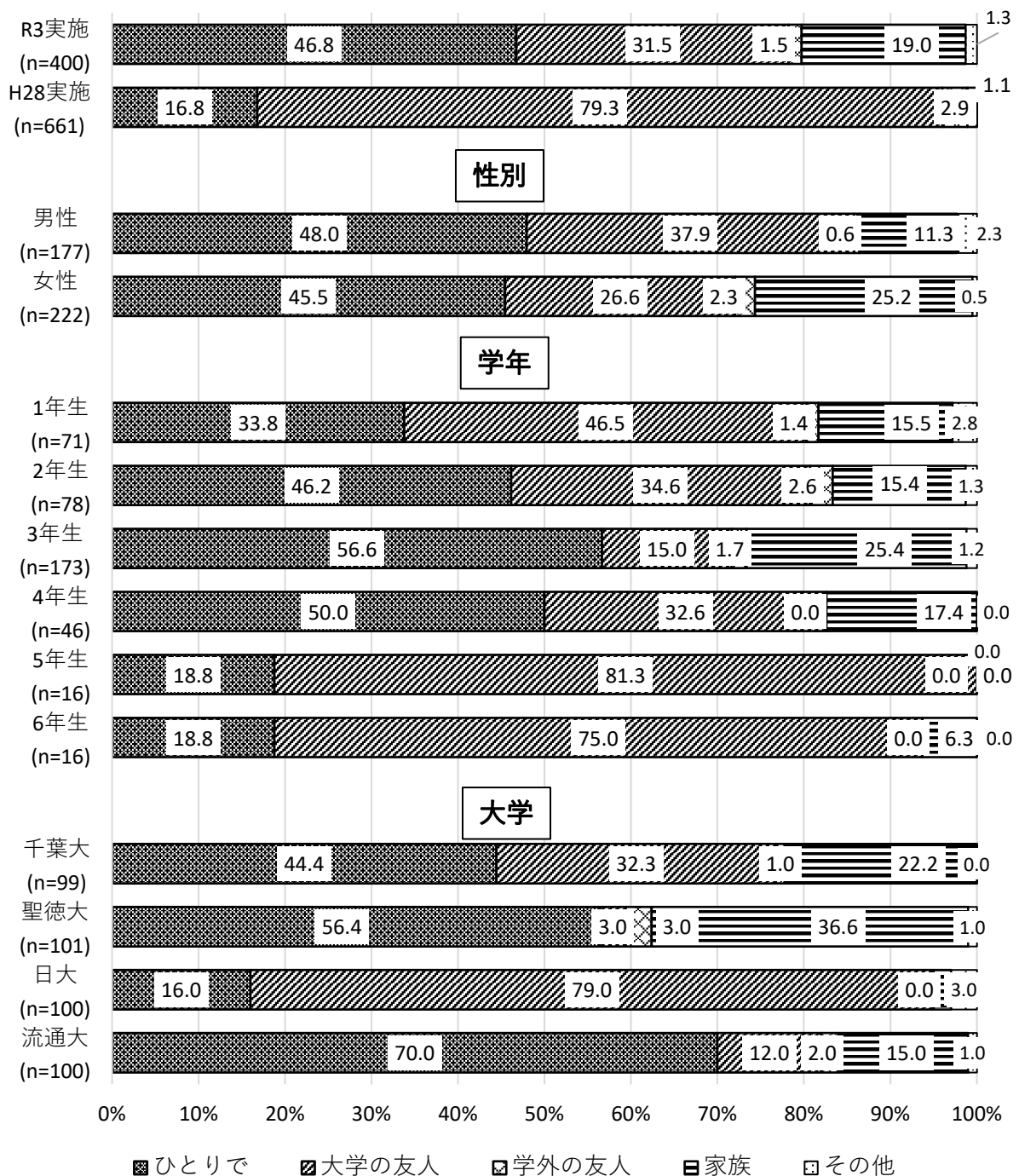


- 知っています、掲載レシピを作ったことがある
- ▨ 知っています、閲覧したことがある
- ▩ 知っているが、閲覧したことはない
- 知らなかった

問26 あなたは普段（平日）の昼食を誰ととることが最も多いですか。（1つに○）

コロナ禍における調査となったことで全体の46.8%が一人で食べるという回答している。男女別では、男性では友人と食べる割合が高く、学年別では、3年生でひとりで食べる割合が高い。大学別では、日本大学で大学の友人と食べる割合が高く、流通経済大学と聖徳大学では、一人で食べる割合が高い。これは、カリキュラムの違いも影響していると思われる。

図2-26-1





問 27 問 26 でアと回答した方に伺います。あなたが普段（平日）の昼食をひとりでとる理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

コロナ禍における調査となったことで自宅で食事をとっているからとの回答が6割を占め、次いで自由に時間を過ごしたいからが約3分の1となっている。男女別では、男性で周囲に気を遣わなくてすむからとの理由も多い。大学別では日本大学が自由に時間を過ごしたいからとの回答が8割となっており他大学との違いが際立っている。

表 1-5 ( % )

	回答者数（人）	自由に時間を過ごしたいから	周囲に気を遣わなくてすむから	声をかけるのが面倒だから	誰も誘ってくれないから	自宅（下宿など含む）で食事をとっているから	その他	計
全体 (n=185)	185	32.4	18.4	9.2	8.6	<b>60.0</b>	10.8	139.5
男性 (n=84)	84	41.7	25.0	10.7	13.1	<b>57.1</b>	8.3	156.0
女性 (n=100)	100	25.0	13.0	8.0	4.0	<b>63.0</b>	13.0	126.0
1年生 (n=24)	24	33.3	25.0	16.7	20.8	<b>50.0</b>	12.5	158.3
2年生 (n=34)	34	35.3	26.5	20.6	11.8	<b>67.6</b>	8.8	170.6
3年生 (n=98)	98	24.5	8.2	1.0	3.1	<b>66.3</b>	12.2	115.3
4年生 (n=23)	23	52.2	30.4	17.4	17.4	<b>47.8</b>	8.7	173.9
5年生 (n=3)	3	100.0	66.7	33.3	0.0	<b>0.0</b>	0.0	200.0
6年生 (n=3)	3	33.3	66.7	0.0	0.0	<b>0.0</b>	0.0	100.0
千葉大 (n=43)	43	30.2	30.2	20.9	23.3	<b>69.8</b>	9.3	183.7
聖徳大 (n=57)	57	19.3	3.5	1.8	0.0	<b>64.9</b>	14.0	103.5
日大 (n=15)	15	80.0	53.3	13.3	0.0	<b>6.7</b>	6.7	160.0
流経大 (n=70)	70	34.3	15.7	7.1	8.6	<b>61.4</b>	10.0	137.1

最も回答割合が大きい項目(縦)を斜体太字、回答割合が最も大きい属性(横)を網掛けしている。

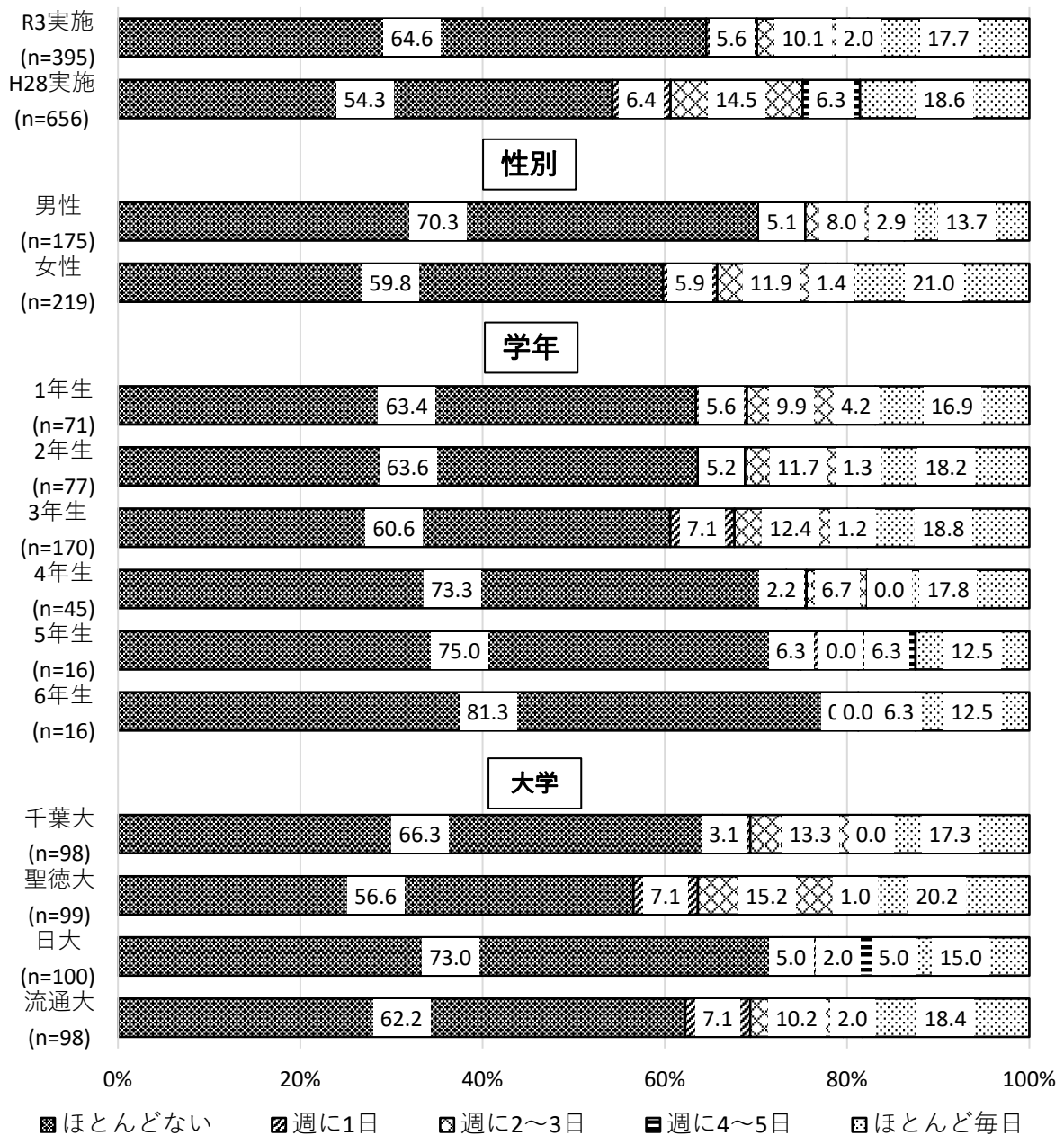
問 28 あなたが1週間のうち、朝食・夕食を家族または友人などと一緒にとる日数(外食含む)はどの程度ですか。(それぞれ1つに○)

※外食などの際、馴染みの店員や客とのコミュニケーションを伴う食事は一緒に見なします。

朝食

全体では、3分の2近くがほとんどないと回答しており、共食の場面が少ない。男性ではその割合が7割に達している。学年別では、最終学年でその割合が高くなる。大学別では、日本大学でその割合が最も高く、聖徳大学で最も低い。

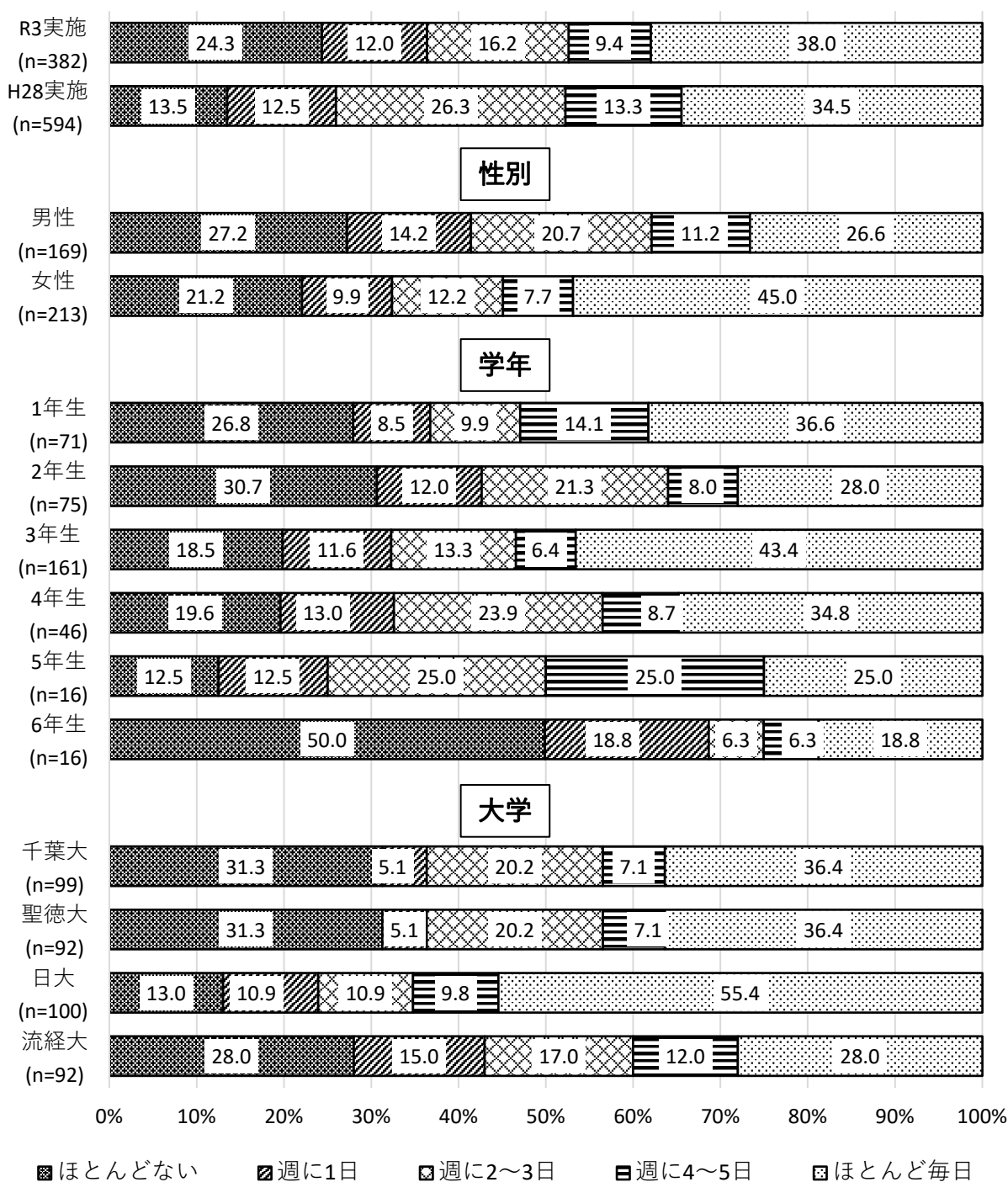
図2-28-1



夕食

全体では、ほとんど毎日が最も多く4割近くを占め、朝食と比べて共食の場面が多いことが分かる。男女別では、その割合は女性が4割を超えているのに対して男性は3割に達していない。学年別では、学年ごとに差があり、6年生では修了研究や就活で多忙な時期であるため、ほとんどないが半数を占めている。大学別では、日本大学では、ほとんど毎日が5割を超えている。

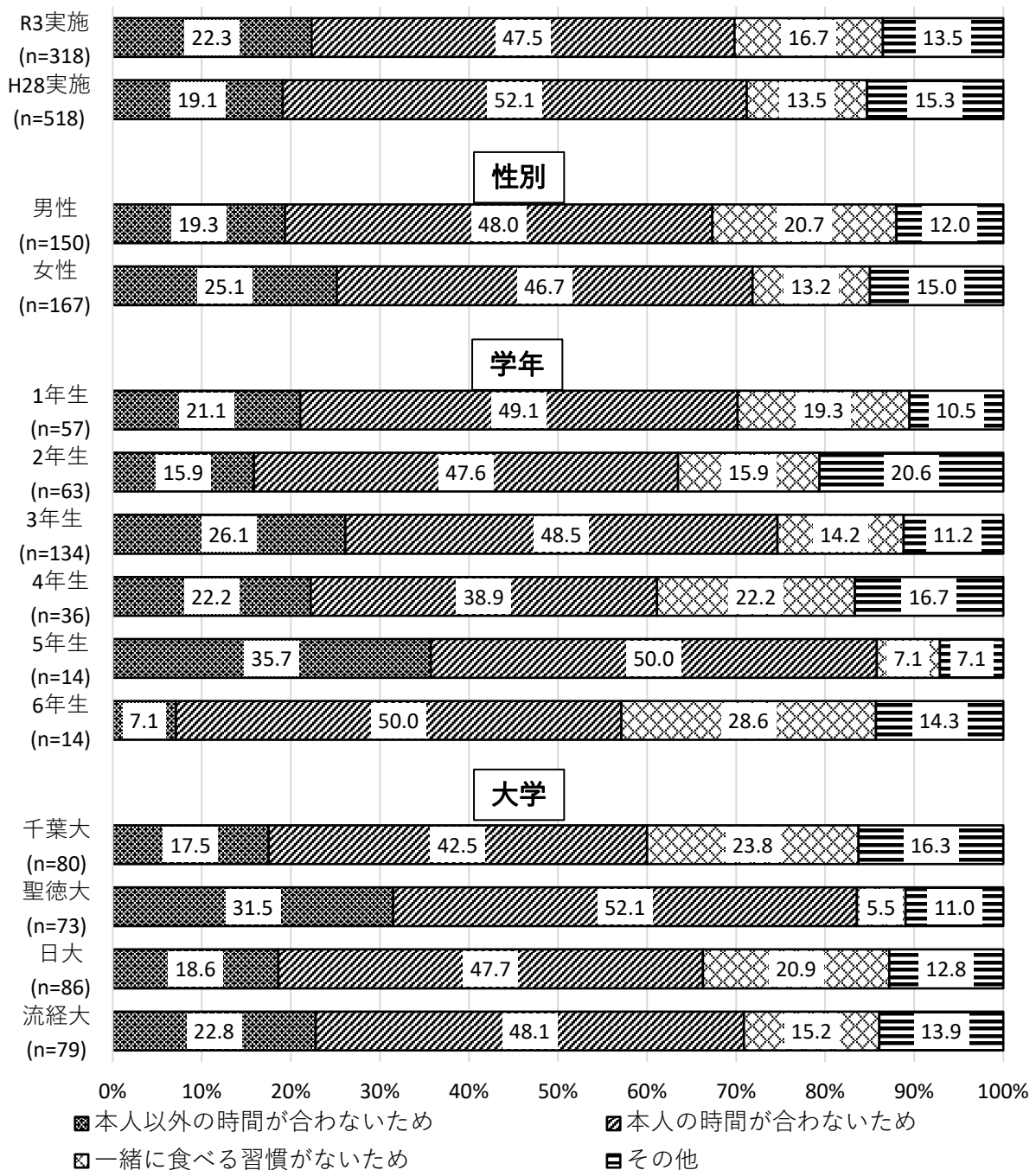
図2-28-2



問29 問28で選択肢ア～エと回答した方に伺います。あなたが家族または友人などと一緒に食事ができない理由はなんですか。(1つに〇)

全体では、本人の時間が合わないためという理由が半数近くを占めており、男性では一緒に食べる習慣がない、女性では本人以外の時間が合わないための割合がそれぞれ相対的に高くなっている。学年別では、本人の時間が合わないが最も多いが、その他の要因は学年により違いがある。大学別では、聖徳大学では、本人以外の時間が合わないという理由が高くなっている。

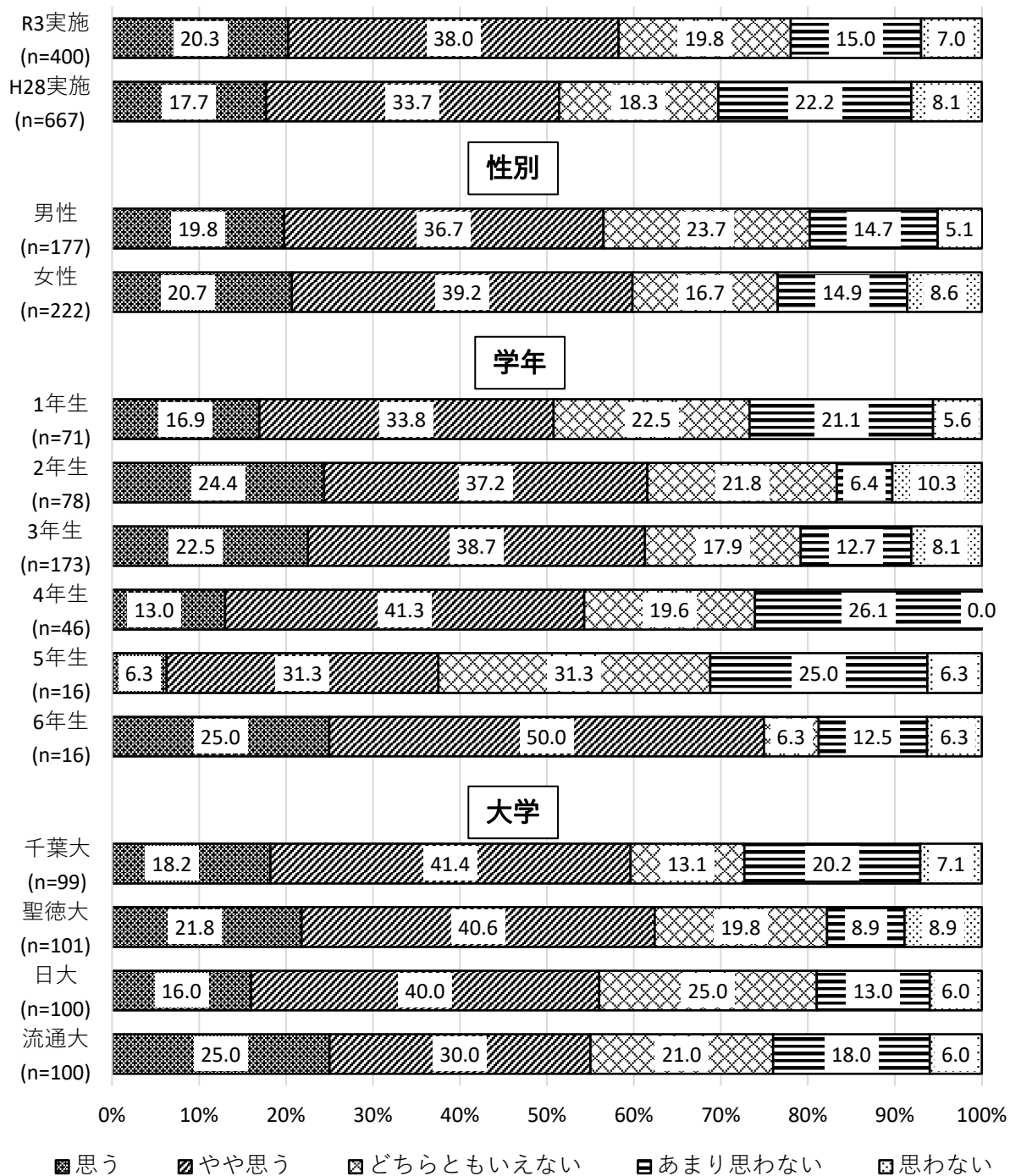
図2-29-1



問 30 今後食生活を改善したいと思いますか。(1つに○)

食生活改善の意向は、全体では、「思う」「やや思う」の改善意向の割合が6割近くを占めている。男女別では、女性で改善意向が6割近くを占め、男性に比べその割合が高い。学年別では、改善意向は2年、3年生で6割と高くなっている。大学別では、聖徳大学と千葉大学が6割程度で高くなっている。

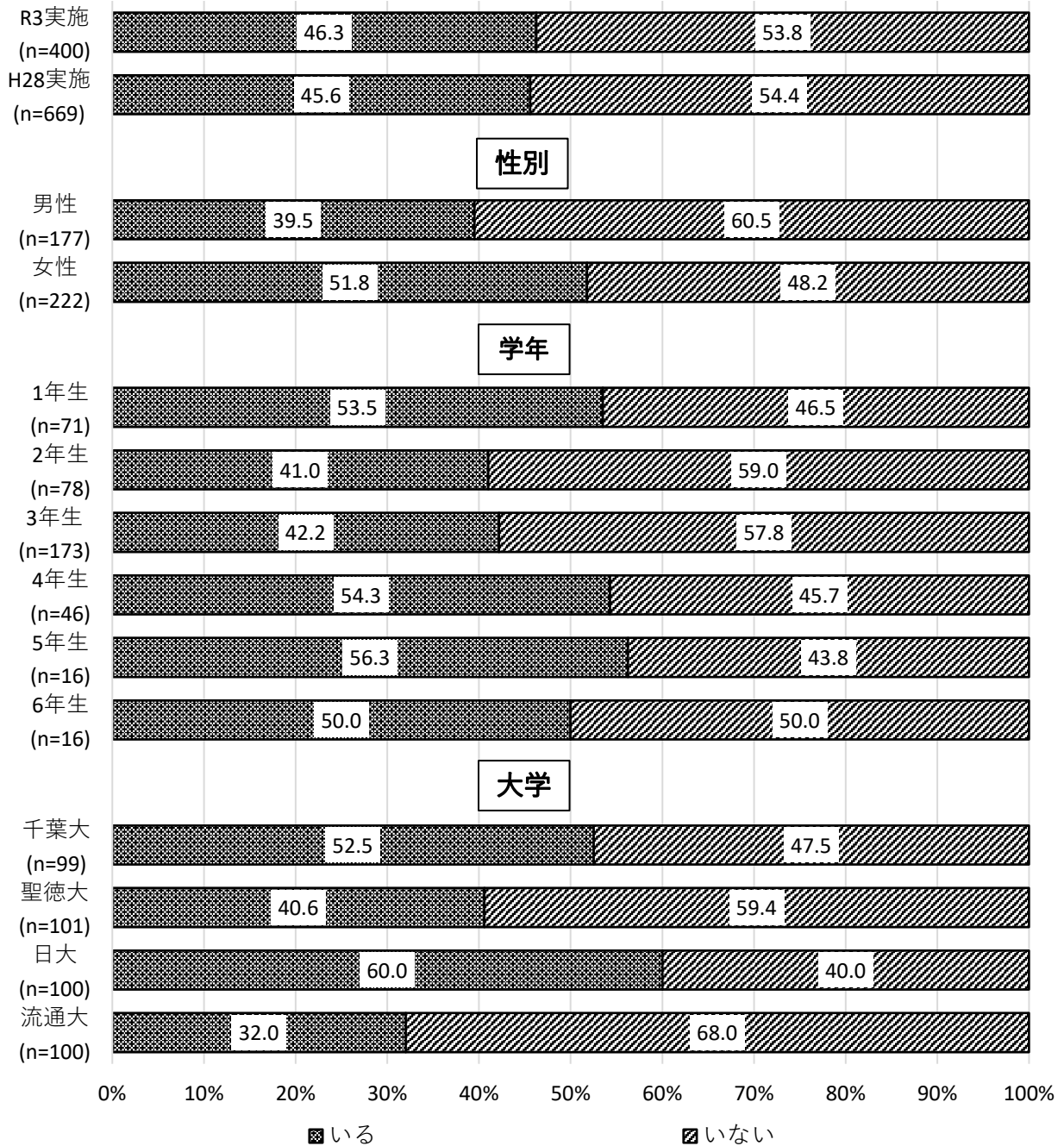
図2-30-1



問31 あなたにはかかりつけの歯医者さんがいますか。(1つに〇)

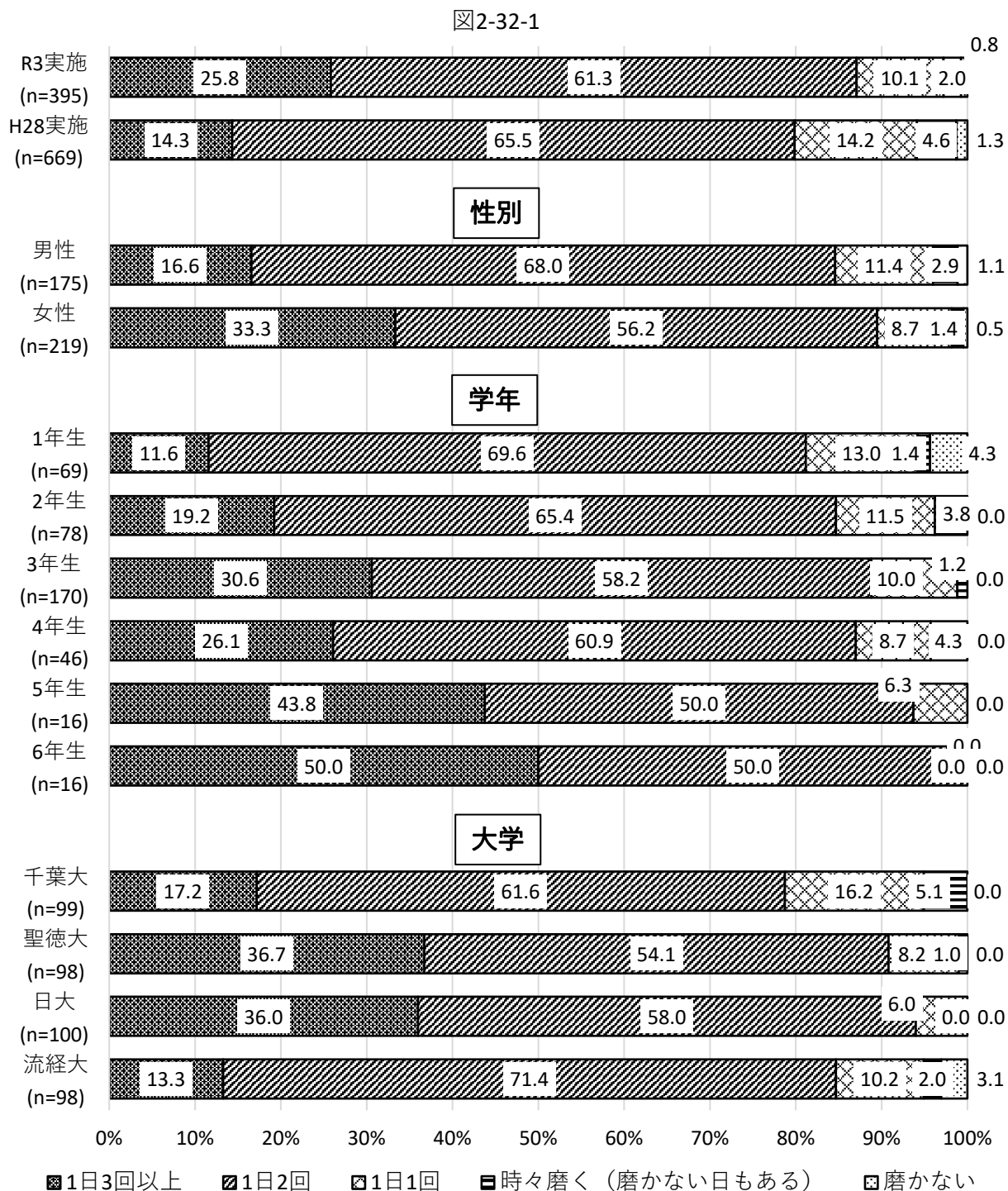
全体では、かかりつけの歯医者がないとの回答は、半数以下である。男女別では、男性ではその割合は4割以下、女性は半数を越えている。学年別では、2年生と3年生の割合が少ない。大学別では、日本大学、千葉大学では「かかりつけの歯医者がある」割合は半数を越えており、聖徳大学では4割、流通経済大学では3分の1程度にとどまっており、歯科保健・医療に関する意識の差が大きい。

図2-31-1



問 32 あなたは歯磨きをどの程度していますか。(1つに〇)

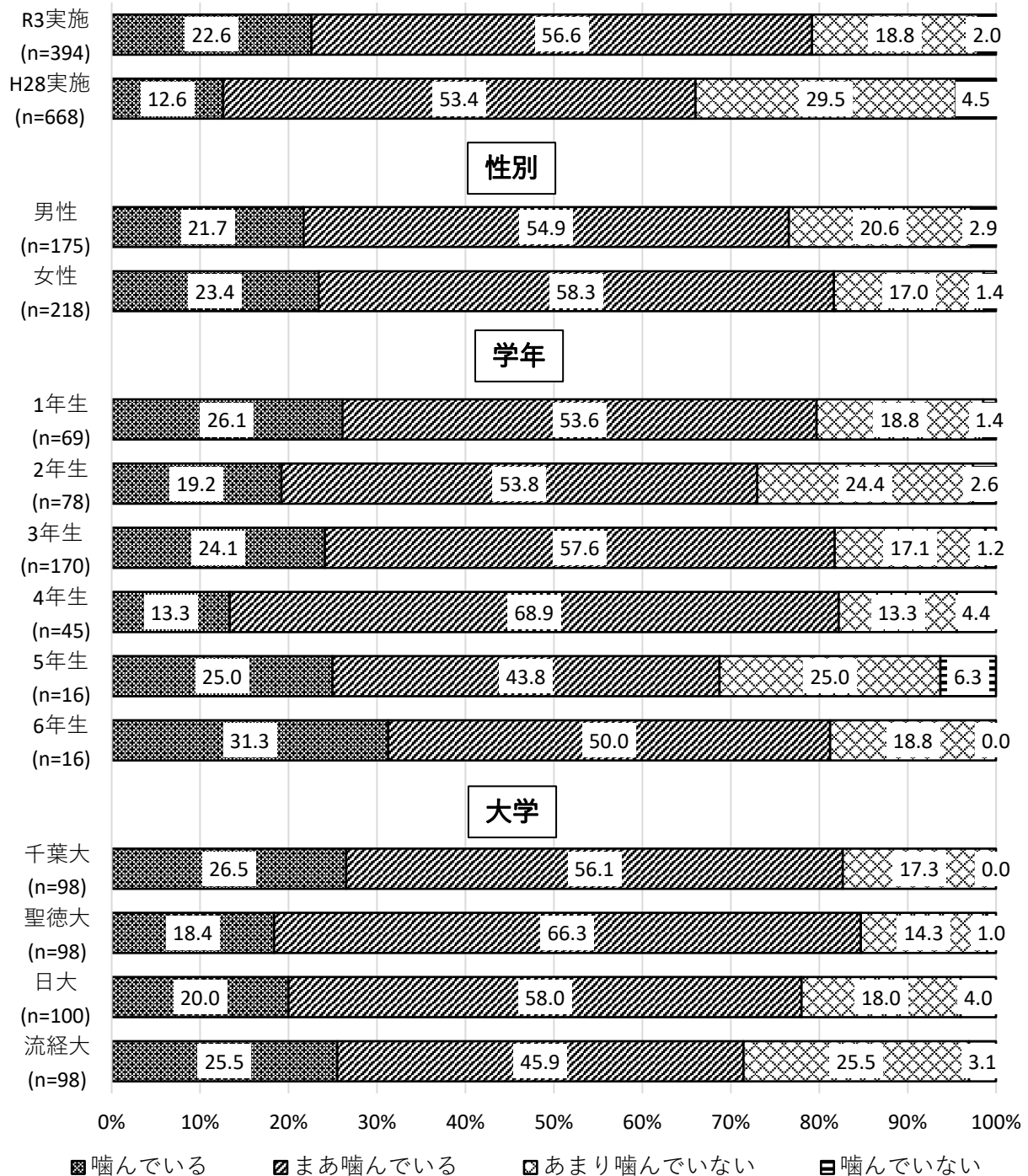
全体では、1日2回の歯磨きが最も多く6割を超えており、2回以上(2回+3回以上)が9割近くを占めている。男女別では、女性では2回以上の割合は約9割で男性のその割合より高い。学年別では、1年生の2回以上の割合が約8割と最も低く、6年生では全員が2回以上と回答しており最も高い。大学別では、日本大学と聖徳大学で2回以上の割合が高く、9割を超えている。



問33 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか。(1つに〇)

全体では、「まあ噛んでいる」の割合が半数を超えており、「噛んでいる」と合わせると約8割を占めている。男女別では、女性の方が噛んでいる割合が高い。学年別では、4年生で最も噛んでいる割合が高い。大学別でみると、噛んでいる割合は聖徳大学が最も高く、流通経済大学が最も低い。

図2-33-1



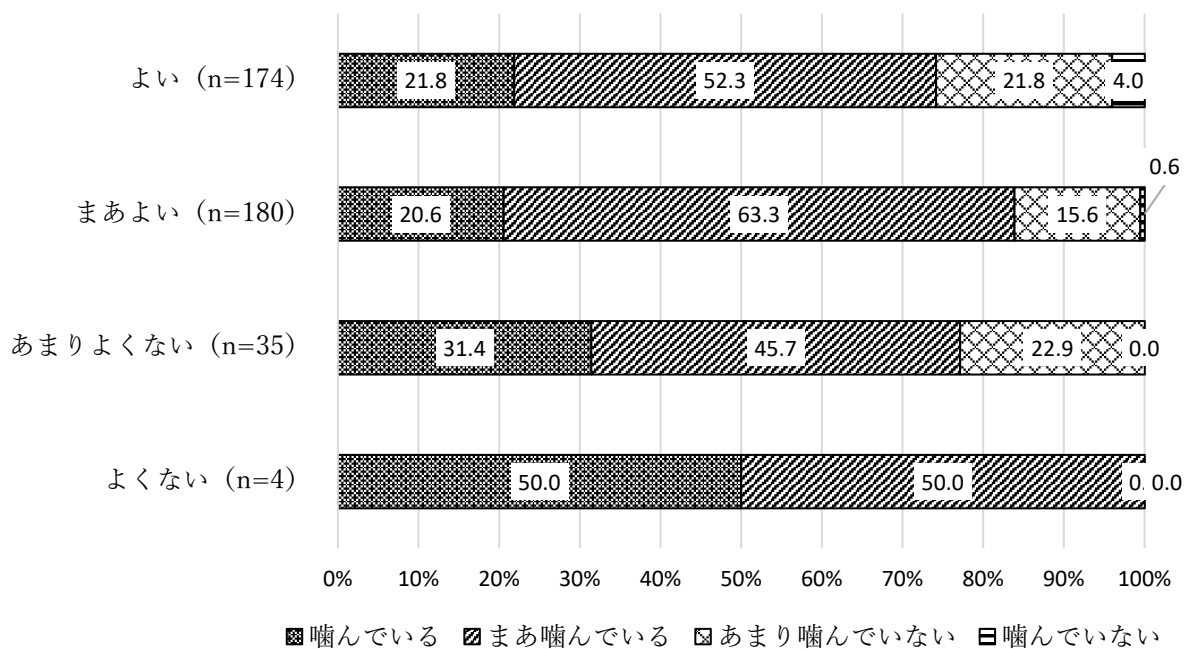


健康状態×よく噛んでいるか

回答数は極めて少ない「健康状態」が「よくない」と回答した者を除くと、「健康状態」が「まあよい」の回答者がゆっくり噛んでいる（「噛んでいる」+「まあ噛んでいる」）の割合が8割を超えて高い。また「健康状態」が「よい」の回答者はゆっくり噛んでいる割合が最も低い。

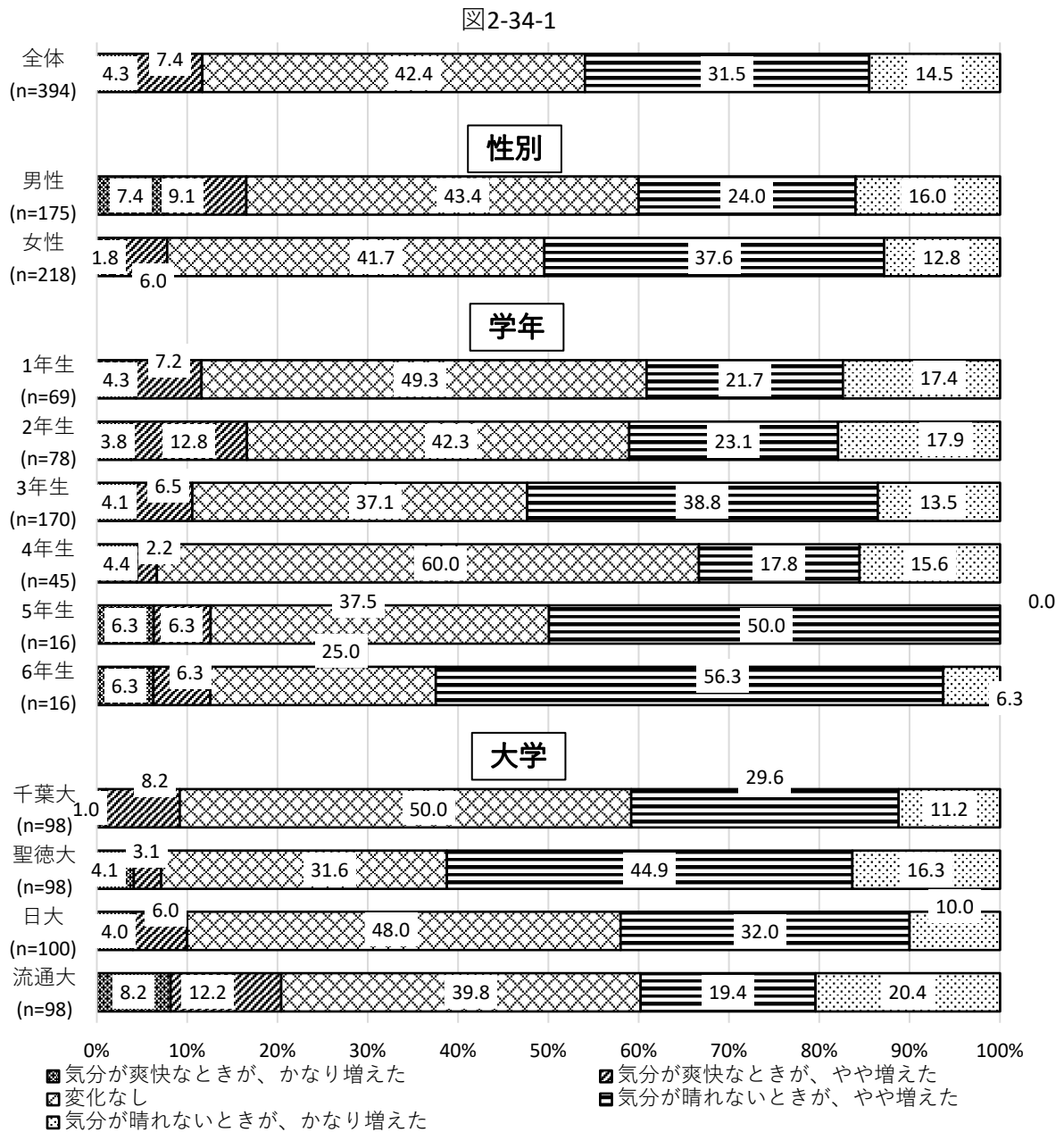
「健康状態」と「よく噛んでいるか」との関連性は、前回調査では両者の関連性が認められたが、今回の調査では両者に関連性が認められない。

図2-33-2



問 34 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この1週間であなたの心理面にどのような変化がありましたか？（1つに○）

全体として「変化なし」の割合が約 42%と最も多いが、気分が晴れない（「気分が晴れないときが、かなり増えた」＋「気分が晴れないときが、やや増えた」）の割合が46%で「変化なし」を上回っている。また気分が爽快（「気分が爽快なときが、かなり増えた」＋「気分が爽快なときが、やや増えた」）の割合は約 12%と低い。男女別では、気分が晴れない割合が男性の4割に対して、女性の割合が5割を超えていた。学年別では、3年生と6年生の気分が晴れない割合が高く、4年生の気分が晴れない割合が最も低い。大学別では、聖徳大学の気分が晴れない割合が最も高く、他大学の気分が晴れない割合は同等である。

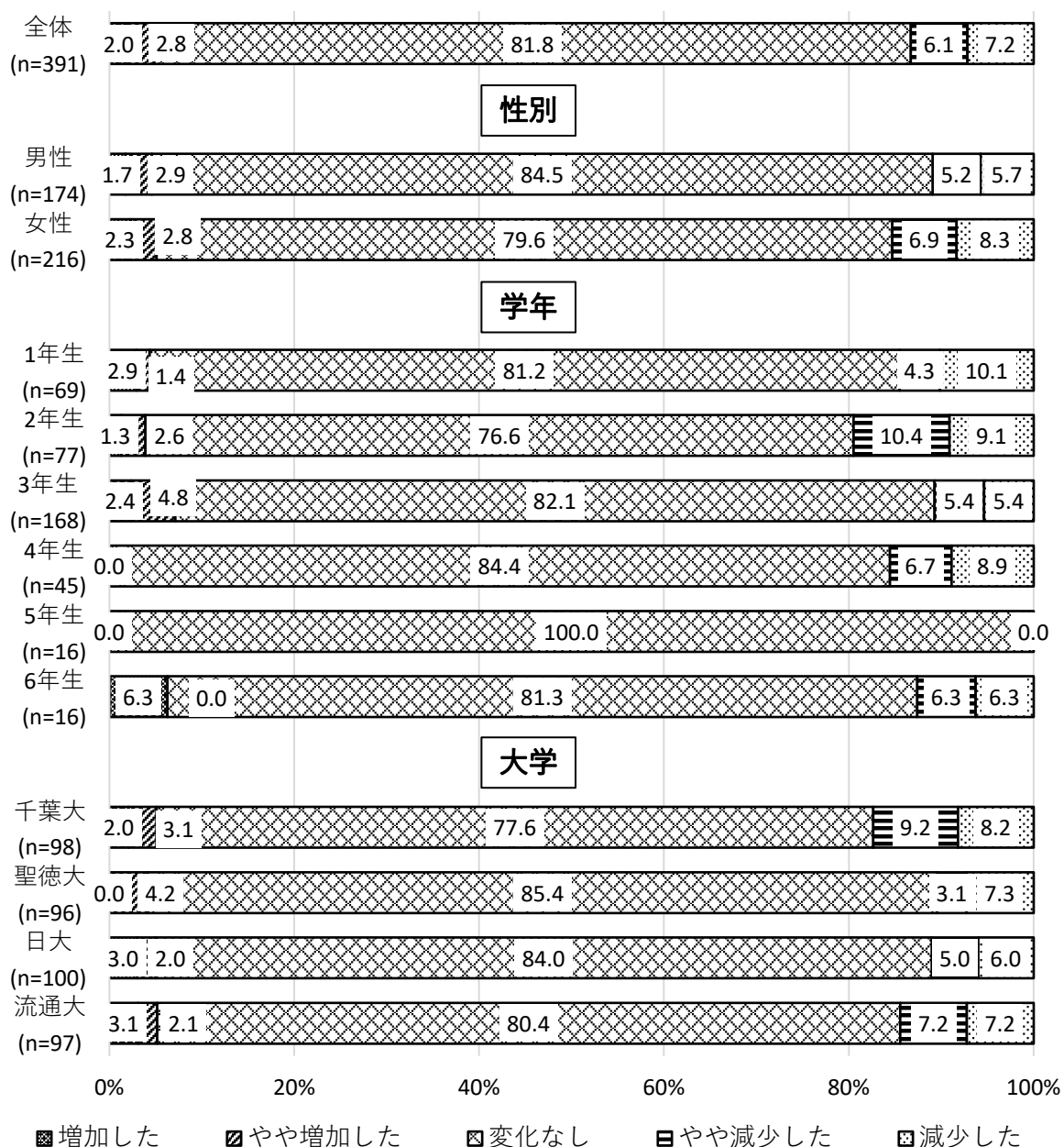


問 35 新型コロナウイルス感染症の拡大後、歯科受診や医科受診の回数(頻度)は変わりましたか？(それぞれ1つに○)

歯科受診

全体として歯科受診の回数(頻度)が「変化なし」の割合が8割を越えており、減少(「減少」+「やや減少」)が増加(「増加」+「やや増加」)を上回っている。男女別では、男性の「変化なし」の割合が8割を超えており、女性の方の減少の割合が高い。学年別では、「変化なし」の割合がすべての学年で最も高い。また2年生の減少の割合が最も高く、5年生は全員が「変化なし」である。大学別では、「変化なし」の割合がすべての大学で最も高い。また千葉大学の減少の割合が最も高く、日本大学と聖徳大学の減少の割合が低い。

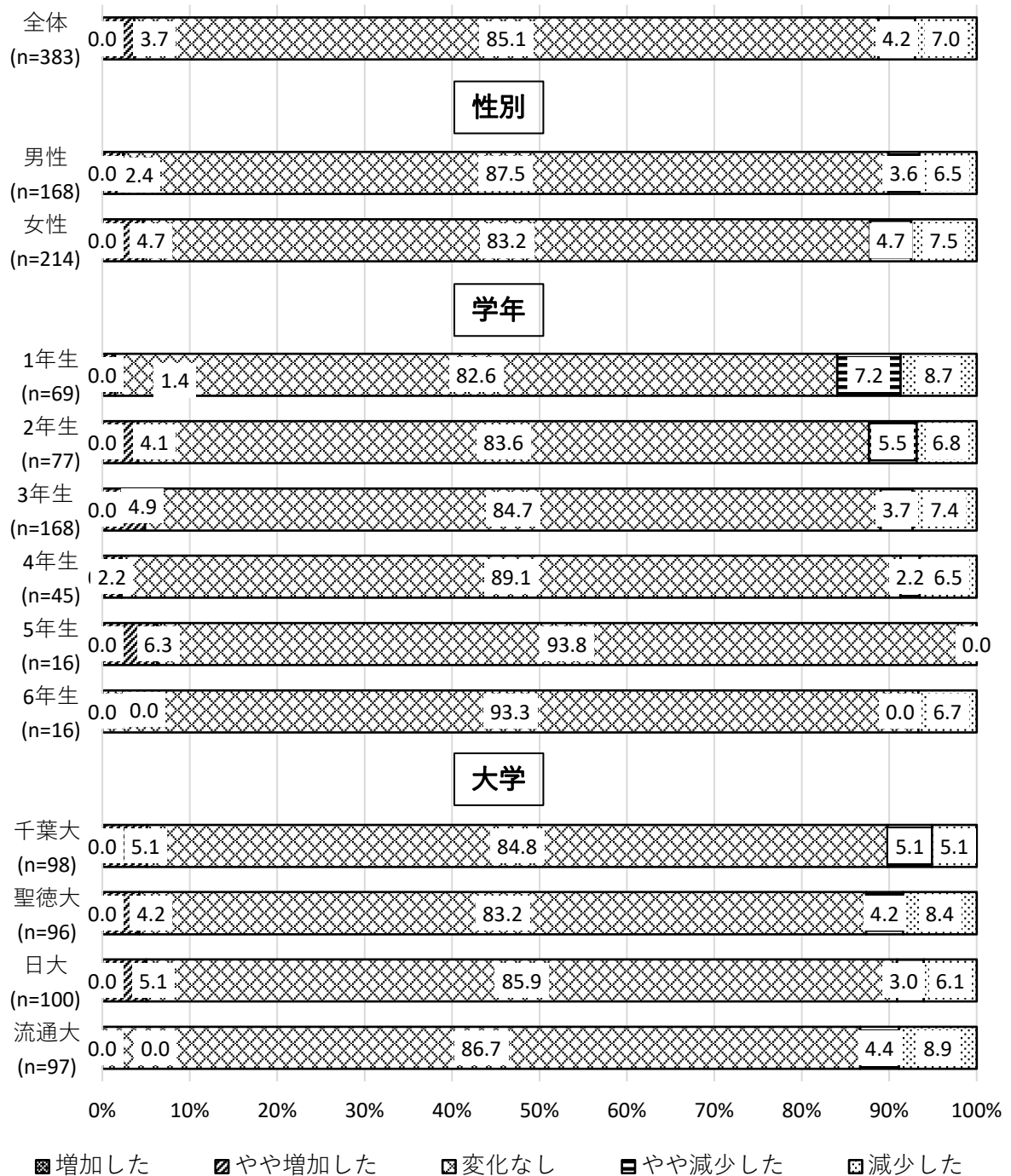
図2-35-1



医科受診

全体として医科受診の回数（頻度）が「変化なし」の割合が8割を越えており、減少（「減少」＋「やや減少」）が増加（「増加」＋「やや増加」）を上回り、歯科受診と同様の傾向である。男女別では、女性の減少の割合がやや高い。学年別では、「変化なし」の割合がすべての学年で最も高い。また1年生の減少の割合が最も高く、5年生と6年生では「変化なし」の割合が高い。大学別では、「変化なし」の割合がすべての大学で最も高く、流通経済大学と聖徳大学の減少の割合がやや高い。

図35-2



## 第3章 質問と回答（単純集計）



問1 あなたの性別は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
男性	177	44.3	49.6
女性	222	55.5	50.1
無回答	1	0.3	0.3
計	400	100.0	100.0

問2 あなたの学年は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
1年生	71	17.8	25.7
2年生	78	19.5	14.1
3年生	173	43.3	37.1
4年生	46	11.5	13.1
5年生	16	4.0	5.0
6年生	16	4.0	4.9
その他	0	0.0	0.1
計	400	100.0	100.0

問3 あなたの居住地は松戸市ですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
はい	121	30.3	30.0
いいえ (千葉県内)	141	35.3	32.6
いいえ (千葉県外)	138	34.5	37.2
計	400	100.0	0.1

問4 通学時間はドア to ドアでどのくらいかかりますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
30 分以内	114	28.5	33.2
30 分～45 分程度	57	14.3	15.0
45 分～1 時間程度	69	17.3	20.0
1 時間～1 時間半程度	104	26.0	21.5
1 時間半以上	56	14.0	9.8
無回答	0	-	0.4
計	400	100.0	100.0

問5 あなたの住居形態は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
自宅（実家で親族と同居）	240	60.0	60.8
自宅以外（実家以外で親族と同居）	13	3.3	2.2
自宅以外（1人暮らし、または友人とシェア）	138	34.5	34.0
賄い付きの寮等	8	2.0	2.4
無回答	1	0.3	0.6
計	400	100.0	100.0

問6 あなたは大学（他大学のものも含む）の部活動やサークル活動（週1回以上参加）をしていますか。（該当するすべてに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
していない	273	68.3	55.7
している（運動系）	83	20.8	31.7
している（文化系）	52	13.0	12.0
無回答	1	0.3	0.6
計	400	100.0	100.0



問7-1 あなたは平日、何時頃に就寝してしますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
21 時以前	2	0.5	0.4
21 時台	0	0.0	0.0
22 時台	18	4.5	2.1
23 時台	46	11.5	9.1
24 時台	129	32.3	32.8
夜 1 時台	107	26.8	33.8
夜 2 時台	65	16.3	16.5
夜 3 時以降	30	7.5	4.6
無回答	3	0.8	0.7
計	400	100.0	100.0

問7-2 あなたは平日、何時頃に起床してしますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
6 時以前	26	6.5	13.9
6 時台	55	13.8	7.3
7 時台	72	18.0	35.8
8 時台	86	21.5	19.4
9 時台	46	11.5	5.8
10 時台	33	8.3	1.9
11 時台	19	4.8	0.3
昼 12 時以降	14	3.5	0.1
無回答	49	12.3	15.4
計	400	100.0	100.0

問8 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常の食事にどのような変化がありましたか？（該当するすべてに○）

項目	回答数	構成比 (%)
家で食事をする回数が増えた	194	48.5
家で料理をする回数が増えた	92	23.0
栄養バランスに配慮するようになった	37	9.3
1回の食事にかける費用を節約した	24	6.0
1日の食事の回数を減らした	42	10.5
食欲が減退した	27	6.8
ほとんど変化はない	119	29.8
その他	6	1.5
計	400	100.0

問9-1 あなたはアルバイトをどの程度、していますか。（それぞれ1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
していない	136	34.0	35.2
定期的にはしていない	24	6.0	4.6
週に1回	16	4.0	3.3
週に2～3回	150	37.5	39.8
週に4～5回	63	15.8	15.3
ほとんど毎日	7	1.8	1.5
無回答	4	1.0	0.4
計	400	100.0	100.0

問9-2 あなたはアルバイトを、どの時間帯にしていますか。(それぞれ1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
朝 (9時前)	10	2.5	4.1
昼 (9~15時)	39	9.8	8.4
夕方 (15~18時)	42	10.5	8.0
夜 (18~24時)	142	35.5	71.6
深夜 (24時以降)	2	0.5	3.7
無回答	165	41.3	4.3
計	400	100.0	100.0

問10 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入面にどのような変化がありましたか? (1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
変化なし	245	61.3
1割程度減少	16	4.0
1割~3割減少	51	12.8
3割~5割減少	26	6.5
5割~7割減少	13	3.3
7割以上減少	10	2.5
増加した	26	6.5
その他	8	2.0
無回答	5	1.3
計	400	100.0

問 1 1 あなたの1ヶ月の食費（外食や飲み物を含む）を教えてください。（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ほとんど使わない	64	16.0	6.5
5千円	73	18.3	13.9
1万円	79	19.8	19.6
1万5千円	43	10.8	11.6
2万円	52	13.0	15.7
2万5千円	36	9.0	8.9
3万円以上	53	13.3	22.3
無回答	0	-	1.5
計	400	100.0	100.0

問 1 2 あなたは「食育」に関心がありますか。（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ある	127	31.8	10.7
ややある	149	37.3	14.7
どちらともいえない	59	14.8	18.8
あまりない	33	8.3	36.5
ない	30	7.5	18.7
無回答	2	0.5	0.6
計	400	100.0	100.0

問 1 3 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか。（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ほぼ毎日	194	48.5	55.7
週に4～5回	48	12.0	11.0
週に2～3回	52	13.0	13.1
ほとんど食べない	106	26.5	15.4
無回答	0	-	0.6
計	400	100.0	100.0

※H28のみ実施項目“週に1回”

4.8

問14 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか。(該当するすべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
主食 (ご飯、パン、麺など)	308	77.0	32.7
主菜 (魚、肉、卵、大豆料理など)	123	30.8	14.5
副菜 (野菜、海藻、具の入った汁物など)	93	23.3	8.4
果物	69	17.3	7.4
乳製品	106	26.5	13.1
飲み物	175	43.8	17.8
栄養ドリンク、エナジーゼリーなど	27	6.8	2.9
菓子	13	3.3	2.5
その他	10	2.5	0.6
無回答	14	3.5	0.1
計	400	100.0	100.0

問15 あなたが朝食をとらない(とれない)理由は何ですか。(該当するすべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
食欲がない	120	30.0	25.3
ダイエット	19	4.8	2.7
準備や後片付けが面倒	36	9.0	17.6
朝食より優先したいことがある、時間がない	179	44.8	15.9
お金の節約	17	4.3	4.9
朝食をとる習慣がないから	50	12.5	17.0
その他	42	10.5	12.6
無回答	44	11.0	3.8
計	400	100.0	100.0

問16 問15でカと回答した方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
小学校に入学する前から	2	4.0	7.4
小学校に入学した頃から	3	6.0	7.4
中学校に入学した頃から	6	12.0	14.1
高校に入学した頃から	16	32.0	12.6
大学に入学した頃から	14	28.0	28.9
最近	4	8.0	11.9
わからない、覚えていない	5	10.0	5.9
その他	0	-	-
無回答	0	-	11.9
非該当	350		539
計	50	100.0	100.0

問17 あなたは普段の食事で、主食・主菜・副菜を組み合わせるなど、栄養バランスに配慮していますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
配慮している	89	22.3	10.5
やや配慮している	174	43.5	35.6
あまり配慮していない	93	23.3	39.2
配慮していない	42	10.5	13.1
無回答	2	0.5	1.6
計	400	100.0	100.0

問18 あなたの健康状態はどうか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
よい	177	44.3	32.0
まあよい	184	46.0	53.9
あまりよくない	35	8.8	10.8
よくない	4	1.0	2.2
無回答	0	-	1.0
計	400	100.0	100.0

問19 安全な食生活を送るため、意識して実践していることはありますか。

(該当するすべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
消費(賞味)期限や製造日の確認	293	73.3	25.4
アレルギー表示の確認	35	8.8	2.9
産地の確認	95	23.8	7.1
保存方法や使用方法の確認	146	36.5	11.6
においや見た目での確認	208	52.0	17.5
包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒	95	23.8	6.8
食材や調理品の室温放置をしない	137	34.3	9.5
肉の十分な加熱	201	50.3	15.0
健康食品などから特定の栄養素を過剰に摂取しない	41	10.3	3.3
その他	6	1.5	0.3
無回答	5	1.3	0.7
計	400	100.0	100.0

問20 あなたは親などから郷土料理、伝統料理や「だし」の取り方など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を教えてもらったことがありますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ある	144	36.0	31.5
ない	157	39.3	43.3
覚えていない	98	24.5	23.9
無回答	1	0.3	1.3
計	400	100.0	100.0

問21 あなたは親などから箸づかいや三角食べなどの作法を教えてもらったことがありますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ある	308	77.0	71.5
ない	43	10.8	13.8
覚えていない	49	12.3	12.9
無回答	0	-	1.8
計	400	100.0	99.9

問22 あなたは自炊をしていますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ほとんど毎日	83	20.8	9.5
週に4～5回	54	13.5	7.0
週に2～3回	66	16.5	17.1
週に1回	44	11.0	12.3
ほとんどしない	153	38.3	53.4
無回答	0	-	0.7
計	400	100.0	100.0



問23 問22でア～エと回答した方に伺います。夕食のうち、「中食」の割合は品数でどのくらいですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
大半	17	6.9
半分くらい	57	23.1
1～2割	90	36.4
ほとんどしない	82	33.2
無回答	1	0.4
非該当	153	
計	247	100.0

問24 問22でア～エと回答した方に伺います。普段、何を参考にして料理を作ることが多いですか。(該当するすべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)
テレビ	38	15.4
本、雑誌、新聞	35	14.2
インターネット、アプリ	187	75.7
家族に教わる	79	32.0
友人、知人に教わる	20	8.1
飲食店に教わる	9	3.6
特に何も参考にしない	27	10.9
その他	3	1.2
無回答	4	1.6
非該当	153	
計	247	100.0

問25 レシピサイト「クックパッド」に松戸市公式のページがあることを知っていますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
知っていて、掲載レシピを作ったことがある	11	2.8
知っていて、閲覧したことがある	10	2.5
知っているが、閲覧したことはない	12	3.0
知らなかった	366	91.5
無回答	1	0.3
計	400	100.0

問26 あなたは普段(平日)の昼食を誰ととることが最も多いですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ひとりで	187	46.8	16.5
大学の友人	126	31.5	77.6
学外の友人	6	1.5	2.8
家族	76	19.0	1.0
その他	5	1.3	0.7
無回答	0	-	1.3
計	400	100.0	100.0

問27 問26でアと回答した方に伺います。あなたが普段(平日)の昼食をひとりで食べる理由は何ですか。(該当するすべてに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
自由に時間を過ごしたいから	60	32.1	34.6
周囲に気を遣わなくてすむから	34	18.2	23.1
声をかけるのが面倒だから	17	9.1	11.5
誰も誘ってくれないから	16	8.6	7.7
自宅(下宿など含む)で食事をとっているから	111	59.4	17.3
その他	20	10.7	4.5
無回答	2	1.1	1.3
非該当	213		518
計	187	100.0	

問28-1 あなたが1週間のうち、朝食を家族または友人などと一緒にとる日数（外食含む）はどの程度ですか。（それぞれ1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ほとんどない	255	63.8	52.8
週に1日	22	5.5	6.2
週に2～3日	40	10.0	13.9
週に4～5日	8	2.0	6.1
ほとんど毎日	70	17.5	18.1
無回答	5	1.3	2.8
計	400	100.0	100.0

問28-2 あなたが1週間のうち、夕食を家族または友人などと一緒にとる日数（外食含む）はどの程度ですか。（それぞれ1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
ほとんどない	93	23.3	11.9
週に1日	46	11.5	11.0
週に2～3日	62	15.5	23.0
週に4～5日	36	9.0	11.7
ほとんど毎日	145	36.3	30.4
無回答	18	4.5	12.0
計	400	100.0	100.0

問29 問28で選択肢ア～エと回答した方に伺います。あなたが家族または友人などと一緒に食事ができない理由は何ですか。（1つに○）

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
あなた以外の時間が合わないため	71	21.2	14.5
あなたの時間が合わないため	151	45.1	39.9
一緒に食べる習慣がないため	53	15.8	10.4
その他	43	12.8	11.7
無回答	17	5.1	23.5
非該当	65		0
計	335	100.0	100.0

問30 今後食生活を改善したいと思いますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
思う	81	20.3	8.0
やや思う	152	38.0	22.0
どちらともいえない	79	19.8	18.1
あまり思わない	60	15.0	33.2
思わない	28	7.0	17.5
無回答	0	-	1.2
計	400	100.0	100.0

問31 あなたにはかかりつけの歯医者さんがいますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
いる	185	46.3	45.3
いない	215	53.8	53.9
無回答	0	-	0.9
計	400	100.0	100.0

問32 あなたは歯磨きをどの程度していますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
1日3回以上	102	25.5	14.2
1日2回	242	60.5	64.8
1日1回	40	10.0	14.1
時々磨く(磨かない日もある)	8	2.0	4.6
磨かない	3	0.8	1.3
無回答	5	1.3	0.9
計	400	100.0	100.0

問33 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
噛んでいる	89	22.3	12.5
まあ噛んでいる	223	55.8	52.8
あまり噛んでいない	74	18.5	29.2
噛んでいない	8	2.0	4.5
無回答	6	1.5	1.0
計	400	100.0	100.0

問34 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この1週間であなたの心理面にどのような変化がありましたか?(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
気分が爽快なときが、かなり増えた	17	4.3
気分が爽快なときが、やや増えた	29	7.3
変化なし	167	41.8
気分が晴れないときが、やや増えた	124	31.0
気分が晴れないときが、かなり増えた	57	14.3
無回答	6	1.5
計	400	100.0

問35-1 新型コロナウイルス感染症の拡大後、歯科受診の回数(頻度)は変わりましたか?  
(それぞれ1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
増加した	8	2.0
やや増加した	11	2.8
変化なし	320	80.0
やや減少した	24	6.0
減少した	28	7.0
無回答	9	2.3
計	400	100.0

問35-2 新型コロナウイルス感染症の拡大後、医科受診の回数(頻度)は変わりましたか?  
(それぞれ1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)
増加した	0	0.0
やや増加した	14	3.5
変化なし	326	81.5
やや減少した	16	4.0
減少した	27	6.8
無回答	17	4.3
計	400	100.0

問36 あなたの大学は以下のどれですか。(1つに○)

項目	回答数	構成比 (%)	H28 実施
千葉大学園芸学部	99	24.8	17.1
聖徳大学	101	25.3	27.0
日本大学松戸歯学部	100	25.0	29.4
流通経済大学	100	25.0	26.6
計	400	100.0	100.0

付録 調査票





松戸市内の大学に通学する大学生の皆様へ

## 食育に関する大学生アンケート調査 ご協力のお願い

松戸市では、市民が食の大切さや食の楽しさを改めて認識し、日頃の生活の中で健全な食生活を送る家庭や地域の姿を目指すことを目的として、平成30年3月に「第3次松戸市食育推進計画」を策定しました。

本計画では、若い世代に対する食育を推進することを、重点項目の1つとして掲げております。

そこで、若い世代の食に関する現状を把握するとともに、次期計画の策定や食育の推進に係る施策へ反映させることなどを目的に、松戸市内にある4大学に通学する大学生の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

このアンケート調査により得られたデータは、市の食育の推進および学術目的にのみ利用し、他の用途には利用いたしません。

また、皆様の回答は全て統計的に処理されますので、個人の情報を公表するなど、プライバシーを侵害することはありません。

以上の趣旨をご理解いただけましたら、本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

松戸市健康福祉部健康福祉政策課

〒271-8588 松戸市根本 387-5

TEL 047-704-0055 FAX 047-704-0251

Email:mckenhuku@city.matsudo.chiba.jp

# 松戸市 食育に関するアンケート調査：大学生

## 食育に関する大学生アンケート調査

問1 あなたの性別は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

ア 男性 イ 女性

問2 あなたの学年は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

ア 1年生 イ 2年生 ウ 3年生 エ 4年生 オ 5年生 カ 6年生 キ その他( )

問3 あなたの居住地は松戸市ですか。(1つに○)

ア はい イ いいえ(千葉県内) ウ いいえ(千葉県外)

問4 通学時間はドアtoドアでどのくらいかかりますか。(1つに○)

ア 30分以内 イ 30分~45分程度 ウ 45分~1時間程度 エ 1時間~1時間半程度 オ 1時間半以上

問5 あなたの住居形態は次のいずれに該当しますか。(1つに○)

ア 自宅(実家で親族と同居) イ 自宅以外(実家以外で親族と同居)  
ウ 自宅以外(1人暮らし、または友人とシェア) エ 賄い付きの寮等

問6 あなたは大学(他大学のものも含む)の部活動やサークル活動(週1回以上参加)をしていますか。(該当するものすべてに○)

ア していない イ している(運動系) ウ している(文化系)

問7 あなたは平日、何時頃に就寝・起床していますか。(1つに○)

・就寝時刻：ア 21時以前 イ 21時台 ウ 22時台 エ 23時台 オ 24時台 カ 夜1時台 キ 夜2時台 ク 夜3時以降  
・起床時刻：ア 6時以前 イ 6時台 ウ 7時台 エ 8時台 オ 9時台 カ 10時台 キ 11時台 ク 昼12時以降

問8 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常の食事にどのような変化がありましたか？(該当するものすべてに○)

ア 家で食事をする回数が増えた イ 家で料理をする回数が増えた ウ 栄養バランスに配慮するようになった  
エ 1回の食事にかかる費用を節約した オ 1日の食事の回数を減らした カ 食欲が減退した  
キ ほとんど変化はない ク その他( )

問9 あなたはアルバイトをどの程度、どの時間帯にしていますか。(それぞれ1つに○)

・頻度：ア していない イ 定期的にはしていない ウ 週に1回 エ 週に2~3回 オ 週に4~5回 カ ほとんど毎日  
・主な時間帯：ア 朝(9時前) イ 昼(9~15時) ウ 夕方(15~18時) エ 夜(18~24時) オ 深夜(24時以降)

問10 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入面にどのような変化がありましたか？(1つに○)

ア 変化なし イ 1割程度減少 ウ 1割~3割減少 エ 3割~5割減少 オ 5割~7割減少  
カ 7割以上減少 キ 増加した ク その他( )

問11 あなたの1ヶ月の食費(外食や飲み物を含む)を教えてください。(1つに○)

※親などと同居をしている場合は、自身の所持金で支払う食費のみを対象とします。

ア ほとんど使わない イ 5千円 ウ 1万円 エ 1万5千円 オ 2万円 カ 2万5千円 キ 3万円以上

問12 あなたは「食育」に関心がありますか。(1つに○)

「食育」とは食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。「規則正しい食生活」、「栄養バランスのとれた食事の実践」、「食を通じたコミュニケーション」、「食事のマナーやあいさつ」、「自然の恵みへの感謝」や「伝統的な食文化」も含まれます。

ア ある イ ややある ウ どちらともいえない エ あまりない オ ない

問13 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか。(1つに○)

(この調査で朝食としてみなすもの)

エネルギー源となる食べ物、飲み物

(この調査で朝食としてみなさないもの)

砂糖、ミルクを加えない飲み物(お茶、コーヒー、紅茶など)、錠剤や顆粒状の特定の栄養素のみ摂取する目的のサプリメント等

ア ほぼ毎日 イ 週に4~5回 ウ 週に2~3回 エ ほとんど食べない

問14 あなたの朝食は主にどのようなメニューですか。(該当するものすべてに○)

ア 主食(ご飯、パン、麺など) イ 主菜(魚、肉、卵、大豆料理など) ウ 副菜(野菜、海藻、具の入った汁物など)

エ 果物 オ 乳製品 カ 飲み物 キ 栄養ドリンク、エナジーゼリーなど ク 菓子 ケ その他( )

問15 あなたが朝食をとらない(とれない)ときの理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

ア 食欲がない イ ダイエット ウ 準備や後片付けが面倒 エ 朝食より優先したいことがある、時間がない

オ お金の節約 カ 朝食をとる習慣がないから(問16に回答願います) キ その他( )

↓ 次頁にも設問があります。

問16 問15でカと回答した方に伺います。あなたが朝食をとらなくなった時期はいつですか。(1つに○)

ア 小学校に入学する前から イ 小学校に入学した頃から ウ 中学校に入学した頃から エ 高校に入学した頃から  
オ 大学に入学した頃から カ 最近 キ わからない、覚えていない ク その他 ( )

問17 あなたは普段の食事で、主食・主菜・副菜を組合わせるなど、栄養バランスに配慮していますか。(1つに○)

ア 配慮している イ やや配慮している ウ あまり配慮していない エ 配慮していない

問18 あなたの健康状態はどうか。(1つに○)

ア よい イ まあよい ウ あまりよくない エ よくない

問19 あなたが安全な食生活を送るために普段から意識していることはありますか。(該当するものすべてに○)

ア 消費(賞味)期限や製造日の確認 イ アレルギー表示の確認 ウ 産地の確認  
エ 保存方法や使用方法の確認 オ においや見た目での確認 カ 包丁・まな板など生肉や生魚を扱う器具の消毒  
キ 食材や調理品の室温放置をしない ク 肉の十分な加熱 ケ 健康食品などから特定の栄養素を過剰に摂取しない  
コ その他 ( )

問20 あなたは親などから郷土料理、伝統料理や「だし」の取り方など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を教えてもらったことがありますか。(1つに○)

ア ある イ ない ウ 覚えていない

問21 あなたは親などから箸づかいや三角食べなどの作法を教えてもらったことがありますか。(1つに○)

三角食べとは、和食特有の食べ方で、ごはん、主菜、副菜(汁物)をバランス良く食べていく食べ方です。

ア ある イ ない ウ 覚えていない

問22 あなたは自然をしていますか。(1つに○)

※朝食、昼食、夕食、弁当などは問いません。

ア ほとんど毎日 イ 週に4~5回 ウ 週に2~3回 エ 週に1回 オ ほとんどしない

問23 問22でア~エと回答した方に伺います。夕食のうち、「中食」の割合は品数でどのくらいですか。(1つに○)

「中食」とは、スーパーやコンビニなどで、弁当や総菜などを購入し、自宅で食べることです。

ア 大半 イ 半分くらい ウ 1~2割 エ ほとんどない

問24 問22でア~エと回答した方に伺います。普段、何を参考にして料理を作ることが多いですか。(該当するものすべてに○)

ア テレビ イ 本、雑誌、新聞 ウ インターネット、アプリ エ 家族に教わる オ 友人、知人に教わる  
カ 飲食店に教わる キ 特に何も参考にしない ク その他 ( )

問25 レシピサイト「クックパッド」に松戸市公式のページがあることを知っていますか。(1つに○)

ア 知っていて、掲載レシピを作ったことがある イ 知っていて、閲覧したことがある  
ウ 知っているが、閲覧したことはない エ 知らなかった

問26 あなたは普段(平日)の昼食を誰ととることが最も多いですか。(1つに○)

ア ひとりで イ 大学の友人 ウ 学外の友人 エ 家族 オ その他 ( )

問27 問26でアと回答した方に伺います。あなたが普段(平日)の昼食をひとりでとる理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

ア 自由に時間を過ごしたいから イ 周囲に気を遣わなくてすむから ウ 声をかけるのが面倒だから  
エ 誰も誘ってくれないから オ 自宅(下宿など含む)で食事をとっているから カ その他 ( )

問28 あなたが1週間のうち、朝食・夕食を家族または友人などと一緒にとる日数(外食含む)はどの程度ですか。(それぞれ1つに○)

※外食などの際、馴染みの店員や客とのコミュニケーションを伴う食事は一緒と見なします。

・朝食: ア ほとんどない イ 週に1日 ウ 週に2~3日 エ 週に4~5日 オ ほとんど毎日  
・夕食: ア ほとんどない イ 週に1日 ウ 週に2~3日 エ 週に4~5日 オ ほとんど毎日

問29 問28で選択肢ア~エと回答した方に伺います。あなたが家族または友人などと一緒に食事ができない理由はなんですか。(1つに○)

ア あなた以外の時間が合わないため イ あなたの時間が合わないため ウ 一緒に食べる習慣がないため  
エ その他 ( )

問30 今後食生活を改善したいと思いますか。(1つに○)

ア 思う イ やや思う ウ どちらともいえない エ あまり思わない オ 思わない

問31 あなたにはかかりつけの歯医者さんがいますか。(1つに○)

ア いる イ いない

↓ 次頁にも設問があります。

## 松戸市 食育に関するアンケート調査：大学生

問32 あなたは歯磨きをどの程度していますか。(1つに○)

ア 1日3回以上    イ 1日2回    ウ 1日1回    エ 時々磨く(磨かない日もある)    オ 磨かない

問33 あなたは普段ゆっくりよく噛んで食べますか。(1つに○)

ア 噛んでいる    イ まあ噛んでいる    ウ あまり噛んでいない    エ 噛んでいない

問34 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この1週間であなたの心理面にどのような変化がありましたか？(1つに○)

ア 気分が爽快なときが、かなり増えた    イ 気分が爽快なときが、やや増えた    ウ 変化なし  
エ 気分が晴れないときが、やや増えた    オ 気分が晴れないときが、かなり増えた

問35 新型コロナウイルス感染症の拡大後、歯科受診や医科受診の回数(頻度)は変わりましたか？(それぞれ1つに○)

・歯科受診： ア 増加した    イ やや増加した    ウ 変化なし    エ やや減少した    オ 減少した  
・医科受診： ア 増加した    イ やや増加した    ウ 変化なし    エ やや減少した    オ 減少した

問36 あなたの大学は以下のどれですか。(1つに○)

ア 千葉大学園芸学部    イ 聖徳大学    ウ 日本大学松戸歯学部    エ 流通経済大学

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

発行 松戸市

健康福祉部 健康福祉政策課  
松戸市根本387番地の5  
電話：047-366-1111（代表）

